

平成29年度 第2回 倉敷市環境審議会

日時 平成29年9月27日(水)14:30~16:30

場所 倉敷市役所本庁舎 10階 会議室

1 開会・あいさつ

2 議 事

(1) 第二次環境基本計画に係る実施計画の進捗状況等について

(2) 倉敷市生物多様性地域戦略の進捗状況等について

3 その他

4 閉 会

議事 1 (当日説明スライド)

第二次環境基本計画に係る実施計画の進捗状況について

環境基本計画の評価

◆指標の設定

- 5つの基本目標にぶらさがる13の分野別目標に、施策の進捗状況を測る「ものさし」として指標を2～3つ設定

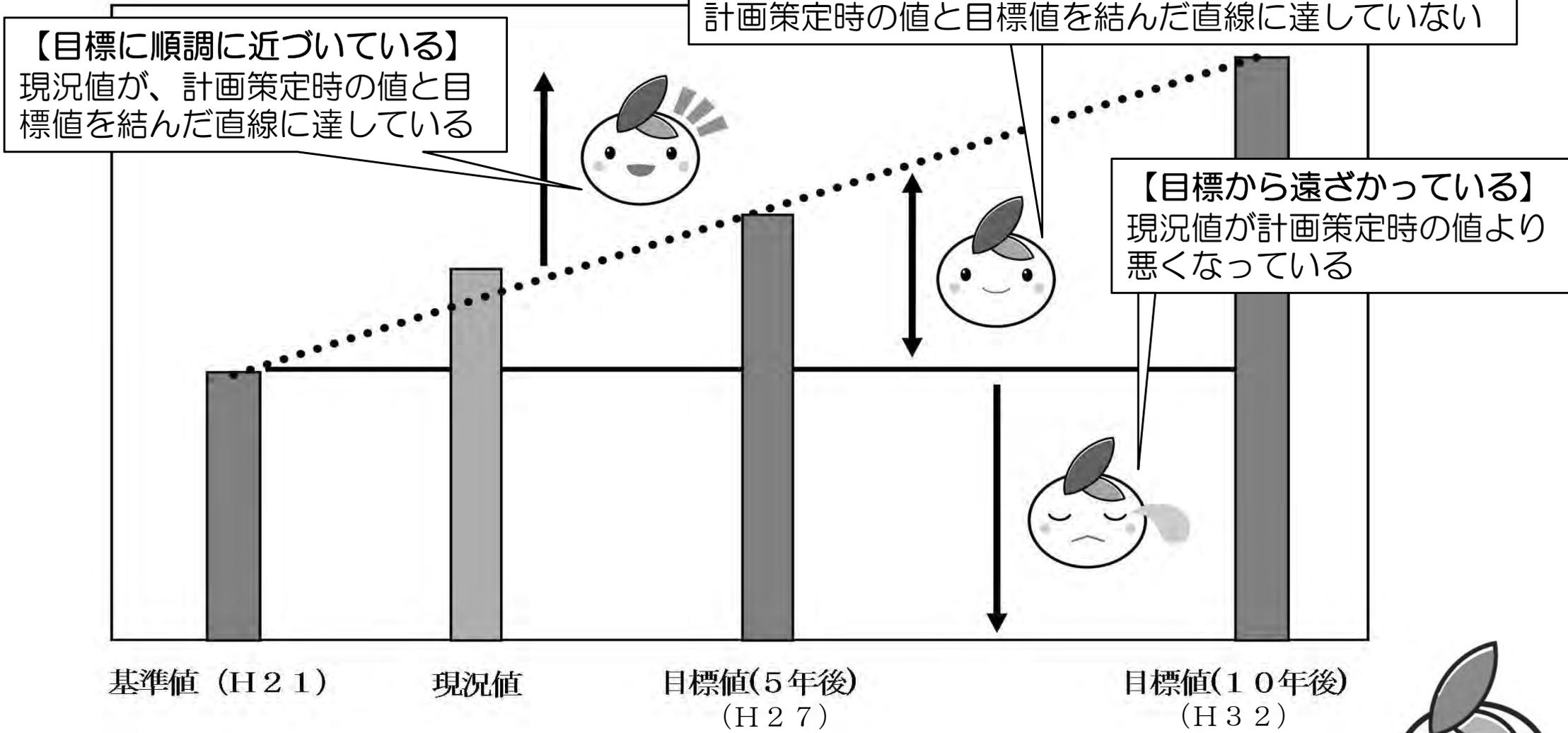
【指標例】

- 多様な生き物が生息している自然環境が身近にあると感じている人の割合
 - 公園や街路樹などの身近な緑に満足している人の割合
 - 汚水処理人口普及率
 - 家庭ごみの一人一日当たり排出量
- 16才以上、2,000人を対象に市民アンケート実施
- 事業実績値

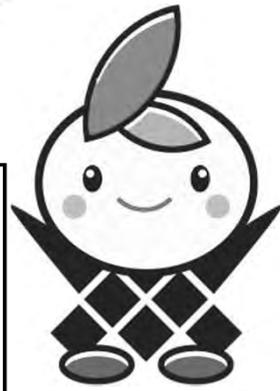
◆めざそう値との比較

- 5年後及び10年後の目標値である「めざそう値」と市民アンケート結果や事業実績値との比較
- 年度毎の傾向を把握

◆評価方法のイメージ図



* 「大気環境の基準値(1日平均値)を超過している日数」、「家庭ごみの一人一日当たり排出量」、「事業ごみの年間排出量」、「市全域から排出される温室効果ガスの削減量」については、値が小さくなるほど目標値に近づくので、上の図とは反対になります。



基本目標1：環境と地域の社会・経済との調和が保たれ、豊かな自然と魅力的な景観を有しているまち

●分野別目標1 多様な自然環境の保全

設定指標	基準値 (H21)	実績値		傾向	めざそう値	
		H27	H28		H27	H32
多様な生き物が生息している自然環境が身近にあると感じている人の割合	32.5%	32.6%	34.0%		45%	56%
【分析】20歳未満のみ「わからない」人の割合が一番大きい、30歳代で「感じない」人の割合が52.1%と大きい。茶屋町地区で「感じない」人の割合が57.6%と大きい。						
身近な自然を守る活動を行っている人の割合	10.9%	8.0%	8.7%		15%	20%
【分析】20歳未満と70歳代において「行っている」割合が15%前後であり、めざそう値(中間)付近であるが、他の年代は低い状況となっている。						
自然環境に配慮した工法(河川、ため池、護岸等の工事件数)	—	25件	28件		40件	100件
【分析】H23年度からの積上げ件数である。H23年度は5件、H24年度は3件、H25年度は7件、H26年度は5件、H27年度は5件、平成28年度は3件の工事(水路工事)を実施した。						

【H28年度の主な事業】

- ・市民が幅広く参加できる自然観察会、講座等の開催
- ・環境配慮型公共工事研修を市職員を対象に実施
- ・水辺教室や海辺教室での水生生物調査実施
- ・携帯フォトシステム・クラウドサービスを利用した市内生き物調査を実施
- ・市民企画提案事業で「里山の整備と絶滅が危惧される湿生の野生生物保護」実施
- ・高梁川流域連携事業で「生物多様性エコツアー支援事業」を実施

●分野別目標2 緑の保全・緑化の推進

設定指標	基準値 (H21)	実績値		傾向	めざそう値	
		H27	H28		H27	H32
公園や街路樹などの身近な緑に満足している人の割合	59.8%	65.7%	63.0%		68%	75%
【分析】「満足」、「どちらかという満足」の合計は年齢層が上がるにつれ、多くなっている。						
庭木や生垣など身近な緑化に努めている人の割合	50.3%	47.6%	44.2%		58%	65%
【分析】60歳代、70歳以上の方の「努めている」人の割合は約50%であり、30歳代以下と比較して大きな違いがみられる。						
身近にくつろげる緑や水にあふれる場所があると感じている人の割合	43.6%	44.9%	47.4%		54%	66%
【分析】めざそう値には達していないが、微増し続けている。なお、茶屋町地区のみ「感じている」人より「感じていない」人が多い状態である。						

【H28年度の主な事業】

- ・街路樹、公園などの適正管理
- ・公共施設（小学校園等）の壁面緑化・芝生化等
- ・花と緑あふれるまちづくり事業、花いっぱいコンクール、都市緑化フェア等による緑化の推進
- ・市民等に対する緑化実施の補助（生垣補助、記念樹配付、花の苗・種の配布、花壇設置）
- ・耕作放棄地の再生作業への補助
- ・公園2箇所の新設整備（浦田黒山公園・水玉ふれあい公園）及び13箇所の施設改善
- ・高齢者の生きがい対策としての公園等の清掃管理委託実施

など

●分野別目標3 景観づくり

設定指標	基準値 (H21)	実績値		傾向	めざそう値	
		H27	H28		H27	H32
地域の個性や生活・文化を活かした景観づくりができていると思う人の割合	38.9%	45.1%	40.2%		45%	50%
【分析】年代別では60歳代の評価が一番高い。地区別では船穂で「できていない」との回答割合が高い。						
歴史的な景観が保全されていると感じている人の割合	45.8%	48.3%	48.3%		54%	65%
【分析】20歳未満で「感じている」人が73.0%と最も高く、年齢が上がるにつれ、「感じている」人の割合が減り、70歳以上では38.8%と30%以上の違いがある。						
身近な生活環境の中で眺め(景観)に満足している人の割合	51.8%	55.4%	60.3%		57%	62%
【分析】全世代で50%以上の方が「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答している。						

【H28年度的主要事業】

- ・市内小中学生を対象に景観に関する絵画を募集し、景観絵画展を実施
- ・伝建地区等の建物の修理修景に対する補助実施
- ・大規模な建築物の新築について、都市景観審議会で審議
- ・違反広告物の除却作業等実施
- ・古民家等を地域のまちづくり活動や賑わいの拠点等として再生整備する事業へまちづくり基金で支援を実施

など

●分野別目標4 環境と経済の調和

設定指標	基準値 (H21)	実績値		傾向	めざそう値	
		H27	H28		H27	H32
エコアクション21認証・登録事業所の数	19件	18件	27件		35件	50件
【分析】めざそう値を下回っているものの増加傾向にあり、H28年度は9件増加した。						
地産地消を心がけている人の割合	32.1%	35.0%	25.9%		41%	50%
【分析】「心がけていない」理由としては、「関心がない」が一番多かった。						
企業の新增設における事前協議に係る環境に配慮した計画の割合	100%	100%	100%		維持	維持
【分析】施設の新増設等を行う際、事前に協議を実施し、環境保全対策の徹底を指導した。(協議数84件)						

H31

【H28年度の主な事業】

- ・中小企業向けのくらしき省エネセミナー、エコアクション21制度説明会などを実施、エコアクション21認証・登録事業所の認証更新に関する補助制度を開始
- ・倉敷市アダプト・プログラムの実施（清掃美化などの地域貢献活動に対して、ほうきやごみ袋等支給）
- ・くらしき農業まつり等のイベントや「くらしき農産物ガイド」改訂版の配付による地産地消推進事業
- ・企業立地、設備の新増設の際の事前協議と環境保全対策徹底の指導
- ・公共施設等の屋根貸しによる太陽光発電システムの設置（粒江小学校児童クラブ）

など

★【H29年度からの新規事業】

- ・エコアクション21認証登録を希望する事業者支援のため、認証取得研修会を実施

基本目標2：水と空気と大地がきれいで、安心して暮らせるまち

●分野別目標1 良好な水環境の保全

設定指標	基準値 (H21)	実績値		傾向	めざそう値	
		H27	H28		H27	H32
日頃から水環境の改善を意識して行動している人の割合	23.9%	23.2%	21.4%		50%	75%
【分析】「いつもしている」「どちらかというとしている」人の割合で見ると全年代で高く、最も低い20歳未満で67.8%、一番高い70歳代以上で89.8%であった。						
身近な河川・用水路等がきれいで流れ豊かな水辺になっていると感じている人の割合	31.2%	37.2%	34.6%		45%	60%
【分析】「感じている」「どちらかというと感じている」人の合計の割合は世代が上がるにつれ高くなる傾向がある。						
汚水処理人口普及率	85.5%	91.0%	91.5%		90%	93%
【分析】H28の実績値は、基準値に比べ6.0%上がり、前年度に比べ0.5%上昇した。						

【H28年度の主な事業】

- ・下水道整備、下水道維持管理事業や合併浄化槽や雨水流出抑制施設への助成措置等実施
- ・下水道展や出前講座、ポスターコンクールなどによる生活排水対策の啓発実施
- ・河川や海などの水質調査、工場・事業場排水に対する立入調査及び水質検査実施
- ・児島湖流域の生活排水対策の啓発のため、啓発ポスターの展示や児島湖流域清掃大作戦を実施
- ・大規模開発前の土壌調査等の指導

など

●分野別目標2 クリーンな大気環境の保全

設定指標	基準値 (H21)	実績値		傾向	めざそう値	
		H27	H28		H27	H32
身近な空気がきれいに保たれていると感じている人の割合	40.9%	51.7%	52.1%		55%	70%
【分析】「感じている」「どちらかというと感じている」人の合計の割合は、地区別で見ると水島地区が23.2%と低く、真備地区では78.0%と高い値であった。						
大気環境の基準値(1日平均値)超過日数	22日	2日	0日		15日	10日
【分析】H28年度は大気環境の基準値(1日平均値)の超過は無かった。						
通勤通学や日常の移動手段として、自転車・徒歩・公共交通機関を利用している人の割合	50.3%	47.3%	45.3%		63%	75%
【分析】「常にしている」「ときどきしている」人の合計の割合は30歳代がとりわけ低く、それ以降の世代で上昇傾向にあることから、就労の有無や健康への意識が関係していると推測される。						

【H28年度の主な事業】

- ・工場や事業場の立入調査や施設改善などの指導を実施
- ・エコドライブなどの啓発、観光地におけるシャトルバスでの渋滞対策
- ・ノーマイカーデー等自動車公害対策の啓発、電気自動車等購入補助実施
- ・市内24カ所及び大気測定車による大気汚染物質の常時監視
- ・夏期の光化学オキシダント濃度の常時監視
- ・市内7カ所において有害大気汚染物質の排出状況調査を実施

●分野別目標3 安心・安全な生活環境（環境衛生、化学物質対策等）

設定指標	基準値 (H21)	実績値		傾向	めざそう値	
		H27	H28		H27	H32
ごみが無くまちがきれいに清掃されていると感じている人の割合	38.4%	52.7%	51.1%		55%	70%
【分析】「感じている」「どちらかというと感じている」の合計は、年代別で見ると概ね高齢になるほど割合が高くなる傾向が見られた。						
環境の基準が守られ、心身ともに健康に暮らせていると思っている人の割合	54.4%	65.8%	64.8%		67%	80%
【分析】「そう思う」「どちらかというと思う」の合計は、年代別で見ると大きな違いはなかった。地域別では、水島地区でやや低い傾向にある。						

【H28年度の主な事業】

- ・騒音、振動、悪臭関係法令に基づく工場等の立入調査や防音対策等の指導実施
- ・事業所から排出される化学物質の種類と量の集計及び結果の公表
- ・イエローカード作戦や看板設置、啓発ティッシュの配布などによる飼い犬ふん害防止の啓発実施
- ・全市一斉ごみ0キャンペーンの実施
- ・ダイオキシン類対策として、発生源に対する調査・指導及び環境中のダイオキシン類調査実施

など

基本目標3:リデュース、リユース、リサイクルが徹底され、循環型社会が形成されたまち

●分野別目標1 ごみの排出抑制

設定指標	基準値 (H21)	実績値		傾向	めざそう値	
		H27	H28		H27	H32
ごみの発生抑制に配慮した行動をしている人の割合	30.6%	30.5%	26.2%		40%	60%
【分析】「いつもしている」「どちらかといえばしている」人の割合で見ると82.3%と高い。全年代で50%以上であり、年代が上がるにつれ増加傾向にある。						
家庭ごみ一人一日当たり排出量(資源ごみ除く)	553g	535g	519g		495g	473g
【分析】家庭ごみ一人一日当たり排出量は減少傾向にあり、H28年度実績値はH27年度より16g減量していた。						
事業ごみの年間排出量	68,140t	70,998t	70,383t		59,871t	58,096t
【分析】H28実績値は基準値より多いが、H27年度より615t削減した。						

【H28年度の主な事業】

- ・災害廃棄物処理計画の策定
- ・「リサイクルフェア」や「暮らしとごみ展」の開催、啓発冊子の配布による啓発活動
- ・各ごみステーションでの市職員による早朝分別指導や地区町内会等での出前講座実施
- ・マイバッグ・マイ箸運動の推進（スーパー店頭での啓発イベント、協力店認定制度など）
- ・生ごみ処理機購入補助、子ども会や町内会など資源ごみ集団回収報奨金などの助成制度
- ・海底ごみステーションの設置

など

●分野別目標2 廃棄物の減量化・資源化

設定指標	基準値 (H21)	実績値		傾向	めざそう値	
		H27	H28		H27	H32
最終処分率 (最終処分量/ごみ総排出量)	2.4%	2.0%	1.9%		維持	維持
【分析】最終処分率は低水準を維持している。						
リサイクル率	47.8%	51.6%	51.5%		52%	54%
【分析】H28年度の実績値は、基準値に比べ3.7%上がり、H27年度と同水準である。						

H31

【H28年度の主な事業】

- ・大規模事業者に対する一般廃棄物減量資源化計画書の提出指導や事業場に対する分別指導実施
- ・児島のクルクルセンターを拠点とし、木製家具や古着等のリユース事業やリサイクルに関する講座を実施
- ・スーパーなどのリサイクル協力店や地区ステーションからペットボトル回収実施
- ・不法投棄対策として、航空機や監視カメラ、夜間パトロールなどの監視活動を実施
- ・障がい者や高齢者の世帯のうち、ごみ出しが困難な世帯を対象に個別収集を実施（ふれあい収集事業）
- ・使用済み小型家電リサイクル事業を実施

★【H29年度からの新規事業】

- ・汚泥再生処理センター整備事業

など

基本目標4:地球温暖化対策の取組により、低炭素社会が形成されたまち

●分野別目標1 温室効果ガス削減

設定指標	基準値 (H21)	実績値		傾向	めざそう値	
		H27	H28		H27	H32
家庭で温暖化対策「グリーンくらしきエコアクション」に取り組んでいる人の割合	24.6%	19.1%	18.5%		39%	53%
【分析】若い世代で取り組み割合が低い傾向がみられる。また、全体の5割程度の人が「わからない」と回答している。						
温暖化対策「グリーンくらしきエコアクション」に取り組んでいる企業の割合 (1回/2年の調査)	5.5%	—	—	—	50%	80%
【分析】実績値なし、本年度実施予定。						
市全域から排出される温室効果ガスの削減割合(2007年度比)	39,573 千t 【H19】	16.0% 削減 【H24】	12.5% 削減 【H25】		6%削減	12%削減
【分析】基準年比で12.5%削減されており、H32年度のめざそう値も達成している。						

H31

【H28年度の主な事業】

- ・ 緑のカーテンコンテスト、グリーンメイトの登録、ゴーヤや朝顔の種配布など緑のカーテン普及事業実施
- ・ 出前講座やこどもエコライフチャレンジ、STOP温暖化くらしきミーティングなどの啓発活動実施
- ・ 電気自動車等や充電設備への補助制度を実施
- ・ 公共施設のCO2削減ポテンシャル診断事業委託実施

など

●分野別目標2 再生可能エネルギーの導入

設定指標	基準値 (H21)	実績値		傾向	めざそう値	
		H27	H28		H27	H32
住宅用太陽光発電システム設置件数	3,852件	14,206件	15,338件		10,000件	28,000件
【分析】H28年度実績として、基準値から11,486件、H27から1,132件増加し、順調に推移している。						
公共施設の太陽光発電システム設置kw数	90kw	549.6kw	639.4kw		250kw	500kw
【分析】H28年度実績として、粒江小学校児童クラブに設置。						

【H28年度の主な事業】

- ・住宅用太陽光発電システムや太陽熱温水器、燃料電池システム設置に対する補助
- ・倉敷市が定める認定基準に適合する低炭素住宅「次世代エコハウス」に対する助成
- ・クレジット制度の活用
- ・公共施設の空調設備や照明施設などの省エネルギー対策実施
- ・公共施設への太陽光発電システムの導入、公共施設の芝生化・壁面緑化等の実施
- ・公共施設等の屋根貸しによる太陽光発電システムの設置（粒江小学校児童クラブ）
- ・児島下水処理場における消化ガス発電事業により合計125kwを発電
- ・カーボンマネジメント強化事業の実施

など

基本目標5: 市民一人ひとりが、環境意識を持ち行動するまち

●分野別目標1 市民全体の環境教育・環境学習

設定指標	基準値 (H21)	実績値		傾向	めざそう値	
		H27	H28		H27	H32
「もったいない」意識を共有している社会が出来ていると思う人の割合	6.0%	8.4%	5.8%		12%	30%
【分析】「思う」「どちらかといえば思う」人の割合でみると31.2%である。70歳代以上で割合が高い。						
環境学習等で学んだことを、日常生活の中で実践している人の割合	4.0%	2.9%	4.2%		10%	20%
【分析】環境学習等で学んだことがある人の大半が、「いつもしている」「どちらかといえばしている」と回答している。						

【H28年度の主な事業】

- ・環境フェスティバル、STOP温暖化くらしきミーティングなどの環境イベント実施
- ・水辺教室や海辺教室などの体験学習、市職員等による各種出前講座の実施
- ・市民学習センター（ライフパーク）や公民館、自然史博物館など社会教育施設での各種環境講座の実施
- ・市内で活動する環境団体と協働で環境学習等の講座を実施（夏休み宿題応援団、海辺のエコしらべ）
- ・高梁川流域連携事業として、関係市町の小中学校等へ「倉敷市環境学習センター」の利用案内を送付など

●分野別目標2 子どもの環境教育・環境学習

設定指標	基準値 (H21)	実績値		傾向	めざそう値	
		H27	H28		H27	H32
自然がかけがえの無い大切なものだと感じている子どもの割合	71.7%	77.4%	79.9%		80%	95%
【分析】実績値は「とてもそう思う」の割合で79.9%となった。「そう思う」まで含めた割合は、アンケート対象(小学校4年生～中学校2年生)において95%以上とかなり高い割合であった。						
「もったいない」意識を持ち、物を大切にしている子どもの割合	31.4%	45.2%	44.8%		45%	65%
【分析】実績値は「いつもしている」の割合で44.8%となった。「ときどきしている」まで含めた割合は、アンケート対象(小学校4年生～中学校2年生)において86.8%とかなり高い割合であった。						
自然にふれる活動に参加している子どもの数	14,537人	15,522人	14,543人		17,500人	19,700人
【分析】H28年度実績値は、基準値と同程度であった。						

【H28年度の主な事業】

- ・こどもエコライフチャレンジを小学校で実施（家庭でエコライフを実践し子ども向け環境家計簿に取り組む）
 - ・水辺教室、海辺教室、少年自然の家での山の学習や自然教室などの自然体験学習
 - ・小中学校での環境に関する出前講座実施
 - ・子供向けに「エコサマースクール」と題して、夏休み期間中に体験講座等を実施
- など

◆平成28年度の設定指標の動向（まとめ）

	 「目標値に 順調に近づ いている」	 「計画策定時 より良好に なっている」	 「目標から 遠ざかって いる」
基本目標1「自然環境・景観・環境と経済の調和」	2指標／12指標	7指標／12指標	3指標／12指標
基本目標2「水と空気と大地がきれいで、安心して暮らせるまち」	2指標／8指標	4指標／8指標	2指標／8指標
基本目標3「リデュース、リユース、リサイクルが徹底され、循環型社会が形成されたまち」	1指標／5指標	2指標／5指標	2指標／5指標
基本目標4「地球温暖化対策の取組により、低炭素社会が形成されたまち」	3指標／4指標	0指標／4指標	1指標／4指標
基本目標5「市民一人ひとりが、環境意識を持ち行動するまち」	0指標／5指標	4指標／5指標	1指標／5指標
基本目標1～5の 総合計	8指標／34指標 (23.5%)	17指標／34指標 (50%)	9指標／34指標 (26.5%)

倉敷市第二次環境基本計画

～自然と人とが共生し 未来につなぐ 健全で恵み豊かな環境をめざして～

環境基本計画に係る実施計画

(平成28年度実績及び平成29年度以降の計画)

目次

●平成28年度指標・めざそう値進捗状況総括表	1
●実施計画シートの見方	2
【実施計画シート】	
●基本目標1 環境と地域の社会・経済との調和が保たれ、豊かな自然と魅力的な景観を有しているまち	3
●基本目標2 水と空気と大地がきれいで、安心して暮らせるまち	11
●基本目標3 リデュース、リユース、リサイクルが徹底され、循環型社会が形成されたまち	17
●基本目標4 地球温暖化対策の取組により、低炭素社会が形成されたまち	21
●基本目標5 市民一人ひとりが、環境意識を持ち行動するまち	25

平成28年度指標・めざそう値進捗状況

No.	基本目標	分野別目標	設定指標	基準値		平成28年度実績	傾向*	めざそう値	
				平成21年度	平成21年度			5年後	10年後
1	環境と豊かな自然と魅力ある景観を調和して保ち、まち	1 多様な生き物が生息している自然環境が身近にあると感じている人の割合	1 多様な生き物が生息している自然環境が身近にあると感じている人の割合	32.5%	34.0%	34.0%		45%	56%
				10.9%	8.7%	8.7%		15%	20%
				6件/年	28件	28件		40件	100件
				59.8%	63.0%	63.0%		68%	75%
2	まちの緑化を推進し、うるおいと安らぎのある生活空間の形成を目指します	2 庭木や生垣などの身近な緑化に努めている人の割合	2 庭木や生垣などの身近な緑化に努めている人の割合	50.3%	44.2%	44.2%		58%	65%
				43.6%	47.4%	47.4%		54%	66%
				38.9%	40.2%	40.2%		45%	50%
3	瀬戸内海と高梁川の恵みを生かし、伝統に根づいた風格のある美しい景観の景観づくりを推進します	3 身近な生活環境の中での眺め(景観)に満足している人の割合	3 身近な生活環境の中での眺め(景観)に満足している人の割合	51.8%	60.3%	60.3%		57%	62%
				19件	27件	27件		35件	50件
				32.1%	25.9%	25.9%		41%	50%
4	環境と経済の好循環の創出により、地域の活性化を目指します	3 企業の新增設における事前協議に係る環境に配慮した計画の割合	3 企業の新增設における事前協議に係る環境に配慮した計画の割合	100%	100%	100%		維持	維持
				23.9%	21.4%	21.4%		50%	75%
				31.2%	34.6%	34.6%		45%	60%
2	水と空気と大地がきれいで、安心してくらしを営むまち	1 良好な水環境の保身に努めます	1 日頃から水環境の改善を意識して行動している人の割合	85.5%	91.5%	91.5%		90%	93%
				40.9%	52.1%	52.1%		55%	70%
				22日	0日	0日		15日	10日
3	安心・安全な生活環境の実現に努めます	2 大気環境の基準値(1日平均値)を超過している日数	2 大気環境の基準値(1日平均値)を超過している日数	50.3%	45.3%	45.3%		63%	75%
				38.4%	51.1%	51.1%		55%	70%
				54.4%	64.8%	64.8%		67%	80%
3	3 Rが徹底され、循環型社会が形成されたまち	1 生産・消費段階を含めた「ごみ」そのものの排出抑制を推進します	1 ごみが無くまきれいに清掃されていると感じている人の割合	30.6%	26.2%	26.2%		40%	60%
				553g	519g	519g		495g	473g
				68.140t	70.383t	70.383t		59,871t	58,096t
4	地球温暖化対策の取組により、低炭素社会が形成されたまち	2 廃棄物の減量化・資源化の推進及び適正処理に努めます	2 最終処分率(最終処分量÷ごみ総排出量)	2.4%	1.9%	1.9%		維持	維持
				47.8%	51.5%	51.5%		52%	54%
				24.6%	18.5%	18.5%		39%	53%
5	市民一人ひとりが、環境意識を持ち行動するまち	1 温室効果ガス削減の取組を推進します	2 温暖化対策「グリーンぐらしエコアクション」に取り組んでいる企業の割合	5.5%	—	—	—	80%	80%
				39.573千t【H19】	12.5%削減【H25】	12.5%削減【H25】		6%削減	12%削減
				3,852件	15,338件	15,338件		10,000件	28,000件
5	市民一人ひとりが、環境意識を持ち行動するまち	2 地域特性を活かした再生可能エネルギーの積極的利用により、資源・エネルギー循環型の社会を目指します	2 公共施設の太陽光発電システム設置kw数	90kw	639.4kw	639.4kw		250kw	500kw
				6.0%	5.8%	5.8%		12%	30%
				4.0%	4.2%	4.2%		10%	20%
5	次世代を担う子どもたちへの環境教育を充実し、行動できる人を育てます	1 自然がかけがえの無い大切なものだと感じている子どもの割合	1 自然がかけがえの無い大切なものだと感じている子どもの割合	71.7%	79.9%	79.9%		80%	95%
				31.4%	44.8%	44.8%		45%	65%
				14,537人	14,543人	14,543人		17,500人	19,700人

* 傾向の見方:



めざそう値に順調に近づいている



計画策定時より良好になっている



めざそう値から遠ざかっている

●基本目標1 環境と地域の社会・経済との調和が保たれ、豊かな自然と魅力的な景観を有しているまち

◆分野別目標1:多様な自然環境を保全し、自然とのふれあいを促進します。

【基本方針】:身近な自然環境の保全・再生に努め、地域の自然環境を豊かにしていくために、地域固有の生態系の確保、野生動植物の種の保存など生物多様性の確保を図り、地域の特性に合わせて、森林・農地・水辺地等における多様な自然環境を体系的に保全・再生するとともに、人と自然のふれあいを確保・推進します。

◆目標とする指標

番号	項目	基準値	実績値	実績値	基準値からの傾向	めざそう値	
		H21	H27	H28		H27年度	H32年度
1	多様な生き物が生息している自然環境が身近にあると感じている人の割合	32.5%	32.6%	34.0%		45%	56%
2	身近な自然を守る活動を行っている人の割合	10.9%	8.0%	8.7%		15%	20%
3	自然環境に配慮した工法により整備された、河川やため池、護岸等の工事件数 (H23~H32年度の積上げ件数)	6件/H21年度	25件	28件		40件	100件

主要な施策に基づく主な事業 年度別計画

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H27からの区分	H28年度実績	H28からの区分	H29年度計画	H30年度計画	H31年度計画	H32年度計画	担当課		
No.111 身近な自然と水辺の保存	<ul style="list-style-type: none"> ●貴重な自然環境を保全・再生する ●私たちが憩い、安らげる親水性の高い水辺空間の保全・整備を進める ●公共工事を実施する際は、野生動植物の生息状況に配慮した工事を行う 	市民環境団体への支援を通じて、観察会や環境保全活動を協働で実施する	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が幅広く参加できる自然観察会、講座等を開催した。(総数50件) ・「自然史博物館友の会」による自然観察会等の開催を援助した。(友の会主催観察会・講座総数12件) 倉敷市環境学習センターや岡山県の観察会等の開催を援助した。 	継続	自然観察会等の実施	継続実施			自然史博物館 環境政策課		
			新規	「里山の整備と絶滅が危惧される湿生の野生生物保護」	終了		終了				環境政策課	
			継続	「ツツジ山再生プロジェクト」旧帯江銅山跡地の「ツツジ山」を復活させる活動を通して、市民の交流を活性化する。	継続	「ツツジ山再生プロジェクト」旧帯江銅山跡地の「ツツジ山」を復活させる活動を通して、市民の交流を活性化する。	継続実施				市民活動推進課	
		継続	人びとが憩い安らげる、自然環境・水辺空間を保全・整備する	継続	水質表示看板による溜川の水質の啓発及びごみ回収船による清掃活動を実施した。	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・水質表示看板による溜川水質の啓発 ・ごみ回収船による清掃活動 	継続実施				環境政策課
		継続		地区住民のスポーツレクリエーションの場となる近隣公園として、また海と港をコンセプトとした公園である「玉島みなと公園」の維持管理を実施した。	継続	「玉島みなと公園」維持管理	継続実施				公園緑地課	
		継続		倉敷用水を中心とした、幅約22m、往復約600mの緑道と、芝生広場を備えた緑地からなる約2.1haの水と緑豊かな潤いと憩いの空間である「倉敷みらい公園」の維持管理を実施した。	継続	「倉敷みらい公園」維持管理	継続実施				公園緑地課	
		継続		水島中央公園を緑あふれる公園にリニューアルすることにより、地域に安心と安らぎのある空間を提供できるよう緑あふれる公園として再整備する。(H28年度は、噴水広場及びセンター広場の整備工事が完了)	継続	「水島中央公園再整備」工事实施(芝生広場の整備工事が完了)	完了予定	維持管理			公園緑地課	
		継続		「まび水辺の楽校」維持管理(空き缶やごみの回収、巡回パトロールを毎月実施)	継続	「まび水辺の楽校」維持管理	維持管理				真備支所	
		継続		自然環境に配慮した公共工事を推進する	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境に配慮した公共工事実施(3件) ・市土木職員を対象に環境配慮型公共事業研修を1回実施 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境に配慮した工事实施 ・環境配慮型公共事業研修会実施 	継続実施			

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H27からの区分	H28年度実績	H28からの区分	H29年度計画	H30年度計画	H31年度計画	H32年度計画	担当課		
No.112 希少野生生物の生息・生息環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> ●希少野生生物の生息・生育環境の保全を行い、種の保存に努める ●絶滅の恐れのある野生動物の分布や生息状況などを把握する ●生物多様性地域戦略を策定し、市内の生物多様性の確保に努める ●外来生物に関して、関係機関と連携し、生息実態の調査・情報収集を行い、情報提供や知識の普及を促進する 	希少野生動物保全の普及啓発及び地域住民と協働しての環境保全活動の実施	継続	ミズアオイ群生地の保全活動：ヌートリア食害防護フェンスの設置など、ミズアオイ自生地の整備・管理に協力した。市民に対して種まき会等の啓発活動を行った。	継続	ミズアオイ自生地の整備・管理	継続実施			環境政策課		
		希少野生動物の分布や生息状況を把握する	継続	スイゲンゼニタナゴ個体群の保全：自然保護団体等と協力して工事実施等に伴い、保全に関する協議・保護移動を実施した。（4件）	継続	自然保護団体、地域住民と協力し、スイゲンゼニタナゴの保護活動を推進する。（淡水魚に関する出前講座実施。工事実施に伴う保全に関する協議・保護移動を実施）	継続実施			環境政策課		
		生物多様性戦略の取り組み	継続	生物多様性地域戦略推進委員会（委員11人）を設置し、会議を1回実施した。	継続	生物多様性地域戦略推進のための啓発事業として富士通株式会社との連携を受け、携帯フォトシステム・クラウドサービスを利用した市内の生き物調査を実施した。平成28年度はカワセミに限定して実施し、102件の投稿があった。	継続	生物多様性地域戦略推進のための啓発事業として富士通株式会社との連携を受け、携帯フォトシステム・クラウドサービスを利用した市内の生き物調査を実施する。	継続実施		環境政策課	
		外来生物の駆除対策等を実施する	継続	ジャンボタニシの防除対策について、HPや広報紙等で情報提供	継続	ジャンボタニシの防除対策について、HPや広報紙等で情報提供	継続実施				農林水産課	
			継続	高梁川流域圏域において、生物多様性エコツアーを推進するため、エコツアーの開催に関心のある個人・団体に対し、実践的な講習会を実施した。	継続	生物多様性エコツアーを推進するため、エコツアー実践講座等を実施する。	推進				環境政策課	
			継続	種松山野草園の管理運営	継続	野草園の維持管理を実施した。	継続	野草園の維持管理実施	継続実施			環境政策課
			継続	生物多様性地域戦略策定のための啓発事業として、市民から市内の生き物の情報収集をする	継続	【再掲No.112】生物多様性地域戦略推進のための啓発事業として富士通株式会社の支援を受け、携帯フォトシステム・クラウドサービスを利用した市内の生き物調査を実施した。平成28年度はカワセミに限定して実施し、102件の投稿があった。	継続	生物多様性地域戦略推進のための啓発事業として富士通株式会社の支援を受け、携帯フォトシステム・クラウドサービスを利用した市内の生き物調査を実施する。	継続実施			環境政策課
No.113 自然とのふれあいの促進	<ul style="list-style-type: none"> ●さまざまな場面で自然とふれあえる場の整備と、自然と関わる機会の提供に努める ●地域の生き物とのふれあいや自然体験を支えていく人材の充実に努める 	探鳥コース・巨樹の維持管理	継続	・自然保護監視員や市民からの情報をもとに巨樹・老樹等の調査を実施した。	継続	巨樹説明用看板設置	継続実施			環境政策課		
		水辺教室・海辺教室等の水生生物調査	継続	・高梁川河原で水生生物調査などの観察を行った。（参加者38人） ・磯（海辺）で水生生物調査などの観察を行った。（参加者30人） 誰もが手軽に海の水質や生物環境を評価できる「瀬戸内海の海岸生物調査マニュアル」の提供・活用を行った。	継続	・高梁川河原で水生生物調査などの観察を行う。 ・磯（海辺）で水生生物調査などの観察を行う。 完成版マニュアルの提供・活用	継続実施			環境政策課		
		自然保護監視員の委嘱	継続	・自然環境研修会等を2回実施した。 ・連絡会議や定期的な報告書により、市内自然環境の状況、外来生物侵入の状況について情報収集を行った。	継続	自然環境研修会の実施など	継続実施				環境政策課	
			継続		継続							

●基本目標1 環境と地域の社会・経済との調和が保たれ、豊かな自然と魅力的な景観を有しているまち

◆分野別目標2:まちの緑化を推進し、うるおいと安らぎのある生活空間の形成をめざします

【基本方針】:うるおいと安らぎのある生活空間を形成するために、都市公園の整備や街路樹の設置など、良好な都市環境の整備に努めるとともに、まちの緑化にあたっては、公共の場所だけでなく、遊休地の活用など民有地の緑化も推進します。多様な機能を持つ緑地を維持・創出していくために、市民・事業者・行政が連携し、それぞれの立場で緑化を推進し、うるおいと安らぎのある生活空間の形成をめざします。

◆目標とする指標

番号	項目	基準値	実績値	実績値	基準値からの傾向	めざそう値	
		H21	H27	H28		H27年度	H32年度
1	公園や街路樹などの身近な緑に満足している人の割合	59.8%	65.7%	63.0%		68%	75%
2	庭木や生垣などの身近な緑化に努めている人の割合	50.3%	47.6%	44.2%		58%	65%
3	身近にくつろげる緑や水にあふれる場所があると感じている人の割合	43.6%	44.9%	47.4%		54%	66%

主要な施策に基づく主な事業 年度別計画

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H27からの区分	H28年度実績	H28からの区分	H29年度計画	H30年度計画	H31年度計画	H32年度計画	担当課	
No.121 緑の保全	●まちの緑と市街地周辺の森林・農用地、河川・海浜の緑を保全する ●個人や法人が所有する樹木等が不要になった場合はリサイクルできるように配慮する	街路緑地帯等の適正管理	継続	街路樹管理の実施（市道の街路樹や緑地の剪定・害虫防除を行い、良好な道路環境の維持を行った。134路線・95km）	継続	街路樹管理の実施	継続実施			公園緑地課	
		地域との協働により緑の保全を推進する	継続	地元団体等と協力して、国立公園の管理を行った。（鷲羽山、王子が岳、由加山、通仙園の園地清掃・剪定等を実施）	継続	地元団体等と協力して、国立公園の管理を行う。	継続実施			公園緑地課	
		森林等の緑を保全するとともに、ふれあいの場を整備維持管理する	継続	ふれあいの森、美しい森の美化・維持管理を実施した。 ・ふれあいの森管理（16.39ha） ・倉敷美しい森管理（1.87ha） ・真備美しい森管理（6.00ha） ・愛宕山公園管理（3.60ha）	継続	・ふれあいの森管理 ・倉敷美しい森管理 ・真備美しい森管理 ・愛宕山公園管理	継続実施				農林水産課
			継続	松くい虫予防対策として、薬剤散布や被害木の伐倒を実施（薬剤散布13ha、伐倒170㎡）	継続	松くい虫予防	継続実施				農林水産課
		不要樹木のリサイクルを推進する	継続	不要樹木を市営苗圃で管理し、引き渡しを実施（330本）	継続	不要樹木を市営苗圃で管理し、引き渡す。	継続実施				公園緑地課
		公共施設のブロック塀を生垣に更新する	継続	本荘小学校の生垣化を実施	継続	大高小学校で実施	計画的実施				公園緑地課
		公共施設の壁面緑化等を推進する	継続	・保育園及び認定こども園庭の芝生維持管理を行った。（H28末現在：累計13園） ・幼稚園庭の芝生の維持管理を行った。（H28末現在：累計3園） ・学校・園の壁面緑化（市立学校・幼稚園計144校園で実施） ・小学校庭の芝生化（本荘小学校・藪小学校）及び維持管理を行った。（H28末現在：累計14校）	継続	・保育園庭の芝生化（大内保育園）及び芝生維持管理 ・幼稚園庭の芝生の維持管理 ・学校・園の壁面緑化 ・小学校庭の芝生化（倉敷西小学校・玉島小学校・旭丘小学校）及び維持管理	継続実施				保育・幼稚園課 教育企画総務課 教育施設課

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H27からの区分	H28年度実績	H28からの区分	H29年度計画	H30年度計画	H31年度計画	H32年度計画	担当課
No. 122 緑化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●公共施設の屋上や壁面等の緑化を推進する ●市民全体の活動を支援し、住宅等民有地や工場、事業所、遊休地等の緑化を図る ●緑化の基準・指標となる緑化率の設定を行う 	市民（地域）との協働により、まちの緑化を推進する（緑化推進員、花の銀行、地区花いっぱい団体）	継続	花と緑あふれるまちづくり事業 ・フラワーロード事業（倉敷中央通り、鷲羽山通り、水島商店街通りにフラワーボックス 約1,905個を設置） ・もてなし花壇事業（公共施設、JR駅等にフラワーボックス約2,038個を設置） ・地区花いっぱい事業（事業に申込のあった団体に花苗を無料配付し、花壇の維持管理等の活動を実施：団体数123団体） ・花の銀行活動実施（49支店で花の種子配付 配付数15,000袋） ・緑化推進員の設置（推進員25人に対して連絡会を開催し、意見交換を行うとともに緑化の勉強会等を実施し知識向上を図った。）	継続	・花と緑あふれるまちづくり事業 フラワーロード事業、もてなし花壇事業、地区花いっぱい事業など ・緑化推進員の設置	継続実施			公園緑地課
		倉敷市花いっぱいコンクール実施 家庭や職場・学校・自治会等で四季折々に育てられた花と緑の優秀な花壇を顕彰し、普及啓発と市民参加による都市緑化の推進を図ることを目的に実施した。（69件の応募、28件表彰）	継続	倉敷市花いっぱいコンクール実施	継続実施			公園緑地課		
		緑化団体等との協働により、啓発事業を推進する	継続	くらしき都市緑化フェア等を実施（10月に講演会、緑化ポスターコンクール、緑化相談、花の種子及び苗配付等を実施 2,266人参加）	継続	くらしき都市緑化フェア等を実施	継続実施			公園緑地課
		市民等の緑化実施に対して、支援・助成を行う	継続	・生垣補助（補助件数6件） ・記念樹の配付（結婚及び誕生記念に苗木配付1,094本） ・花の苗、種の配付（花いっぱい運動や緑化フェアや環境イベント等で配付）	継続	・花壇設置補助 花と緑あふれるまちづくりを目指すため、市の定める要件を満たして新設する花壇に助成を行う。	継続実施			公園緑地課
			継続	・花壇設置補助（補助件数1件）	継続	・生垣補助 ・記念樹の配付 ・花の苗、種の配付	継続実施			公園緑地課 環境政策課
		耕作放棄地の再生作業等に対して助成を行う	継続	耕作放棄地の再生作業への助成 国の交付金で対応できない農地に対する再生利用活動に対し補助金を交付（再生作業、土壌改良等補助 138ha）	継続	耕作放棄地の再生への補助金交付	継続実施			農林水産課
		緑化率の設定を行う	継続	緑の基本計画策定に伴い緑化率の設定を検討	終了	緑の基本計画策定に伴い緑化率の設定を検討	策定完了			公園緑地課
No. 123 都市公園等の整備	<ul style="list-style-type: none"> ●公園緑地等の適正な整備を進める ●公園の規模・性格をふまえ、計画的な整備及び適正な管理を行う 	市民に身近な公園等の整備・管理を行う	継続	・新設整備（浦田黒山公園、水玉ふれあい公園） ・施設改善（松島公園ほか13箇所）	継続	新設整備 浦田黒山公園等 施設改善 庄公園ほか （トイレ改修・防球ネット設置等）	継続実施			公園緑地課
		緩衝緑地の維持管理	継続	県への維持管理費負担金（水島緩衝緑地事業費負担金）	継続	県への維持管理費負担金	継続実施			公園緑地課
		都市公園の適正な管理	継続	適正な管理の実施（公園内の清掃、草取り、樹木剪定・防除など 都市公園779箇所・遊園257箇所）	継続	適正な管理の実施	継続実施			公園緑地課
			新規	公園施設長寿命化計画に基づき更新等工事 酒津公園大型複合遊具更新 酒津公園木橋更新など	継続	交付金分（40公園89施設）、単独分（16公園28施設）の更新及び単独分（42公園42施設）の補修を行う。	継続実施			公園緑地課
			継続	高齢者の生きがい対策として公園等の清掃管理委託実施（290箇所）	継続	適正な管理の実施	継続実施			健康長寿課
公園の計画的な整備	継続	【再掲No. 111】水島中央公園再整備	継続	水島中央公園芝生広場の再整備	完了予定	→ 維持管理			公園緑地課	

●基本目標1 環境と地域の社会・経済との調和が保たれ、豊かな自然と魅力的な景観を有しているまち

◆分野別目標3:瀬戸内海と高梁川の恵みを生かし、伝統に根づいた風格のある美しい倉敷の景観づくりを推進します

【基本方針】:瀬戸内の温暖な気候と豊富な水量に恵まれた高梁川にはぐくまれた自然と、伝統ある歴史、文化が織りなす美しい景観は、本市の魅力であり、今後も歴史的資産を活用するとともに、自然環境と調和した都市美を保全・創出していきます。

先人達が守り、育て、つくりあげてきたかけがえのない自然、歴史・文化を継承するとともに、人びとの五感、記憶を通じて、ふるさと景観として共感できる倉敷市の姿として将来に伝えていきます。

地域の特性を活かした固有の美を尊重した生活環境の創造を目指し、風格のあるいきいきとした都市景観の形成に努めていきます。都市景観の形成においても、将来に環境負荷を残さない持続可能なまちづくりに資するよう、自然環境に配慮しつつ、うるおいのある緑豊かで快適な景観づくりを進めていきます。

◆目標とする指標

番号	項目	基準値	実績値	実績値	基準値からの傾向	めざそう値	
		H21	H27	H28		H27年度	H32年度
1	地域の個性や生活・文化を活かした景観づくりができていると思う人の割合	38.9%	45.1%	40.2%		45%	50%
2	歴史的な景観が保全されていると感じている人の割合	45.8%	48.3%	48.3%		54%	65%
3	身近な生活環境の中での眺め（景観）に満足している人の割合	51.8%	55.4%	60.3%		57%	62%

主要な施策に基づく主な事業 年度別計画

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H27からの区分	H28年度実績	H28からの区分	H29年度計画	H30年度計画	H31年度計画	H32年度計画	担当課	
No. 131 景観資源等の保全・活用・整備に努めます	●景観に関する普及啓発を行う ●個々の景観資源を保全・活用するために必要な助成・支援等を行う。 ●地域・地区単位での景観形成を推進する	景観形成重点候補リストの作成など景観形成に係る情報の整備を行う	継続	景観に係る情報整備の実施	継続	情報整備実施	リスト作成随時			都市計画課	
		市民への普及啓発を推進する	継続	・景観絵画展として、倉敷市内の小中学生を対象に、倉敷市内の大好きな景色やこんな街になってほしいと願う風景をテーマに募集し、28年度は、小学校から96点、中学校から51点の応募があり、会場では、入賞作品を中心に展示した。（展示期間11月28日～12月2日） ・魅力的な景観まちづくりの推進に向けて、「景観まちづくり教育」についてHPに掲載	継続	・景観絵画展の実施 ・HP等で普及啓発推進	継続実施			都市計画課	
		所有者・管理者との協議を通じて、個々の景観資源の保全活用等に関する計画を作成する	継続	・市民との協働や市民からの提案により、景観資源の実態調査を実施し、景観資源を発掘 ・所有者、管理者と協議して景観法に基づく景観重要建造物・景観重要樹木として指定	継続	協議の実施、計画策定を随時行う	継続実施				都市計画課
		建築物等の新築・増改築など歴史的な町並み景観の保存を図るために必要な助成・支援等を行う	継続	伝統建地区等修理修景補助 ・伝統的建造物群保存地区内の建物の修理修景に対する補助（5件） ・伝統美観地区内の建物の修理修景に対する補助（1件） ・玉島町並み保存地区内の建物の修理修景に対する補助（3件）	継続	伝建地区等修理修景補助	継続実施				文化財保護課
		倉敷市まちづくり基金事業 古くなった町家・古民家を、地域のまちづくり活動や賑わいの拠点等として再生整備する事業に対して、まちづくり基金を活用して支援を行った。 町家・古民家の再生整備に対する補助（5件）	継続	倉敷市まちづくり基金事業 倉敷美観地区及び児島・玉島の町並み保存地区の周辺並びにこれらの地区等、倉敷市内全域に存在する、地域の歴史と文化を継承する貴重な町並みを守るとともに、地域の魅力の向上や、賑わいの創出等のまちづくり活動を支援する。	継続		継続実施				まちづくり推進課
		旧街道沿いの町家のファースト整備補助実施（建築物修景1件）	継続	旧街道沿いの町家のファースト整備補助実施（建築物修景1件）	継続	旧街道沿いの町家のファースト整備補助実施	継続実施				都市計画課
		景観形成重点地区候補地において地区整備計画を策定する	継続	現在の4地区（倉敷駅周辺地区・下津井周辺地区・旧玉島港周辺地区・酒津地区）の候補地について、随時策定	継続	現在の4地区（倉敷駅周辺地区・下津井周辺地区・旧玉島港周辺地区・酒津地区）の候補地について、随時策定	継続実施				都市計画課
		倉敷市中心市街地の景観について維持・向上を図る	新規	倉敷中央通りや阿知鶴形地区などの景観を維持向上させるために、どのような方法が適しているのか調査検討を行った。	終了						

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H27からの区分	H28年度実績	H28からの区分	H29年度計画	H30年度計画	H31年度計画	H32年度計画	担当課	
No. 132 眺望を保全するための施策の強化・充実を図ります	●景観に大きな影響を及ぼす大規模建築物や開発行為等を対象に、事前の届出制度や協議制度について充実をはかります ●風景や町並みに大きな影響を及ぼすものについて、建築物の高さやデザイン、色彩、屋外広告物等について規制基準を定め、本市の景観形成の強化・充実化を図る	倉敷市景観条例に基づく届出制度の徹底を図る	継続	・届出制度リーフレットによる周知を実施 ・届出件数 建築物59件 (+事前協議45件) ・都市景観審議会定例会を6回と全体会議を1回開催し、大規模な建築物の新築45件について、審議会に諮問した。	継続	・事前協議を積極的に求め、出来るだけ早い段階で指導し、景観誘導の実効性を高める。 ・大規模な建築物の新築については、都市景観審議会を定期開催し、全て調査審議することにより、確実な景観誘導を図る。	継続実施			都市計画課	
		倉敷川畔美観地区周辺眺望保全計画の位置づけ	継続	美観地区周辺の眺望を保全するため、景観計画に眺望保全計画を位置づけ、特定届出対象行為として変更命令等が行える制度の充実を図る。 平成27年度より運用を開始した。(平成28年度対象建築物案件5件)	継続	美観地区周辺の眺望を保全するため、景観計画に眺望保全計画を位置づけ、特定届出対象行為として変更命令等が行える制度を運用する。	継続実施			都市計画課	
		より強化した景観基準を定め、地域特性に応じた景観形成を推進するための規制誘導を行う	継続	・景観形成重点区域における「景観形成基準」の策定案を検討中である。 ・建築物等の形態意匠、屋上工作物等に関する基準、建築物等の最高高さ制限に関する基準について検討中である。	継続	景観形成重点区域における「景観形成基準」の策定	継続実施				都市計画課
		広告物の景観形成の配慮指針を定める	継続	配慮指針を検討中である。	継続	調査・計画整備等	継続実施				都市計画課
		倉敷市屋外広告物条例により、周辺の景観を阻害しないよう、かつ、町並みの魅力を高めるよう取り組む	継続	・屋外広告物の手引きやパンフレットを作成し、周知を実施 ・違反広告物の実態調査を実施し、屋外広告物の是正効果の検証を行った。 ・簡易除去作業 (はり紙860件、立看板14件)	継続	・屋外広告物の手引きやパンフレットによる周知 ・違反広告物の実態調査の実施 ・簡易除去作業の実施	継続実施				都市計画課
		広告物の大きさ、量、設置箇所等の基準や禁止地域等ゾーニングの見直しを検討する	継続	広告物の大きさ、量、設置箇所等の基準やゾーニング等の見直しを検討中である。	継続	基準やゾーニング等の見直しを検討	継続実施				都市計画課

●基本目標1 環境と地域の社会・経済との調和が保たれ、豊かな自然と魅力的な景観を有しているまち

◆分野別目標4:環境と経済の好循環の創出により、地域の活性化を目指します

【基本方針】:技術的イノベーションや低炭素型への構造転換などの事業者の取り組みと、その後押しを担う行政の施策を効果的に組み合わせることで、環境保全と産業・経済の持続的な発展を目指し、雇用の維持創出・地域経済の活性化を図っていきます。環境保全を企業の社会的責任と位置付け、環境関連技術の開発・向上や環境投資による環境配慮型経営を促進します。地域と産業とが連携・協力することにより、環境と地域の社会・経済との調和が保たれた持続可能な社会の実現を目指します。

◆目標とする指標

番号	項目	基準値	実績値	実績値	基準値からの傾向	めざそう値	
		H21	H27	H28		H27年度	H32年度
1	エコアクション21認証・登録事業所の数	19件	18件	27件		35件	50件
2	地産地消を心がけている人の割合	32.1%	35.0%	25.9%		41%	50%
3	企業の新增設における事前協議に係る環境に配慮した計画の割合	100%	100%	100%		維持(100%)	維持(100%)

倉敷みらい創生戦略にあわせ、31年度の目標となっています。

主要な施策に基づく主な事業 年度別計画

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H27からの区分	H28年度実績	H28からの区分	H29年度計画	H30年度計画	H31年度計画	H32年度計画	担当課
No. 141 事業者の環境対策や環境関連ものづくりの促進	●事業者のエコアクション21への積極的な取組の促進を行う ●倉敷市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の<クール暮らし80>プロジェクトを推進する ●事業者の環境に関する地域貢献活動の促進を図る ●グリーン購入や地産地消の普及啓発を推進する	「エコアクション21地域事務局」との連携による、取り組みの推進	継続	<ul style="list-style-type: none"> 岡山県内のエコアクション21地域事務局機能を併合し、エコアクション21地域事務局 岡山県環境保全事業団が発足したことを受け、運営委員として、運営委員会に参加 中小企業向けの省エネセミナー等で制度説明実施 市内のエコアクション21認証・登録事業者に対する更新補助制度開始 	継続	<ul style="list-style-type: none"> エコアクション21地域事務局 岡山県環境保全事業団の運営委員会に参加 中小企業向けの省エネセミナー等で制度説明実施 市内のエコアクション21認証登録事業者に対する更新補助制度開始 認証登録を希望する事業者を支援するため、認証取得研修会を実施 	継続実施			環境政策課
		倉敷市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の<クール暮らし80>プロジェクトを計画的に推進する	継続	<ul style="list-style-type: none"> 「プロジェクト2:中小事業者の環境経営支援」の計画的な推進 中小事業者向け、暮らしき省エネセミナーを開催(参加者数55人) 倉敷市環境保全協定等を活用した省エネ、省CO2対策など 	継続	<ul style="list-style-type: none"> 「プロジェクト2:中小事業者の環境経営支援」の計画的な推進 中小事業者向け、暮らしき省エネセミナーを開催 倉敷市環境保全協定等を活用した省エネ、省CO2対策など 	継続実施			環境政策課 関係各課
		企業の地域貢献活動への促進を図る	継続	<ul style="list-style-type: none"> イオンとの地域貢献包括連携協定締結(H23.7.19)の取組実施 大規模小売店舗届出店舗に対して、環境配慮による地域貢献を促進 アダプト・プログラム(アダプト・サインやボランティア保険への加入、ほうきやごみ袋等を支給:活動企業 三菱自動車ロジテクノ(株)、伊澤洋行(株)、パナソニック岡山倉敷支店など) 環境学習センターエコギャラリーにおいて、水島地域、企業の取組をパネル展示等により紹介 環境関連のイベントで企業出展ブースを設けることで企業の環境保全活動への促進を図った。 中央図書館2階のビジネスサポートコーナーに、企業のCSR報告書を置き、閲覧・貸出用に提供 緑のカーテン推進のため、企業にゴーヤ、アサガオの種を配布 公共施設等の屋根及び土地貸しによる太陽光発電システム設置 ○粒江小学校児童クラブ(落成) 計6施設 発電能力合計202.4kW 	継続	<ul style="list-style-type: none"> イオンとの地域貢献包括連携 大規模小売店舗届出店舗に対して、環境配慮への地域貢献を促進 アダプト・プログラム 企業と連携した環境学習講座の開催 環境関連イベントで企業ブースの設置 中央図書館2階のビジネスサポートコーナーに、企業のCSR報告書を置き、閲覧・貸出用に提供 企業にゴーヤ、アサガオの種を配布 計6施設 発電能力合計202.4kW 	継続実施			観光課 商工課 市民活動推進課 環境政策課 中央図書館 環境政策課 子育て支援課(児童クラブ)

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H27からの区分	H28年度実績	H28からの区分	H29年度計画	H30年度計画	H31年度計画	H32年度計画	担当課
		グリーン購入に関する情報の提供	継続	HP等によりグリーン購入に関する情報提供	継続	グリーン購入に関する情報提供	継続実施			関係各課
		地産地消を推進する	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・くらしき農業まつり (採れたて新鮮野菜の即売や共進会開催など、参加者数約8,000人) ・真備・船穂地産地消&ふれあい祭り(マスカット、ピオーネの販売など、参加者約1,500人) ・地産地消イベント・共進会による農産品のPRを行った。 ・HP(地産地消ニュース)やメルマガによる地産地消イベント等のPR 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・くらしき農業まつり ・真備・船穂地産地消&ふれあい祭り ・いちご共進会 ・地元産品のPR ・HP・メルマガによるPR 	継続実施			農林水産課
		環境保全協定に基づき、施設の新増設を行う際には、事前に協議を行い、施設の改善、揮発性化合物の削減対策について指導する	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・HPによる地場産物レシピの紹介 ・作成資料「知っていますか?倉敷の味」を活用し、特産品・郷土料理の啓発を行なった。 ・こどものための食育フェア (マスカット種飛ばし大会や倉敷の農産物を使った料理の試食、黒崎漁港で水揚げされた魚を触っての命の体験やあなごをさばいての試食による地産地消などの食育体験ブースを開設参加者750人) (第二次倉敷市食育推進計画の推進) 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・HPによる地場産物レシピの紹介 ・市内のJA直売所において、地場産物のレシピを設置する。 ・こどものための食育フェアにおいて、マスカット種飛ばし大会や倉敷の農産物を使った料理の試食、瀬戸内産の魚を触っての命の体験などを行い、地産地消の啓発を図る。(第二次倉敷市食育推進計画の推進) 				健康づくり課
No. 142 環境分野の研究・開発、事業展開の促進	<ul style="list-style-type: none"> ●環境分野における産官学の情報交換や有用技術の共有を促進する ●新たな省エネルギー・再生可能エネルギーやリサイクル等の環境関連技術や、環境配慮型製品の研究・開発、環境保全・改善のための設備投資を支援する ●新たな環境産業の積極的な誘致に取り組むとともに、低炭素型・環境調和型への転換・移行が行いやすい環境を整備する 	やる気のある中小企業に対し、研究開発・販路開拓・産業財産権所得・人材育成などに対して助成を行う	継続	補助金交付(交付実績 研究開発4件、産業財産権取得7件、人材育成23件、販路開拓42件、IT活用販売促進30件、起業家支援40件、計146件)	継続	補助金交付	継続実施			商工課
		商店街団体等が実施する各種事業に対して助成を行う	継続	環境対策事業に関する助成(助成実績0件)	継続	補助金交付	継続実施			商工課
		立地企業に対する助成及び設備投資に対して助成を行う	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・企業立地促進奨励金(交付実績3件)(うち、企業誘致促進奨励金対象1件を含む) ・設備投資促進奨励金(交付実績33件)(環境配慮企業に対する優遇措置あり) 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・企業立地促進奨励金 ・設備投資促進奨励金(環境配慮企業に対する優遇措置あり) 	継続実施			商工課
No. 143 地域資源を活用した持続的な経済活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> ●すべての地域資源を有効に活用し、エネルギーも含めた地産地消の推進を行う ●本市の「個性と魅力」の積極的な情報発信により、エコツーリズム・エコツアーの促進を図る 	地元産品、特産品の消費推進を行う	継続	<ul style="list-style-type: none"> 【再掲No.141】 ・くらしき農業まつり (採れたて新鮮野菜の即売や共進会開催など、参加者数約8,000人) ・真備・船穂地産地消&ふれあい祭り(マスカット、ピオーネの販売など、参加者約1,500人) ・地産地消イベント・共進会による農産品のPRを行った。 ・HP(地産地消ニュース)やメルマガによる地産地消イベント等のPR 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・くらしき農業まつり ・真備・船穂地産地消&ふれあい祭り ・いちご共進会 ・地元産品のPR ・HP・メルマガによるPR 	継続実施			農林水産課
		本市の「個性と魅力」を情報発信し、地場産業等を観光資源として活かすツアーを実施する	継続	産業観光バスツアー(旭化成倉敷製造所などをバスで見学するツアーを、計8回実施。参加者延べ292名)	継続	倉敷のものづくりを体感できる機会を増やすため、産業観光バスツアー(JFEスチール水島製鉄所などをバスで見学するコースを設定予定)を実施する。	継続実施			観光課
			継続	「くらしき「個性と魅力」発信事業」において、くらしき地域資源(特産品・EV等)をPR	継続	「くらしき「個性と魅力」発信事業」において、くらしき地域資源(特産品・EV等)をPR	継続実施			商工課
	継続	【再掲No.112】高梁川流域圏域において、生物多様性エコツアーを推進するため、エコツアーの開催に関心のある個人・団体に対し、実践的な講習会を実施した。	継続	生物多様性エコツアーを推進するため、エコツアー実践講座等を実施する。	推進			環境政策課		

●基本目標2 水と空気と大地がきれいで、安心して暮らせるまち

◆分野別目標1: 良好な水環境の保全に努めます

【基本方針】: 私たちが健康で安心して生活できるよう、河川や海域などの公共用水域や地下水の水質について、水質汚濁に係る環境基準の達成を目指し、良好な水環境の整備に取り組みます。土地利用において、健全な土壌環境を維持するため、土壌汚染対策法や岡山県環境への負荷の低減に関する条例等の適正な運用を図ります。

◆目標とする指標

番号	項目	基準値	実績値	実績値	基準値からの傾向	めざそう値	
		H21	H27	H28		H27年度	H32年度
1	日頃から水環境の改善を意識して行動している人の割合	23.9%	23.2%	21.4%		50%	75%
2	身近な河川・用水路がきれいで流れ豊かな水辺になっていると感じている人の割合	31.2%	37.2%	34.6%		45%	60%
3	汚水処理人口普及率	85.5%	91.0%	91.5%		90%	93%

主要な施策に基づく主な事業 年度別計画

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H27からの区分	H28年度実績	H28からの区分	H29年度計画	H30年度計画	H31年度計画	H32年度計画	担当課		
No. 211 生活排水処理対策の総合的な推進	●計画に基づく公共下水道の整備とあわせて、農業集落排水処理施設や浄化槽の効率的な整備を行う ●各種イベントや環境学習、リーフレットの配布など、生活排水対策の啓発活動を行う	倉敷市下水道事業経営戦略ビジョンに基づき、計画的に下水道整備を推進します	継続	管きよ: 約23.8km整備	継続	管きよ: 約20.2km整備	計画的整備			下水計画課		
		既存の管きよ、処理場、ポンプ場について、予防保全型への転換と維持管理費・工事費の最適化や長寿命化支援事業の活用によりコスト削減を図る	継続	計画的維持管理 ・管きよ、マンホール等の維持管理(管きよ清掃及びマンホール、取付管等の修繕、管路内面補修等を実施: 維持補修件数142件) ・水島ほか3下水処理場、16ポンプ場の維持管理等(主なもの: 阿津ポンプ場雨水ポンプ機械設備工事) ・倉敷雨水貯留センター、流域関連7ポンプ場の維持管理等	継続	計画的維持管理 ・管きよ、マンホール等の維持管理 ・水島ほか3下水処理場、16ポンプ場の維持管理等 ・倉敷雨水貯留センター、流域関連7ポンプ場の維持管理等	計画的維持管理				下水建設課 下水計画課	
		倉敷市下水道全体計画(H29~)の区域設定に基づき、浄化槽の設置促進を行う	継続	・浄化槽設置に対する助成措置を実施(306基) ・民間住宅団地の汚水処理施設の改善経費への助成措置を実施(1件) ・雨水流出抑制施設の新設又は改造に要する経費の助成を実施(32件) ・既存家屋の下水接続のための助成措置を実施(水洗便所改造補助金等777件、利子補給130件)	継続	・浄化槽設置に対する助成措置(590基) ・民間住宅団地の汚水処理施設の改善経費への助成措置 ・雨水流出抑制施設の新設又は改造に要する経費の助成 ・既存家屋の下水道接続のための助成措置	継続実施				下水計画課 下水普及課	
		下水道の日(9月10日)及び市の催事に併せ、市民に下水道普及及び意識の高揚と啓発活動を行う	継続	・下水道展開催(環境フェスティバルで、「紙のとけ方実験」「下水道クイズ」「下水道汚泥コンポスト配布」「下水道アンケート」等を実施) ・ポスター、標語募集及び表彰(ポスター応募数109点、標語41点) ・小学4年生を対象とした下水道出前授業の実施(出前授業実施校13校 受講生徒1,212人) ・水洗化普及指導員による戸別訪問での下水道接続指導の実施(訪問数5,728件)	継続	・下水道展開催 ・ポスター、標語募集及び表彰 ・小学4年生を対象とした下水道出前授業の実施 ・水洗化普及指導員による戸別訪問でのPR活動の実施	継続実施					下水計画課 下水普及課
		第2期倉敷市生活排水対策推進計画に基づき、生活排水対策に関する啓発を行う	継続	・生活排水対策に関するリーフレットやクリーンネットの配布 ・本庁1階のふれあい水槽の適正管理 ・小中学校で出前講座実施(2件)	継続	・生活排水対策に関するリーフレットやクリーンネットの配布 ・本庁1階のふれあい水槽の適正管理 ・小中学校で出前講座実施 ・地域団体への出前講座実施	継続実施					環境政策課
		児島湖流域環境保全推進協議会の事業計画に基づき、生活排水対策に関する啓発を行う	継続	・児島湖流域清掃大作戦の実施(11月6日実施、23団体、3,006人参加、可燃ごみ620kg、不燃ごみ70kg) ・啓発ポスターの展示(応募数159点) ・水質保全基金の手続き(助成団体数5団体)	継続	・児島湖流域清掃大作戦の実施 ・啓発ポスターの展示 ・水質保全基金の手続き	継続実施					環境政策課

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H27からの区分	H28年度実績	H28からの区分	H29年度計画	H30年度計画	H31年度計画	H32年度計画	担当課		
No. 212 排水規制による公共用水域などの水質汚濁防止	<ul style="list-style-type: none"> ●河川、海域及び地下水の水質監視を行う ●工場・事業場に対して、水質汚濁防止法や瀬戸内海環境保全特別措置法等に基づき、立入検査を行うなど、排水規制基準の遵守を指導する ●排水規制基準が適用されない小規模工場・事業場に対して、排水処理の適正化などによる汚濁負荷の削減について、指導を行う ●土壌汚染対策法などに基づき、汚染土壌の拡散防止及び汚染状況の把握等により健全な土壌環境の維持を図る 	倉敷市公共用水域等水質測定計画に基づき、水質の測定・監視を実施する	継続	河川18地点、海域21地点、地下水46地点について、水質の測定・監視を実施した。	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・河川 18地点の水質測定・監視を実施 ・海域 21地点の水質測定・監視を実施 ・地下水 23地点の水質測定・監視を実施 	継続実施			環境政策課		
		市民からの苦情及び魚斃死及び油流出等の水質事故に係る調査を随時実施する	継続	ため池等での魚の斃死、水路等への油類の流出や高汚濁排水の流出について調査を実施し、事業所に対して再発防止を指導した。	継続	ため池等での魚の斃死、水路等への油類の流出や高汚濁排水の流出について、調査を実施	継続実施				環境政策課	
		最終処分場（埋立処分場）の放流水、河川等の周辺環境の水質検査を行う	継続	最終処分場（東部最終処分場、西部最終処分場、井津井最終処分場、真菰谷最終処分場等）の放流水や井戸水について水質検査を毎月実施した。	継続	最終処分場（東部最終処分場、西部最終処分場、井津井最終処分場、真菰谷最終処分場等）の放流水や井戸水について水質検査を毎月実施	継続実施				環境施設室	
			継続	産業廃棄物最終処分場等下流の河川、池及び地下水について、年2回8地点で水質調査を実施し、周辺環境の保全を図った。	継続	産業廃棄物最終処分場等下流の河川、池及び地下水について、年2回8地点で水質調査を実施し、必要な場合は発生源に対して指導を行う。	継続実施				産業廃棄物対策課	
		工場等の発生源監視を行うとともに、排水の規制・指導を実施する	継続	134事業場（391検体）に対して立入調査を実施し、排水の水質調査を実施し、違反事業場に対して、水質改善の指導等を実施した。	継続	135事業場（395検体）立入実施	継続実施				環境政策課	
			継続	環境情報管理統合システムの運用により、効果的な事業者指導を実施した。また、法律改正の対応として一部改修を行った。	継続	環境情報管理統合システムの運用	継続実施					環境政策課
		特定事業場から公共下水道への排水及び浄化槽の水質検査を実施する	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道への排水水質検査（64事業場） ・浄化槽（不適正浄化槽等）の水質検査実施（0件） 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道への排水水質検査（50事業場予定） ・浄化槽（不適正浄化槽等）の水質検査実施 	継続実施				下水普及課 下水計画課	
		小規模工場・事業場などに対しても、市民からの苦情・申立てがあった場合は、調査・水質検査・改善指導等を行う	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模事業場に対して、調査・改善指導等を実施 ・児島地区環境保全協議会（児島地区の染色工場）と児島地区の河川の現況や排水処理等について意見交換を実施した。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模事業場に対して、調査・改善指導等を実施 ・児島地区環境保全協議会（児島地区の染色工場）と意見交換実施 	継続実施					環境政策課
		土壌汚染状況を調査し、潜在化する土壌汚染地域を早期発見することで、健康被害の防止に努める	継続	大規模開発前の土壌調査等の指導を実施（土壌汚染対策法第4条に基づく一定規模以上の土地の形質の変更届出書の受理（41件））	継続	大規模開発前の土壌調査等の指導	継続実施					環境政策課

●基本目標2 水と空気と大地がきれいで、安心して暮らせるまち

◆分野別目標2:クリーンな大気環境の保全に努めます

【基本方針】:私たちの健やかな暮らしに影響を及ぼすことがないように、大気汚染に係る環境基準が未達成な地域はその速やかな達成を、既に達成している地域は良好な水準を目指すとともに、健康被害防止の観点から、引き続き大気汚染防止に取り組む。

◆目標とする指標

番号	項目	基準値	実績値	実績値	基準値からの傾向	めざそう値	
		H21	H27	H28		H27年度	H32年度
1	身近な空気がきれいに保たれていると感じる人の割合	40.9%	51.7%	52.1%		55%	70%
2	大気環境の基準値（1日平均値）を超過している日数	22日	2日	0日		15日	10日
3	通勤通学や日常の移動手段として、自転車・徒歩・公共交通機関を利用している人の割合	50.3%	47.3%	45.3%		63%	75%

主要な施策に基づく主な事業 年度別計画

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H27からの区分	H28年度実績	H28からの区分	H29年度計画	H30年度計画	H31年度計画	H32年度計画	担当課
No. 221 大気汚染物質発生源に対する規制・指導	●工場・事業場に立入検査を実施し、排出基準や総量規制基準の遵守の徹底を促す ●使用する燃料・原料改善、排出ガス等を処理する施設の改善、揮発性有機化合物の削減対策についての指導を徹底する ●自動車公害対策として、市民や事業者に対して、マイカー利用の抑制、アイドリングストップ、エコドライブなどの啓発に努める ●市も率先して自動車使用の自粛を進めるとともに、次世代型エコカーの普及促進に努める	工場や事業場に立入調査を実施し、施設の届出状況や自主測定結果の確認、施設の排ガス中のばい煙測定などを実施する	継続	施設の届出状況や自主測定結果の確認、立入調査等を実施した。（立入調査64件、排出ガス測定15施設等）	継続	工場・事業場の立入調査等実施	継続実施			環境政策課
			継続	【再掲No. 212】環境情報管理統合システムの運用実施	継続	環境情報管理統合システムの運用	継続実施			環境政策課
		環境保全協定に基づき、施設の新増設を行う際には、事前に協議を行い、施設の改善、揮発性有機化合物の削減対策について指導する	継続	【再掲No. 141】施設の新増設等を行う際、事前に協議を実施し、環境保全対策の徹底を図るよう指導した。（協議件数84件）	継続	随時、事前協議を実施する。	継続実施			環境政策課
		市民や事業者に対して、マイカー利用の抑制のための啓発を行う	継続	庁内でノーマイカーデーを年1回実施（5月取組率：83.7%）	継続	ノーマイカーデーの実施（庁内で年1回実施）	継続実施			環境政策課
			継続	・スマート通勤岡山への参加（10月） ・市職員チャレンジ・エコ通勤実施 参加者9名 ・バス利用の意識啓発（バスの乗り方やマナー、運賃の支払い方法等について、小学生にバス教室を実施 小学校8校、743人参加）	継続	・スマート通勤岡山への参加 ・市職員チャレンジ・エコ通勤の正式実施 ・小学生を対象としたバス教室を実施	継続実施			交通政策課
		アイドリングストップ・エコドライブなどの啓発を行う	継続	・アイドリングストップ啓発活動を実施した。 ・大規模小売店舗立地届出時に啓発看板を掲げる指導を実施した。	継続	アイドリングストップ啓発活動	継続実施			環境政策課
		美観地区周辺の渋滞対策	継続	観光客対策として、倉敷市役所の駐車場を解放し、市役所と美観地区を往復するシャトルバスを運行した。	継続	観光客対策として、倉敷市役所の駐車場を解放し、市役所と美観地区を往復するシャトルバスを運行する。	継続実施	年度毎に実施を検討		
次世代エコカーの普及促進	継続	電気自動車等（94台）への補助を実施した。	継続	電気自動車等や充電設備への補助	継続実施				環境政策課	

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H27からの区分	H28年度実績	H28からの区分	H29年度計画	H30年度計画	H31年度計画	H32年度計画	担当課	
No. 222 大気汚染状況の常時監視による、市民の健康被害発生防止	<ul style="list-style-type: none"> ●大気測定局による大気環境の測定・監視を実施するとともに、測定結果をインターネット等により情報提供を行う ●大気汚染状況の変化に対応するため、測定局の適正配置の見直しを行う ●夏期を中心に大気汚染防止対策期間として、光化学オキシダント汚染の防止に重点を置いた総合的な対策を実施する ●有害大気汚染物質については、引き続き汚染状況を把握するための調査を実施し、基準を超過する場合は、工場・事業場への状況確認を実施し、該当施設改善、排出削減について指導を行う 	市内に配置された測定局と移動測定車により、大気汚染物質の常時監視を実施する	継続	市内24カ所の大気測定局と大気環境測定車により常時監視を実施した。	継続	市内24カ所の大気測定局と大気環境測定車による常時監視を実施する。	継続実施			環境政策課	
		発生源の特定に向けた降下ばいじんの分析調査を行う	継続	事業場及び測定局において、降下ばいじんの分析調査を実施した。	継続	事業場及び測定局において、降下ばいじんの分析調査を行う。	実施検討				環境政策課
		発生源である工場や事業場への立入や、排出状況を確認するための調査や規制及び指導を実施する	継続	【再掲No. 221】施設の届出状況や自主測定結果の確認、立入調査等を実施した。（立入調査64件、排出ガス測定15施設等）	継続	工場・事業場の立入調査等実施	継続実施				環境政策課
		微小粒子状物質（PM2.5）の大気中濃度の常時監視を実施する	継続	・10測定局で常時監視を実施した。 ・PM2.5の1時間値と日平均値の状況等を速報値として環境監視センターHPで公開した。	継続	・10測定局で常時監視実施 ・1時間値や日平均値等の公開 ・高濃度時のホームページ等での情報発信	継続実施				環境政策課
		測定局の見直しを行う（適正配置）	継続	年度末をもって二福測定局を廃止した。	継続	新設した福田測定局で測定を開始する。	継続実施				環境政策課
		県との協力のもと、オキシダントが高濃度になりやすい時期を「大気汚染防止夏期対策期間」とし、休日を含めた監視体制をとり、光化学オキシダント濃度の常時監視を強化する	継続	・夏期対策期間は休日を含めた監視体制をとり、光化学オキシダント濃度が上昇した場合に情報・注意報を発令し、FM放送やインターネット、メールマガジン配信、広報車等による周知を実施 また、水島地区の主要工場に窒素酸化物等の排出削減を要請した。	継続	夏期対策実施	継続実施				環境政策課
		有害大気汚染物質の排出状況を把握するための調査を実施する	継続	市内7カ所(美和・松江・塩生・春日・乙島・監視センター・呼松)で毎月調査実施した。	継続	全7カ所で毎月調査を実施	継続実施				環境政策課
大気汚染の影響による健康被害を予防し、市民の健康保持及び増進を図る	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・水泳教室（公害健康被害予防対策事業） 基礎体力の増進と健康の回復を図ることを目的とし、市内居住の気管支ぜん息児童・生徒を対象に全10回の水泳訓練教室を行った。（延参加者数：131名） ・健康相談事業（公害健康被害予防対策事業） 一般市民を対象に、医師・栄養士・保健師が呼吸器疾患（ぜん息等）に関する相談に応じる呼吸器の健康相談を行った。（全11回、延参加者数：13人） 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・水泳教室 基礎体力の増進と健康の回復を図ることを目的とし、市内居住の気管支ぜん息児童・生徒を対象に全10回の水泳訓練教室を行う。 ・健康相談事業 一般市民を対象に、医師・栄養士・保健師が呼吸器疾患（ぜん息等）に関する相談に応じる呼吸器の健康相談を行う。 	継続実施				医療給付課		

●基本目標2 水と空気と大地がきれいで、安心して暮らせるまち

◆分野別目標3:安心・安全な生活環境の実現に努めます

【基本方針】:安心・安全な生活環境を確保するために、騒音規制法、振動規制法や悪臭防止法等に基づき、継続して対策を行います。事業者等が適正に化学物質の管理・使用を行うように指導するとともに、PRTR制度に基づき、使用実態等の情報について管理・提供していきます。また、化学物質に対する不安解消のために、化学物質に関する正確な情報をわかりやすく説明・提供するよう努めていきます。さらに、環境衛生意識の向上を図るために、広報等による普及啓発や環境美化活動を支援し、ポイ捨てや不法投棄のないまちづくりを進めていきます。

◆目標とする指標

番号	項目	基準値	実績値	実績値	基準値からの傾向	めざそう値	
		H21	H27	H28		H27年度	H32年度
1	ごみが無くまちがきれいに清掃されていると感じている人の割合	38.4%	52.7%	51.1%		55%	70%
2	環境の基準が守られ、心身ともに健康に暮らしていると思っている人の割合	54.4%	65.8%	64.8%		67%	80%

主要な施策に基づく主な事業 年度別計画

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H27からの区分	H28年度実績	H28からの区分	H29年度計画	H30年度計画	H31年度計画	H32年度計画	担当課
No. 231 悪臭・騒音・振動の規制などによる、市民生活環境の改善及び保全	●居住区域における騒音測定、自動車や鉄道の騒音・振動の測定と合わせて、騒音や振動に関する関係法令に基づき、工場・事業場、建設作業等に対する監視・指導を実施する ●悪臭防止法に基づき規制・指導を行い、快適な生活環境の確保に努める ●日常生活から発生する生活騒音等に対しては、出前講座やリーフレットの配布など啓発活動を積極的にを行い、市民一人ひとりのマナーやモラルの向上を図る	騒音規制法、振動規制法に基づき、発生源への立入調査を実施する	継続	・苦情が寄せられた工場等に対して立入を実施し、発生原因を調査し、防音・防振対策について指導を実施 ・法に基づく届出が提出された際、届出者に防音・防振について指導を実施（騒音届出166件・振動届出111件）	継続	工場等の立入調査、指導を実施	継続実施			環境政策課
		騒音規制法、振動規制法に基づき、環境騒音、交通騒音、交通振動の実態把握を行う	継続	・環境騒音測定5地点、幹線自動車騒音1地点 ・道路に面する地域の面的・点的評価13区間 ・新幹線騒音及び振動3地点 ・瀬戸大橋騒音4地点	継続	・環境騒音測定5地点 ・道路に面する地域の面的・点的評価14区間 ・新幹線騒音・振動3地点 ・瀬戸大橋騒音4地点	継続実施			環境政策課
		悪臭防止法に基づき、発生源への規制や指導を実施する	継続	工場や事業場への立入調査	継続	・工場や事業場の立入調査 ・環境調査を実施	継続実施			環境政策課
		悪臭物質発生工場での調査測定を実施、また、市民からの悪臭苦情に対する調査測定を実施する	継続	工場・事業場での敷地境界・排水の特定悪臭物質測定を環境監視センターで実施（延べ16回）	継続	工場や事業場での調査を実施	継続実施			環境政策課
		出前講座やリーフレットの配布等、啓発活動を実施する	継続	・環境イベント等でリーフレットの配布を実施 ・大規模小売店舗立地届出時に早朝や夜間に係る騒音・振動への配慮を指導した。	継続	リーフレット等の配布	継続実施			環境政策課
		犬ねこ等適正飼育啓発員を養成する	継続	・養成研修1回実施 ・サポーター数97人（H28年度末現在）	継続	養成研修1回実施予定	未定			生活衛生課
No. 232 化学物質による汚染状況の把握、排出事業者規制による、生活環境の保全	●ダイオキシン類について、大気や水、土壌の環境調査を継続して行うとともに、発生源事業者に対して必要な規制・指導、監視等に努める ●PRTR制度の運用により、事業者による化学物質の適正な管理体制を構築・運用させるとともに、市民・事業者・行政が情報の共有と相互理解を深め、化学物質による環境汚染を低減する取り組みを推進する	ダイオキシン類対策特別措置法に基づき、発生源に対する監視や指導とあわせて、環境中等のダイオキシン類調査を実施する	継続	・排ガス中ダイオキシン類調査（4施設） ・排水中ダイオキシン発生源調査（2事業所） ・公共用水域ダイオキシン類調査（14地点） ・大気環境調査（2地点） ・土壌中ダイオキシン類調査（8地点） ・地下水ダイオキシン類調査（3地点）	継続	・排ガス中ダイオキシン類調査 ・排水中ダイオキシン発生源調査 ・公共用水域ダイオキシン類調査 ・大気環境調査 ・土壌中ダイオキシン類調査 ・地下水ダイオキシン類調査 ・環境基準値超過地下水の詳細調査	継続実施			環境政策課
		PRTR制度に基づいて事業所からの化学物質の排出量の届出の集計を行い、結果の公表を行う	継続	届出受理及び届出結果公表（届出件数169事業所）	継続	届出受理及び届出結果公表	継続実施			環境政策課
		新たに健康影響が懸念される化学物質について情報の収集や提供を行う	継続	・関係機関からの情報収集（県や環境省・経済産業省） ・収集した情報の提供（最新の化学物質ファクトシートやPRTR市民ガイドブックを閲覧・配布等）	継続	・関係機関からの情報収集 ・収集した情報の提供	継続実施			環境政策課

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H27からの区分	H28年度実績	H28からの区分	H29年度計画	H30年度計画	H31年度計画	H32年度計画	担当課	
No. 233 地域の環境美化の推進	<p>●全市一斉ごみゼロキャンペーンなど、市民や民間団体、事業者などによる自主的な美化・清掃活動を支援するとともに、散乱ごみ対策を進め、地域の環境美化を推進する</p> <p>●倉敷市ボランティア不法投棄監視員などによるパトロールの強化や、市民への啓発・指導を通じて、不法投棄やポイ捨てについての監視を強化し、不法投棄の防止と早期発見の体制強化を図る</p>	年2回地区清掃を実施するとともに、全市一斉ごみ0キャンペーンなどを実施する	継続	<p>地区住民の奉仕清掃作業により搬出された汚泥等の処理を業者に委託し（一部直営）、清掃を実施した。（実施件数719件、汚泥処理量910m³、草処理量312.7t）</p> <p>・本市と倉敷市環境衛生協議会との共催で、全市一斉ごみ0キャンペーンを実施した。（参加人数37,053人、空き缶68,298本、空き瓶12,399本、ペットボトル10,761本、燃やせるごみ4,374袋）</p> <p>・各地区環境衛生協議会が実施する一斉清掃の支援を行った。（実施地区 児島・玉島・船穂・真備）</p>	継続	<p>地区住民の奉仕清掃作業により搬出された汚泥等の処理を業者に委託し（一部直営）、清掃を実施する。</p> <p>・本市と倉敷市環境衛生協議会との共催で、全市一斉ごみ0キャンペーンを実施する。（参加予定人数40,000人）</p> <p>・各地区環境衛生協議会が実施する一斉清掃の支援を行う。（実施地区 児島・玉島・船穂・真備）</p>	継続実施			環境衛生課	
			継続	児島湖流域清掃大作戦の実施（11月6日実施、23団体、3,006人参加、可燃ごみ620kg、不燃ごみ70kg）	継続	児島湖流域清掃大作戦の実施				環境政策課	
			継続	沙美海水浴場の海開き前に、地元住民、学校、企業等と連携し、海岸清掃活動を実施（1,000人参加、ごみ収集量1.6t）	継続	リフレッシュ瀬戸内の実施				企画経営室	
			継続	高梁川流域クリーン一斉行動事業 高梁川流域圏域の市町で一斉に清掃活動を実施する。	継続	高梁川流域クリーン一斉行動事業 高梁川流域圏域の市町で一斉に清掃活動を実施				生涯学習課	
		継続	倉敷市環境衛生協議会事業運営への補助など、地域の主体的な取組を支援する	継続	<p>・倉敷市環境衛生改善地区が行う事業のうち、ごみステーション整備（105件）、水道設備の新設（4件）又は器具等の購入（100件）に必要な経費に対して補助金を交付した。</p> <p>・環境衛生思想の普及を図るため、倉敷市環境衛生協議会事業の運営補助を行った。</p> <p>・国体開催を機に盛り上がった地域の環境美化活動を支援するため、花壇等への花の苗の購入費や除草作業などの費用に対して補助を行った。（28支部）</p>	継続	<p>・倉敷市環境衛生改善地区が行う事業のうち、ごみステーション整備、水道設備の新設又は器具等の購入に必要な経費に対して補助金を交付する。</p> <p>・環境衛生思想の普及を図るため、倉敷市環境衛生協議会事業の運営補助を行う。</p> <p>・国体開催を機に盛り上がった地域の環境美化活動を支援するため、花壇等への花の苗の購入費や除草作業などの費用に対して補助を行う。</p>	継続実施			環境衛生課
		継続	広報やパンフレット等による普及啓発により環境美化意識の向上を図る	継続	<p>・飼い犬ふん害対策「イエローカード作戦」を実施し、必要な資材を提供した。約9割の団体で効果があった。</p> <p>・飼い犬のふん害でお困りの市民に、犬のふん放置禁止を啓発する看板を配布した。（看板512枚）</p> <p>・市内の動物病院やペットショップなど犬を取り扱う事業者（27事業所）に、犬のふん放置禁止を啓発するポケットティッシュやチラシを提供し、犬の飼い主への配布を依頼した。</p> <p>・倉敷市ポイ捨ての防止及び路上喫煙の制限に関する条例の内容を周知するため、ポケットティッシュの配布など啓発活動を行った。</p>	継続	<p>・飼い犬ふん害対策「イエローカード作戦」に必要な資材を提供する。</p> <p>・飼い犬のふん害でお困りの市民に、犬のふん放置禁止を啓発する看板を配布する。</p> <p>・市内の動物病院やペットショップなど犬を取り扱う事業者に、犬のふん放置禁止を啓発するポケットティッシュやチラシを提供し、犬の飼い主への配布を依頼する。</p> <p>・倉敷市ポイ捨ての防止及び路上喫煙の制限に関する条例の内容を周知するため、ポケットティッシュの配布など啓発活動を行う。</p>	継続実施			環境衛生課
継続	不法投棄の防止と早期発見の体制強化を図る	継続	<p>・不法投棄でお困りの市民を対象に、不法投棄禁止を啓発する看板を配布した。（看板169枚）</p> <p>・倉敷市ボランティア不法投棄監視員を48名選任した。（任期 平成27年11月から平成29年10月まで）</p> <p>・倉敷市シルバー人材センターに不法投棄多発箇所のパトロールを委託した。（委託箇所 連島町連島、粒江、真備町箭田、旧鷺羽山スカイライン、児島稗田町、木見）</p> <p>・移動式監視カメラを5台購入し、不法投棄多発箇所に設置した。</p> <p>・不法投棄の情報を早朝・夜間・休日でも受け付けられるよう、「不法投棄110番」を設置した。</p> <p>・不法投棄監視パトロール用車両を1台購入した。</p>	継続	<p>・倉敷市ボランティア不法投棄監視員による不法投棄監視活動を実施</p> <p>・倉敷市シルバー人材センターに不法投棄多発箇所のパトロールを委託する。</p> <p>・移動式監視カメラを購入し、不法投棄多発箇所に設置する。</p> <p>・不法投棄の情報を早朝・夜間・休日でも受け付けられるよう、「不法投棄110番」を設置する。</p> <p>・不法投棄監視パトロール用車両を購入する。</p>	継続実施			環境衛生課		

●基本目標3 リデュース、リユース、リサイクルが徹底され、循環型社会が形されたまち

◆分野別目標1:生産、消費段階を含めた「ごみ」そのものの排出抑制を推進します

【基本方針】:市民・事業者・行政がそれぞれ役割を理解し、廃棄物の減量化・資源化を推進するため、5R(Refuse,Reduce,Reuse,Recycle,Regenerate)の実践がなされている社会の形成を目指します。排出段階ではもちろんのこと、生産・消費段階においても、資源の浪費を抑え、ごみとなる可能性のあるもの全ての排出抑制を推進していきます。

◆目標とする指標

番号	項目	基準値	実績値	実績値	基準値からの傾向	めざそう値	
		H21	H27	H28		H27年度	H32年度
1	ごみの発生抑制に配慮した行動をしている人の割合	30.6%	30.5%	26.2%		40%	60%
2	家庭ごみの一人一日当たり排出量(資源ごみ除く)	553g	535g	519g		495g	473g
3	事業ごみの年間排出量	68,140t	70,998t	70,383t		59,871t	58,096t

主要な施策に基づく主な事業 年度別計画

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H27からの区分	H28年度実績	H28からの区分	H29年度計画	H30年度計画	H31年度計画	H32年度計画	担当課	
No.311 ごみとなる可能性のある全ての排出の抑制	●従来の5R(リデュース・リユース・リサイクル・リジェネレート)を推進し、特に2R(リデュース・リユース)に対して重点的に取り組む ●排出段階だけでなく、生産・消費段階を含めた「ごみ」そのものの発生・排出抑制を目指す。環境問題に対して「知っている」だけでなく市民の自主的な行動を促す施策に取り組む	災害廃棄物処理計画の策定	新規	南海トラフ巨大地震が発生した場合の災害廃棄物の処理を円滑に実施できる体制を構築するため、「倉敷市災害廃棄物処理計画」を策定した。	継続	市民への計画内容の周知や関係事業者団体等との災害支援協定締結などにより協力体制の構築を図る。	継続実施			一般廃棄物対策課	
		市民のリサイクル意識の向上、分別の徹底、ごみの減量・適正処理についての意識啓発を図る	継続	・リサイクルフェアの開催(10月2日にフリーマーケット・環境クイズ・リサイクル工作やマイ箸作り体験コーナー等のイベントを実施) ・暮らしとごみ展の開催(本庁舎・各支所で小中学生から募集したポスター・標語の展示や啓発用パネルの掲示を行った。応募作品738点) ・広報くらしき特別号を作成(12月号別冊)	継続	・リサイクルフェアの開催 ・暮らしとごみ展の開催 ・啓発冊子の作成・配付 (「家庭ごみの出し方」改訂)	継続実施			一般廃棄物対策課	
		生ごみ資源化事業の推進	継続	船穂地区で生ごみ収集・堆肥化事業を実施(379世帯152t)	継続	船穂地区で実施する生ごみ収集・堆肥化事業の推進	継続実施				一般廃棄物対策課
		家庭でのごみ減量の推進	継続	・各地区ごみステーションでの目標見える化事業(12ごみステーション667世帯) ・地区町内会等での出前講座推進 ・生ごみ水切りの推進(環境イベント、出前講座等などの啓発活動) ・マイバック・マイ箸運動の推進(県下統一ノーレジ袋デー(毎月10日)にスーパーの店頭で市民団体と協働で啓発イベントを実施、全12回) ・家庭ごみ減量冊子を小学4年生に配付し、夏休みに各家庭でごみ減量の取り組みを進めた。(45校参加 約4,200部配付)	継続	・ごみの減量目標と有効な減量方法などを記した看板をごみステーションに設置し、日常生活での目標見える化に取り組む。 ・地区町内会での出前講座推進 ・生ごみ水切りの推進 ・マイバック・マイ箸運動の推進 ・家庭ごみ減量冊子を小学4年生に配付し、夏休みに各家庭でごみ減量の取り組みを進める。	継続実施				一般廃棄物対策課
		倉敷市マイバック・マイ箸運動推進協力店認定制度の推進	継続	倉敷市マイバック・マイ箸運動推進協力店認定制度により、認定店舗に、認定証の交付、ポスター・のぼりなどの広報物品を貸与した。(マイバック協力店数:13事業者55店舗、マイ箸協力店数:5事業者9店舗)	継続	認定制度を推進し、協力店には各種啓発物品を貸与	継続実施			一般廃棄物対策課	

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H27からの区分	H28年度実績	H28からの区分	H29年度計画	H30年度計画	H31年度計画	H32年度計画	担当課
No. 312 市民・事業者の自主的な活動の促進	●市民・事業者が、基本理念や行動原則を自ら考え、ごみの排出抑制や再資源化に取り組むことを促進する	生ごみ処理容器（コンポスト・ボカシ容器・生ごみ処理機）を購入する世帯に助成を行う	継続	・堆肥化容器購入助成（補助基数169基） ・生ごみ処理機購入助成（補助基数96基）	継続	・堆肥化容器購入助成 ・生ごみ処理機購入助成	継続実施			一般廃棄物対策課
		家庭からの資源物について、集団回収を実施するごみ減量化協力団体へ報奨金を交付する	継続	子ども会や町内会などに報奨金を交付（実施団体数1,012団体・回収重量14,029t）	継続	子ども会や町内会などに報奨金を交付	継続実施			一般廃棄物対策課
		家庭からの生ごみを生ごみ堆肥センターで有機堆肥にし再利用する	継続	堆肥センターで、有機堆肥の生産（約162tの農業残さや家庭生ごみから約127tの有機堆肥を生産）	継続	有機堆肥の生産	継続実施			農林水産課
		漁業団体が収集したゴミの運搬処理を行う	継続	収集物運搬処理（処理量約27t）	継続	・収集物運搬処理	継続実施			農林水産課

●基本目標3 リデュース、リユース、リサイクルが徹底され、循環型社会が形成されたまち

◆分野別目標2: 廃棄物の減量化・資源化の推進及び適正処理に努めます

【基本方針】: 排出される廃棄物は、再生利用に努め、再生利用が不可能なものについては、焼却による熱回収を行ったうえで減容化や最終処分などの適正処理を実施し、廃棄物が環境に与える負荷を可能な限り抑えます。また、効率的に廃棄物を処理することで、ごみ処理経費の節減に努めます。不法投棄による環境破壊を防止するため、違法行為には厳正に対処するとともに、事業者等の意識の向上に努めます。

◆目標とする指標

番号	項目	基準値	実績値	実績値	基準値からの傾向	めざそう値	
		H21	H27	H28		H27年度	H32年度
1	最終処分率(最終処分量÷ごみ総排出量)	2.4%	2.0%	1.9%		維持 (2.4%)	維持 (2.4%)
2	リサイクル率(総合計画指標)	47.8%	51.6%	51.5%		52%	54%

倉敷みらい創生戦略にあわせ、31年度の目標となっています。

主要な施策に基づく主な事業 年度別計画

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H27からの区分	H28年度実績	H28からの区分	H29年度計画	H30年度計画	H31年度計画	H32年度計画	担当課	
No. 321 廃棄物の再生利用の促進	●市民向けに生ごみ減量や、マイバック・マイ箸運動の推進等を行うとともに、事業者向けに、大型生ごみ処理機の導入補助制度の推進や一般廃棄物減量資源化計画書の提出の指導等により排出抑制に努める ●分別徹底の推進、ごみステーションでの指導実施等の普及啓発を行う ●空き缶つぶし機の貸出の拡大、ペットボトル回収の充実や常設リサイクルステーション設置の検討等の回収体制の整備を行う	マイバック・マイ箸運動を推進する	継続	・マイはし作り体験（県市等が実施する環境イベントで実施） ・啓発用ティッシュの配布 ・【再掲311】倉敷市マイバック・マイ箸運動推進協力店認定制度により、認定店舗に、認定証の交付、ポスター・のぼりなどの広報物品を貸与した。（マイバック協力店数：13事業者55店舗、マイ箸協力店数：5事業者9店舗）	継続	・マイはし作り体験 ・啓発用ティッシュ ・倉敷市マイバック・マイ箸運動推進協力店認定制度により、認定店舗に、認定証の交付、ポスター・のぼりなどの広報物品を貸与する。	継続実施			一般廃棄物対策課	
		【再掲No.312】生ごみ処理容器（コンポスト・ボカシ容器・生ごみ処理機）を購入する世帯に助成を行う	継続	・堆肥化容器購入助成（補助基数169基） ・生ごみ処理機購入助成（補助基数96基）	継続	・堆肥化容器購入助成 ・生ごみ処理機購入助成	継続実施				一般廃棄物対策課
		循環型社会の形成を推進すると認められる先進的なリサイクル関係施設等の整備等について経費の一部を助成する	継続	先進的なリサイクル事業の施設整備事業経費の一部を補助を実施 H28年度実績：0件	継続	先進的なリサイクル事業の施設整備事業経費の一部を補助	継続実施				産業廃棄物対策課
		一般廃棄物減量資源化計画書の提出指導の実施	継続	・大規模事業主に対し、計画書の提出を求めた。（計画書133件） ・事業所に対して、個別訪問を実施し、分別指導を行った。（事業所数109件）	継続	・大規模事業主へ計画書提出を求める。 ・事業場に対する個別訪問実施	継続実施				一般廃棄物対策課
		廃食用油を回収し本市のリサイクルモデル事業である廃食用油のバイオディーゼル燃料化事業を行う	継続	廃食用油を回収し、バイオディーゼル燃料を精製し、公用車に使用 平成28年度は20,870L回収し、10,115L作成	継続	廃食用油を回収し、バイオディーゼル燃料を精製し、公用車に使用	継続実施				一般廃棄物対策課
		リサイクル推進センターを拠点として、木製家具・古着・古本等のリユース事業やリサイクルに関する各種講座の開催を行う	継続	クルクルセンターで、木製家具の修理再生及び販売、古本・古着の無償提供、リサイクルの研修・体験講座などを実施した。（来館者数24,056人、リサイクル体験者数1,081人、再生木材家具・衣類・書類引渡し数12,823点）	継続	クルクルセンターを拠点として活用	継続実施				一般廃棄物対策課
		「地域美化推進員制度」による、地域のごみの減量・資源化を推進する	継続	倉敷市地域美化推進員を180名選任した。（任期 平成29年4月1日から平成31年3月31日まで）	継続	倉敷市地域美化推進員制度の活用によるごみの減量化及び資源化の推進指導	継続実施				環境衛生課
		処理施設に搬入されたびんを、リターナブルびん、カレット等に選別し、再資源化する	継続	・びん搬入量 2,418 t ・生きびん排出量 94.87 t ・カレット排出量 2,336.74 t	継続	再資源化予定量 ・びん搬入量 2,510 t ・生きびん排出量 95 t ・カレット排出量 2,415 t	継続実施				環境施設室
		リサイクル協力店及びステーションからペットボトルを回収し、再商品化事業者に引き渡す	継続	・リサイクル協力店からの回収実施（103店舗、回収量337t） ・地区ステーション回収実施（回収量207t）	継続	・リサイクル協力店からの回収実施 ・地区ステーション回収実施	継続実施				一般廃棄物対策課
		回収体制の整備・充実	継続	・ステーション収集(倉敷、水島、児島、玉島、船穂、真備地区 合計約5,400箇所) ・各地区環境センター等でのごみ受入れ ・使用済み食用油を倉敷市環境衛生協議会が回収拠点を設け、月1回収を実施 ・電話等での事前申込による粗大ごみの個別収集実施	継続	・ステーション収集 ・各地区環境センター等でのごみ受入れ ・使用済み食用油を倉敷市環境衛生協議会が回収拠点を設け、月1回収を実施 ・電話等での事前申込による粗大ごみの個別収集実施	継続実施				一般廃棄物対策課
	継続	市内在住の要介護者や障がい者のみの世帯のうち、独力でごみ出し困難な世帯を対象に戸別収集（ふれあい収集）を実施した。（実施数：82世帯）	継続	市内在住の要介護者や障がい者のみの世帯のうち、独力でごみ出し困難な世帯を対象に戸別収集（ふれあい収集）を実施する。	継続実施					一般廃棄物対策課	

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H27からの区分	H28年度実績	H28からの区分	H29年度計画	H30年度計画	H31年度計画	H32年度計画	担当課		
		使用済み小型家電リサイクルを実施する	継続	粗大ごみとして回収されたものの中から、28分類全品目をピックアップ方式により回収した。(回収量474t)	継続	粗大ごみとして回収されたものの中からピックアップ方式により小型家電を回収する。	継続実施			一般廃棄物対策課		
		事業系びんを再資源化する業者へ助成を行う	継続	業者への助成実施(処理量452t)	継続	業者への助成実施(処理量836t予定)	継続実施			一般廃棄物対策課		
		家庭ごみの組成分析調査を実施する	継続	減量化・資源化を推進するための基礎資料とするため、家庭から排出されるごみの組成調査を実施	継続	隔年実施のため平成29年度は未実施	隔年実施			一般廃棄物対策課		
No. 322 廃棄物の適正処理による環境負荷の抑制	●医薬系廃棄物等の人体や環境に深刻な影響を及ぼす恐れのある廃棄物や、ブロックタイヤをはじめとする適正な処理が困難な廃棄物について、確実に専門処理業者による処理を行うよう、適正な処理方法についての周知徹底を図る ●不法投棄を監視するパトロールを強化するとともに、違法行為には厳正に対応する ●広報や事業者向けパンフレットで適正な処理について協力を呼びかけ、市民や事業者の意識の向上を図るとともに、産業廃棄物管理票(マニフェスト)システムの推進と合わせて不法投棄の防止に努める	・不法に投棄された廃家電を適正に処理する ・市の施設では処理が困難な廃棄物は、専門業者により適正に処理を行う	継続	・不法投棄家電の適正処理(270台) ・乾電池・古タイヤ・モーターバイク等を処理委託(処理量:乾電池約89t、モーターバイク約3t)	継続	・不法投棄家電の適正処理 ・乾電池・古タイヤ・モーターバイク等を処理委託	継続実施			一般廃棄物対策課		
		廃棄物処理法、自動車リサイクル法に基づき、事業者への許可、指導、立入調査を行う	継続	・一般廃棄物処理業許可件数123件(収集運搬業115件、処分業6件、処理施設設置2件) ・産業廃棄物処理業等許可件数391件(収集運搬業163件、処分業85件、処理施設143件) ・自動車リサイクル法(引取業110件、フロン類回収業52件の登録、解体業21件、破砕業12件の許可) ・産業廃棄物処理施設等への立入調査、焼却炉等の適正な維持管理について指導、運搬車輛検査を実施 ・多量に産業廃棄物を排出する事業者に対し、減量・再生利用等を盛り込んだ処理計画を作成し、実行するよう指導した。(指導事業者数:105事業所)	継続	廃棄物処理法、自動車リサイクル法に基づき、事業者への許可、指導、立入調査を実施	継続実施			一般廃棄物対策課 産業廃棄物対策課		
		焼却場、処分場などのごみ処理施設を適正に運営する	継続	一般廃棄物処理施設(焼却処理場・資源循環型廃棄物処理施設、粗大ごみ処理施設、最終処分場等)の適正な運営(維持管理)を行った。(一般廃棄物処理施設の維持管理情報(処分量、排ガス測定結果、処理水測定結果等)は、毎月HPで公表)	継続	一般廃棄物処理施設(焼却処理場・資源循環型廃棄物処理施設、粗大ごみ処理施設、最終処分場等)の適正な運営	継続実施				環境施設室	
			継続	水島清掃工場基幹的設備改良工事については平成28年度をもって工事完了。これにより、水島清掃工場の長寿命化及び地球温暖化対策に資する改良を行うことができた。	終了		事業終了				環境施設室	
			継続	水島清掃工場の第2期長期包括管理委託が適正に行われているか監視を行い、安全で安定したごみの処理を実施した。	継続	第2期長期包括管理委託が適正に行われているか監視を行い、安全で安定したごみの処理を実施する。	継続実施				環境施設室	
			新規	白楽町ごみ処理場等解体・施設整備事業について、事業者選定を実施した。	継続	白楽町ごみ焼却処理場及び下水処理施設の一部を、安全かつ安心に解体撤去を行い、ストックヤード等の集約整備を行う。	継続実施				環境施設室	
			新規	新ごみ処理施設整備事業について、新ごみ焼却処理施設及び新粗大ごみ処理施設に関する基本計画を策定した。 敷地造成、建築構造物等の設計を行う際に必要となる情報を得るため、事業対象用地の測量等を実施した。	継続	新玉島環境センターを含めた基本計画等の策定及び環境影響評価を実施する。 地質調査業務を実施する。	継続実施				環境施設室	
						新規	汚泥再生処理センター整備事業について、施設基本計画及び生活環境影響調査を実施する。	継続実施				環境施設室
			警察OBを監視指導員として採用し、不法投棄の防止や事業者の指導等を行う	継続	警察OB4名を監視指導員として採用し、産業廃棄物の不適正処理や不法投棄等に対する監視・指導を実施(立入、指導件数年2,212件)	継続	警察OBを監視指導員として採用し、産業廃棄物の不適正処理や不法投棄等に対する監視・指導を実施	継続実施				産業廃棄物対策課
			航空機による上空監視、休日夜間のパトロール、不法投棄防止用監視カメラの活用等により、不法投棄を防止する	継続	・民間警備会社に委託し、平日夜間及び休日のパトロールを実施(年160回) ・ヘリコプターによる上空監視(年4回)及びセスナ機による啓発広報(年1回)を実施 ・不法投棄防止用カメラによる監視活動を実施	継続	・民間警備会社に委託し、平日夜間及び休日のパトロールを実施 ・ヘリコプターによる上空監視及びセスナ機による啓発広報 ・不法投棄防止用カメラによる監視活動を実施	継続実施				産業廃棄物対策課
	マニフェストシステムの徹底、啓発活動の推進等により、不法投棄等の不適正処理などを未然に防止する	継続	・民間主催の講習会に講師として出席し、産業廃棄物の排出事業者や処理業者等に対して啓発した。 ・HP、チラシ等を活用して産業廃棄物に関する情報を提供した。	継続	・産業廃棄物の排出事業者や処理業者等に対する啓発実施 ・HP、チラシ等を活用した産業廃棄物に関する情報提供 ・電子マニフェストの推進	継続実施				産業廃棄物対策課		

●基本目標4 地球温暖化対策の取組により、低炭素社会が形成されたまち

◆分野別目標1: 温室効果ガス削減の取組を推進します

【基本方針】: 低炭素社会の実現に向けては、すべての主体が地球温暖化問題に対する意識を高め、実際に行動することが、大きな推進力になります。限りある資源とエネルギーを大切に、自然環境との調和を図る、環境にやさしいライフスタイルの普及が必要不可欠です。

低炭素社会の形成を目指し、すべての市民・事業者・行政が自ら率先して省エネルギーの徹底や温室効果ガス排出の少ないエネルギーへのシフトを心がけ、市全体の温室効果ガス排出量を削減するよう努めます。

◆目標とする指標

番号	項目	基準値	実績値	実績値	基準値からの傾向	めざそう値	
		H21	H27	H28		H27年度	H32年度
1	家庭で温暖化対策「グリーンくらしきエコアクション」に取り組んでいる人の割合	24.6%	19.1%	18.5%		39%	53%
2	温暖化対策「グリーンくらしきエコアクション」に取り組んでいる企業の割合（隔年調査）	5.5%	—	—	—	50%	80%
3	市全域から排出される温室効果ガス（CO2）の削減割合（2007年度比）	【平成19年度】 39,573千t	【平成24年度】 16.0%削減	【平成25年度】 12.5%削減		【平成24年度】 6%削減	12%削減

倉敷みらい創生戦略にあわせ、31年度の目標となっています。

主要な施策に基づく主な事業 年度別計画

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H27からの区分	H28年度実績	H28からの区分	H29年度計画	H30年度計画	H31年度計画	H32年度計画	担当課
No. 411 ライフスタイルの見直しによる温室効果ガスの排出抑制	●「グリーンくらしきエコアクション」の普及による、暮らしの中の省エネルギーへの取り組みを推進する ●公共交通機関や徒歩・自転車によるエコ移動等の推進を通じて、無駄のないエネルギー消費を心がけることにより、家庭からの温室効果ガスの排出抑制を推進する	平成22年度に策定した「倉敷市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を、市民・事業者に対して周知・徹底を図る	継続	・区域施策編「クールくらしきアクションプラン」の概要版を市民や事業者配布した。 ・【再掲No.141】中小事業者向け、くらしき省エネセミナーを開催し、クールくらしきアクションプランの周知を図った。（参加者数55人）	継続	・区域施策編「クールくらしきアクションプラン」の概要版の配布 ・中小事業者向け、くらしき省エネセミナーを開催	継続実施	→	→	環境政策課
		市民、事業者、行政等の協働により「倉敷市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の進行管理を実施する	継続	「倉敷市地球温暖化対策協議会」を設置し、計画の進捗状況等について協議した。（1回実施）	継続	「倉敷市地球温暖化対策審議会」による進行管理 倉敷市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の改定	継続実施	→	→	環境政策課
		「グリーンくらしきエコアクション」（G-K E A）の普及定着による、低炭素型ライフスタイルへの転換を図る	継続	G-K E A改訂版を各種環境イベントで広く配布し、普及啓発を実施した。また、市広報紙における環境月間特集として、G-K E Aの内容を周知した。	継続	G-K E A改訂版を活用した普及啓発	継続実施	→	→	環境政策課
		「くらしきグリーンメイト（緑のカーテン推進員）」とともに緑のカーテンを普及促進する	継続	・グリーンメイトの登録呼びかけ（登録者数206人） ・緑のカーテンコンテスト実施（市民54作品、事業者19作品） ・市民にゴーヤや朝顔の種を6,000袋、苗600本配布	継続	・ゴーヤ、アサガオ等の種、苗の配布 ・グリーンメイトの登録呼びかけ ・緑のカーテンコンテスト実施	継続実施	→	→	環境政策課
		NPO等との連携によるイベント開催など、市民への啓発と温室効果ガス削減の取組を推進する	継続	・地球温暖化対策に係る出前講座実施（2件） ・伊東家の省エネ体験（イオンモール倉敷で実施）（12回） ・こどもエコライフチャレンジの実施（小学校4校実施） ・環境交流スクエアで温暖化対策啓発イベント「STOP温暖化くらしきミーティング2016」の実施（参加者数約150人）	継続	・出前講座の実施 ・こどもエコライフチャレンジの実施 ・STOP温暖化くらしきの実施 ・COOL CHOICEの啓発・取組みの推進など	継続実施	→	→	環境政策課
		公共交通機関や徒歩・自転車によるエコ移動を推進する	継続	【再掲No.221】バス利用の意識啓発（バスの乗り方やマナー、運賃の支払い方法等について、小学生にバス教室を実施 小学校8校、743人参加）	継続	小学生を対象としたバス教室を実施	継続実施	→	→	交通政策課
		市民や事業者に対して、マイカー利用の抑制のための啓発を行う	継続	【再掲No.221】市内でノーマイカーデーを年1回実施実施（5月取組率：83.7%）	継続	ノーマイカーデーの実施（市内で年1回実施）	継続実施	→	→	環境政策課
	継続	・【再掲No.221】スマート通勤岡山への参加（10月） ・【再掲No.221】市職員チャレンジ・エコ通勤（正式実験）実施 参加者9名	継続	・スマート通勤岡山への参加 ・市職員チャレンジ・エコ通勤の実施	継続実施	→	→	交通政策課		

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H27からの区分	H28年度実績	H28からの区分	H29年度計画	H30年度計画	H31年度計画	H32年度計画	担当課
No. 412 省エネルギー設備等の導入による温室効果ガスの排出抑制	●省エネルギー機器・設備の積極的な導入やエネルギー源のシフト等を推進し、市全体での温室効果ガスの排出抑制に努める	運輸・民生部門の省エネ、省CO2対策を推進するため、市民への設備等の購入に対して助成を行う	継続	【再掲No. 221】電気自動車等（94台）への補助を実施した。	継続	・電気自動車等や充電設備への補助 ・燃料電池自動車（FCV）を補助対象に追加	継続実施	→		環境政策課
		市が所有する電気自動車等を活用して、市民へ電気自動車の普及啓発を行う	継続	環境イベント等で電気自動車を展示及び電源として活用	継続	・環境イベント等で電気自動車を展示及び電源として活用 ・環境交流スクエアに設置する簡易水素ステーション及び市が導入する燃料電池自動車を活用した普及啓発を実施	継続実施	→		環境政策課
		電気自動車充電設備の整備を推進する	継続	【再掲No. 221】充電設備の設置費補助制度	継続	充電設備の設置費補助制度を実施	継続実施	→		環境政策課
		倉敷市公共施設低炭素配慮指針に基づき、公共施設の低炭素化を推進する	継続	倉敷市公共施設低炭素配慮指針の運用（指針の周知、新エネや省エネ機器の導入実績の情報共有や勉強会を目的に倉敷市公共施設低炭素化検討委員会を1回開催）	継続	倉敷市公共施設低炭素配慮指針による運用継続	継続実施	→		環境政策課
			新規	カーボン・マネジメント強化事業実施 CO2削減ポテンシャル診断事業委託実施（3カ所） ※国の100%補助事業	継続	カーボン・マネジメント強化事業実施 CO2削減ポテンシャル診断事業委託実施（3カ所） ※国の100%補助事業	平成30年度まで			

●基本目標4 地球温暖化対策の取組により、低炭素社会が形成されたまち

◆分野別目標2:地域特性を活かした再生可能エネルギーの積極的利用により、資源・エネルギー循環型の社会を目指します

【基本方針】:「晴れの国おかやま」という太陽エネルギーの利用に有利な気象条件や、電気自動車の生産地である等、地球温暖化対策の鍵となる特性を有しており、これらの地域特性を活かした、資源・エネルギー循環型の社会を目指します。

◆目標とする指標

番号	項目	基準値	実績値	実績値	基準値からの傾向	めざそう値	
		H21	H27	H28		H27年度	H32年度
1	住宅用太陽光発電システム設置件数	3,852件	14,209件	15,338件		10,000件	28,000件
2	公共施設の太陽光発電システム設置 kw 数	90 kW	549.6kW	639.4kW		250 kW	500 kW

主要な施策に基づく主な事業 年度別計画

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H27からの区分	H28年度実績	H28からの区分	H29年度計画	H30年度計画	H31年度計画	H32年度計画	担当課
No. 421 家庭への再生可能エネルギー設備の導入促進	<ul style="list-style-type: none"> ●民生家庭部門からの温室効果ガスの排出削減を図るため、支援制度や普及啓発などを通じて、積極的に住宅用太陽光発電システムの導入を推進していく ●その他の再生可能エネルギー設備についても、市民生活に適した設備の導入が進むように普及啓発等を行っていく 	住宅用太陽光利用システムを設置した家庭に助成を行う	継続	既築住宅に対し、426件の設置補助を実施した。	継続	・既築住宅 350件の補助予定 ・集合住宅 2件の補助予定	継続実施			環境政策課
		倉敷市が定める認定基準に適合する低炭素住宅「次世代エコハウス」に対する助成を行う	継続	26件の補助を実施した。	継続	40件補助予定	継続実施			環境政策課
		住宅用太陽熱温水器を設置した家庭に助成を行う	継続	40件の補助を実施した。	継続	45件補助予定	継続実施			環境政策課
		住宅用燃料電池システムを設置した家庭に助成を行う	新規	56件の補助を実施した。	継続	100件補助予定	継続実施			環境政策課
		補助事業者の排出削減分をクレジット化し、「J-クレジット制度」を活用した温室効果ガス削減事業を実施する	継続	くらしきサンサン倶楽部3,427世帯分3,137tのクレジットを創出(売却実績5,339t)	継続	くらしきサンサン倶楽部が削減したCO2を販売	継続実施			環境政策課
		【再掲No.411】「グリーンくらしきエコアクション(G-KEA)」の普及定着による、低炭素型ライフスタイルへの転換を図る	継続	G-KEA改訂版を各種環境イベントで広く配付し、普及啓発を実施した。市広報誌における環境月間特集として、G-KEAの内容を周知した。	継続	G-KEA改訂版を各種環境イベントで広く配付し、普及啓発を実施した。市広報誌における環境月間特集として、G-KEAの内容を周知した。	継続実施			環境政策課
		再生可能エネルギー(太陽光発電システム以外)設備の導入が進むよう普及啓発を行う	継続	STOP温暖化くらしき実行委員会構成団体により、各種イベントへ出展し普及啓発を実施した。	継続	STOP温暖化くらしき実行委員会構成団体により、各種イベントへ出展し普及啓発を実施した。	継続実施			環境政策課
No. 422 公共施設への再生可能エネルギー設備の率先導入	<ul style="list-style-type: none"> ●市の事務事業活動から排出される温室効果ガスの排出削減を目指す ●公共施設に太陽光発電システムを始めとした、再生可能エネルギー設備を率先して導入し、再生可能エネルギーの普及啓発に努める 	倉敷市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)の推進	継続	倉敷市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)に基づく省エネ・温暖化対策の推進	継続	計画の推進	計画的実施			環境政策課
		市の事業活動に伴うエネルギー使用量を把握するとともに、省エネ中長期投資計画を策定する。	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー使用量の把握 ・省エネ中長期投資計画の策定 ・施設設備機器台帳、管理標準の作成・更新 ・再生可能・未利用エネルギーの検討 ・エネルギー管理規定の運用 ・電気需要平準化の対策 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー使用量の把握 ・省エネ中長期投資計画の策定 ・施設設備機器台帳、管理標準の作成・更新 ・再生可能・未利用エネルギーの検討 ・エネルギー管理規定の運用 ・電気需要平準化の対策 	継続実施			関係各課
		公共施設の省エネルギー対策を実施する	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・「節電くらしきガイドライン」を配布し、全庁で節電を実施 【公共施設への環境配慮技術の導入(市立学校を除く)】 ○児島市民病院の新病院建設 環境配慮技術の導入、LED照明の採用、屋上庭園及びLow-E複層ガラスによる熱負荷の低減等 ・建設工事実施 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・「節電くらしきガイドライン」を配布し、全庁で節電を実施 【公共施設への環境配慮技術の導入(市立学校を除く)】 ○児島市民病院の新病院建設 環境配慮技術の導入、LED照明の採用、屋上庭園及びLow-E複層ガラスによる熱負荷の低減等 ・建設工事実施 	計画的実施			環境政策課

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H27からの区分	H28年度実績	H28からの区分	H29年度計画	H30年度計画	H31年度計画	H32年度計画	担当課	
No. 422 公共施設への再生可能エネルギー設備の率先導入	<p>●市の事務事業活動から排出される温室効果ガスの排出削減を目指す</p> <p>●公共施設に太陽光発電システムを始めとした、再生可能エネルギー設備を率先して導入し、再生可能エネルギーの普及啓発に努める</p>	(倉敷流ESCO事業) 公共施設の省エネルギー対策を実施する	継続	<ul style="list-style-type: none"> ライフパーク倉敷、消防局倉敷消防署合同庁舎、児島消防署の3施設を継続した。 児島支所、玉島支所、真備支所の3施設を運用開始した。 芸文館について提案を募集した。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ESCO事業運用施設(ライフパーク倉敷、消防局倉敷消防署合同庁舎、児島消防署、児島支所、玉島支所、真備支所) 芸文館のESCO優先交渉権者と契約締結し、工事に向けて準備を行う。 他施設の導入可能性について検討する。 	拡大検討			公有財産活用室	
		【再掲No. 121】公共施設の壁面緑化等を推進する	継続	<ul style="list-style-type: none"> 保育園及び認定こども園庭の芝生維持管理を行った。(H28末現在:累計13園) 学校・園の壁面緑化(全ての市立学校・幼稚園計144校園で実施) 小学校庭の芝生化(本荘小学校・菌小学校)及び維持管理を行った。(H28末現在:累計14校) 幼稚園庭の芝生の維持管理(H28度現在:累計3園) 公共施設のブロック塀を生垣に更新(本荘小学校) 	継続	<ul style="list-style-type: none"> 保育園庭の芝生化(大内保育園)及び芝生維持管理 学校・園の壁面緑化 小学校庭の芝生化(倉敷西小学校・玉島小学校・旭丘小学校)及び維持管理 幼稚園庭の芝生の維持管理 公共施設に生垣を植栽する。(大高小学校) 	継続実施			保育・幼稚園課 教育企画総務課 教育施設課 教育施設課 公園緑地課	
		公共施設へ再生可能エネルギー設備を導入する	継続	【市立学校への太陽光発電設備導入】 <ul style="list-style-type: none"> 倉敷西小学校(10kW)完成 玉島小学校(10kW)完成 	継続	【市立学校への太陽光発電設備導入】 <ul style="list-style-type: none"> 南中学校(10kW)着工 東陽中学校(10kW)着工 	継続実施				教育施設課
			継続	【再掲No. 141】公共施設等の屋根及び土地貸しによる太陽光発電システム ○粒江小学校児童クラブ(落成)	継続	公共施設等の屋根及び土地貸しによる太陽光発電システム	継続実施				環境政策課
			継続	【公共施設への太陽光発電設備導入(市立学校を除く)】 ○児島市民病院の新病院建設 太陽光発電パネルを屋上に設置 発注準備と業者選定 新病院建設工事着手	継続	【公共施設への太陽光発電設備導入(市立学校を除く)】 ○児島市民病院の新病院建設 太陽光発電パネルを屋上に設置 新病院建設工事					倉敷市立児島市民病院
			継続	【再掲No. 322】 水島清掃工場基幹的設備改良工事については平成28年度をもって工事完了。これにより、水島清掃工場の長寿命化及び地球温暖化対策に資する改良を行うことができた。	終了		事業終了				環境施設室
			継続	<ul style="list-style-type: none"> 児島下水処理場消化ガス発電事業(7.5kW)を平成27年度より開始し、引き続きCO2の排出量を削減する。 追加で2機設置し、合計12.5kWの発電を開始 Jクレジット申請及び承認 	継続	発電事業(12.5kW)とともに、Jクレジット創出	継続実施				下水計画課 下水施設課
			継続	倉敷市公共施設低炭素配慮指針の運用(指針の周知、新エネや省エネ機器の導入実績の情報共有や勉強会を目的に倉敷市公共施設低炭素化検討委員会を1回開催)	継続	倉敷市公共施設低炭素配慮指針による運用継続	継続実施				
		継続	【再掲No. 412】倉敷市公共施設低炭素配慮指針に基づき、公共施設の低炭素化を推進する カarbon・マネジメント強化事業実施 CO2削減ポテンシャル診断事業委託実施(3カ所) ※国の100%補助事業	継続	カarbon・マネジメント強化事業実施 CO2削減ポテンシャル診断事業委託実施(3カ所) ※国の100%補助事業				H30まで		環境政策課

●基本目標5 市民一人ひとりが、環境意識を持ち行動するまち

◆分野別目標1:環境教育・環境学習を推進し、環境意識を持ち行動できる人を増やします

【基本方針】:これまでの環境学習の機会をさらに充実させるとともに、環境学習・環境活動を支える人材(地域・NPO)の育成を図ることで、人間と環境との関わりについて正しい知識をもち、自らが責任をもって、持続可能な社会づくりに主体的に参加できる人を増やすことを目指します。

◆目標とする指標

番号	項目	基準値	実績値	実績値	基準値からの傾向	めざそう値	
		H21	H27	H28		H27年度	H32年度
1	「もったいない」意識を共有している社会が出来ていると思う人の割合	6.0%	8.4%	5.8%		12%	30%
2	環境学習等で学んだことを、日常生活の中で実践している人の割合	4.0%	2.9%	4.2%		10%	20%

主要な施策に基づく主な事業 年度別計画

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H27からの区分	H28年度実績	H28からの区分	H29年度計画	H30年度計画	H31年度計画	H32年度計画	担当課
No. 511 環境学習の 機会の提供	●子どもから大人まで多くの市民が身近なところで、環境学習や実践活動の場や機会が多様な形で存在するよう、これまでの、講演会、環境イベント、自然観察会、出前講座の拡充を図る ●公民館等の社会教育施設を地域での環境教育の場として、より一層の充実を図ること、幅広い環境学習の場の提供に努める ●環境監視センター、クルクルセンター、自然史博物館などの環境学習施設の整備・充実を図る ●市民・市民公益活動団体、事業者、行政等の各主体が連携して、地域等で自主的な環境教育が実施できるように、環境に関する必要な情報の収集及び提供に努める	・講演会、環境イベント等への出展、自然観察会、出前講座、環境学習講座等の充実を図る	継続	・環境フェスティバル(体験型環境学習、エコフードコーナーなどのイベントを実施:約3,500人参加) ・【再掲No.113】水辺教室(高梁川河川敷 水江の渡し)を実施(38人参加) ・【再掲No.113】海辺教室(児島通生の海岸)を実施(30人参加) ・各種出前講座の実施(17件1,285人参加) ・【再掲No.411】STOP温暖化くらしきミーティング2016(地球温暖化対策啓発イベント:約150人参加) ・【再掲No.141】省エネセミナー(講演会:55人参加)	継続	・環境フェスティバル ・海辺、水辺教室 ・自然観察会 ・エコサマースクール ・各種出前講座の実施 ・各種環境学習講座の実施 ・STOP温暖化くらしき2017	継続実施			環境政策課
		市民学習センターや公民館での環境学習講座の充実を図る	継続	市民学習センターや公民館で、環境政策課と連携したくらしき市民講座「ごみについて学ぼう!~生まれ変わるよ!リサイクル体験~」など環境をテーマにしたさまざまな講座を実施。市民学習センターでは4講座実施し、69名の方が受講した。	継続	環境学習センターなど関係部局と連携するなどして、市民学習センター及び公民館で10講座程度予定	継続実施			市民学習センター
		環境学習センターでの環境学習・講座等の充実を図る	継続	環境交流スクエア西棟4階に設置した「環境学習センター」を環境学習の拠点施設として活用(エコライブラリー・エコギャラリー・環境学習教室の施設利用実績6,445人、イベント・講座等参加者数12,728人)	継続	環境学習の拠点施設として充実を図る。	継続実施			環境政策課
		流域連携事業として、各学校の平成29年度の学習計画策定に間に合うよう、平成29年1月に関係市町の教育委員会、小中学校へ「倉敷市環境学習センター」の利用案内を送付した。	新規	流域連携事業として、各学校の平成29年度の学習計画策定に間に合うよう、平成29年1月に関係市町の教育委員会、小中学校へ「倉敷市環境学習センター」の利用案内を送付した。	継続	流域市町の小中学校の利用について、受入れる。	継続実施			環境政策課
		・特別展「金銀銅の自然史」、G7倉敷教育大臣会合応援事業・美術館ルネサンス事業「発掘された過去・現在・未来」を開催 ・特別陳列「近藤光宏昆虫コレクション展」「おりがみ昆虫展 Origami Insects」「秋の鳴く虫展」「新着資料展2016」「第24回しぜんしくらしき賞作品展」を開催 ・「倉敷まちかど博物館」の貸出設置(12施設に41台) ・「倉敷市立自然史博物館研究報告」の発行(550部) ・専門分野の寄稿・講演(122件) ・自然史資料の収集(標本約48,390点、文献1,095点) ・市民が幅広く参加できる自然観察会、講座等を開催(50件) ・「友の会」による自然観察会等の開催を援助(12件) ・自然に関する問い合わせ対応(1,197件) ・外部への講師派遣(46件) ・「11月3日は自然史博物館まつり」を開催(参加者12,389人)など	継続	・「倉敷市」50周年記念事業 第26回特別展「チョウきれい!チョーたのしい!昆虫展」、高梁川流域連携中核都市圏事業 夏の企画展「ティラノが成羽にやってきました!一化石は太古の生き物図鑑」(会場:高梁市成羽美術館)を開催 ・特別陳列「草地功地学標本コレクション展-その1-」「鳴く虫サロン」「新着資料展2017」「第25回しぜんしくらしき賞作品展」を開催 ・「倉敷まちかど博物館」の貸出設置 ・「倉敷市立自然史博物館研究報告」の発行(600部) ・専門分野の寄稿・講演 ・自然史資料の収集 ・市民が幅広く参加できる自然観察会、講座等を開催する。 ・「友の会」による自然観察会等の開催を援助する。 ・自然に関する問い合わせ対応 ・外部への講師派遣 ・「11月3日は自然史博物館まつり」を開催	継続	継続実施			自然史博物館	
		環境に関する情報の収集及び適切な情報の提供を行う	継続	・HP、くらしきブログの充実 ・広報紙(広報くらしき、パワフルキッズ等) ・記者クラブ、小中学校等への情報提供 ・環境関連の講座やイベント情報のメールマガジン配信	継続	・HPの充実 ・広報紙 ・記者クラブ、小中学校等への情報提供 ・環境関連の講座やイベント情報をメールマガジン配信 等	継続実施			環境政策課 各関係課
		市民公益活動団体が行う、環境保全活動・教育・啓発のための事業への一部助成を行う	継続	【再掲No.111】自然観察会・環境保全活動等に対する助成(市民企画提案事業)	継続	自然観察会・環境保全活動等に対する助成(市民企画提案事業)	継続実施			市民活動推進課

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H27からの区分	H28年度実績	H28からの区分	H29年度計画	H30年度計画	H31年度計画	H32年度計画	担当課
No. 512 環境学習や環境活動を支える人（地域・NPO）の育成	●地域における環境活動を先導するコーディネーターや、環境学習を推進する指導者の育成や活動支援に努める ●市からの情報提供を充実させるとともに、地域や事業者が環境に関する取り組みや情報を共有することができるネットワーク形成を目指す	地域の環境学習活動を推進するための市民パートナーの養成や活動支援に努め、市域全体の環境保全活動の活性化を図る	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・環境学習センター登録団体連携事業（夏休み宿題応援団、海辺のエコしらべ、八間川調査隊等を実施） ・環境学習センター登録団体による会議室や展示室の無料使用（実績延べ110件） ・環境学習センター登録団体又はエコライブラリー利用登録者に環境学習用器材（ワットチェッカー、燃費計、小型顕微鏡等）の無料貸出 ・【再掲No. 411】グリーンメイトの登録呼びかけ（登録者数：206人） ・市内高校生を環境フェスティバル運営スタッフとしてボランティア受入（41人） 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・環境学習センター登録団体連携事業 ・環境学習センター団体登録制度 ・環境学習用器材貸出 ・グリーンメイトの登録呼びかけ ・高校生社会貢献活動推進事業（市内の高校生を環境フェスティバルのボランティア運営スタッフとして受入） 	継続実施			環境政策課
		高梁川流域7市3町の大学・企業・各種団体等によるネットワーク組織によって、流域の自然、歴史・文化、産業、町並み等をテーマとした学校教育の補完や企業研修等を実施。圏域の将来を担う人材育成とコミュニティの意識向上を図る。	継続	倉敷市を含む高梁川流域圏域において計10事業を実施し、延4,100人が参加した。主な取組として、備中の伝統文化の発信と人材育成、後世への継承を目的とした「備中志塾」のほか、風土ツーリズムの開発等を行う「高梁川トレイル」、希少種生物の保護及び自然生命の循環を学習する「SAVE JAPANプロジェクト」などを実施した。	継続	平成28年度に実施した10事業に「地域循環共生圏人材育成事業」「こども造形ひろば」「高梁川流域林間・臨海学校プログラム調査開発」の3事業を加えた13事業で実施する。一般社団法人高梁川流域学校に対し助成を行う。	継続実施			企画経営室
		行政、企業、市民団体等が情報共有や取組を共有できるネットワークの形成をめざす	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・【再掲No. 411】STOP温暖化くらしき実行委員会（事務局：環境学習センター） ・【再掲No. 411】倉敷市地球温暖化対策推進協議会（事務局：地球温暖化対策室） ・環境学習を通じた人材育成・まちづくりを考える協議会（事務局：公益財団法人 水島地域環境再生財団）への参画 など 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・STOP温暖化くらしき実行委員会（事務局：環境学習センター） ・倉敷市地球温暖化対策審議会（事務局：地球温暖化対策室） ・環境学習を通じた人材育成・まちづくりを考える協議会（事務局：公益財団法人 水島地域環境再生財団）への参画 など 	継続実施			環境政策課

●基本目標5 市民一人ひとりが、環境意識を持ち行動するまち

◆分野別目標2: 次世代を担う子どもたちへの環境教育を充実し、行動できる人を育てます

【基本方針】: 家庭、学校、地域など多様な場で、それぞれの発達段階に応じた環境教育を推進し、また、家庭、学校、地域、事業者が相互に連携した取組を行うことにより、将来を担う子どもたちが環境に配慮した行動のよき実践者となるように、環境教育・環境学習の推進を目指します。

◆目標とする指標

番号	項目	基準値	実績値	実績値	基準値からの傾向	めざそう値	
		H21	H27	H28		H27年度	H32年度
1	自然がかけがえの無い大切なものだと感じている子どもの割合	71.7%	77.4%	79.9%		80%	95%
2	「もったいない」意識をもち、物を大切にしている子どもの割合	31.4%	45.2%	44.8%		45%	65%
3	自然にふれる活動に参加している子どもの数	14,537人	15,522	14,543人		17,500人	19,700人

主要な施策に基づく主な事業 年度別計画

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H27からの区分	H28年度実績	H28からの区分	H29年度計画	H30年度計画	H31年度計画	H32年度計画	担当課	
No. 521 これからの時代を担う子供たちの環境教育の充実	●環境を大切にし、より良い環境づくりや環境の保全に配慮した望ましい行動がとれる実践力を育成するため、学校、家庭、地域、事業者と連携を図りながら、環境教育の充実に努める ●子どもの発達段階に応じた環境学習プログラムづくりや本市の山、川、海の自然環境を活かした体験型学習プログラムづくりを進め、継続的に環境教育を推進できるよう努める ●小中学校を対象とした出前講座などにより、学校での環境教育を支援する	企業、市民団体等と連携した、環境教育を推進する	継続	<ul style="list-style-type: none"> 【再掲411】 こどもエコライフチャレンジ（市内6小学校で実施） 【再掲511】 小中学生に対する環境学習（子ども向け夏休み講座、出前講座、体験学習など） 【再掲111】 市民企画提案事業（自然観察会、環境保全活動など） 	継続	<ul style="list-style-type: none"> こどもエコライフチャレンジ 小中学生への環境学習機会の提供 市民企画提案事業（自然観察会、環境保全活動など） 	継続・拡大			環境政策課 市民活動推進課	
		各学校が計画的に教科学習や体験的な学習に取り組み、環境教育を充実する	継続	全小・中学校で、環境教育全体計画、指導計画に基づき、教科や総合的な学習の時間を中心に環境教育に取り組んだ。	継続	全小・中学校で、環境教育全体計画、指導計画に基づき、教科や総合的な学習の時間を中心に環境教育に取り組む。	継続実施				教委・指導課
		発達段階に応じた環境学習プログラムづくり	継続	<ul style="list-style-type: none"> 「自然保護」「水質・大気」「地球温暖化対策」といった3つのカテゴリに分けたプログラムを作成し講座を実施 【再掲511】 子ども向けに夏休み講座として「エコサマースクール」を実施。地元企業との連携講座も含め拡大して実施する。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> 「自然保護」「水質・大気」「地球温暖化対策」といった3つのカテゴリに分けたプログラムを作成し講座を実施予定 子ども向けに夏休み講座として「エコサマースクール」を実施予定 	継続・拡大				環境政策課
		山、川、海の自然環境を活かした体験型学習プログラムづくり	継続	<ul style="list-style-type: none"> 【再掲113】 水辺教室（水江の渡し）を実施（38名参加） 【再掲113】 海辺教室（児島通生の海岸）を実施（30名参加） 	継続	<ul style="list-style-type: none"> 水辺教室 海辺教室 	継続実施				環境政策課
				漁業体験学習（小学生・保護者25組参加 など）		継続実施					農林水産課
		少年自然の家で、小中学校の山の学習、自然教室など90校の学校行事の受入れを実施し、自然の中で仲間と遊び、自然に親しんだ。（テント設営、野外炊事等） ・倉敷市少年自然の家主催事業として「由加わいわいキャンプ」「親子で秋の思い出づくり」「早春のつどい」など8回の自主事業を開催した。	継続	<ul style="list-style-type: none"> 自然の中で仲間と一緒に共同生活することによって自主性や協調性を養うとともに、自然の大切さや雄大さを体感することによって環境保護の意識醸成を図る。 豊かな自然環境の中で親子でふれあう「由加わいわいキャンプ」や不登校児等を対象とした「さわやかデー由加山の旅」など8回の自主事業を開催する予定 	継続実施					少年自然の家	
		広報、事務局の支援等を通じ、「こどもエコクラブ活動」の支援を実施する	継続	広報、会員登録受付、環境に関する情報の提供等を行った。	継続	H P等による広報、会員登録受付、環境に関する情報の提供等を行う。	継続実施				環境政策課
市民団体等と連携して、出前講座を実施する	継続	<ul style="list-style-type: none"> 【再掲411】 こどもエコライフチャレンジ（市内4小学校で実施） 【再掲112】 出張講座「くらしきの淡水魚」（自然保護団体等と協力） 	継続	<ul style="list-style-type: none"> こどもエコライフチャレンジ 出前講座「くらしきの淡水魚」 	継続実施				環境政策課		

環境基本計画「めざそう値」
平成28年度市民アンケート調査結果

倉敷市環境政策課

I アンケート調査の概要

1 調査目的

倉敷市では「自然と人が共生し、未来につなぐ健全で恵み豊かな環境」の実現をめざし、平成32年度までを計画期間とする「第二次環境基本計画」に基づいて、さまざまな環境施策に取り組んでいます。

このアンケート調査は、市民のみなさまが環境について日頃感じていることや、身近な環境についての満足度及び意向等を調査し、計画目標の達成状況把握などに活用することで、今後の市政運営に役立てていくものです。

2 実施状況

2-1 調査対象

平成28年10月末現在、市内に居住する16歳以上の市民の中からコンピュータで無作為に抽出した2,000人（過去に同調査で調査対象となった方を除く）

2-2 調査期間

平成29年1月11日（水）～平成29年2月17日（金）

2-3 調査方法

上記調査対象である2,000人分について郵送調査

2-4 調査項目

問番号	設問内容	目的
－	回答者の属性について	回答者の属性を把握するため
問1～ 問17	環境分野ごとの意識や関心度について	めざそう値を把握するため
問18	環境分野ごとの重要度と満足度	市民が感じている施策別の重要度・満足度を把握するため

※調査項目について

問3問6は「倉敷市第二次緑の基本計画」に係る設問であるため本調査結果には掲載しておりません。

※構成比率について

回答の構成比率は小数第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100%にはなりません。

Ⅱ アンケート調査結果の概要

「倉敷市第二次環境基本計画「めざそう値」市民アンケート調査」について、平成29年1月11日から2月17日にかけて実施し、2,000人に対してアンケート票を郵送したところ、831人から回答があり、回答者属性は次のとおりとなっている。

(回収率41.6%)

【回答者属性】

[単位 上段：人、下段：%]

1 性別

男性	女性	未回答
354	466	11
42.6%	56.1%	1.3%

2 年齢別

20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	未回答
28	49	93	125	139	188	207	2
3.4%	5.9%	11.2%	15.0%	16.7%	22.6%	24.9%	0.2%

3 地域別

倉敷地区	水島地区	児島地区	玉島地区	庄地区	茶屋町地区	船穂地区	真備地区	未回答
392	138	97	108	16	26	12	40	2
47.2%	16.6%	11.7%	13.0%	1.9%	3.1%	1.4%	4.8%	0.2%

Ⅲ アンケート調査結果

1 回答者の属性

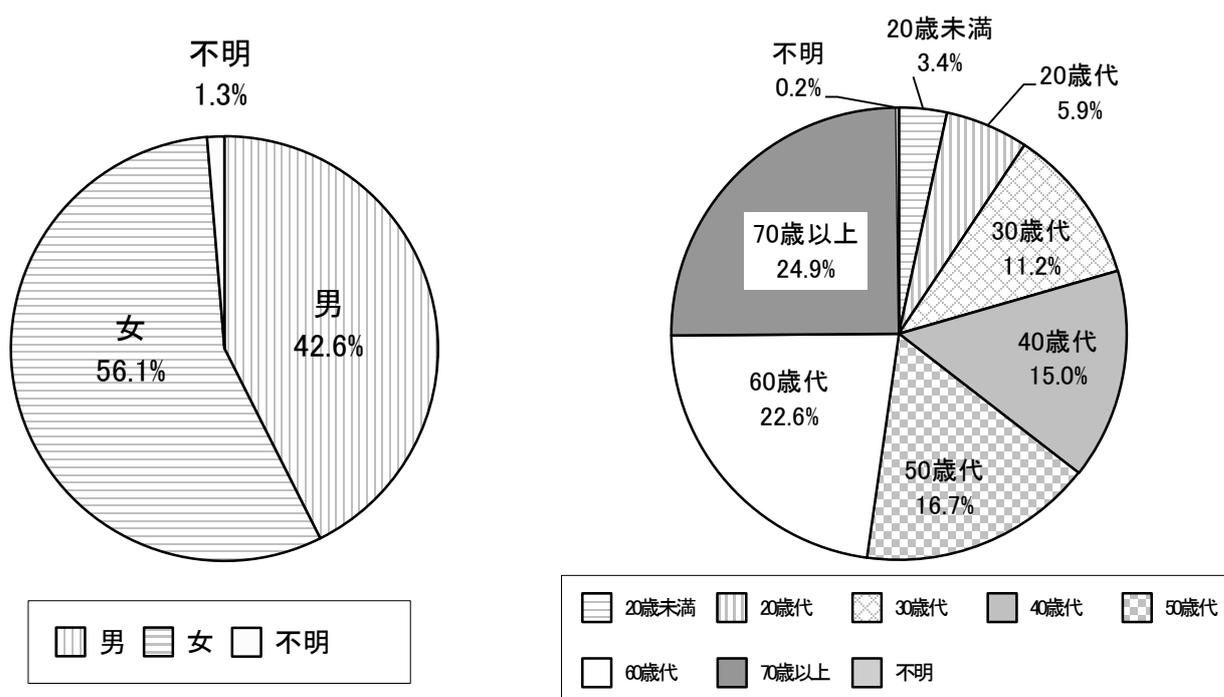
○性別・年齢

【表1-1：性別・年齢別 回答者・構成比率】

[単位 回答者数：人、構成比率：%]

年齢	回答者数	年齢別 構成比率	性別					
			男		女		不明	
			回答者数	構成比率	回答者数	構成比率	回答者数	構成比率
20歳未満	28	3.4%	13	3.7%	15	3.2%	-	-
20歳代	49	5.9%	21	5.9%	28	6.0%	-	-
30歳代	93	11.2%	42	11.9%	51	10.9%	-	-
40歳代	125	15.0%	41	11.6%	81	17.4%	3	27.3%
50歳代	139	16.7%	58	16.4%	81	17.4%	-	-
60歳代	188	22.6%	90	25.4%	97	20.8%	1	9.1%
70歳以上	207	24.9%	89	25.1%	112	24.0%	6	54.5%
不明	2	0.2%	0	0%	1	0.2%	1	9.1%
合計	831	100%	354	100%	466	100%	11	100%

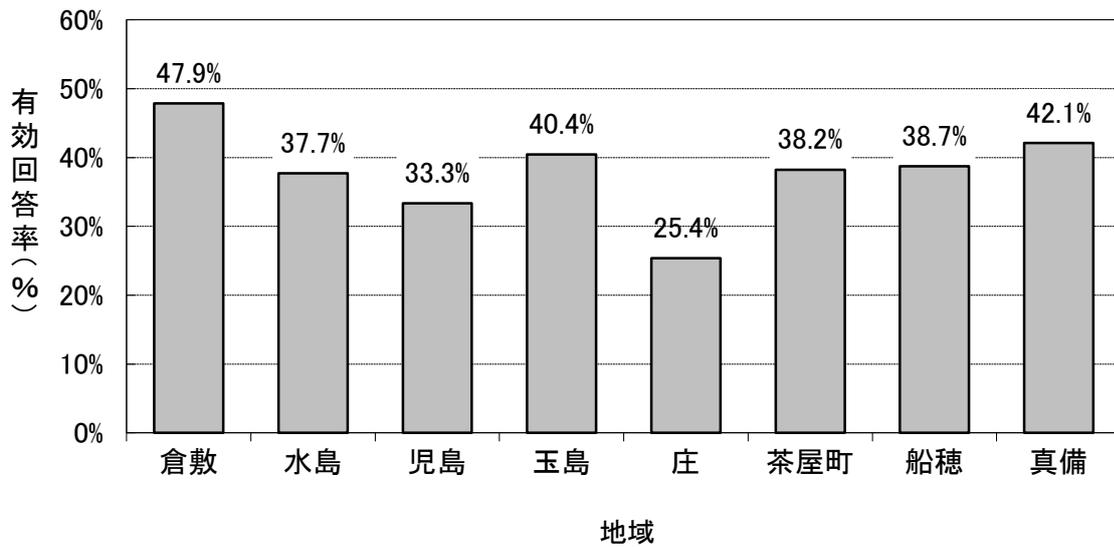
【グラフ1-1：性別・年齢別 回答者構成比率】



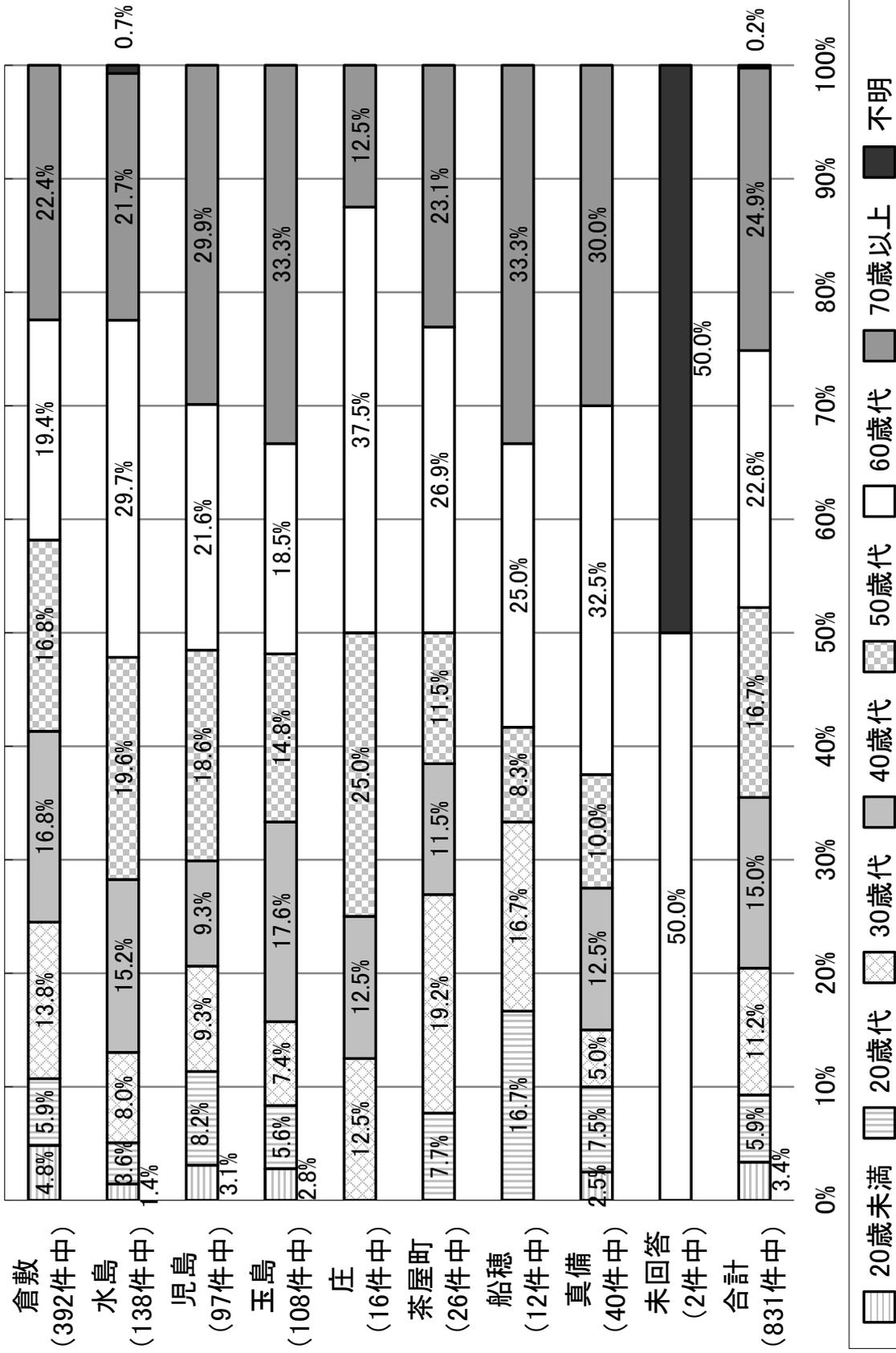
【表 1 - 2 : 地域別回答者数 回答率】

地域	アンケート発送について		アンケート回答について		
	支所別人口 構成比率 (H28.10 末)	発送数 (人)	回答者数 (人)	有効回答率 (%)	回答者 構成比率 (%)
		①	②	②/①	②/全回答者数
倉敷	40.9%	819	392	47.9%	47.2%
水島	18.3%	366	138	37.7%	16.6%
児島	14.5%	291	97	33.3%	11.7%
玉島	13.4%	267	108	40.4%	13.0%
庄	3.2%	63	16	25.4%	1.9%
茶屋町	3.4%	68	26	38.2%	3.1%
船穂	1.6%	31	12	38.7%	1.4%
真備	4.7%	95	40	42.1%	4.8%
未回答	-	-	2	-	0.2%
合計	100%	2,000	831	41.6%	100%

【グラフ 1 - 2 : 地域別有効回答率】

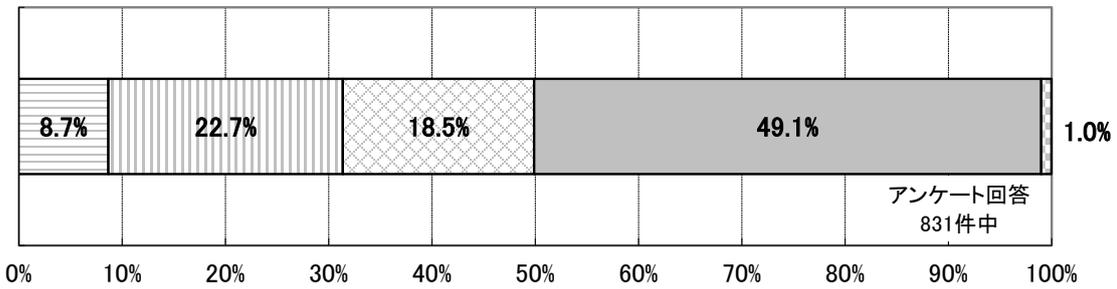


回答者の地区別世代別割合



《問1》 あなたは、身近な自然を守るための活動を行っていますか。

【グラフ1：合計・回答構成比率】



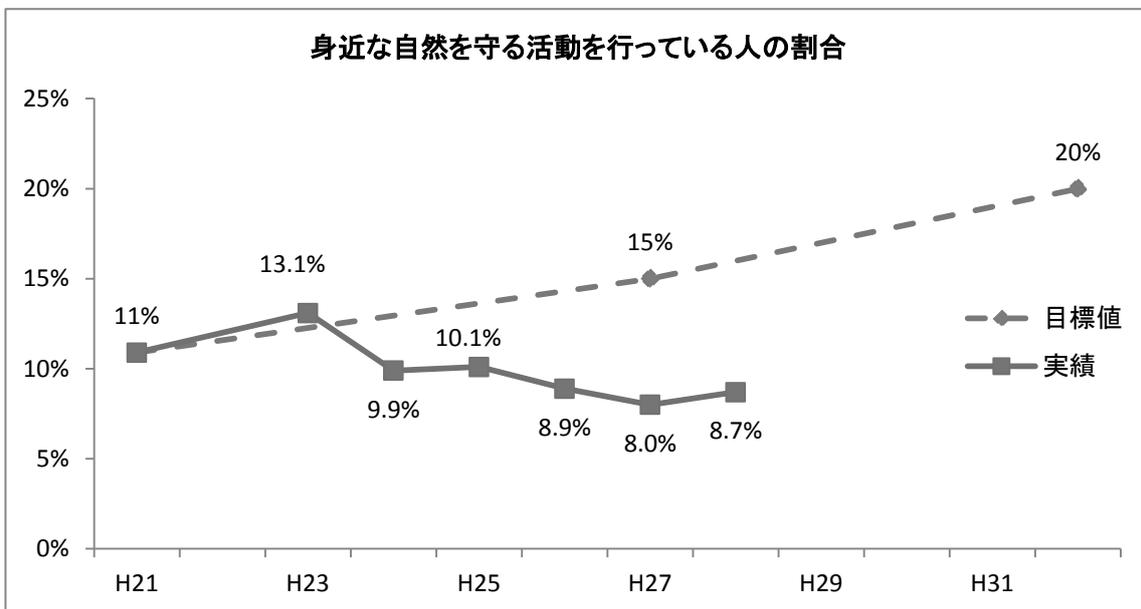
行っている
 いくらか行っている
 あまり行っていない
 まったく行っていない
 未回答

【基本目標1 分野別目標1（分野1）】

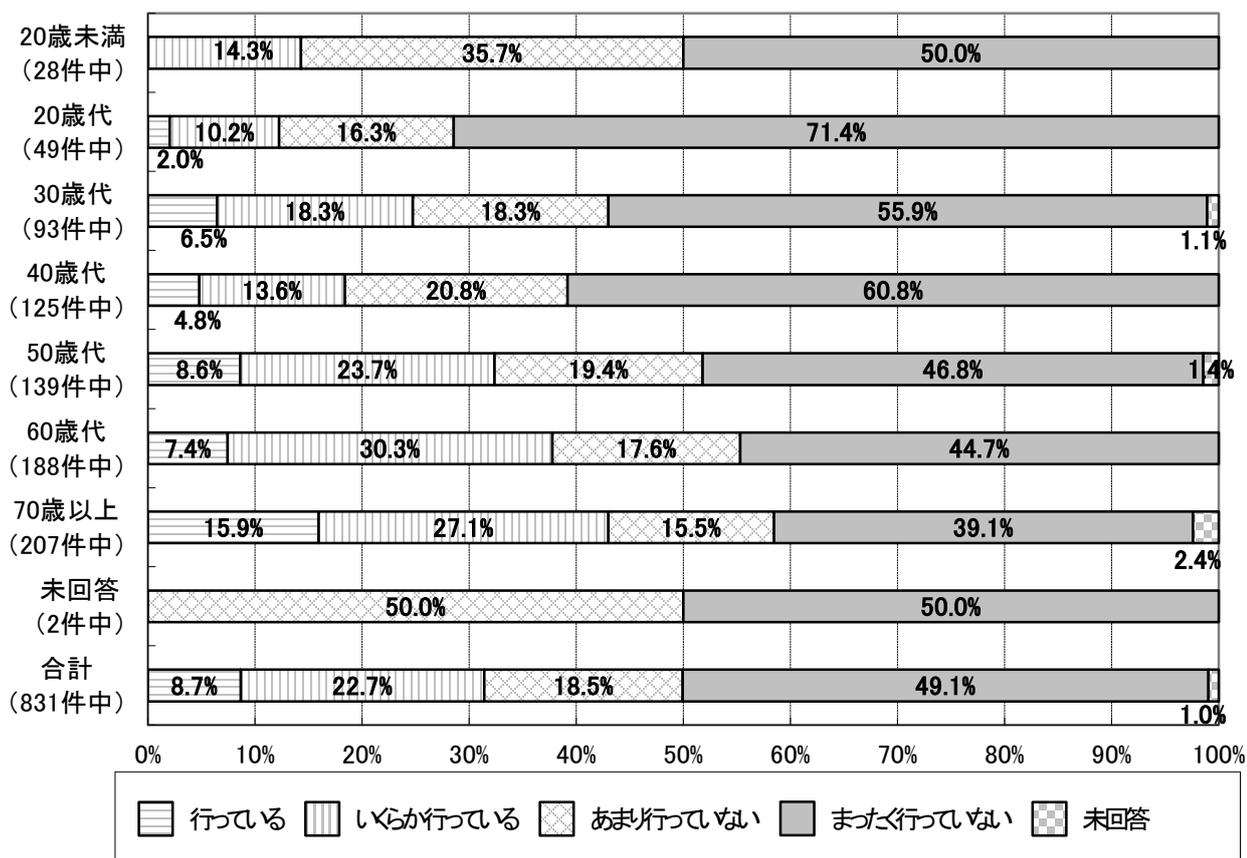
多様な自然環境を保全し、自然とのふれあいを促進します

【めざそう値：年度別推移】

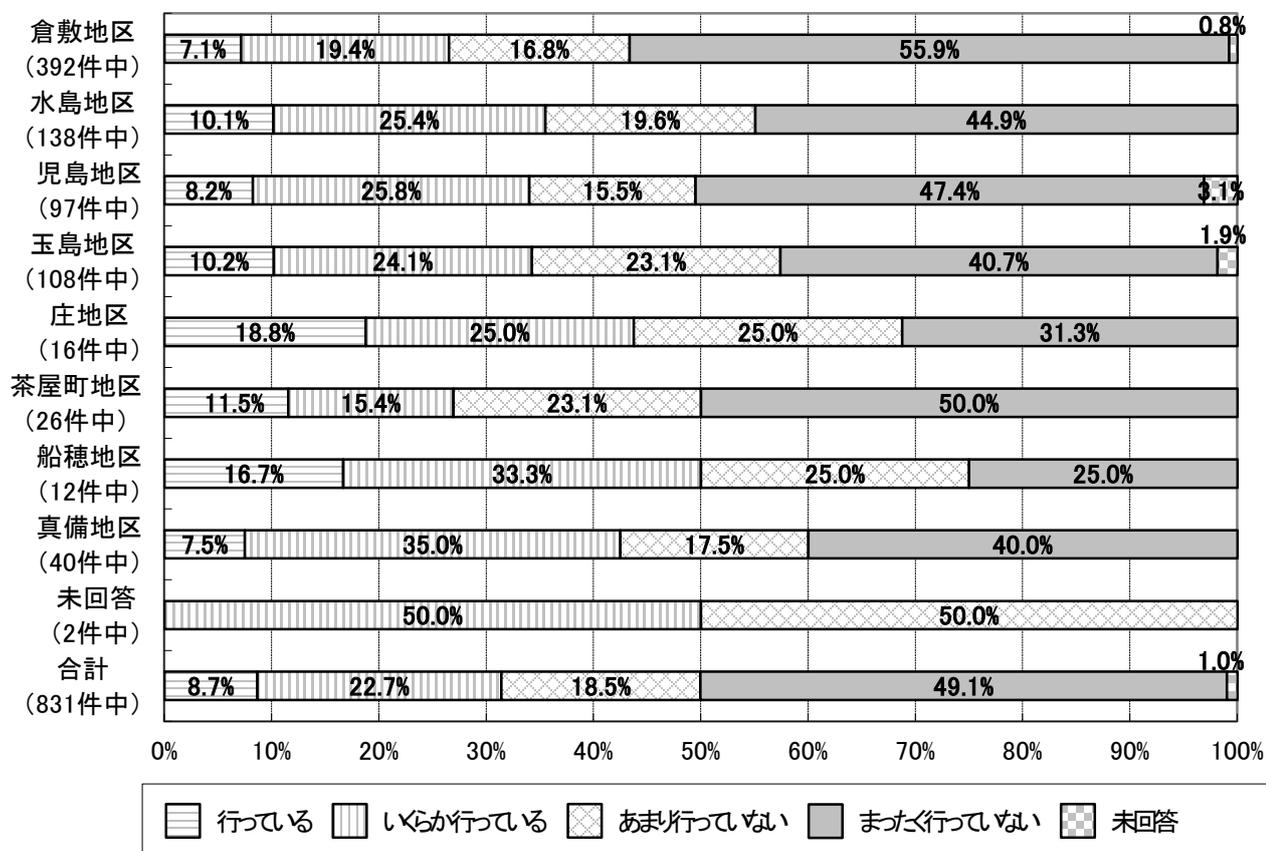
	H21 基準値	H28 (H27)	H27 目標値	H32 目標値
「行っている」人の割合	10.9%	8.7%(8.0)	15%	20%



【グラフ1：年齢別・回答構成比率】

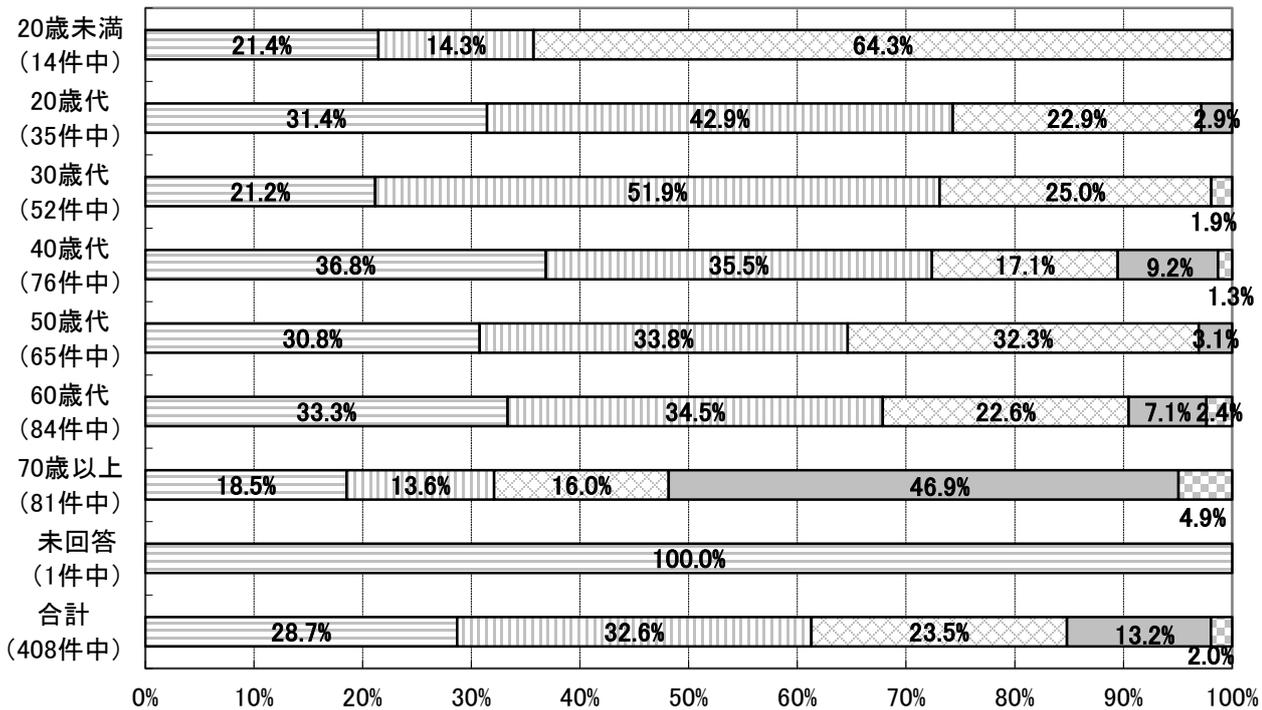


【グラフ1：地域別・回答構成比率】



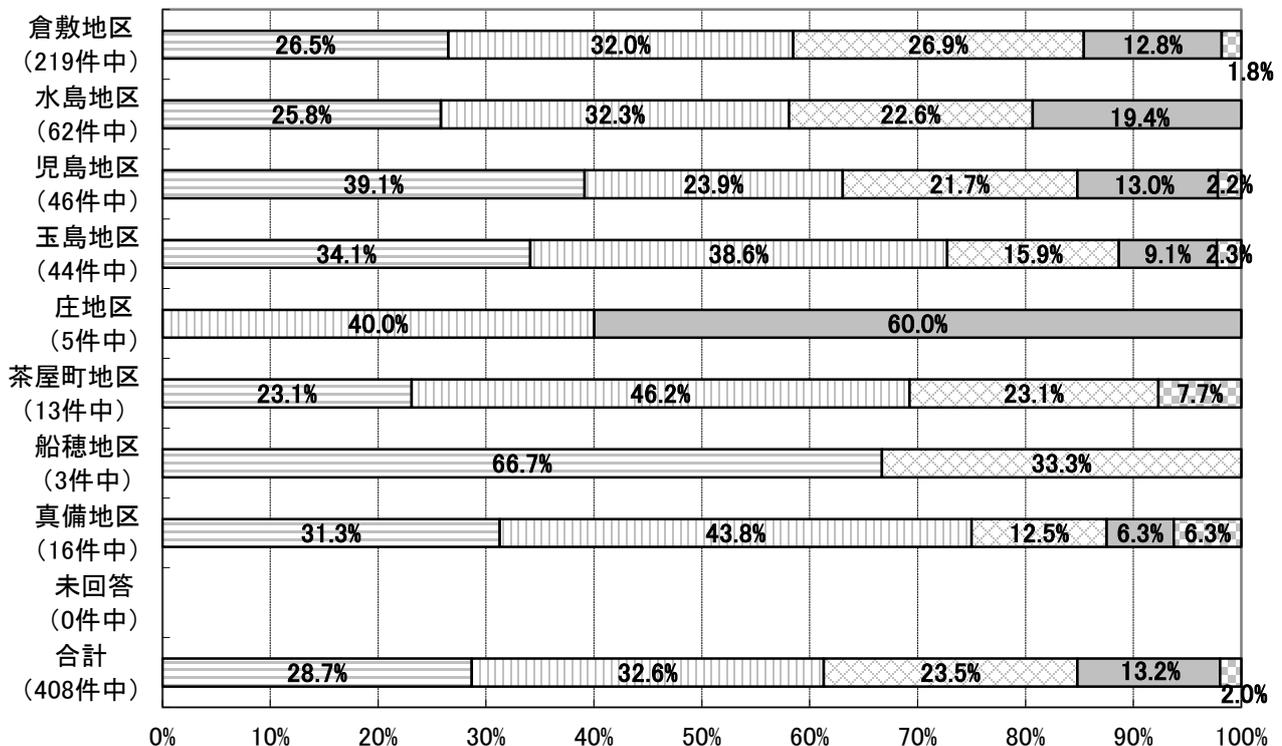
《問1-1》問1で「4. まったく行っていない」と答えた方におたずねします。
行っていない理由がありますか。

【グラフ1-1:年齢別・回答構成比率】



関心はあるが、何をしたらいいのか分からない
 関心はあるが、時間が無い
 関心がない
 その他()
 未回答

【グラフ1-1:地域別・回答構成比率】



関心はあるが、何をしたらいいのか分からない
 関心はあるが、時間が無い
 関心がない
 その他()
 未回答

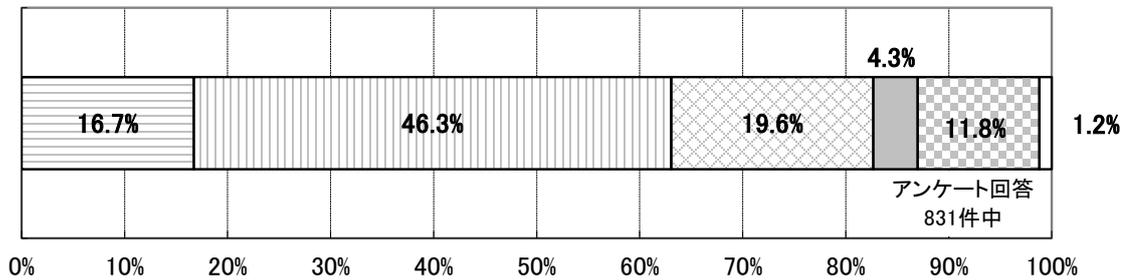
《問1-1》問1で「4. まったく行っていない」と答えた方におたずねします。
行っていない理由がありますか。

※その他(カッコ内回答)要約

	内容
1	時間がない
2	初めて知った
3	機会がない
4	体調が悪い
5	高齢のため
6	身体的要因
7	仕事が忙しい
8	活動例等が該当しない
9	毎日の生活に追われ、考える余裕がない
10	日頃から自然を壊さないよう気を付けている
11	介護のため

《問2》 公園や街路樹などの身近な緑に満足していますか。

【グラフ2：合計・回答構成比率】



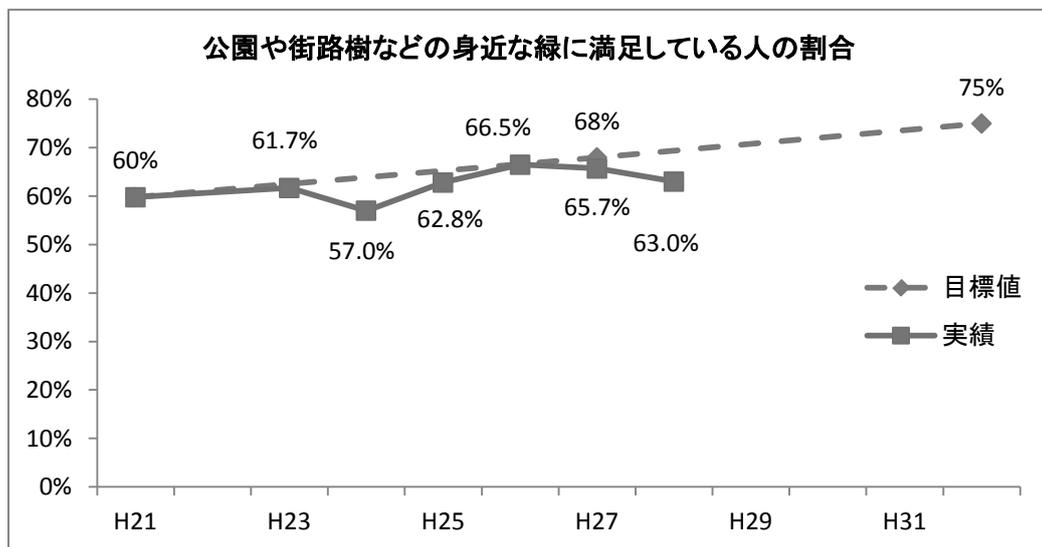
満足
 どちらかという満足
 どちらかという不満
 不満
 わからない
 未回答

【基本目標1 分野別目標2（分野2）】

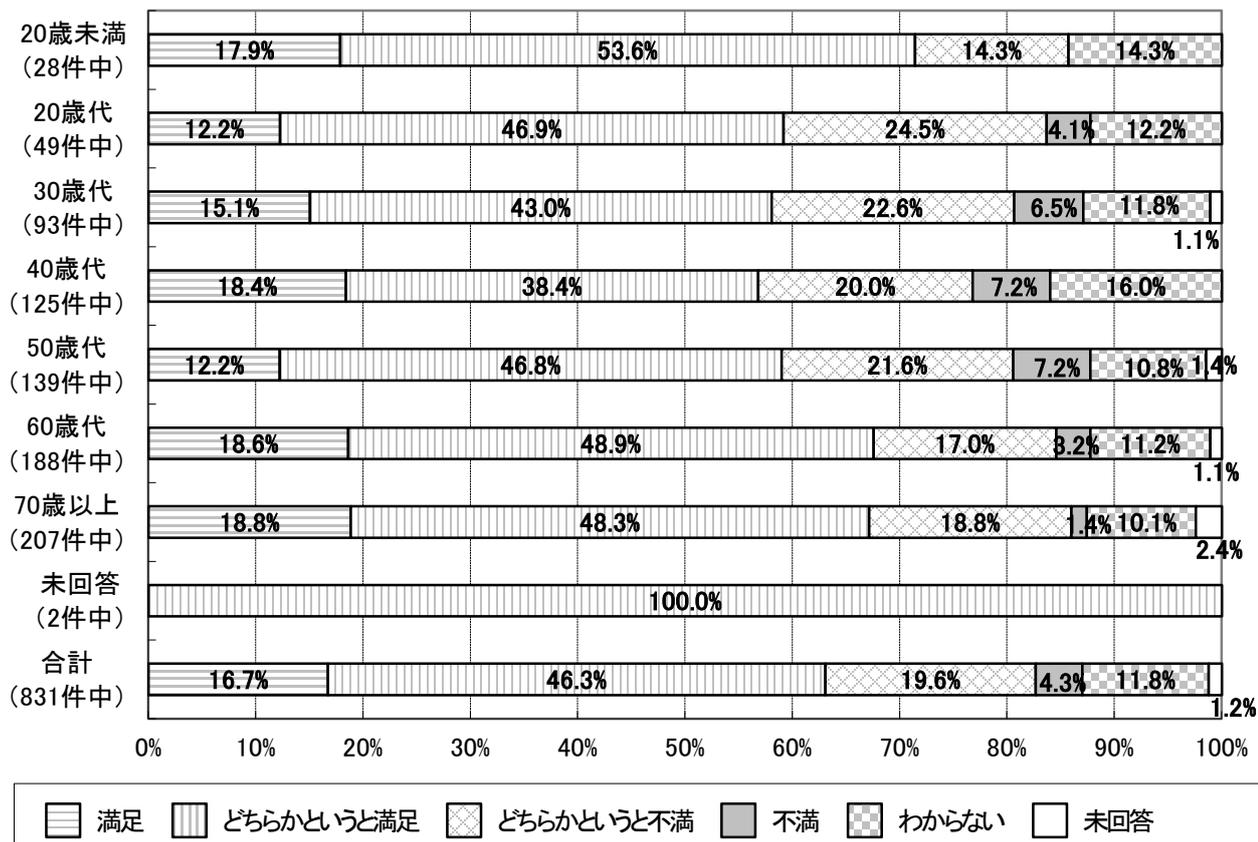
まちの緑化を推進し、うるおいと安らぎのある生活空間の形成を目指します

【めざそう値：年度別推移】

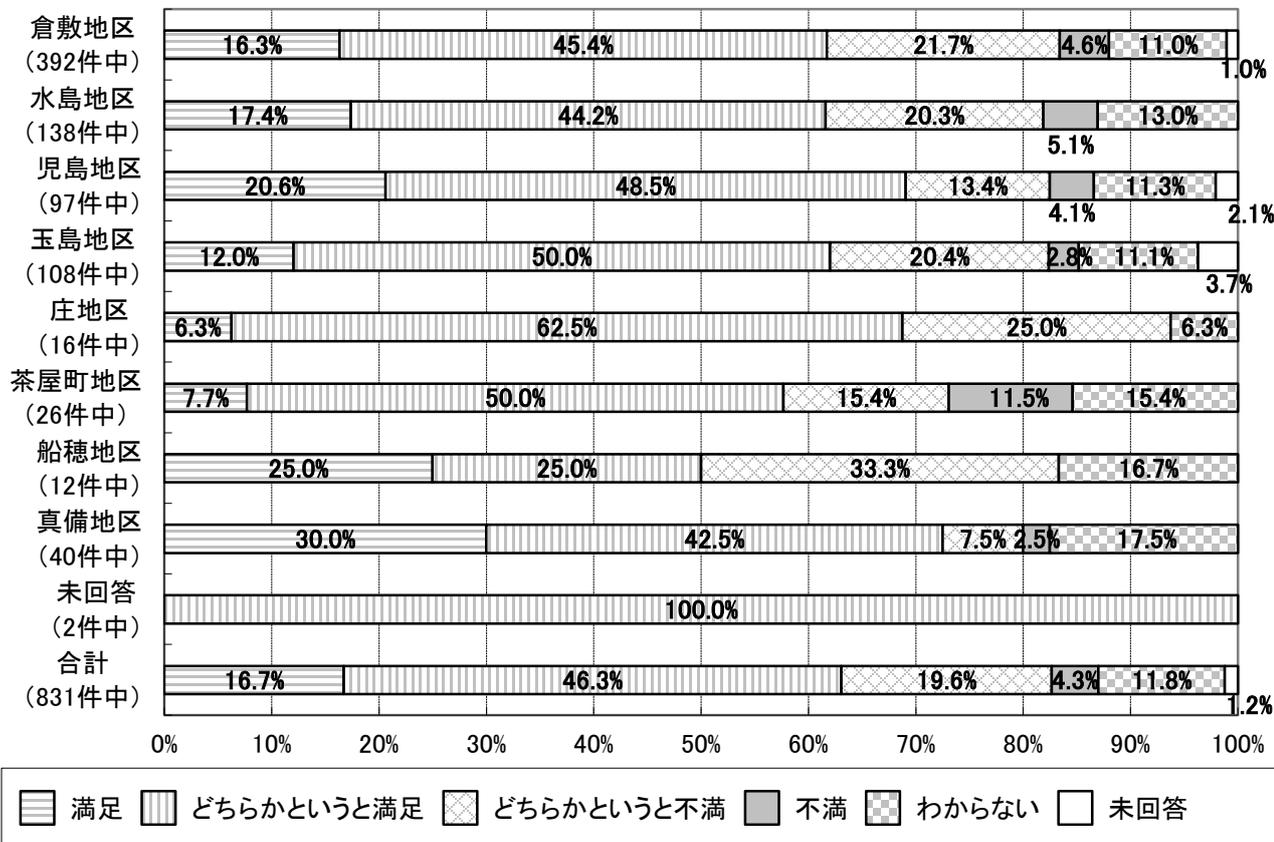
	H21 基準値	H28 (H27)	H27 目標値	H32 目標値
「満足」+「どちらかという満足」人の割合	59.8%	63.0%(65.7)	68%	75%



【グラフ2: 年齢別・回答構成比率】

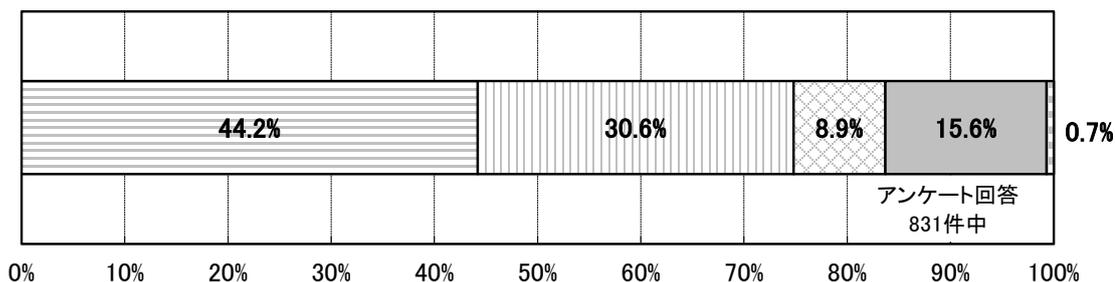


【グラフ2: 地域別・回答構成比率】



《問4》 あなたは、庭木や生垣、鉢植えやプランター栽培などの身近な緑化を行っていますか。

【グラフ4：合計・回答構成比率】



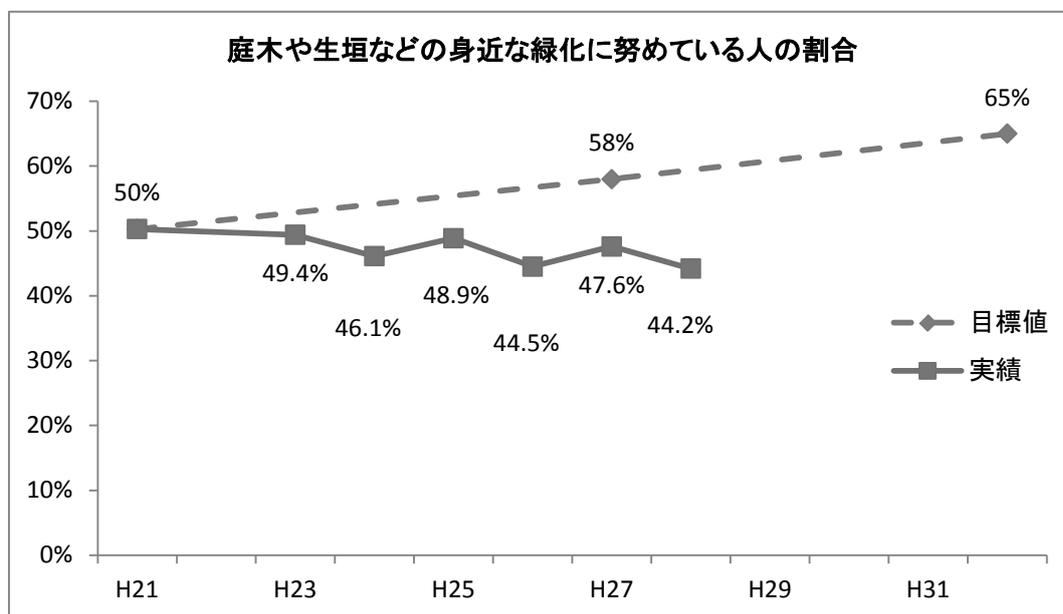
行っている
 いくらか行っている
 あまり行っていない
 まったく行っていない
 未回答

【基本目標1分野別目標2（分野2）】

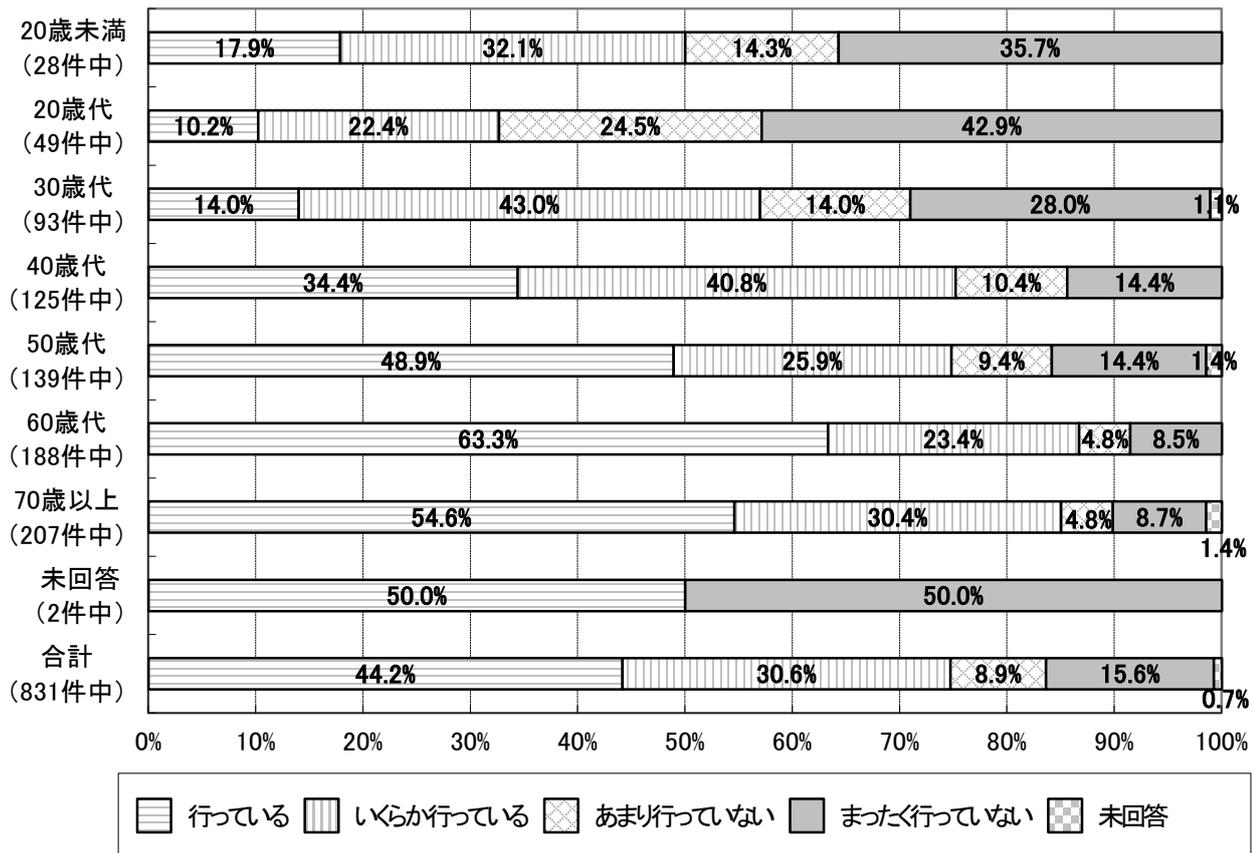
まちの緑化を推進し、うるおいと安らぎのある生活空間の形成を目指します

【めざそう値：年度別推移】

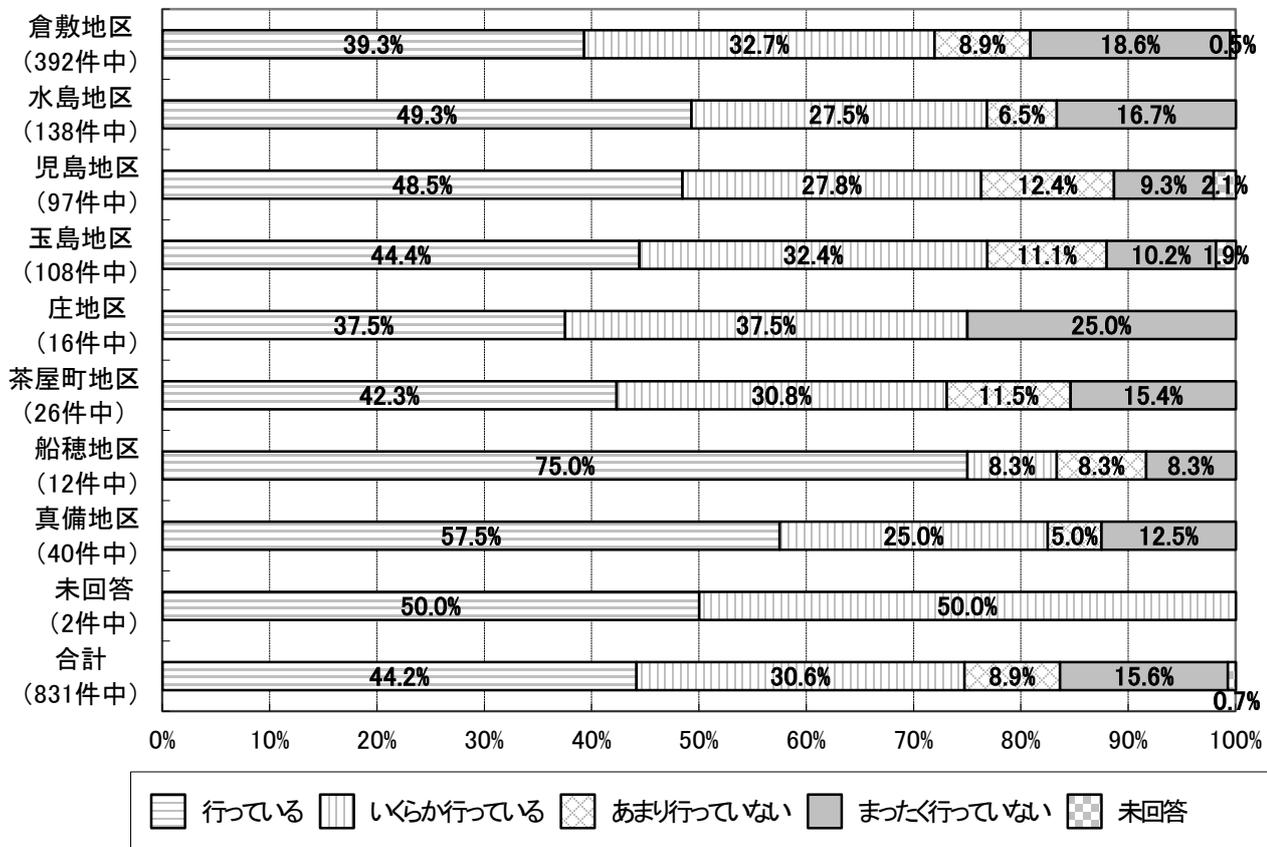
	H21 基準値	H28 (H27)	H27 目標値	H32 目標値
「行っている」人の割合	50.3%	44.2%(47.6)	58%	65%



【グラフ4: 年齢別・回答構成比率】

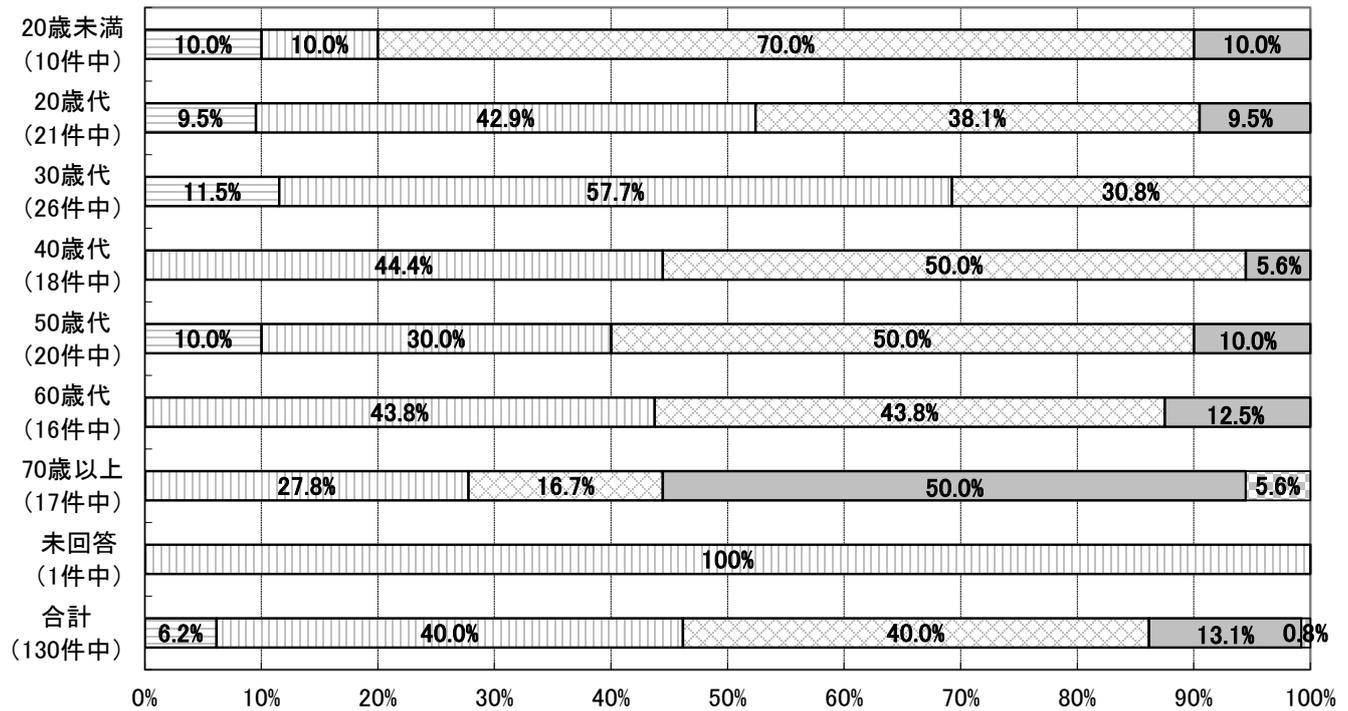


【グラフ4: 地域別・回答構成比率】



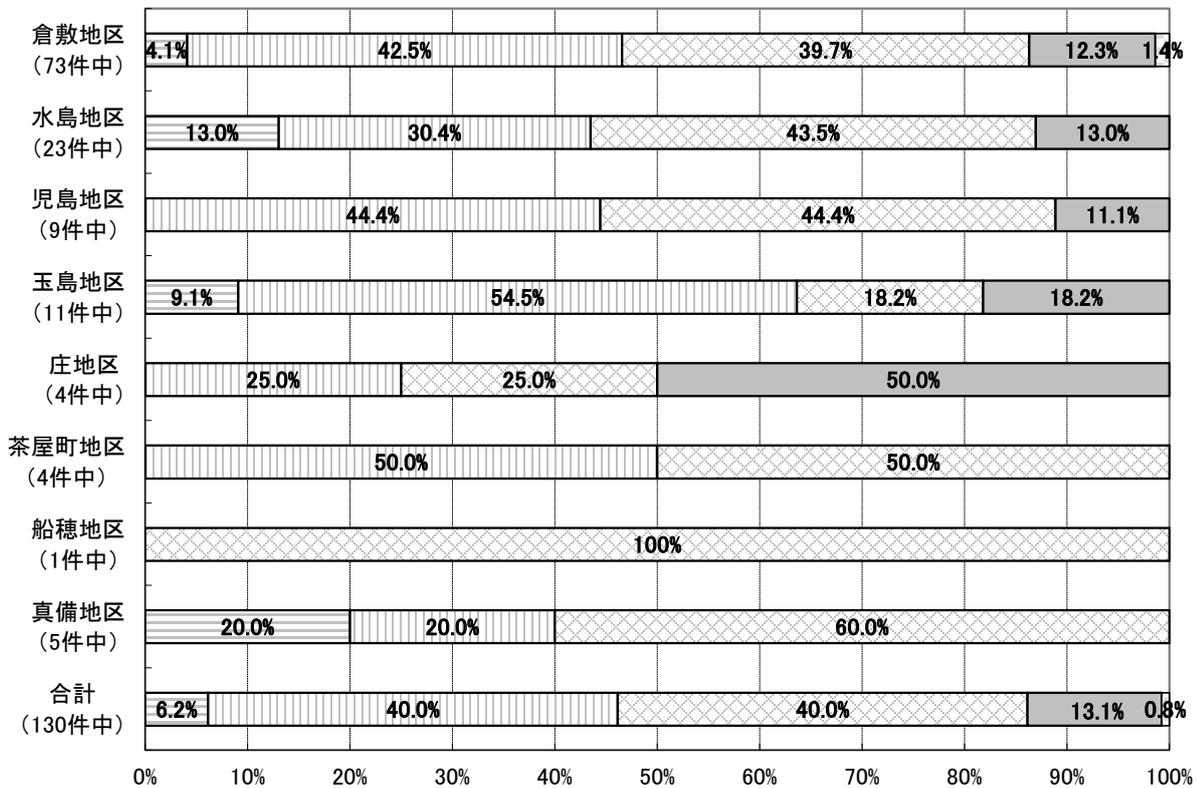
《問4-1》問4で「4. まったく行っていない」と答えた方におたずねします。行っていない理由がありますか。

【グラフ4-1:年齢別・回答構成比率】



関心はあるが、何をしたいのかわからない
 関心はあるが、庭などの場所がない
 関心がない
 その他()
 未回答

【グラフ4-1:地域別・回答構成比率】



関心はあるが、何をしたいのかわからない
 関心はあるが、庭などの場所がない
 関心がない
 その他()
 未回答

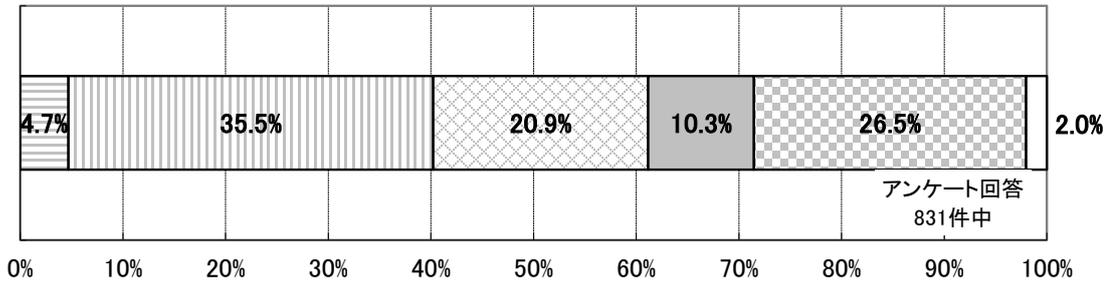
《問4－1》問4で「4. まったく行っていない」と答えた方におたずねします。
行っていない理由がありますか。

※その他(カッコ内回答)

	内容
1	体の都合
2	大きくなれば隣に落葉が落ちて苦情が出る
3	試したが、上手にできないのでやめた
4	病気のため
5	手入れをする時間がない
6	高齢のため
7	気力がない
8	お金がない

《問5》 地域の個性や生活・文化を活かした景観づくりができていますか。

【グラフ5：合計・回答構成比率】



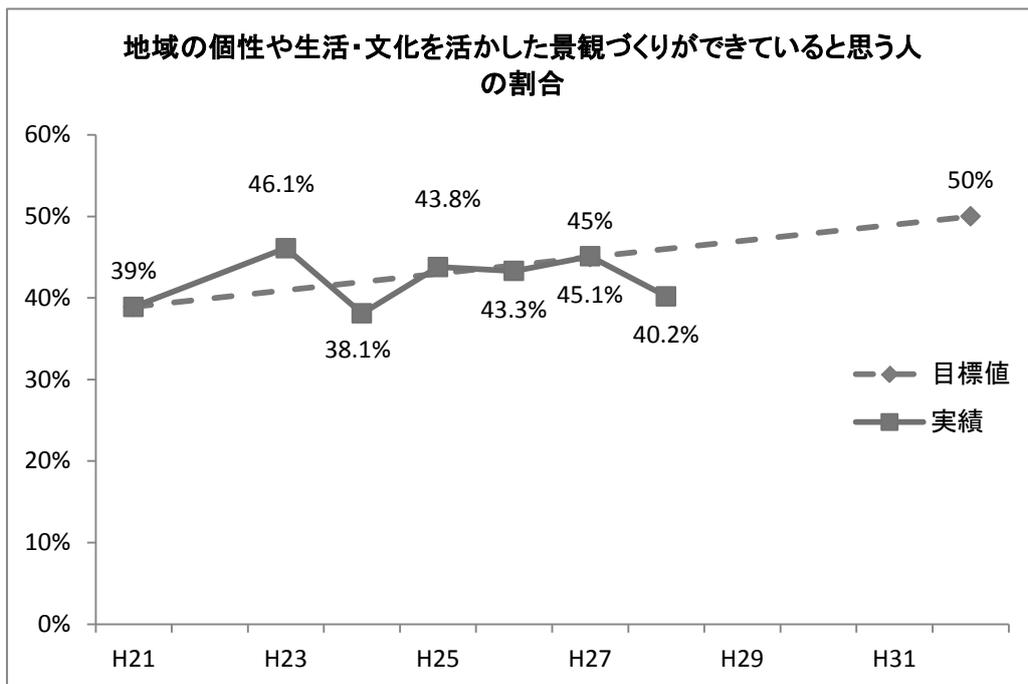
できています
 どちらかというとできています
 どちらかというとできていない
 できていない
 わからない
 未回答

【基本目標1分野別目標3（分野3）】

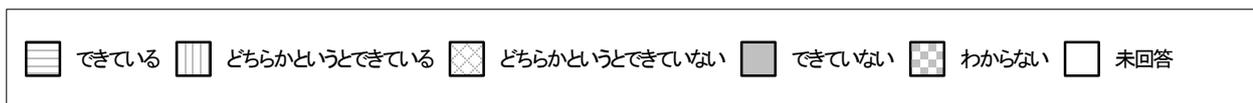
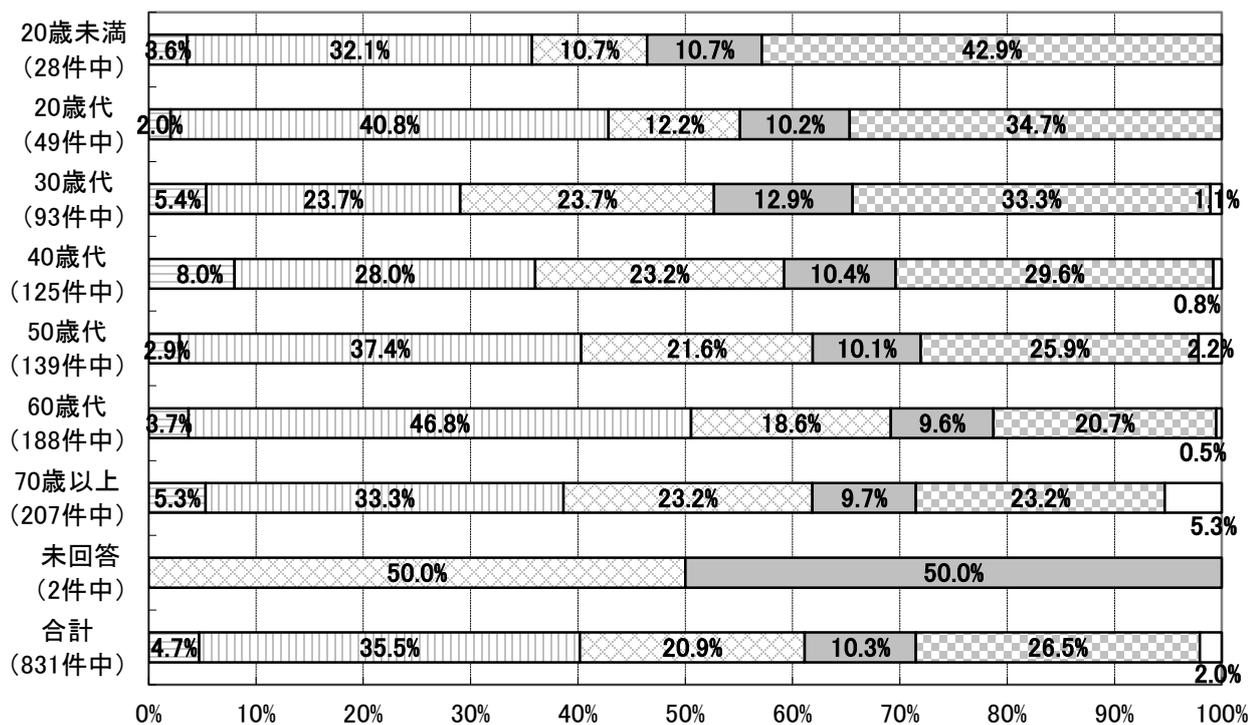
瀬戸内海と高梁川の恵みを生かし、伝統に根づいた風格のある美しい倉敷の景観づくりを推進します

【めざそう値：年度別推移】

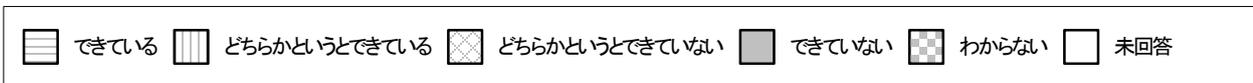
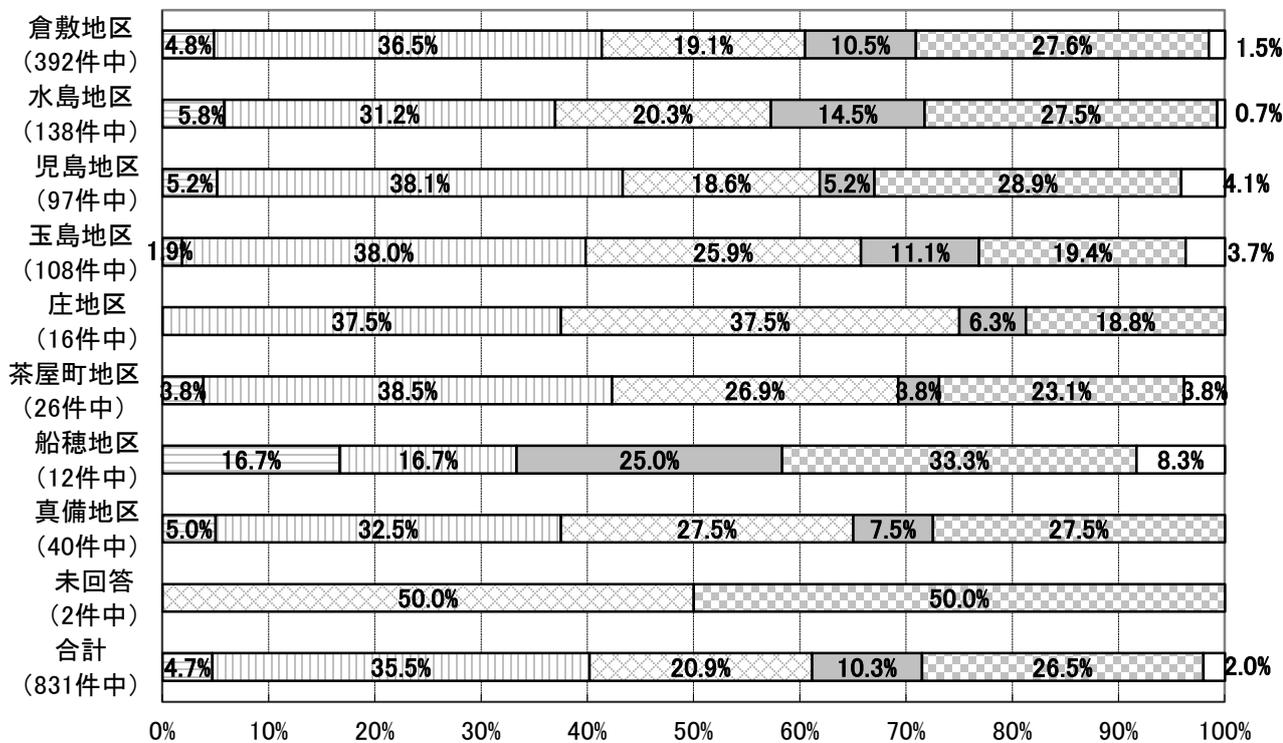
	H21 基準値	H28 (H27)	H27 目標値	H32 目標値
「できています」+「どちらかという とできています」人の割合	38.9%	40.2%(45.1)	45%	50%



【グラフ5: 年齢別・回答構成比率】

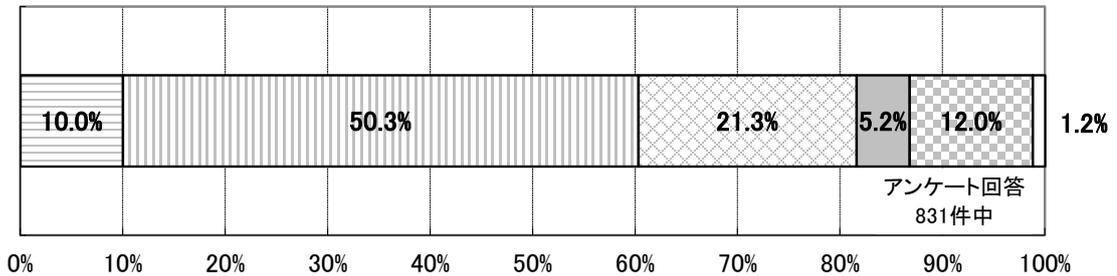


【グラフ5: 地域別・回答構成比率】



《問7》 身近な生活環境の中での眺め（景観）に満足していますか。

【グラフ7：合計・回答構成比率】



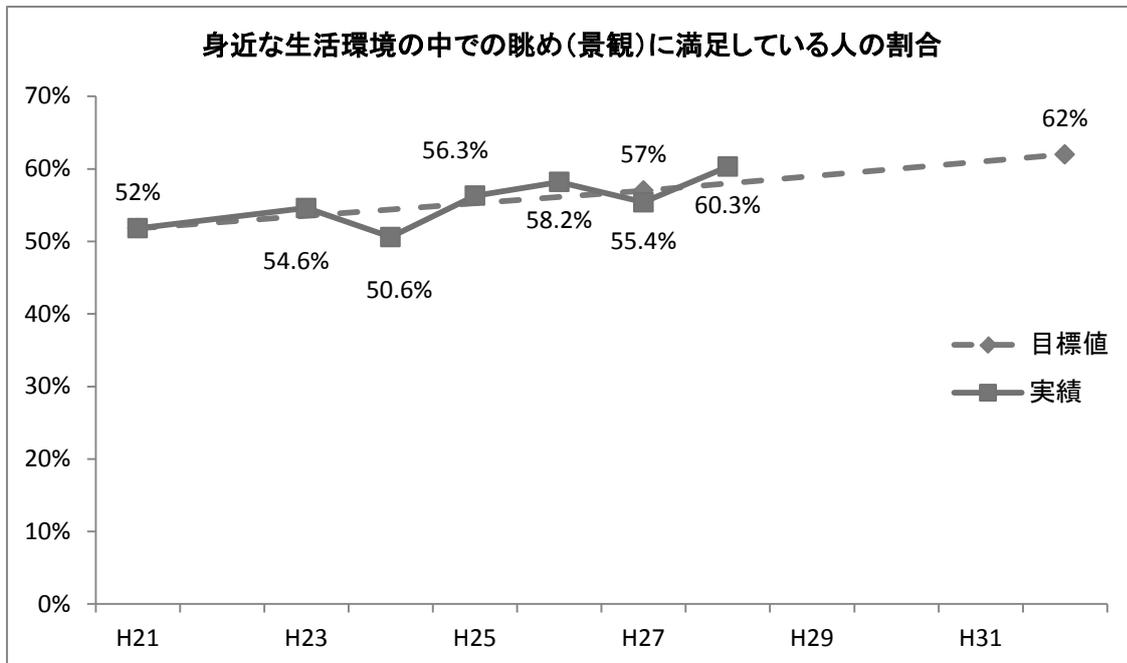
満足
 どちらかという満足
 どちらかという不満
 不満
 わからない
 未回答

【基本目標1分野別目標3（分野3）】

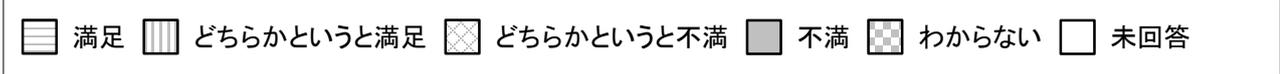
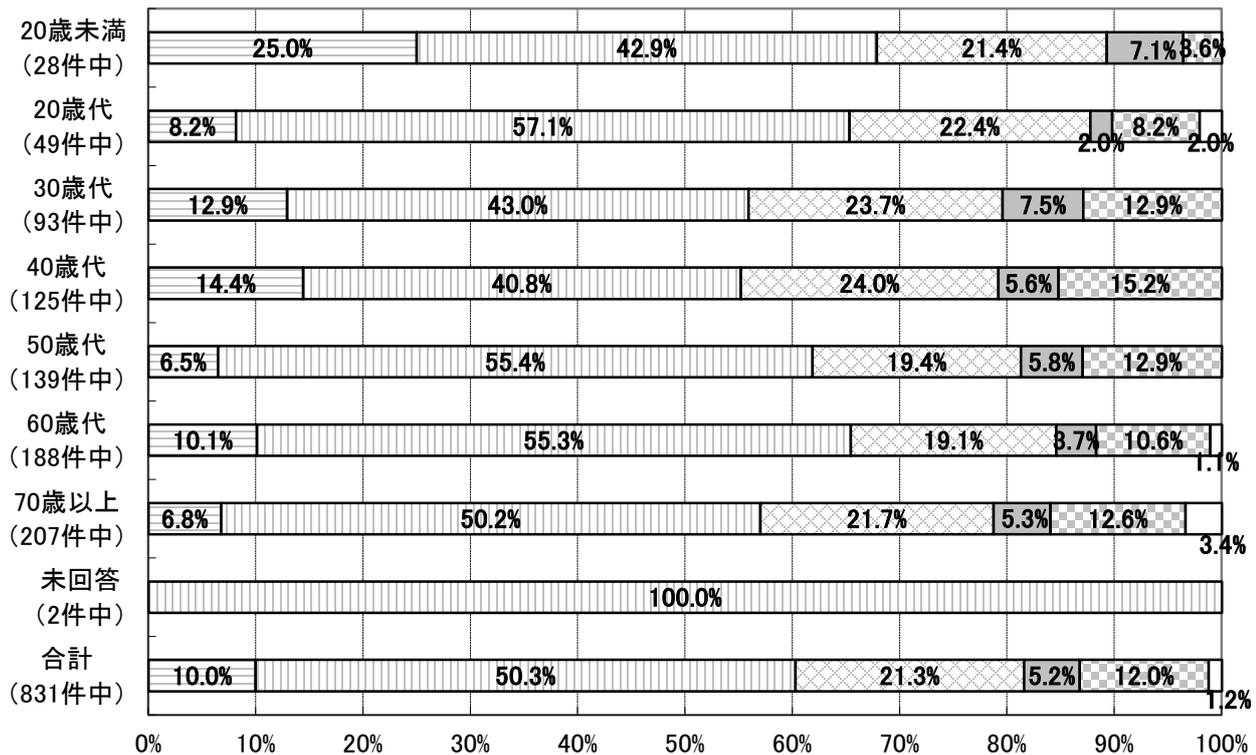
瀬戸内海と高梁川の恵みを生かし、伝統に根づいた風格のある美しい倉敷の景観づくりを推進します

【めざそう値：年度別推移】

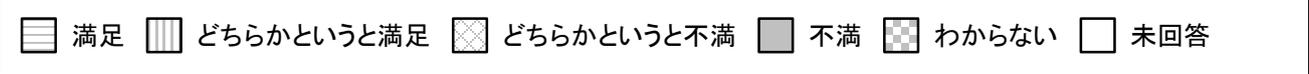
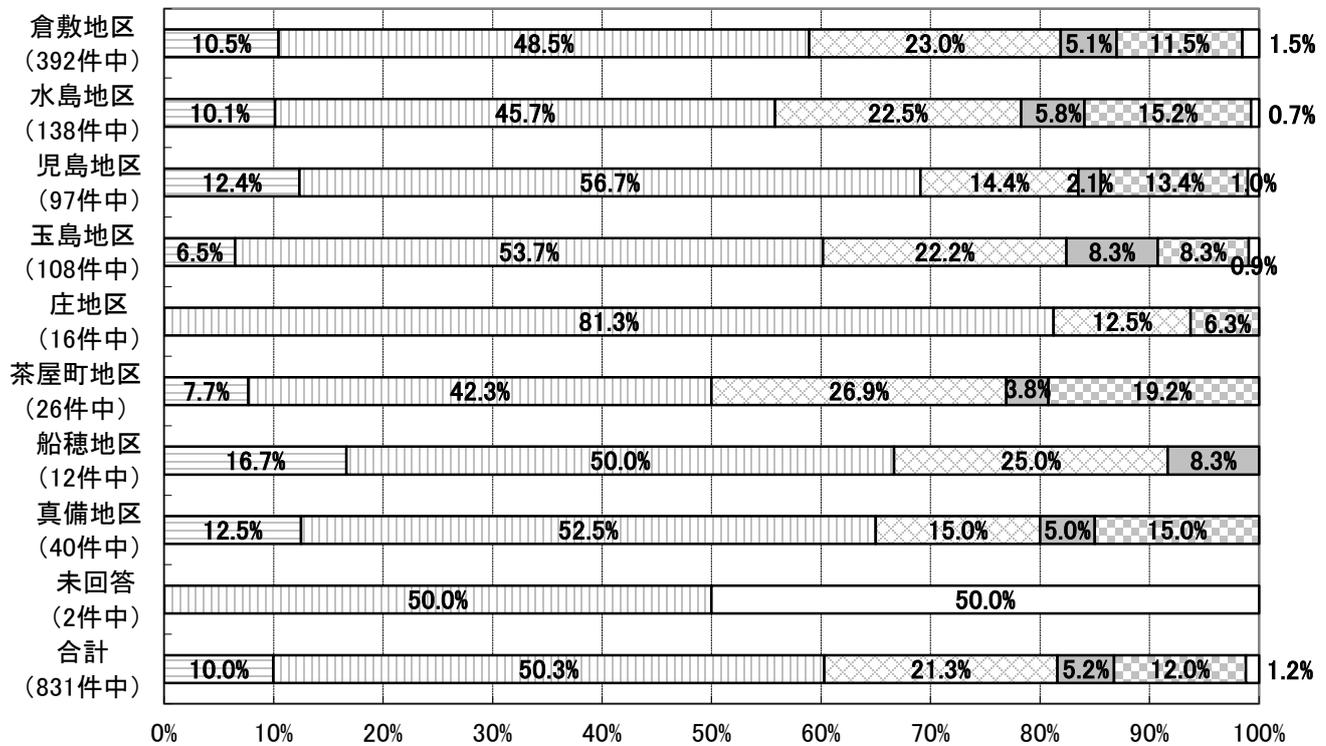
	H21 基準値	H28 (H27)	H27 目標値	H32 目標値
「満足」＋「どちらかという満足」人の割合	51.8%	60.3%(55.4)	57%	62%



【グラフ7:年齢別・回答構成比率】

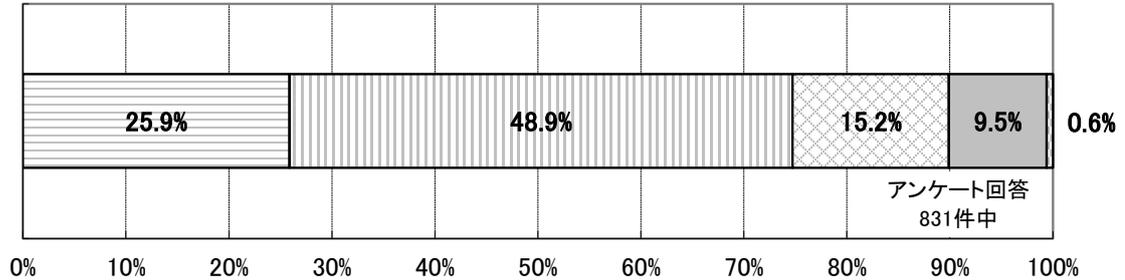


【グラフ7:地域別・回答構成比率】



《問8》 地産地消を心がけていますか。
 ※「地産地消」とは、「地域で生産されたものを地域で消費する」ことを言います。

【グラフ8：合計・回答構成比率】



心がけている

 どちらかという心がけている

 どちらかという心がけていない

 心がけていない

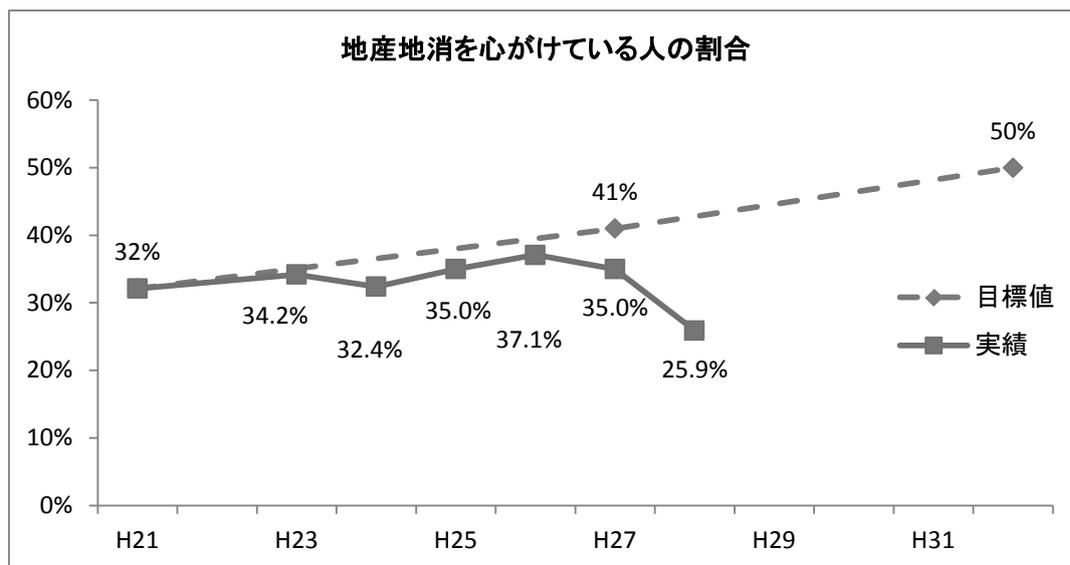
 未回答

【基本目標1分野別目標4（分野4）】

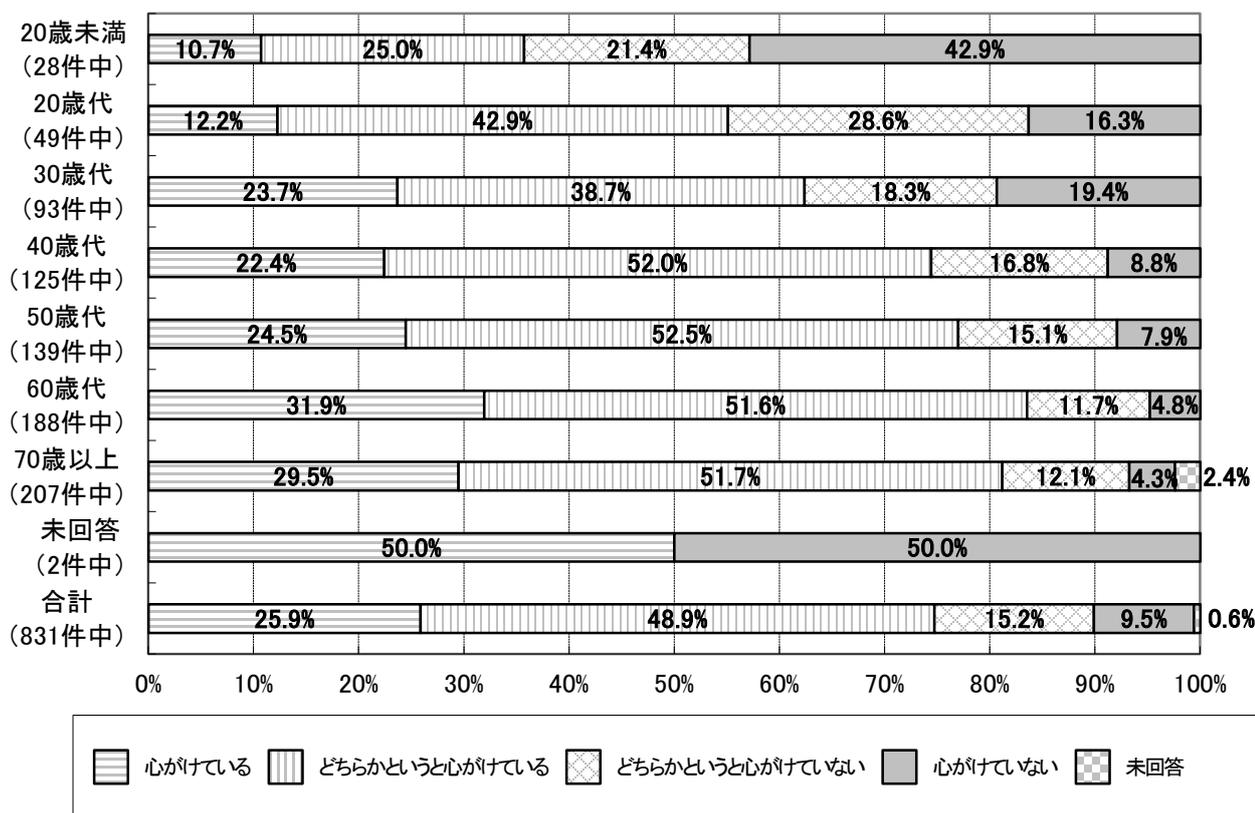
環境と地域の好循環の創出により、地域の活性化を目指します

【めざそう値：年度別推移】

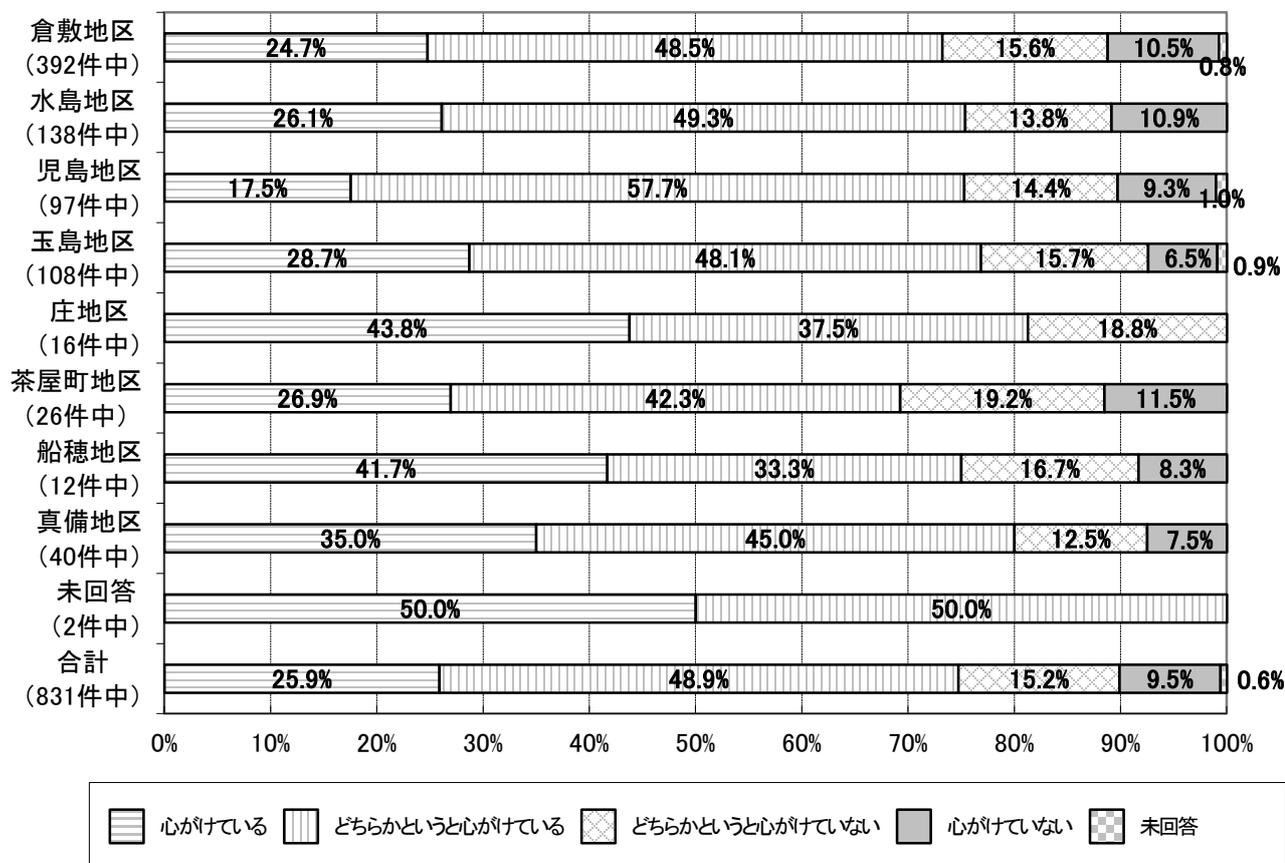
	H21 基準値	H28 (H27)	H27 目標値	H32 目標値
「心がけている」人の割合	32.1%	25.9%(35.0)	41%	50%



【グラフ8：年齢別・回答構成比率】

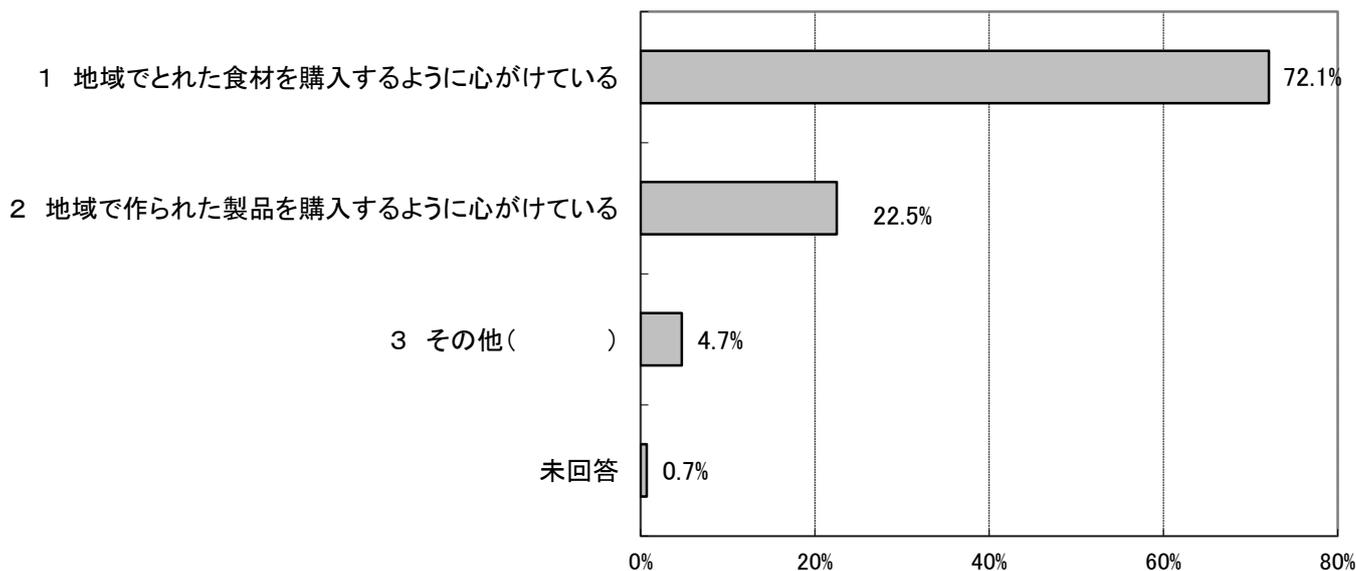


【グラフ8：地域別・回答構成比率】



《問8-1》問8で「1. 心がけている」と答えた方におたずねします。
 どのようなことに心がけていますか。(複数回答可)

【グラフ8-1:回答構成比率】



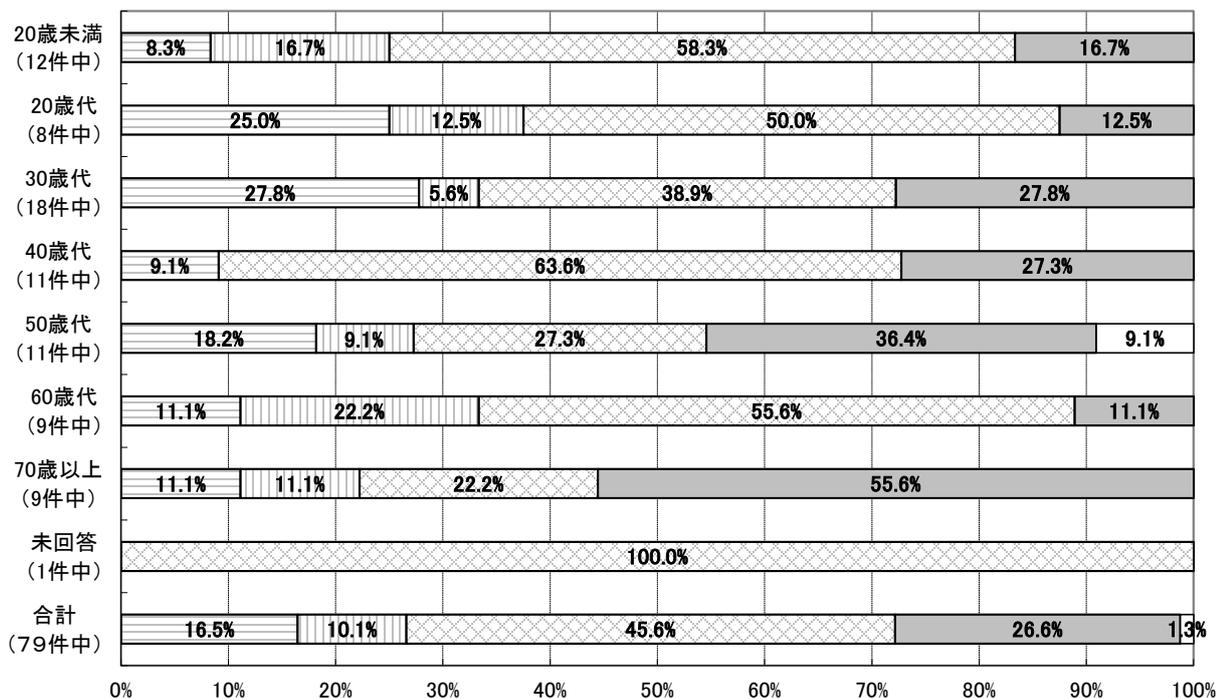
※その他(カッコ内回答)

	内容
1	自給自足
2	自分で野菜を作っている

※問8で「1. 心がけている」と答えた方は、215人でした。

《問8-2》問8で「4. 心がけていない」と答えた方におたずねします。心がけていない理由がありますか。

【グラフ8-2:年齢別・回答構成比率】



関心はあるが、何をしたいのかわからない

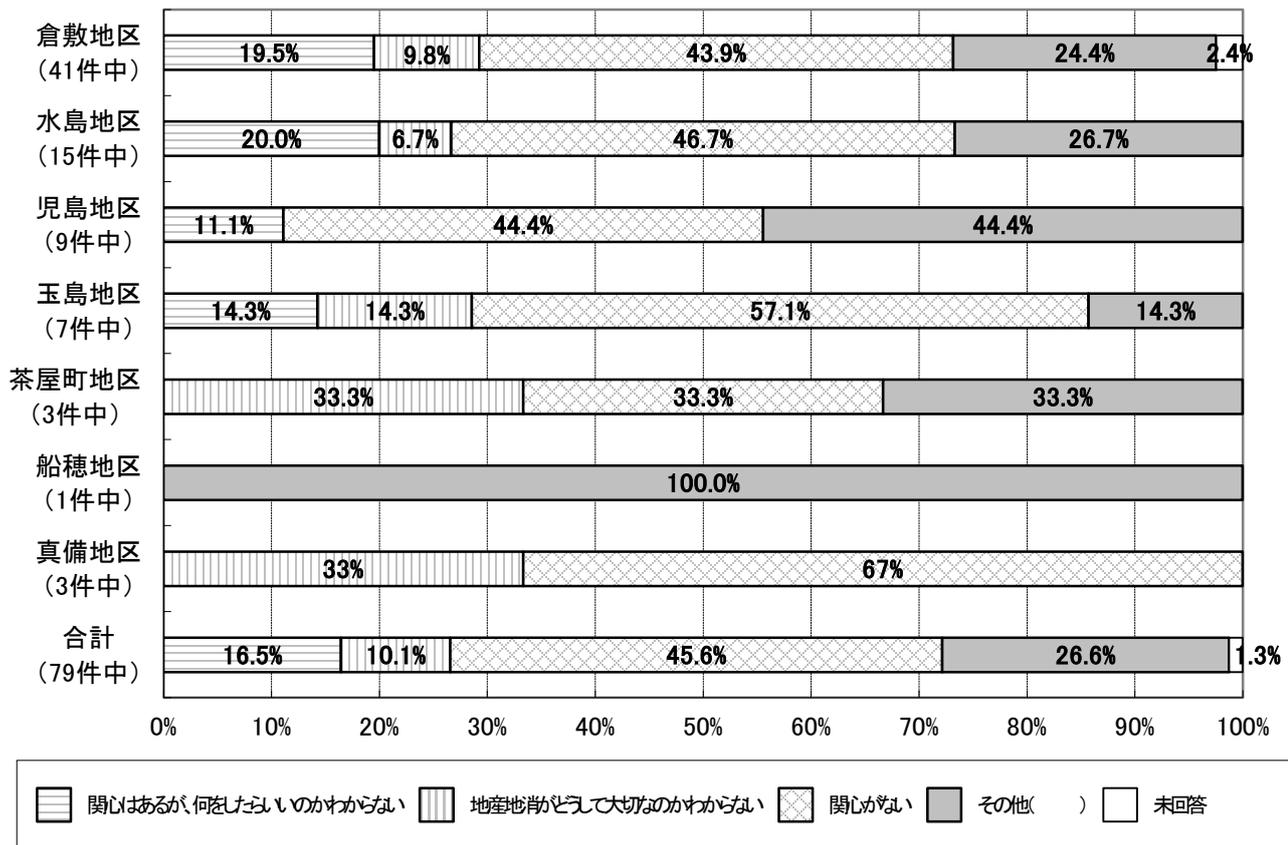
 地産地消がどうして大切なのかわからない

 関心がない

 その他()

 未回答

【グラフ8-2：地域別・回答構成比率】



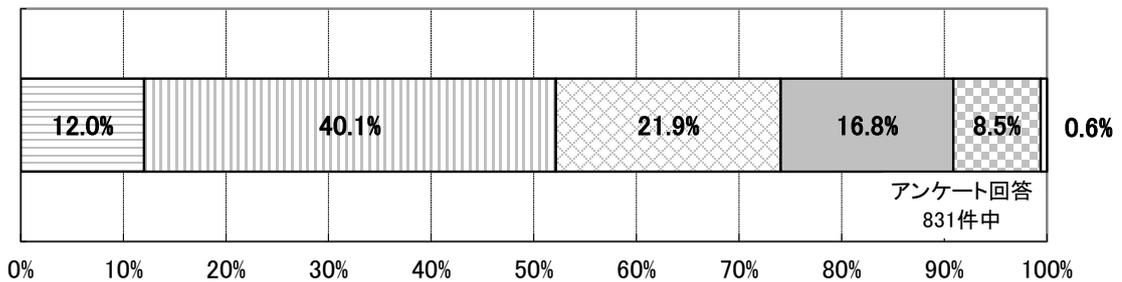
《問8-2》問8で「4. 心がけていない」と答えた方におたずねします。心がけていない理由がありますか。

※その他（カッコ内回答） 要約

	内容
1	手近で手に入りにくい
2	何があるかわからない
3	無関心
4	値段で決めているから
5	考える能力がない
6	地域でできた物を買いたいけど空気が悪いので不衛生に思う
7	すべて外食

《問9》 身近な空気がきれいに保たれていると感じていますか。

【グラフ9：合計・回答構成比率】



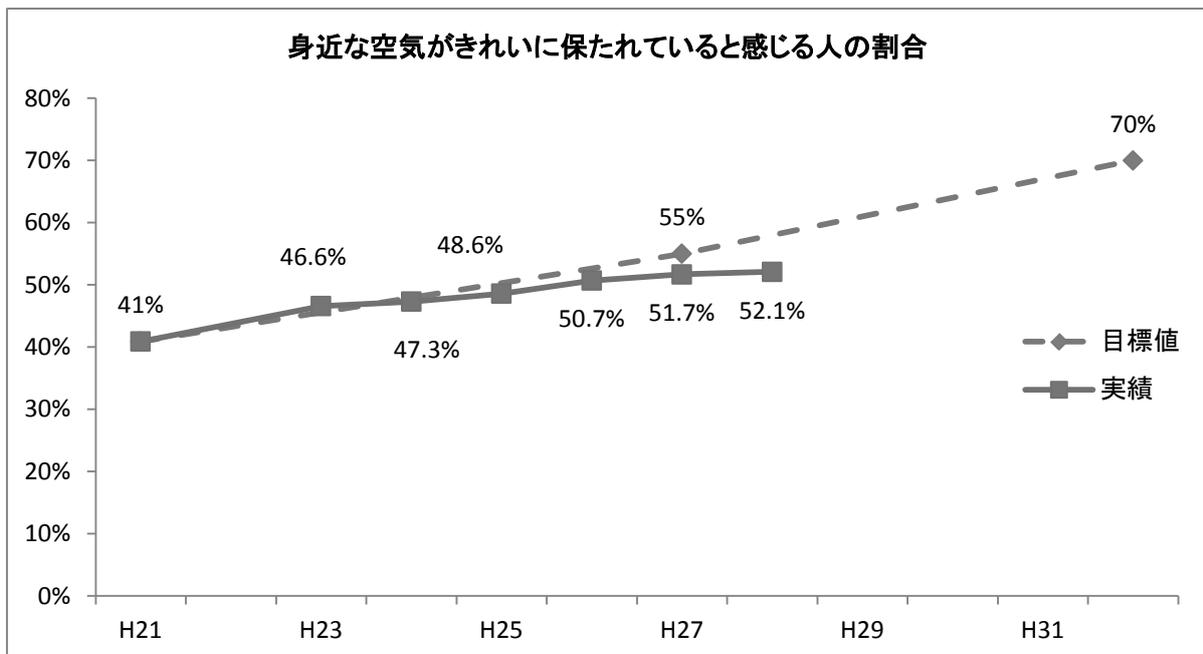
感じている
 どちらかとうと感じている
 どちらかとうと感じていない
 感じていない
 わからない
 未回答

【基本目標2分野別目標2（分野6）】

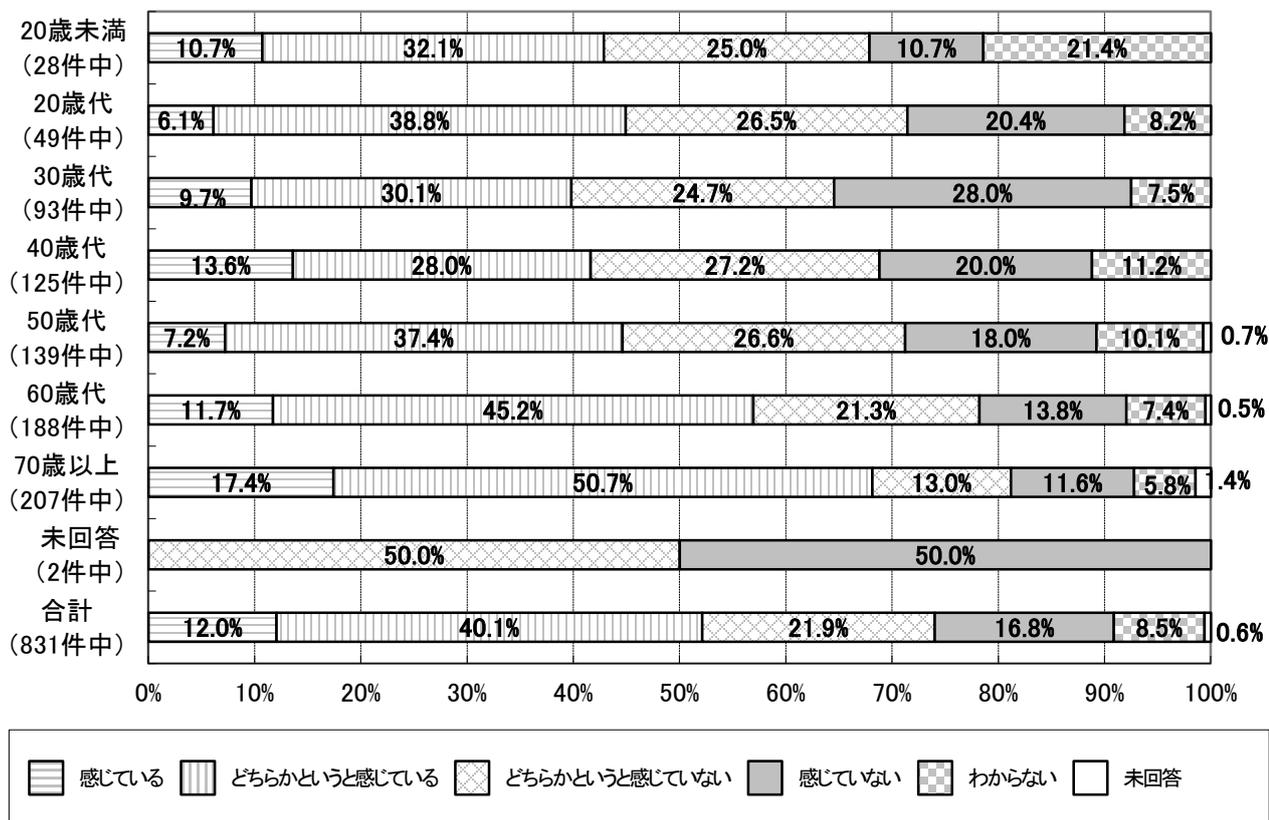
クリーンな大気環境の保全に努めます

【めざそう値：年度別推移】

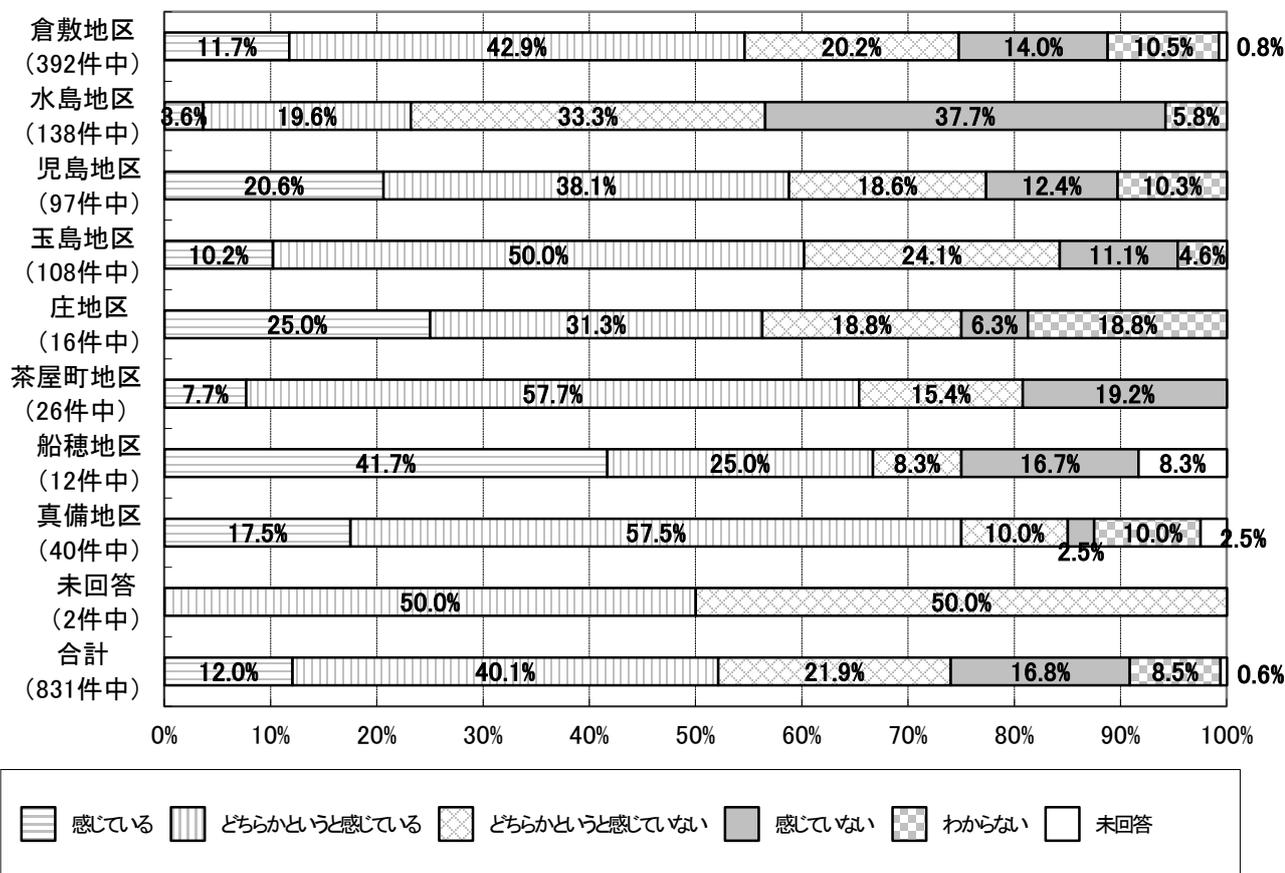
	H21 基準値	H28 (H27)	H27 目標値	H32 目標値
「感じている」+「どちらかとうと感じている」人の割合	40.9%	52.1%(51.7)	55%	70%



【グラフ9：年齢別・回答構成比率】

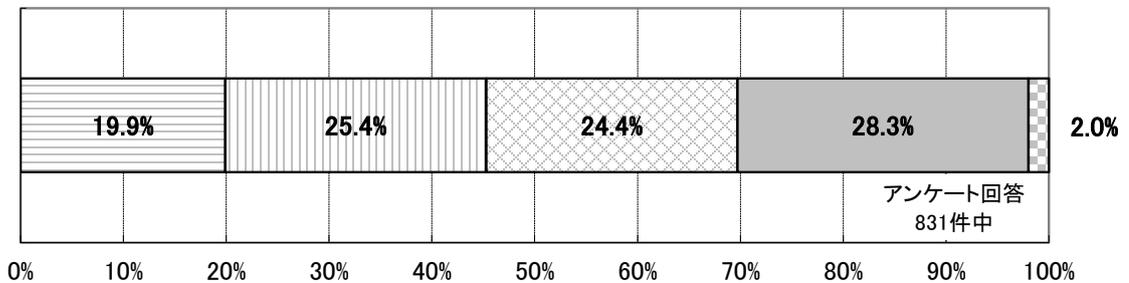


【グラフ9：地域別・回答構成比率】



《問10》 通勤通学や日常の移動手段として、自転車・徒歩や公共交通機関を利用していますか。※車の使用を控えることで、CO₂削減による地球温暖化防止や排気ガス削減による大気汚染の防止につながります。

【グラフ10：合計・回答構成比率】



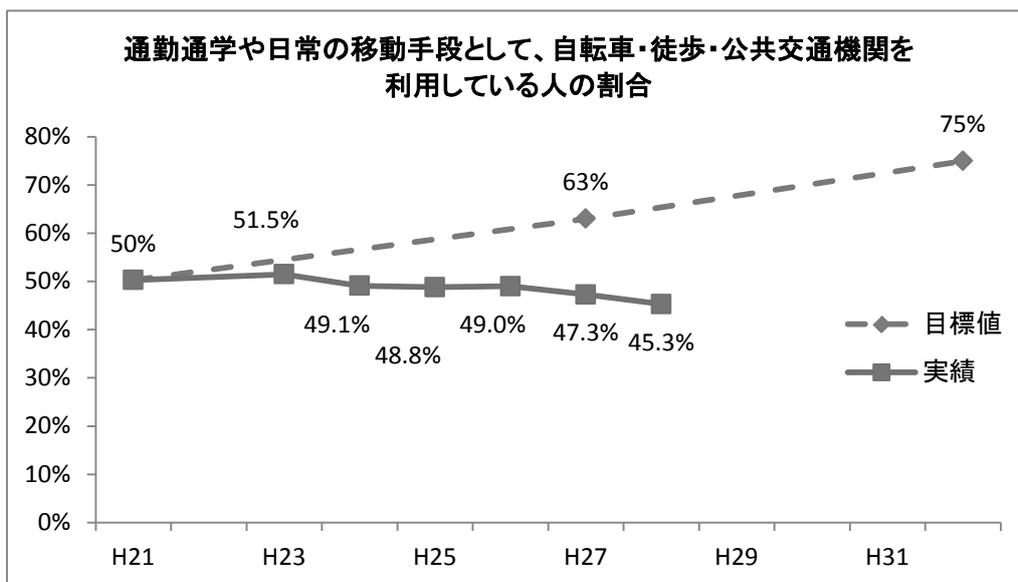
常に行っている

【基本目標2分野別目標2（分野6）】

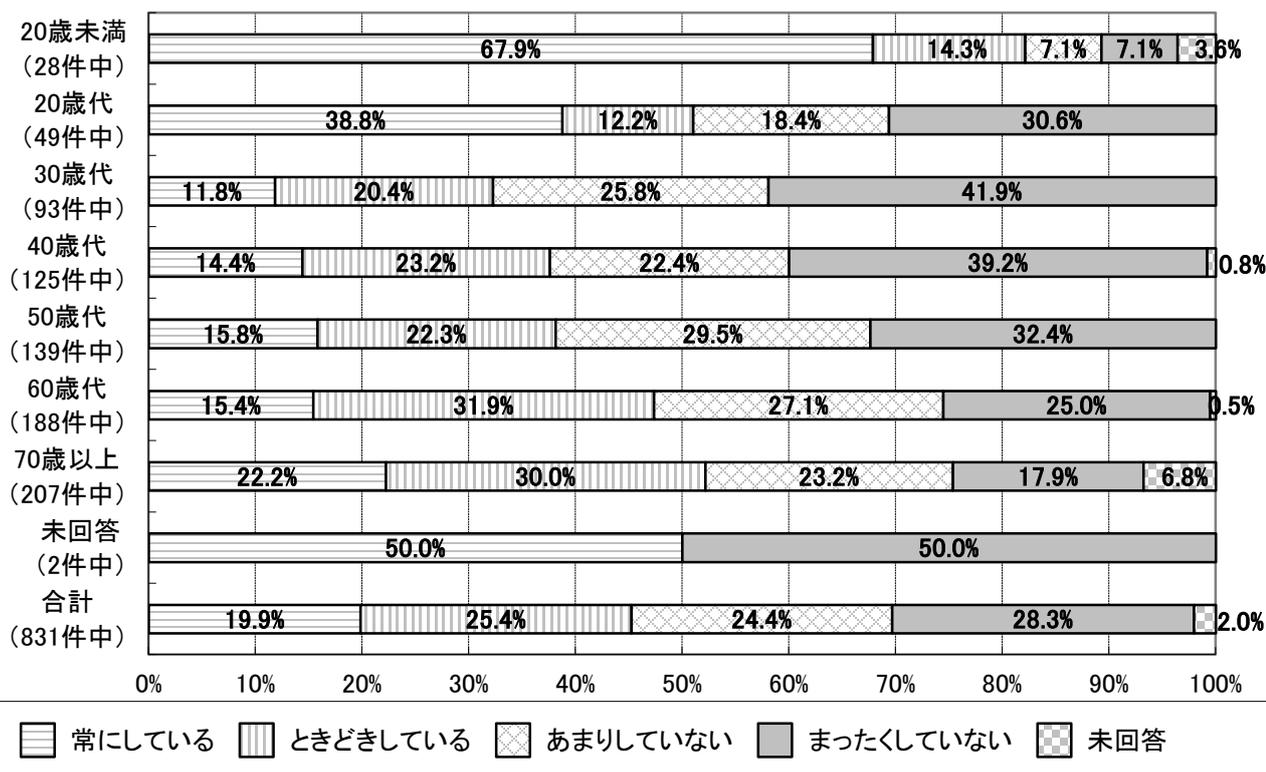
クリーンな大気環境の保全に努めます

【めざそう値：年度別推移】

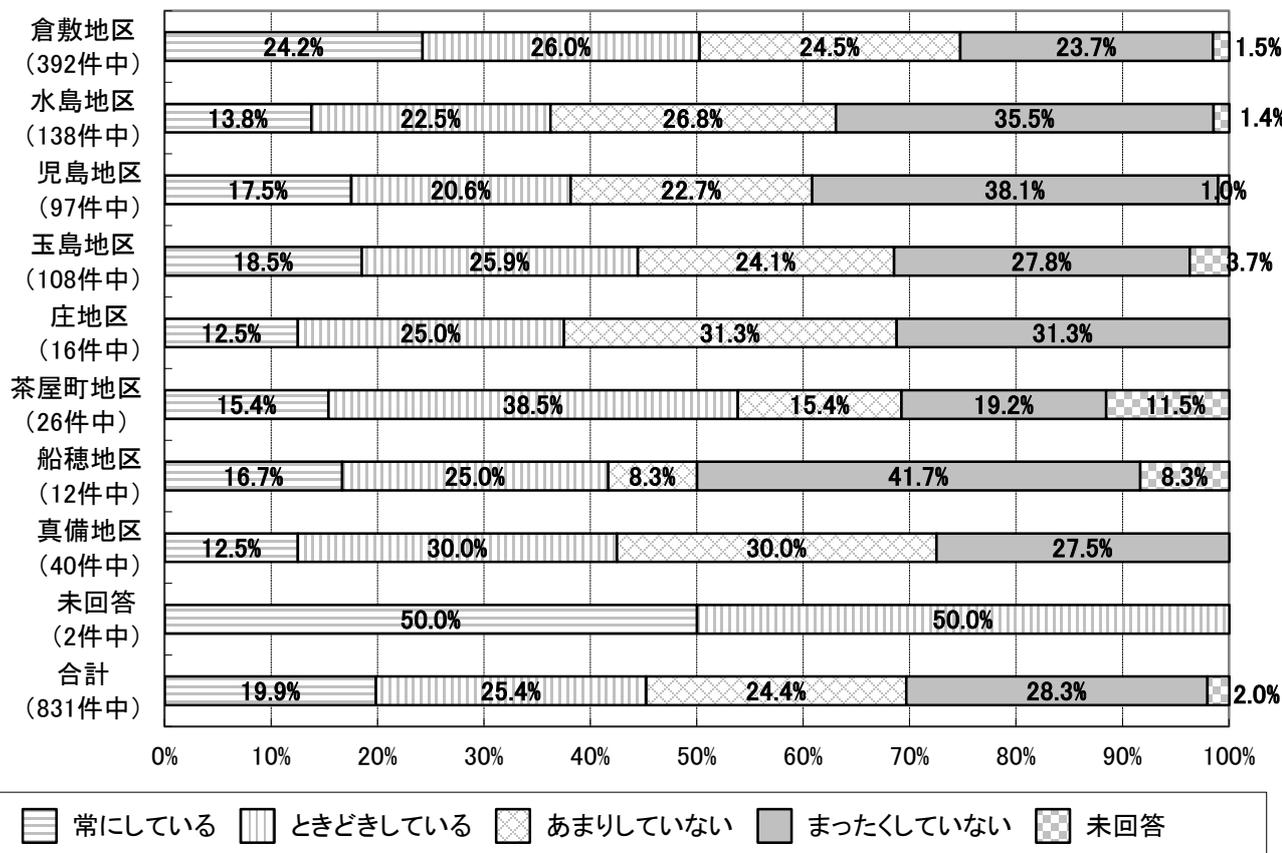
	H21 基準値	H28 (H27)	H27 目標値	H32 目標値
「常に行っている」+「ときどきしている」人の割合	50.3%	45.3%(47.3)	63%	75%



【グラフ10：年齢別・回答構成比率】

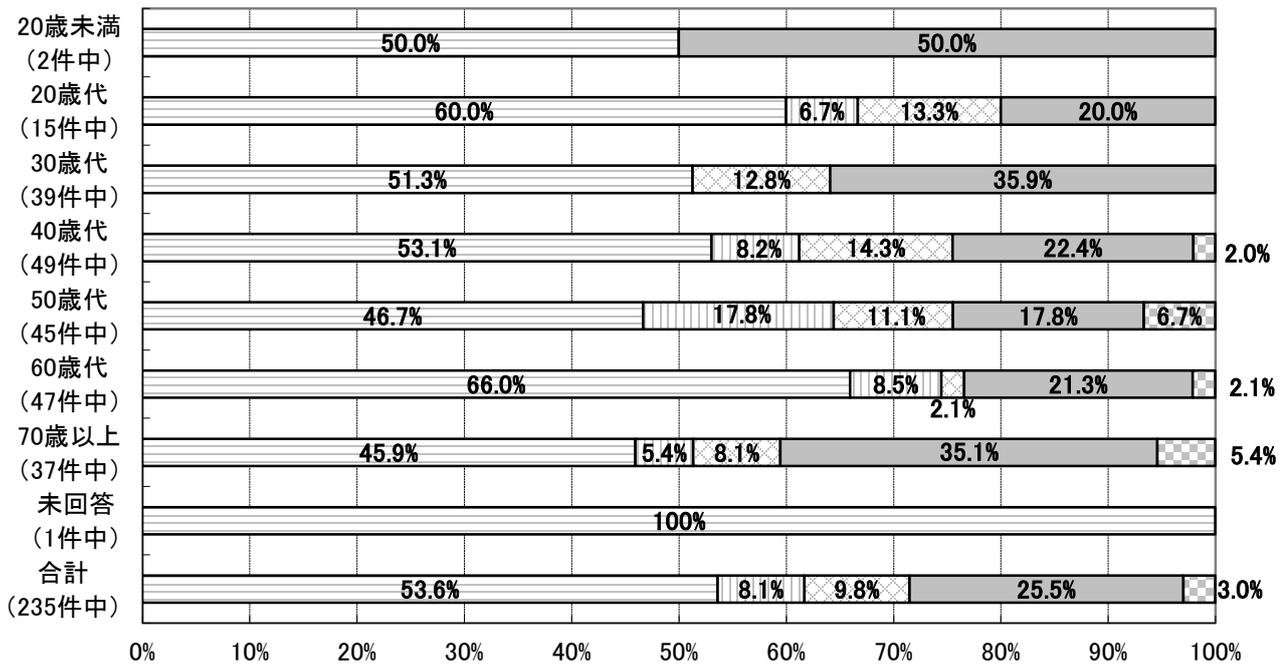


【グラフ10：地域別・回答構成比率】



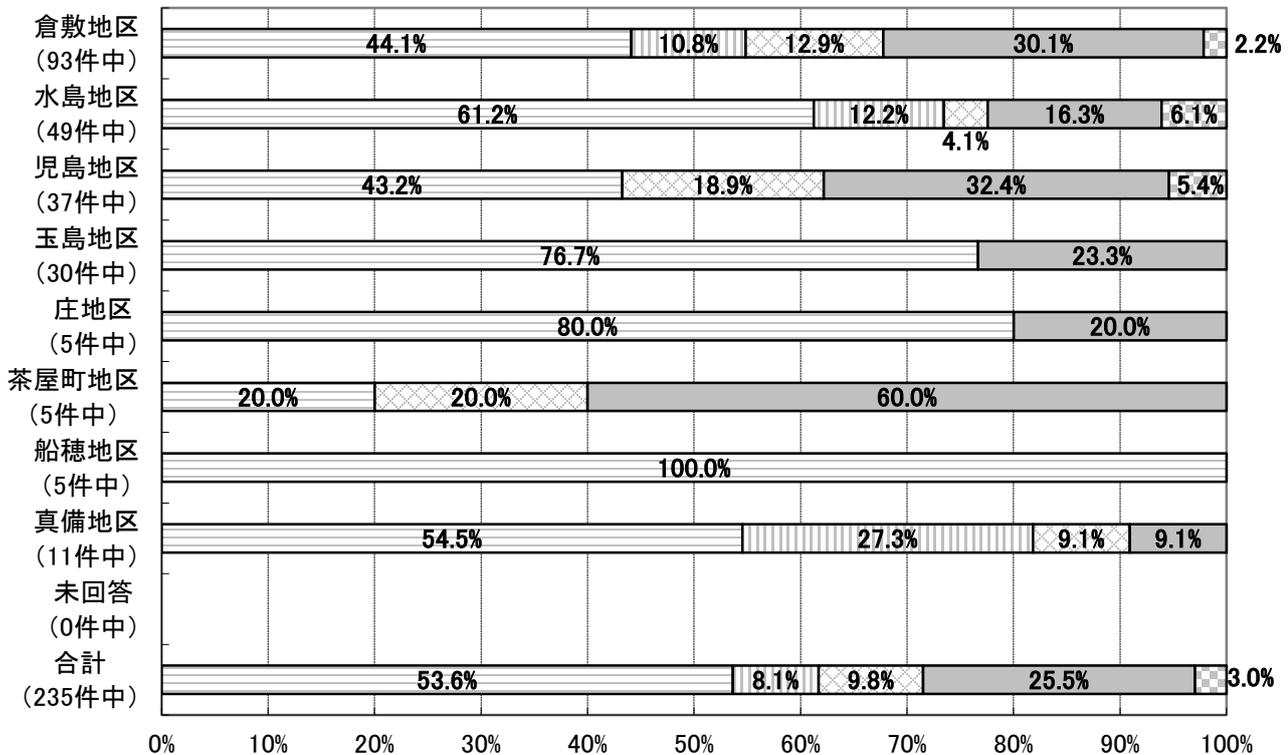
《問10-1》問10で「4. まったくしていない」と答えた方におたずねします。
していない理由がありますか。

【グラフ10-1:年齢別・回答構成比率】



利用しないが、利用できる公共交通機関がない
 車の使用を控えることで特ご効果があると思わない
 関心が無い
 その他()
 未回答

【グラフ10-1:地域別・回答構成比率】



利用しないが、利用できる公共交通機関がない
 車の使用を控えることで特ご効果があると思わない
 関心が無い
 その他()
 未回答

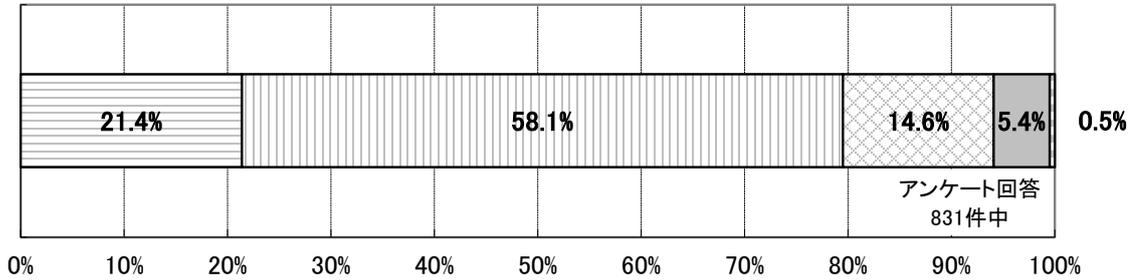
《問10-1》問10で「4. まったくしていない」と答えた方におたずねします。
していない理由がありますか。

※その他(カッコ内回答) 要約

	内容
1	時間に余裕がない
2	不便
3	体の都合
4	公共交通機関の時間が合わない
5	高齢のため
6	坂道が多いから
7	仕事の都合
8	環境対応車に乗っている
9	小さい子供がいて荷物が多いから

《問 1 1》 日頃の生活の中で、水環境の改善（水や水辺を汚さない、きれいにする）を意識して行動していますか。

【グラフ 1 1 : 合計・回答構成比率】



いつもしている

 どちらかというとしている

 どちらかというとしていない

 していない

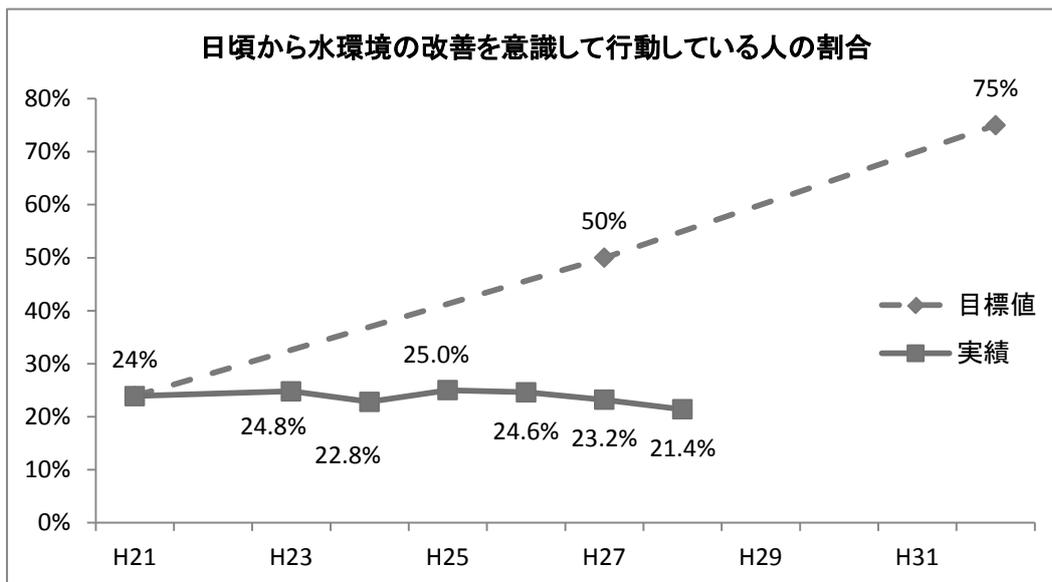
 未回答

【基本目標 2 分野別目標 1（分野 5）】

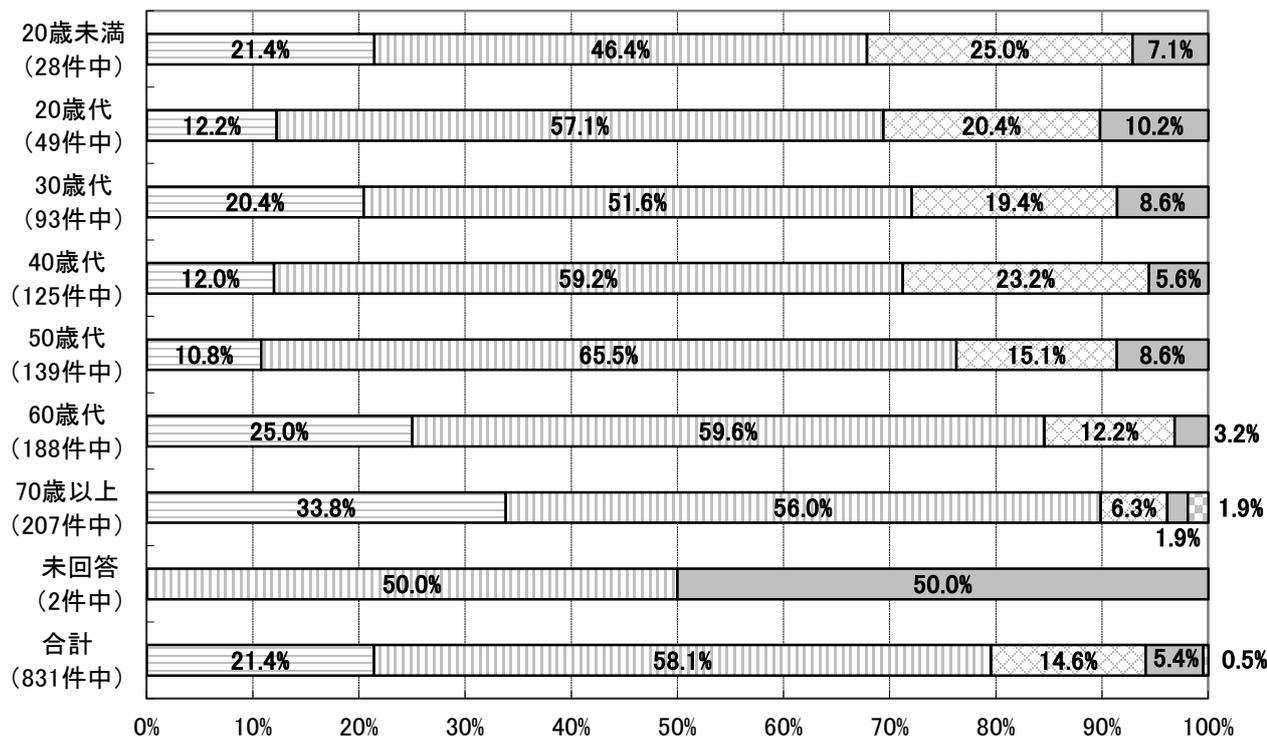
良好な水環境の保全に努めます

【めざそう値：年度別推移】

	H21 基準値	H28 (H27)	H27 目標値	H32 目標値
「いつもしている」人の割合	23.9%	21.4%(23.2)	50%	75%



【グラフ11：年齢別・回答構成比率】



いつもしている

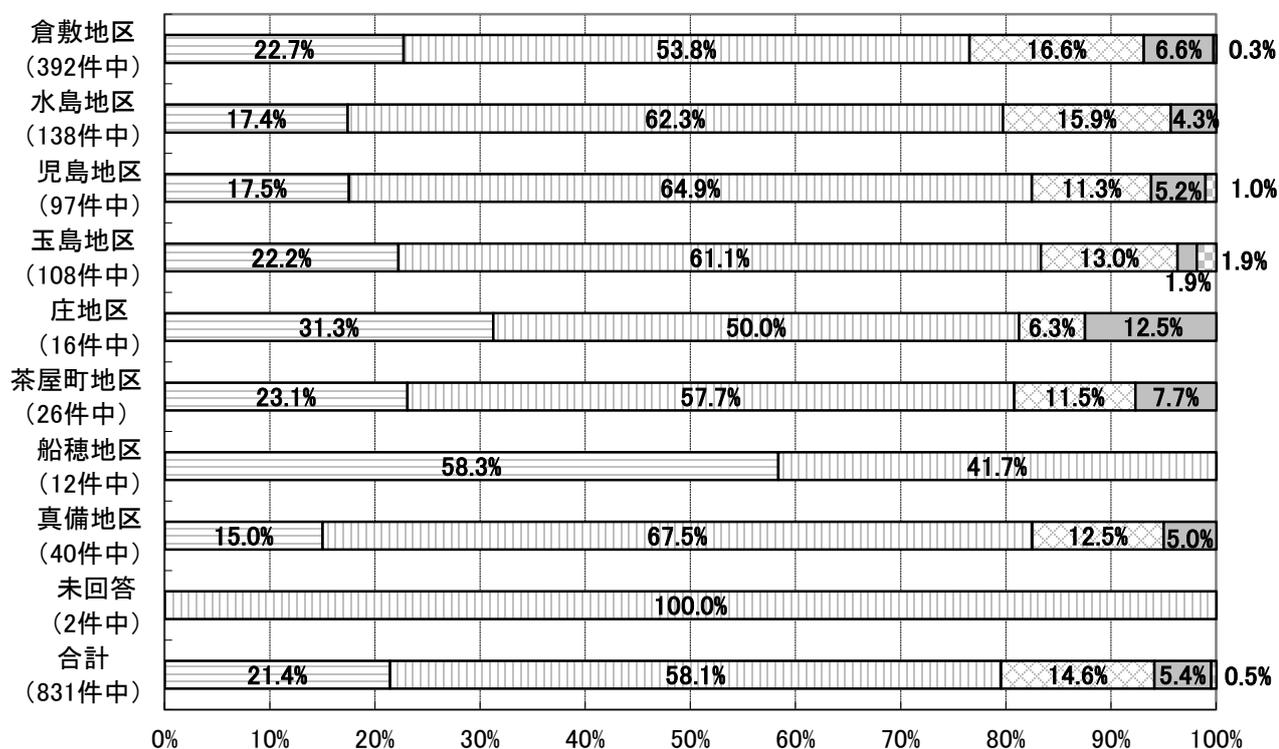
 どちらかというとしている

 どちらかというとしていない

 していない

 未回答

【グラフ11：地域別・回答構成比率】



いつもしている

 どちらかというとしている

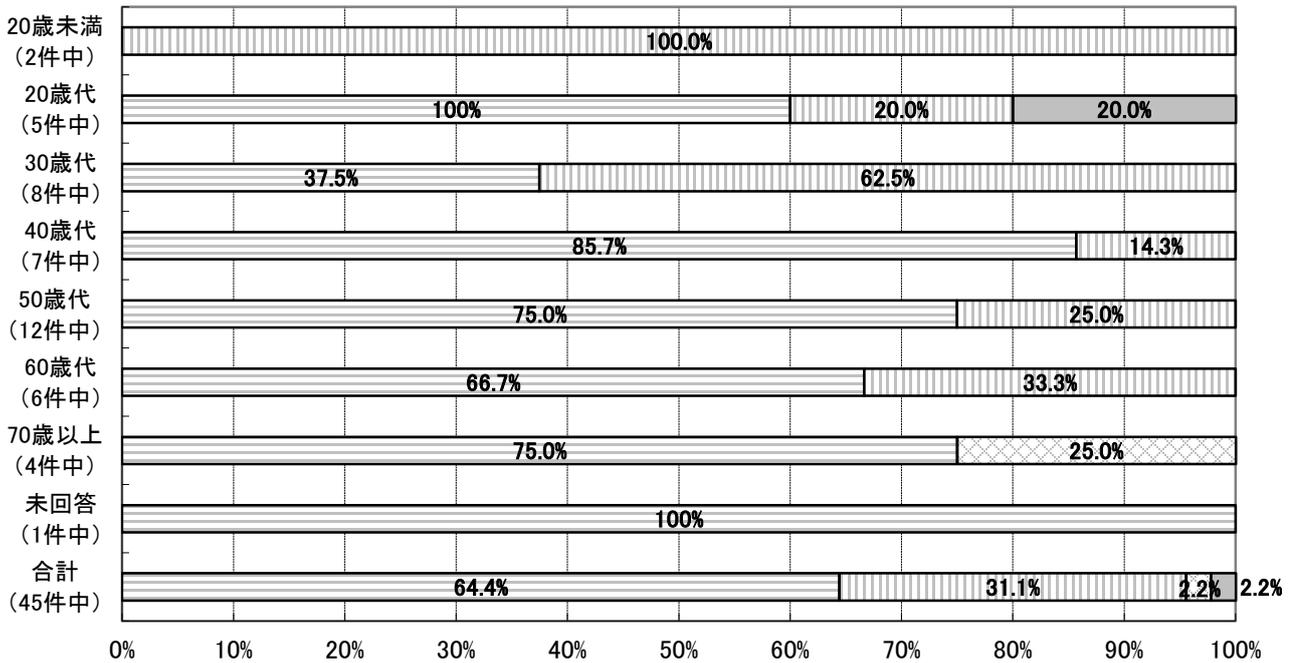
 どちらかというとしていない

 していない

 未回答

《問11-1》問11で「4. していない」と答えた方におたずねします。
 していない理由がありますか。

【グラフ11-1:年齢別・回答構成比率】



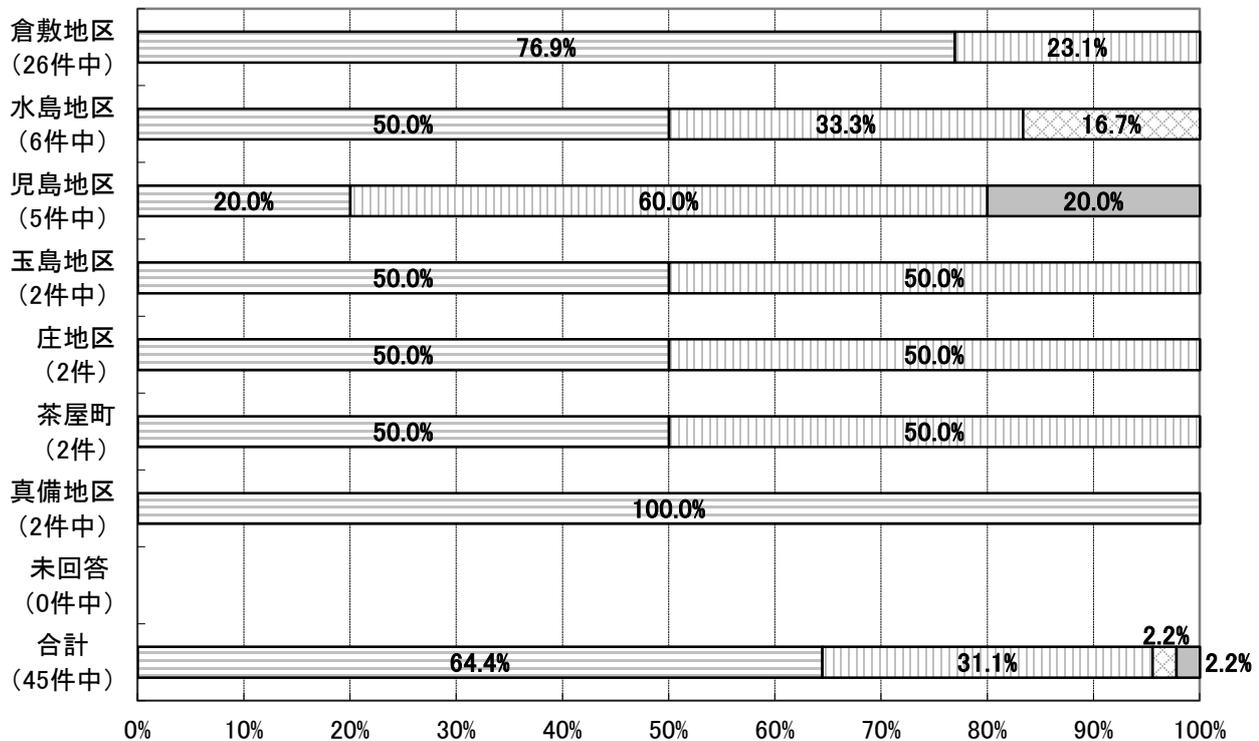
日頃の生活の中でどのようなことをしているのかわからない

 関心がない

 その他()

 未回答

【グラフ11-1:地域別・回答構成比率】



日頃の生活の中でどのようなことをしているのかわからない

 関心がない

 その他()

 未回答

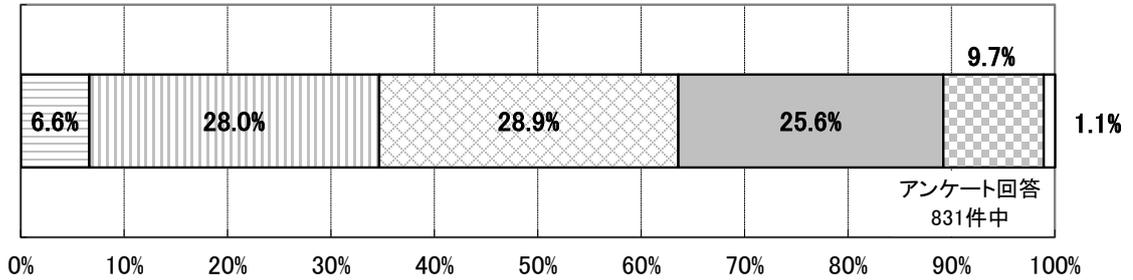
《問11-1》問11で「4. していない」と答えた方におたずねします。
していない理由がありますか。

※その他(カッコ内回答)

	内容
1	病気

《問12》 身近な河川・用水路がきれいで流れ豊かな水辺になっていると感じていますか。

【グラフ12：合計・回答構成比率】



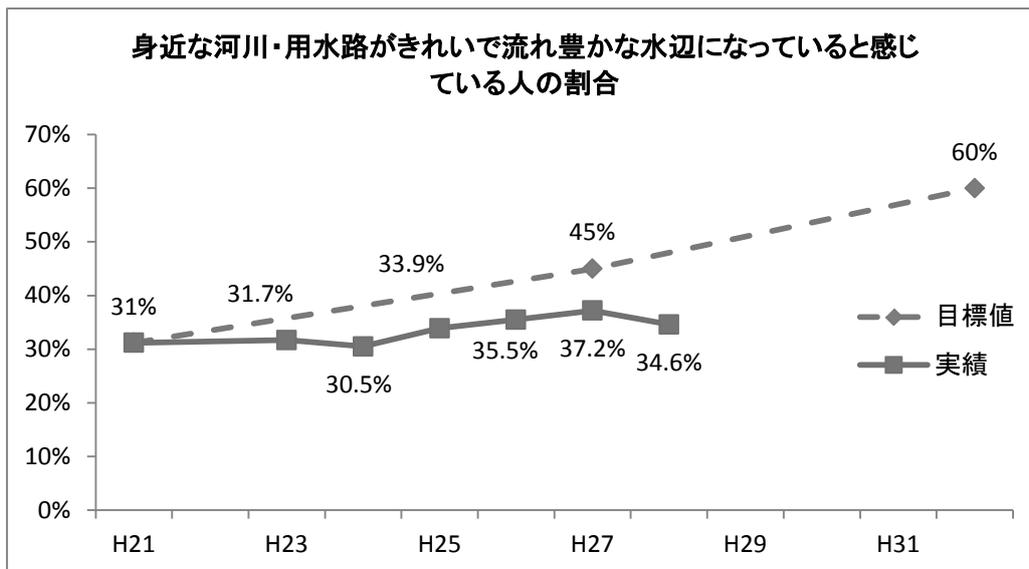
感じている
 どちらかというと感じている
 どちらかというと感じていない
 感じていない
 わからない
 未回答

【基本目標2分野別目標1（分野5）】

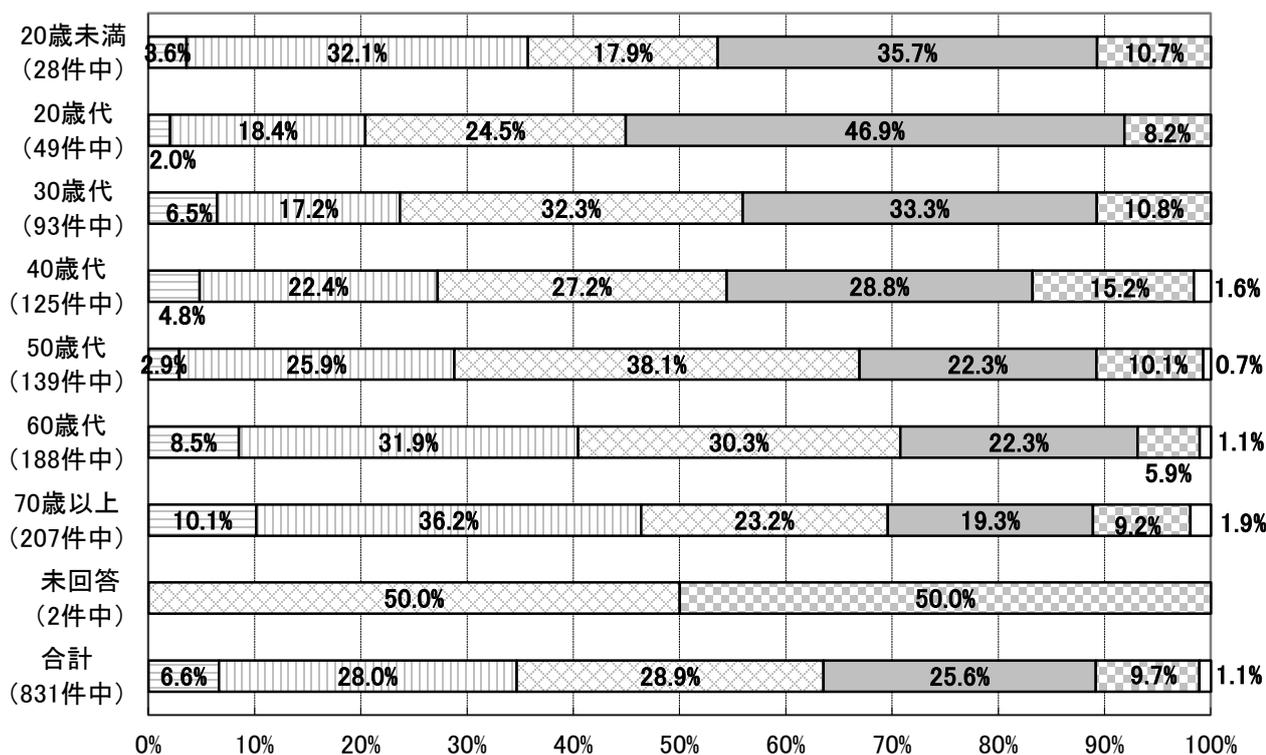
良好な水環境の保全に努めます

【めざそう値：年度別推移】

	H21 基準値	H28 (H27)	H27 目標値	H32 目標値
「感じている」+「どちらかというと感じている」人の割合	31.2%	34.6%(37.2)	45%	60%

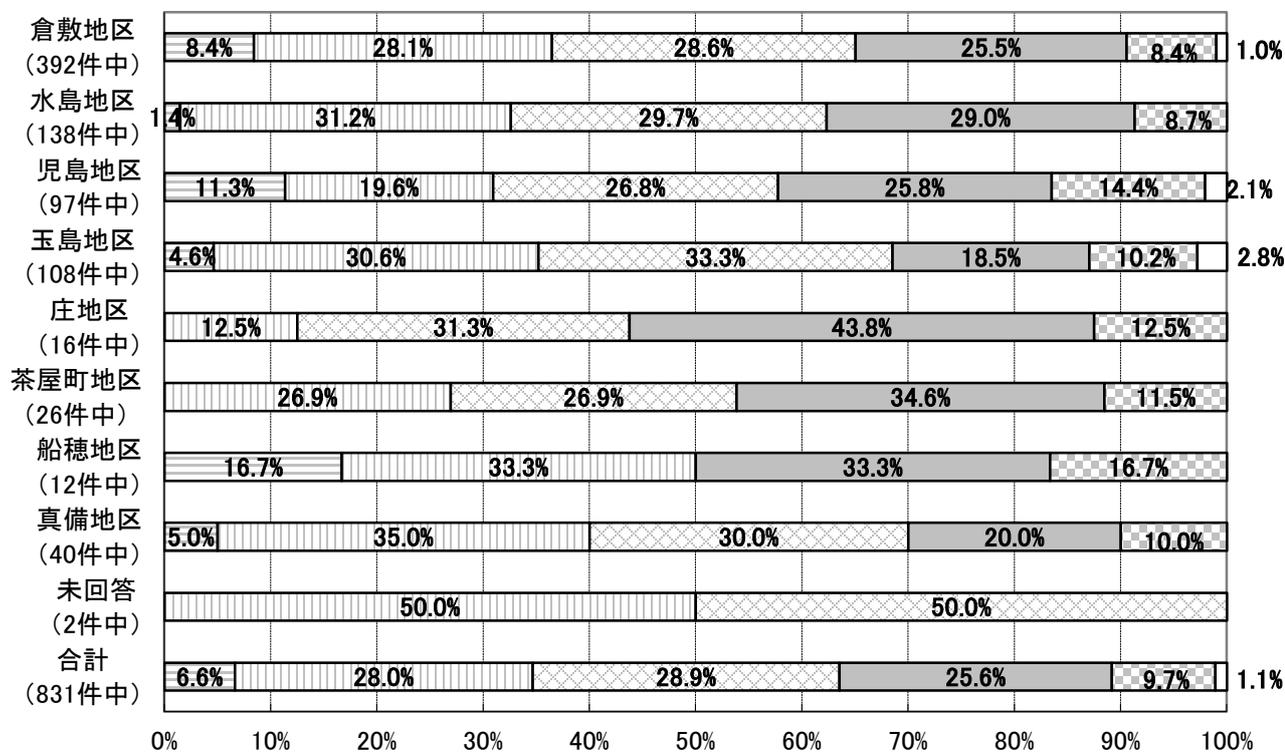


【グラフ12：年齢別・回答構成比率】



感じている
 どちらかというと感じている
 どちらかというと感じていない
 感じていない
 わからない
 未回答

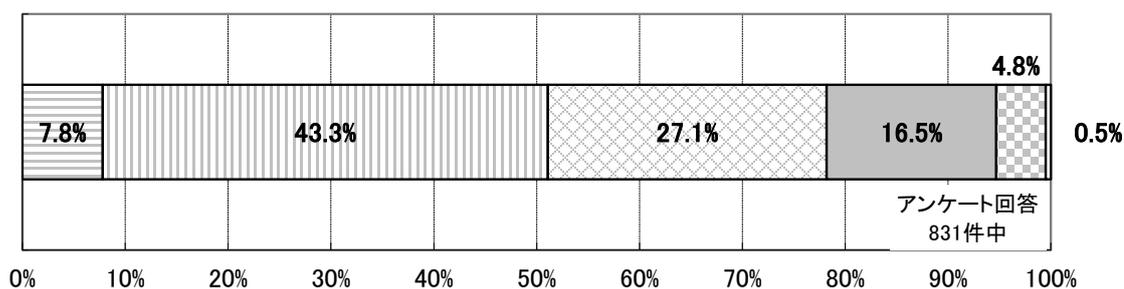
【グラフ12：地域別・回答構成比率】



感じている
 どちらかというと感じている
 どちらかというと感じていない
 感じていない
 わからない
 未回答

《問13》 ごみが無く、まちがきれいに清掃されていると感じていますか。

【グラフ13：合計・回答構成比率】



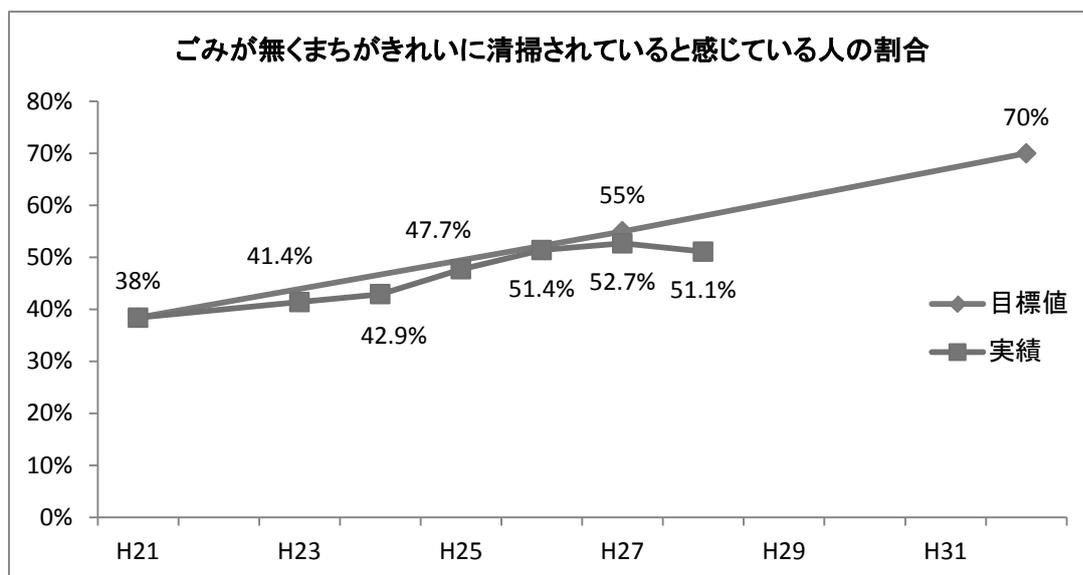
感じている
 どちらかというと感じている
 どちらかというと感じていない
 感じていない
 わからない
 未回答

【基本目標2分野別目標3（分野7）】

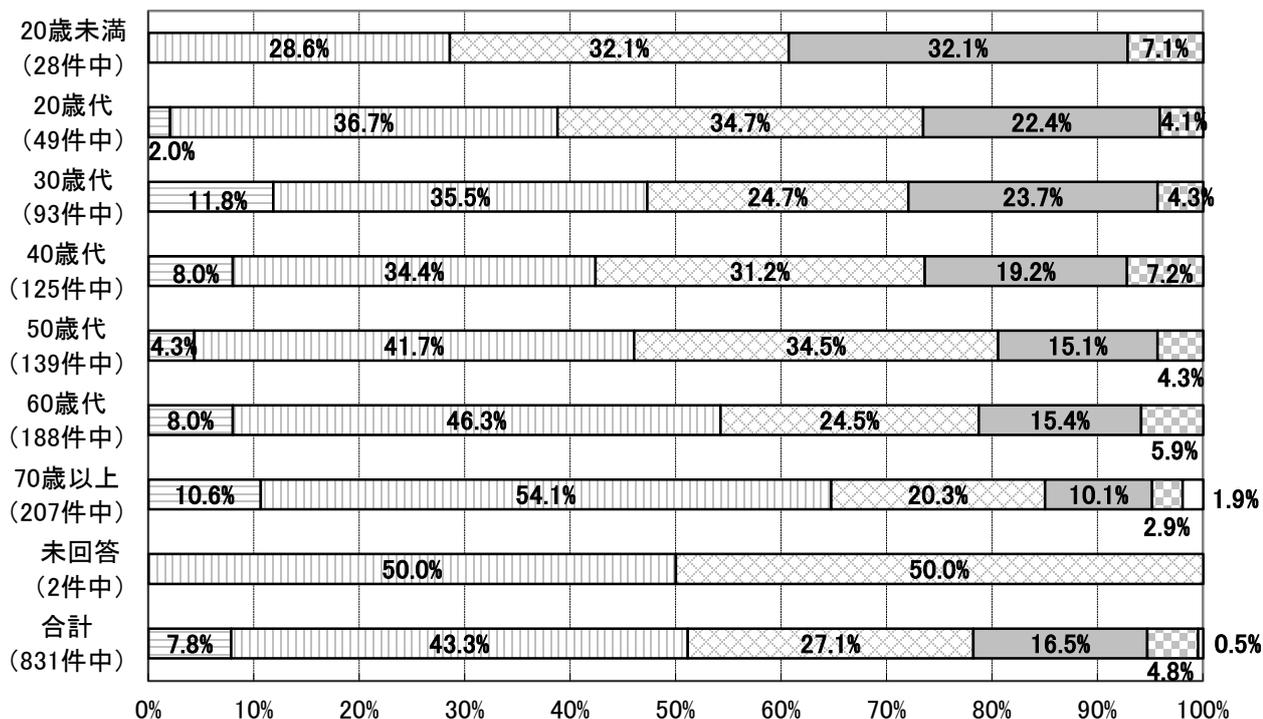
安心・安全な生活環境の実現に努めます

【めざそう値：年度別推移】

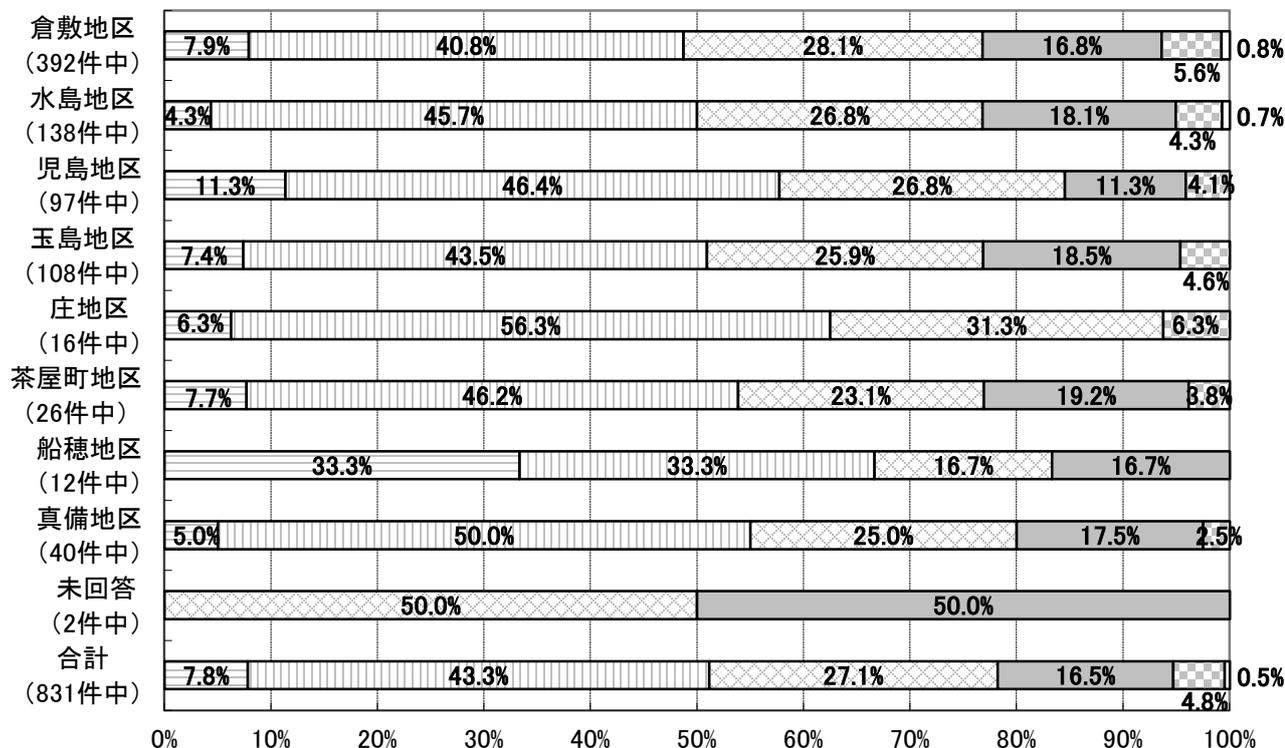
	H21 基準値	H28 (H27)	H27 目標値	H32 目標値
「感じている」+「どちらかというと感じている」人の割合	38.4%	51.1%(52.7)	55%	70%



【グラフ13：年齢別・回答構成比率】

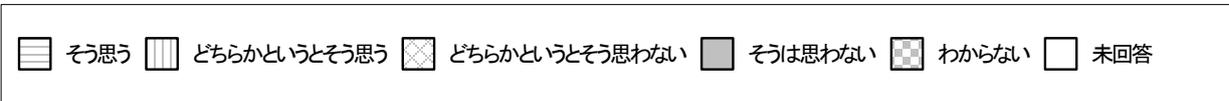
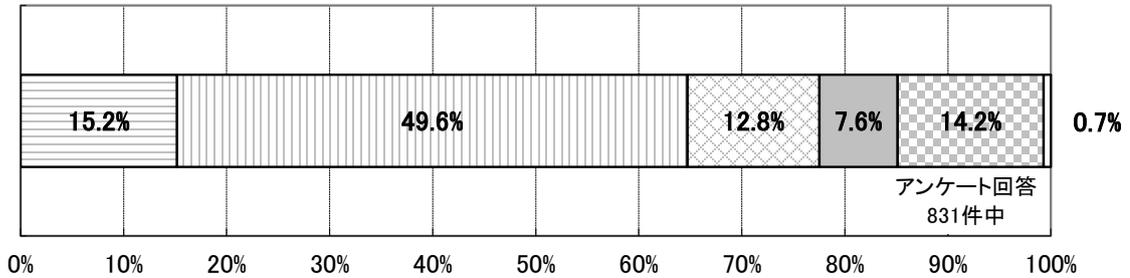


【グラフ13：地域別・回答構成比率】



《問14》 環境基準を守るための取組により、心身ともに健康に暮らせていると思いますか。
 ※人の健康の保護及び生活環境の保全のうえで維持されることが望ましい基準として、行政上の政策目標を定めたものが環境基準です。現在は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音について定められています。市はその目標の確保を図るために各施策を総合的に実施しています。

【グラフ14：合計・回答構成比率】

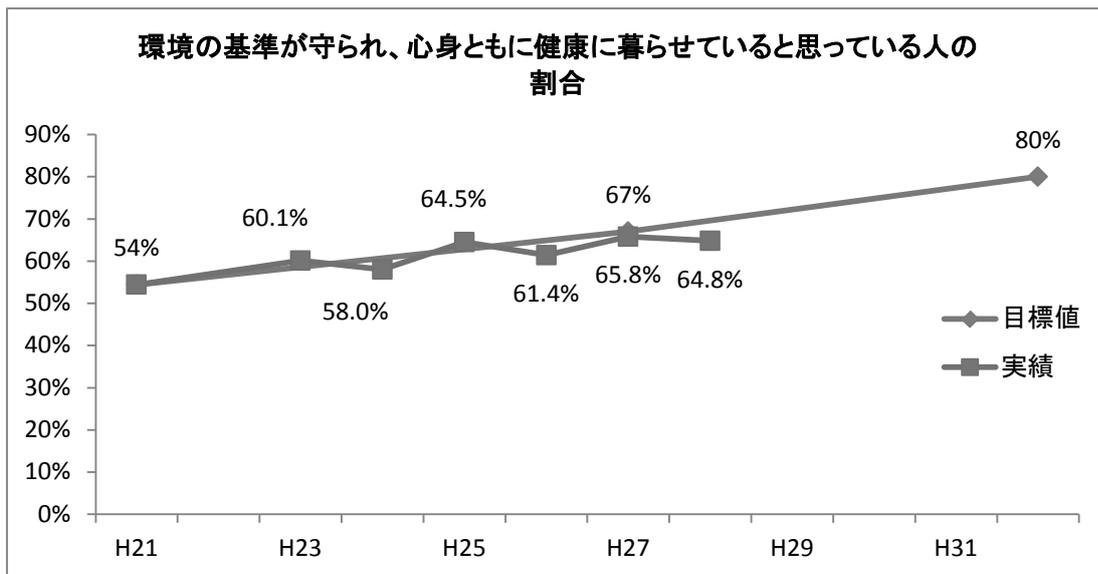


【基本目標2分野別目標3（分野7）】

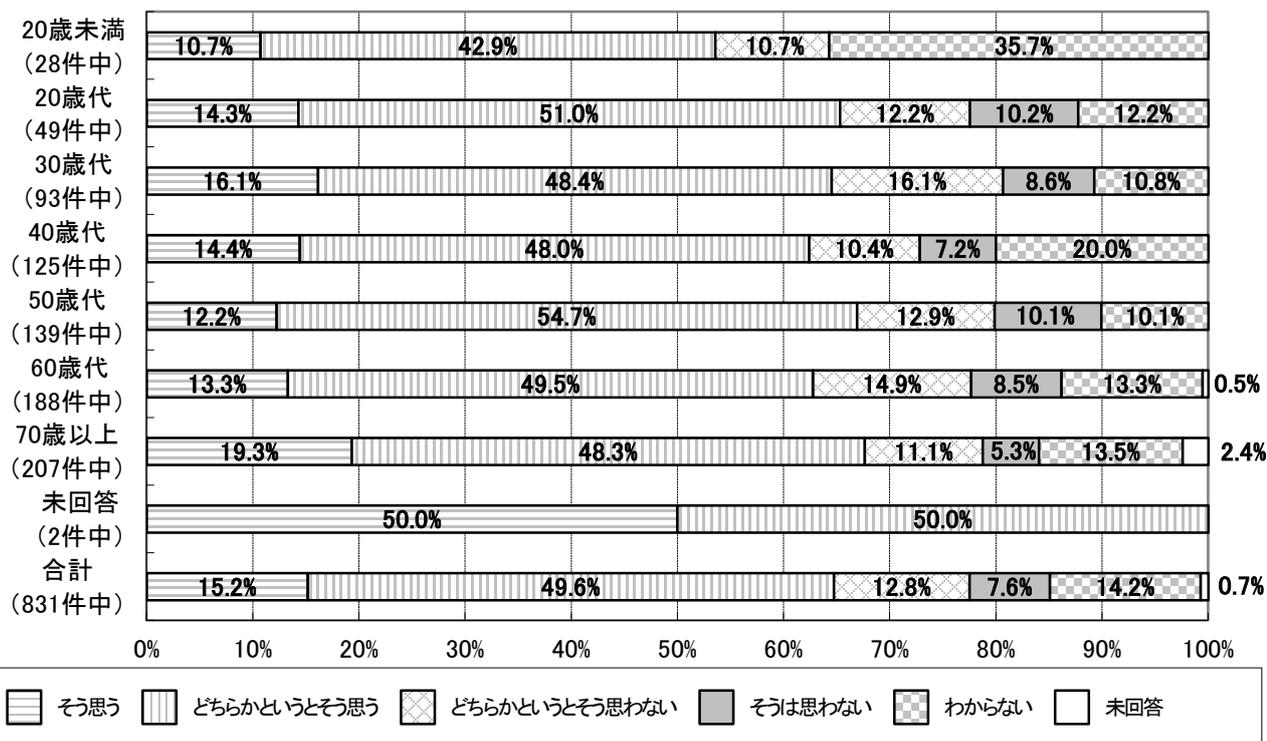
安心・安全な生活環境の実現に努めます

【めざそう値：年度別推移】

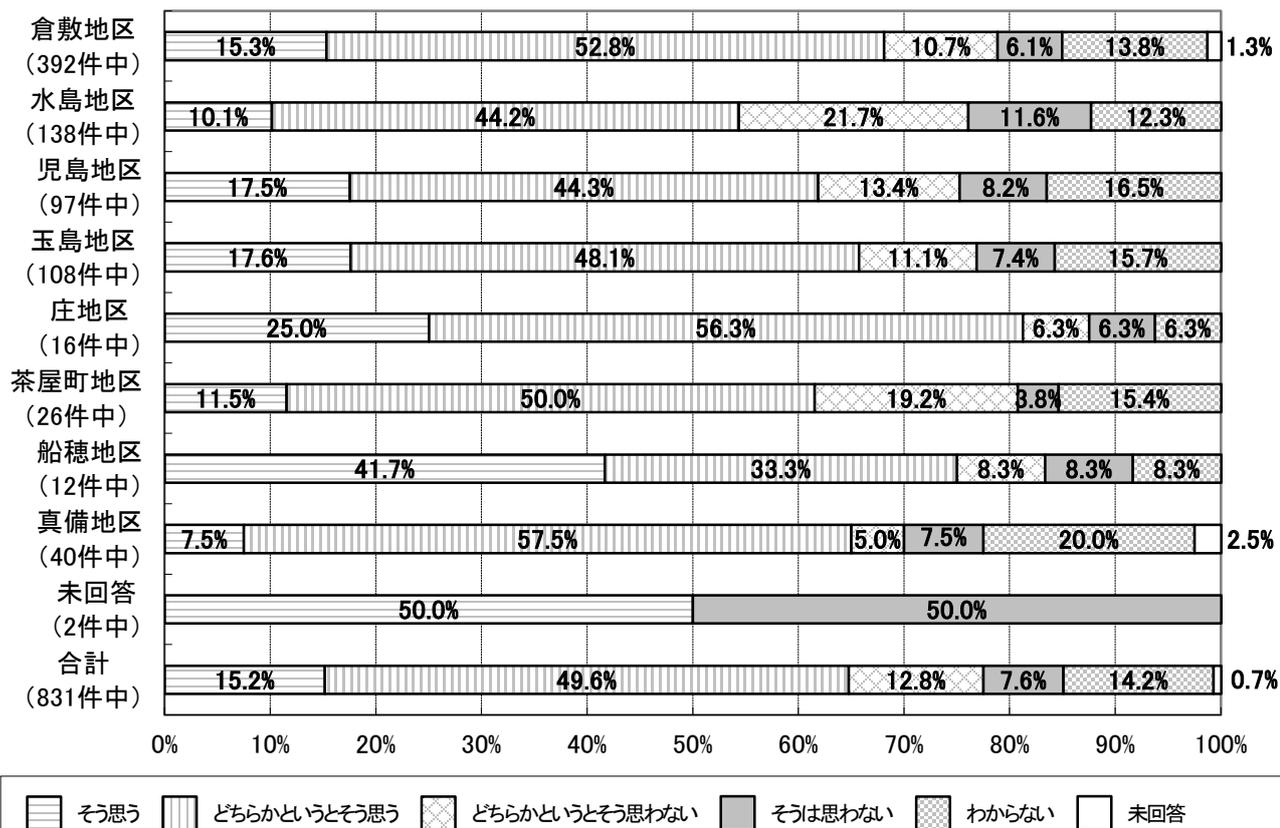
	H21 基準値	H28 (H27)	H27 目標値	H32 目標値
「そう思う」+「どちらかというと思う」人の割合	54.4%	64.8%(65.8)	67%	80%



【グラフ14：年齢別・回答構成比率】

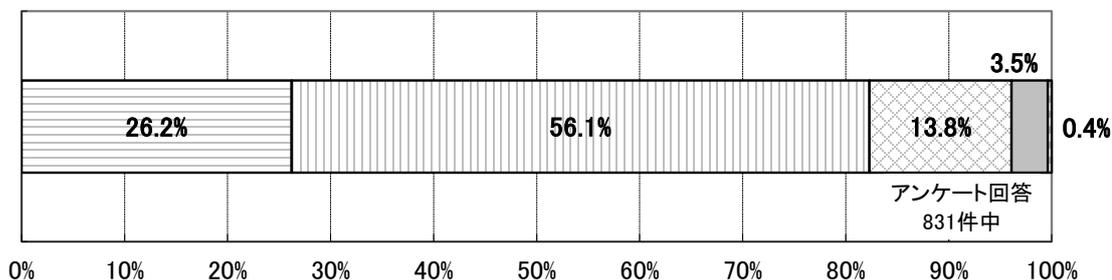


【グラフ14：地域別・回答構成比率】



《問15》 あなたは、ごみの発生及び排出の抑制に配慮した行動をしていますか。

【グラフ15：合計・回答構成比率】



いつもしている

 どちらかというとしている

 どちらかというとしていない

 していない

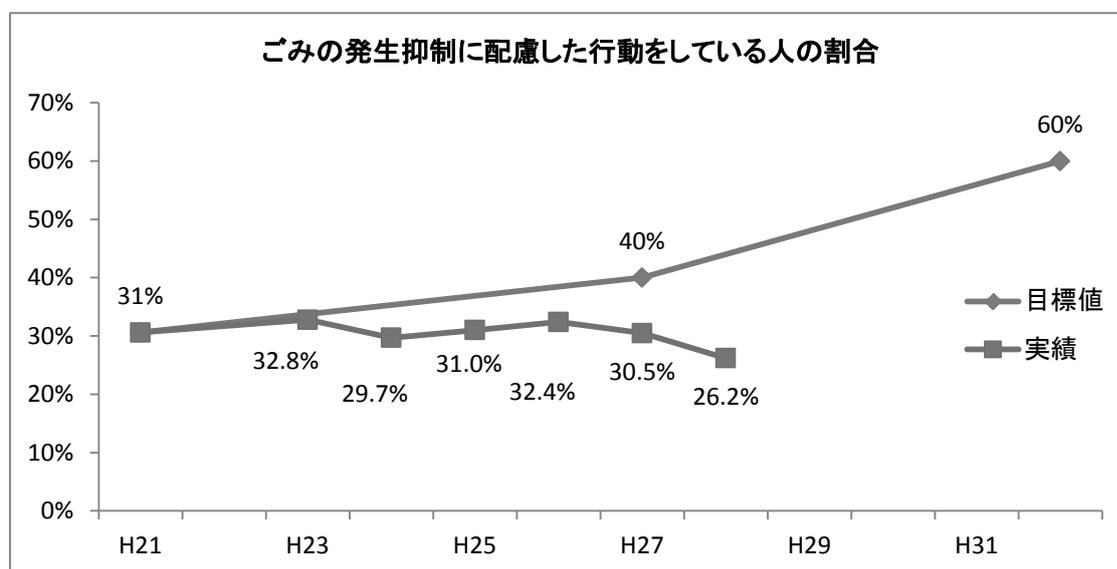
 未回答

【基本目標3分野別目標1（分野8）】

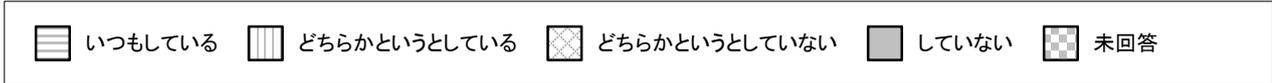
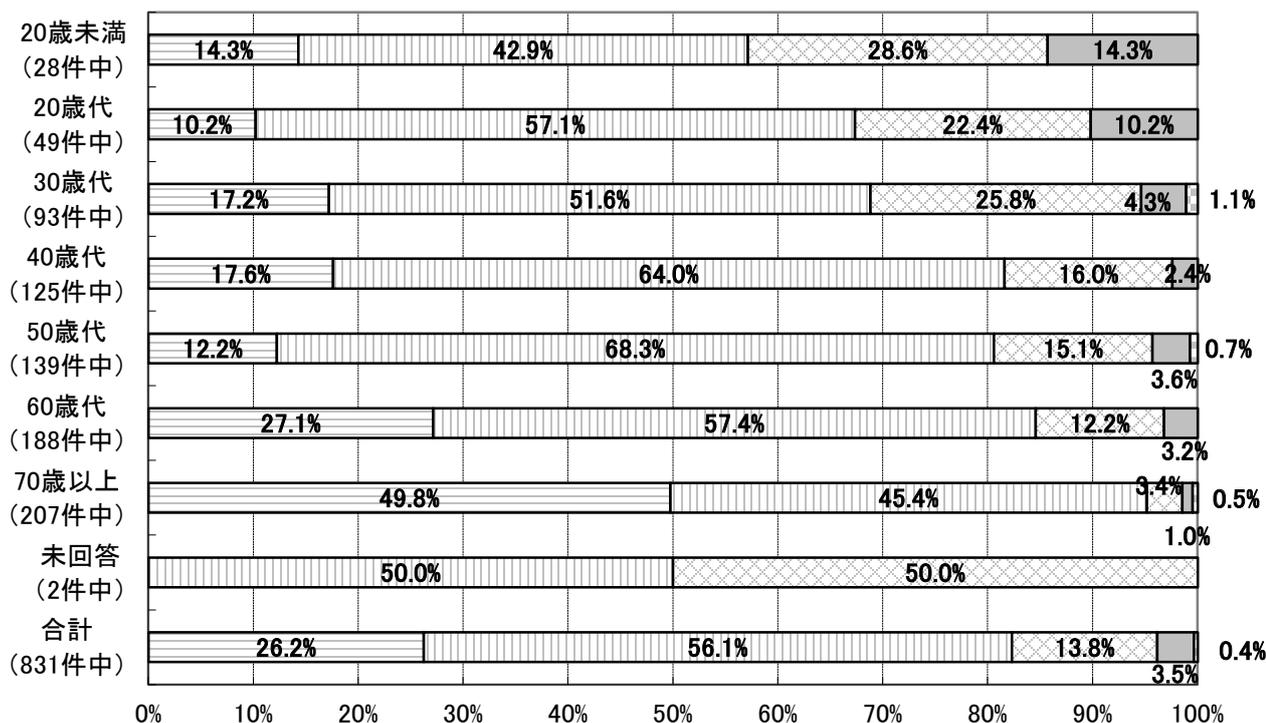
生産、消費段階を含めた「ごみ」そのものの排出抑制を推進します

【めざそう値：年度別推移】

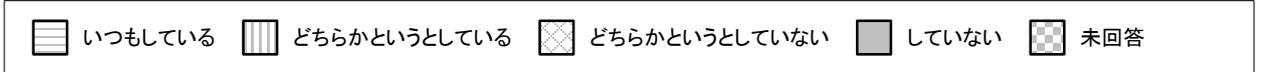
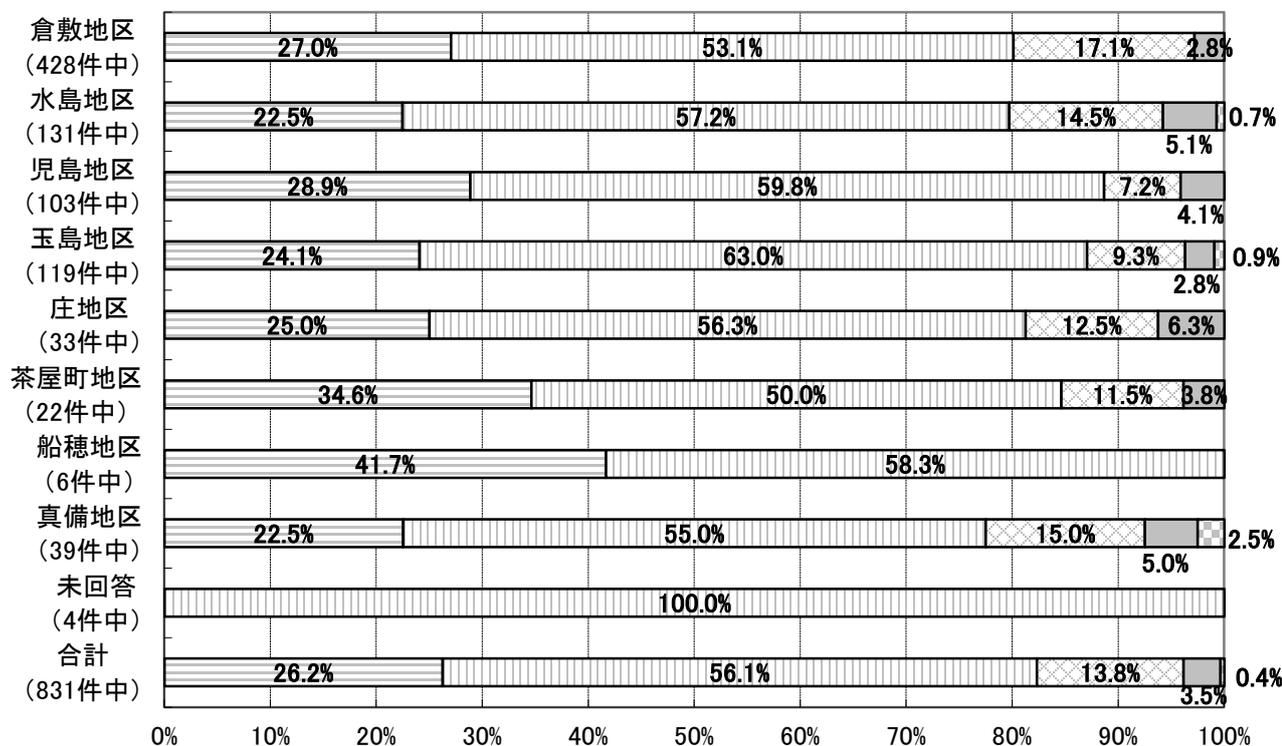
	H21 基準値	H28 (H27)	H27 目標値	H32 目標値
「いつもしている」人の割合	30.6%	26.2%(30.5)	40%	60%



【グラフ15：年齢別・回答構成比率】

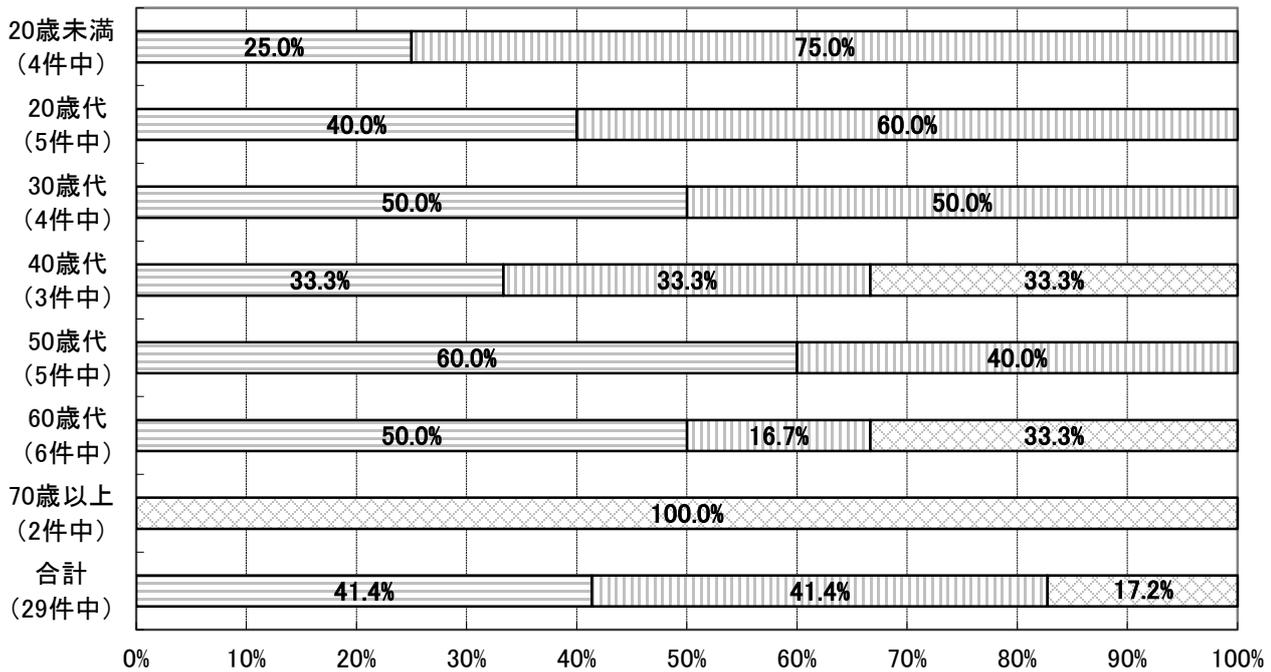


【グラフ15：地域別・回答構成比率】



《問15-1》問15で「4. していない」と答えた方におたずねします。していない理由がありますか。

【グラフ15-1:年齢別・回答構成比率】

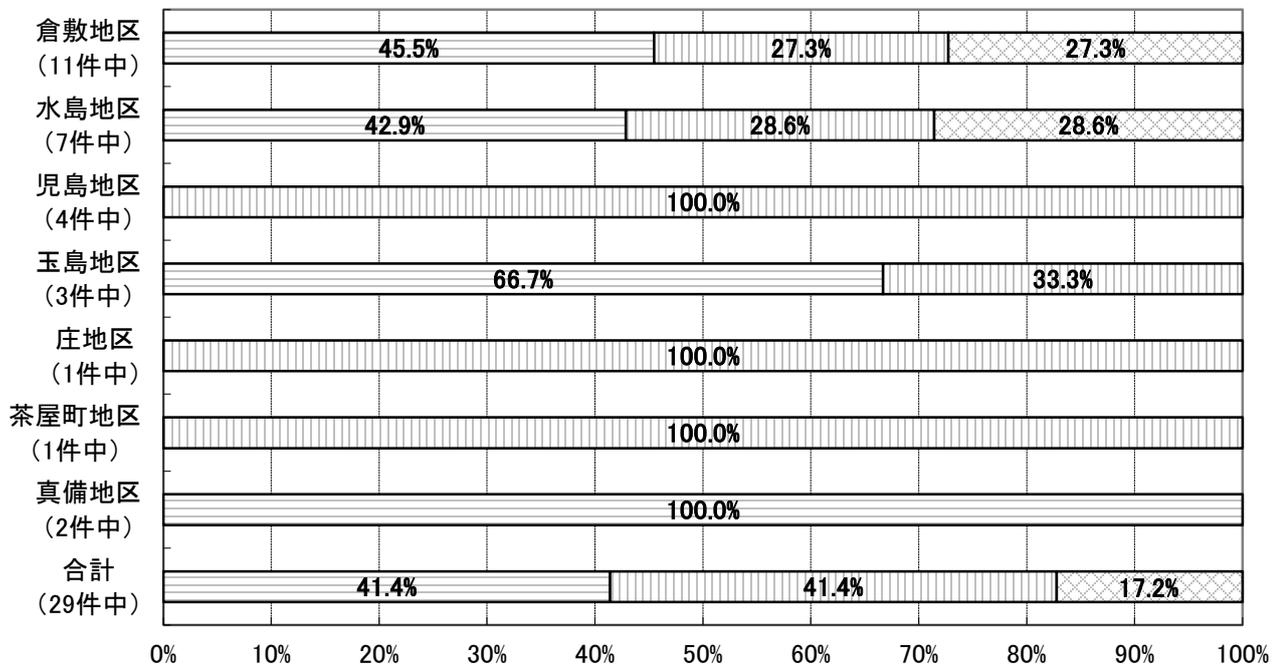


日頃の生活の中でどのようなことをしていいのかわからない

 関心がない

 その他()

【グラフ15-1:地域別・回答構成比率】



日頃の生活の中でどのようなことをしていいのかわからない

 関心がない

 その他()

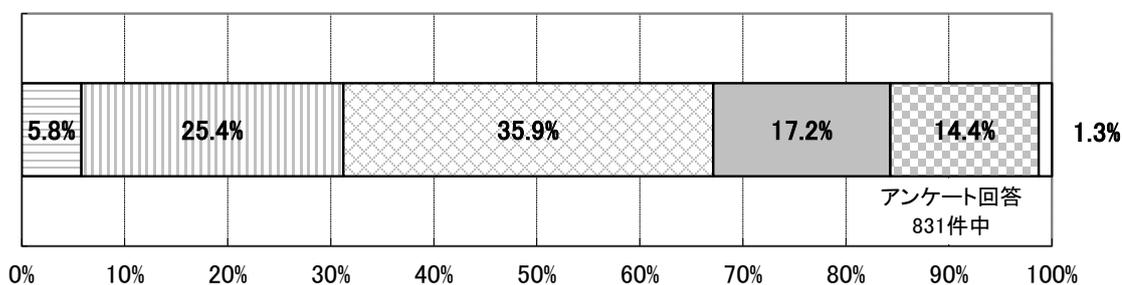
《問15－1》問15で「4. していない」と答えた方におたずねします。
していない理由がありますか。

※その他(カッコ内回答)

	内容
1	めんどくさい
2	ゴミがでるのは仕方ない
3	配慮しなくてもきれいだ
4	病気のため

《問16》 「もったいない」という意識を共有している社会ができていると思いますか。

【グラフ16：合計・回答構成比率】



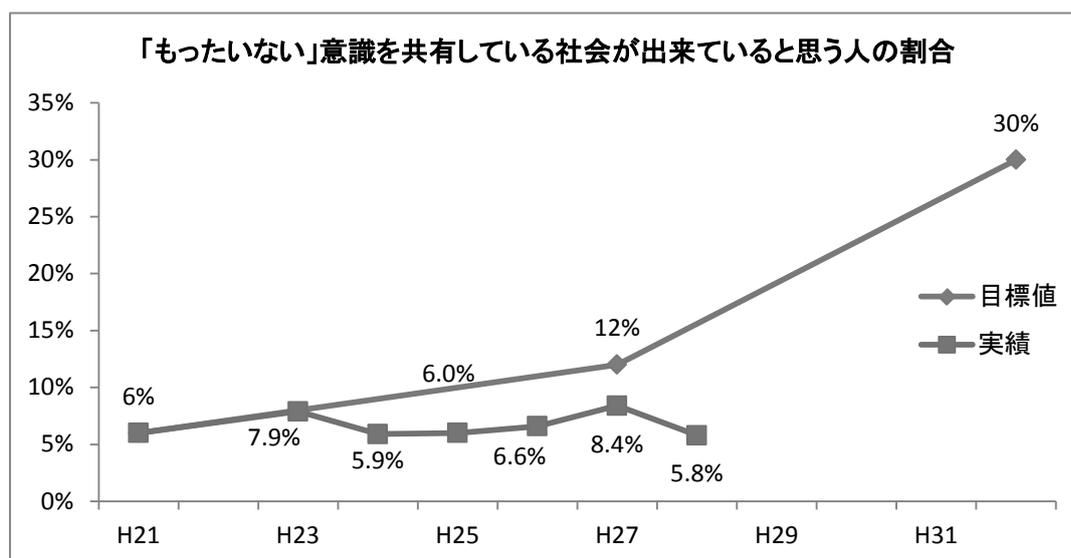
思う
 どちらかというと思う
 どちらかというと思わない
 思わない
 わからない
 未回答

【基本目標5分野別目標1（分野12）】

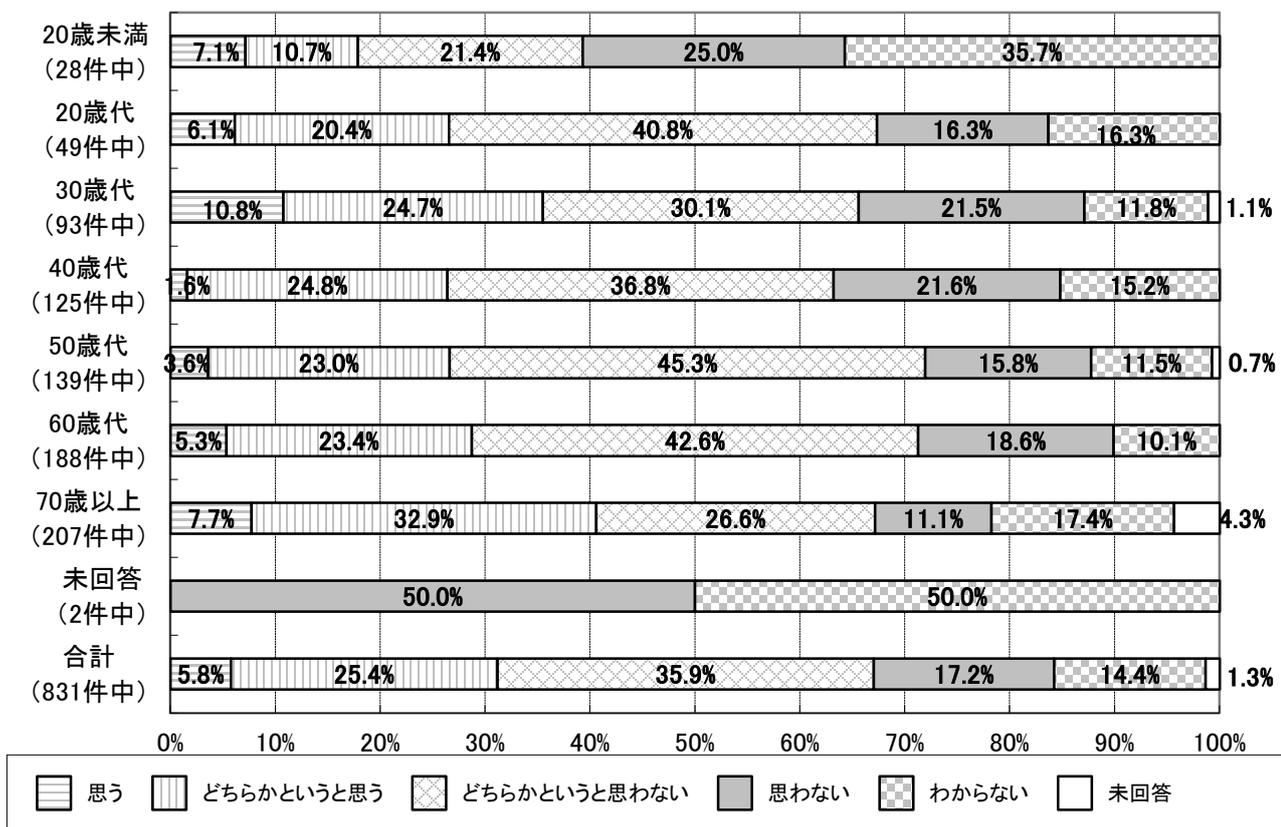
環境教育・環境学習を推進し、環境意識を持ち行動できる人を増やします

【めざそう値：年度別推移】

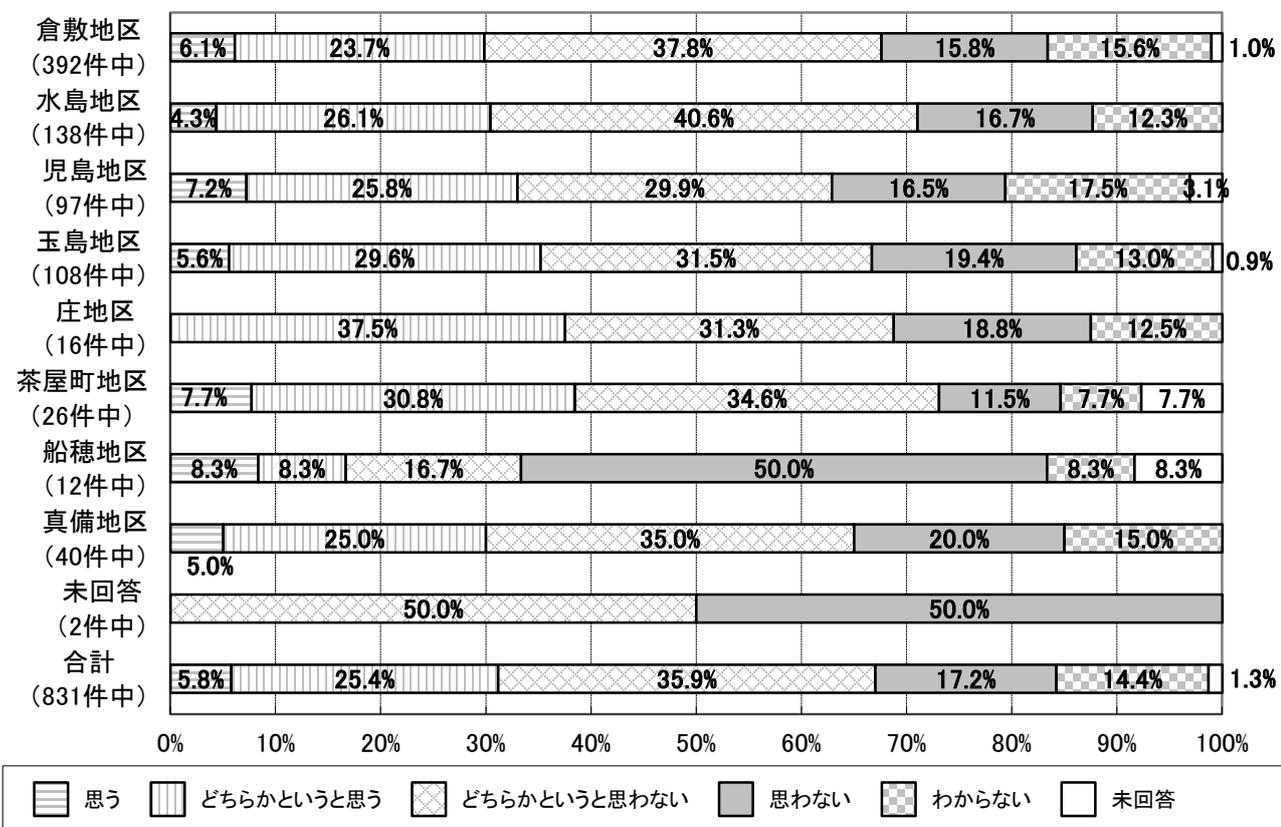
	H21 基準値	H28 (H27)	H27 目標値	H32 目標値
「思う」人の割合	6.0%	5.8%(8.4)	12%	30%



【グラフ16: 年齢別・回答構成比率】

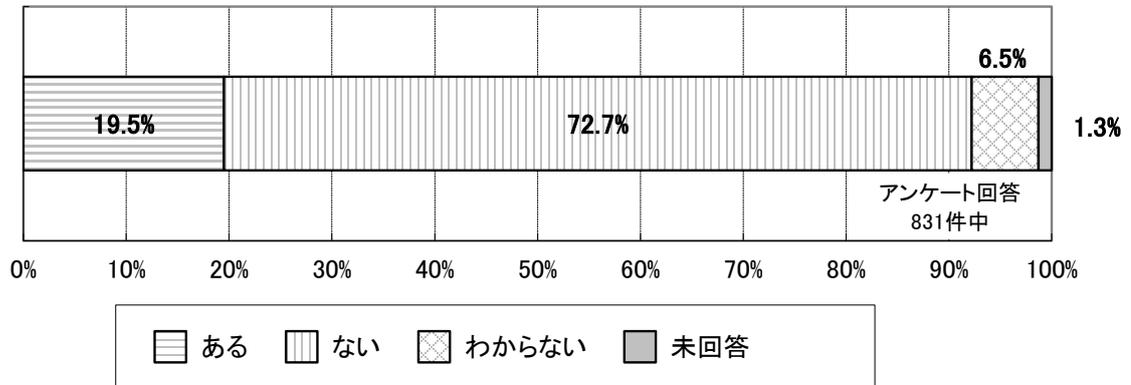


【グラフ16: 地域別・回答構成比率】

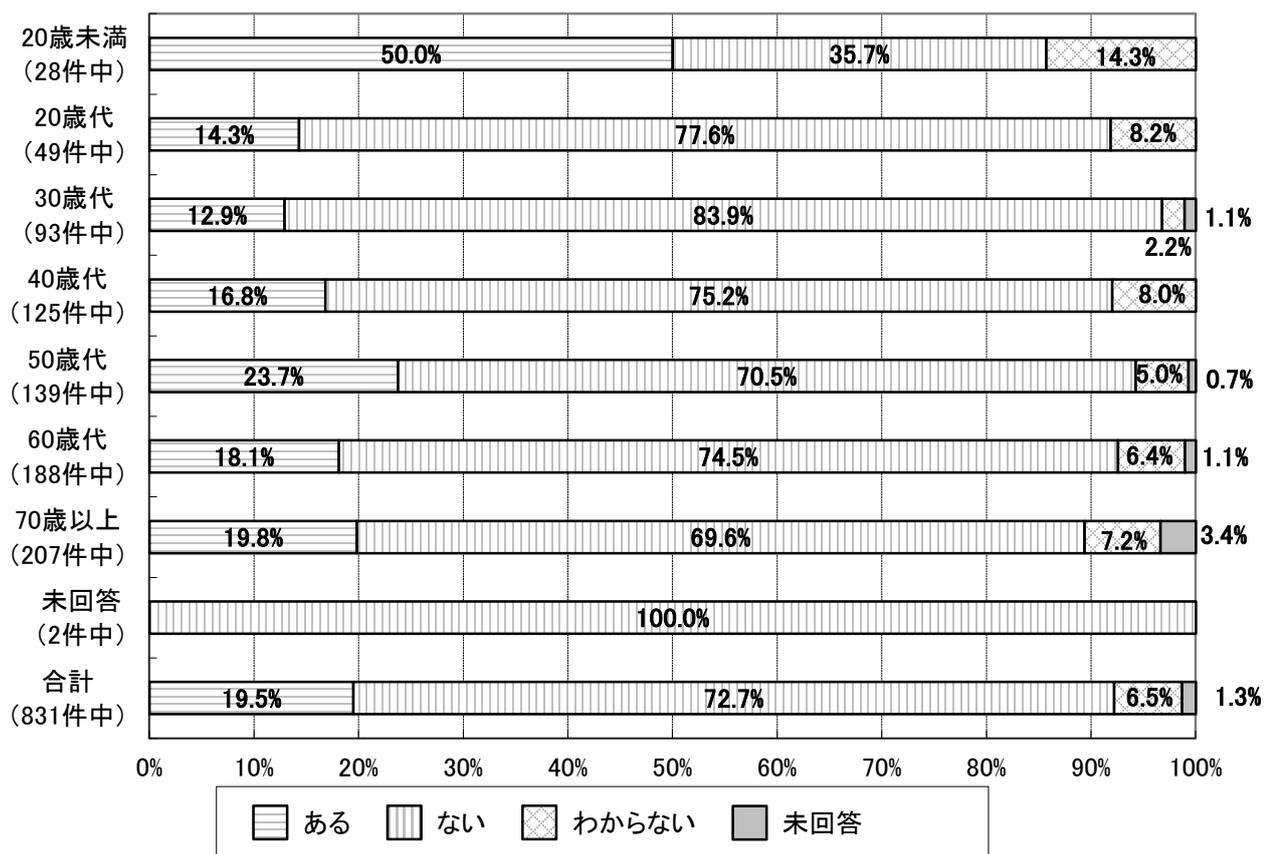


《問17》 環境に関する講座や講演会、体験会などの、環境学習を受けたことがありますか。

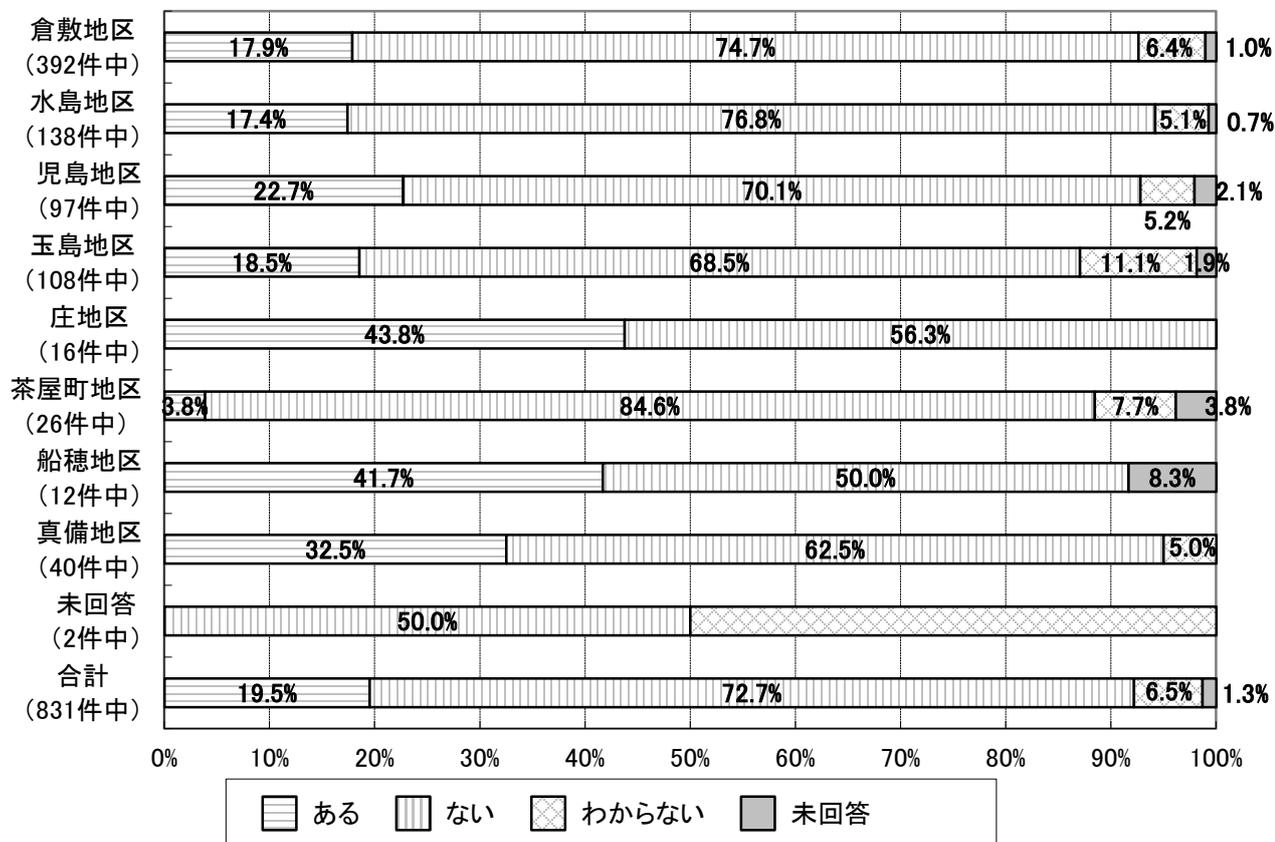
【グラフ17：合計・回答構成比率】



【グラフ17:年齢別・回答構成比率】



【グラフ17:地域別・回答構成比率】



《問17-1》 問17で「1. ある」と答えた方におたずねします。
環境学習で学んだことを、日常生活の中で実践していますか。

【グラフ15-1：合計・回答構成比率】

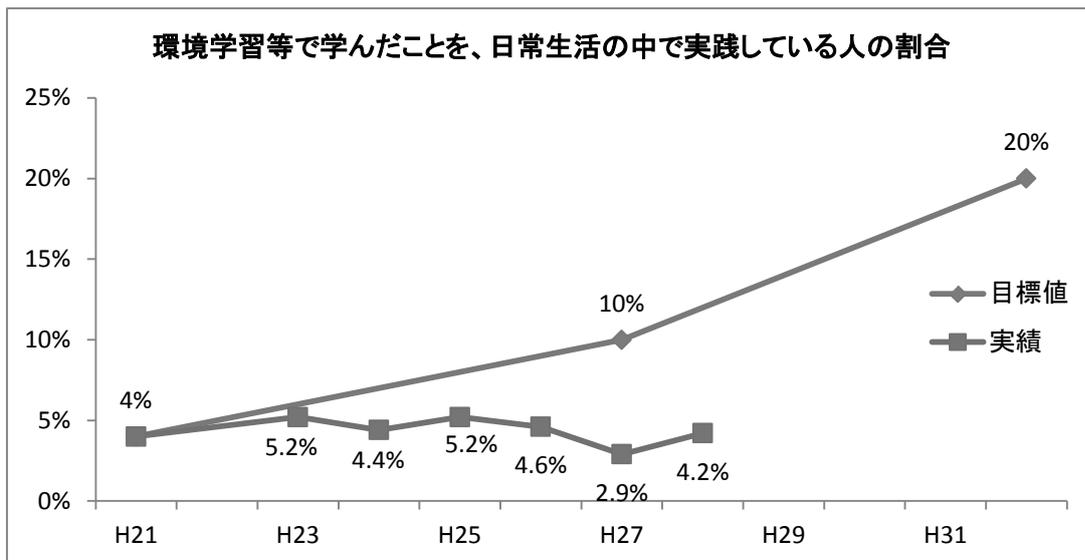


【基本目標5分野別目標1（分野12）】

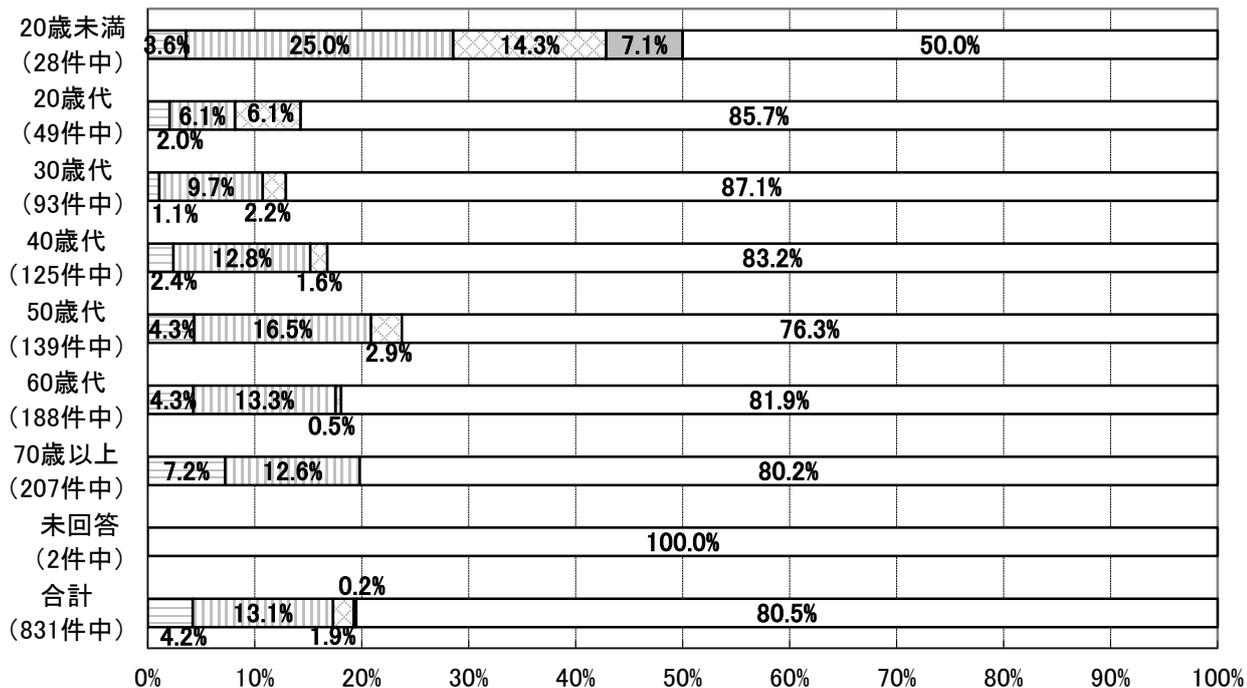
環境教育・環境学習を推進し、環境意識を持ち行動できる人を増やします

【めざそう値：年度別推移】

	H21 基準値	H28 (H27)	H27 目標値	H32 目標値
「いつもしている」人の割合	4.0%	4.2%(2.9)	10%	20%

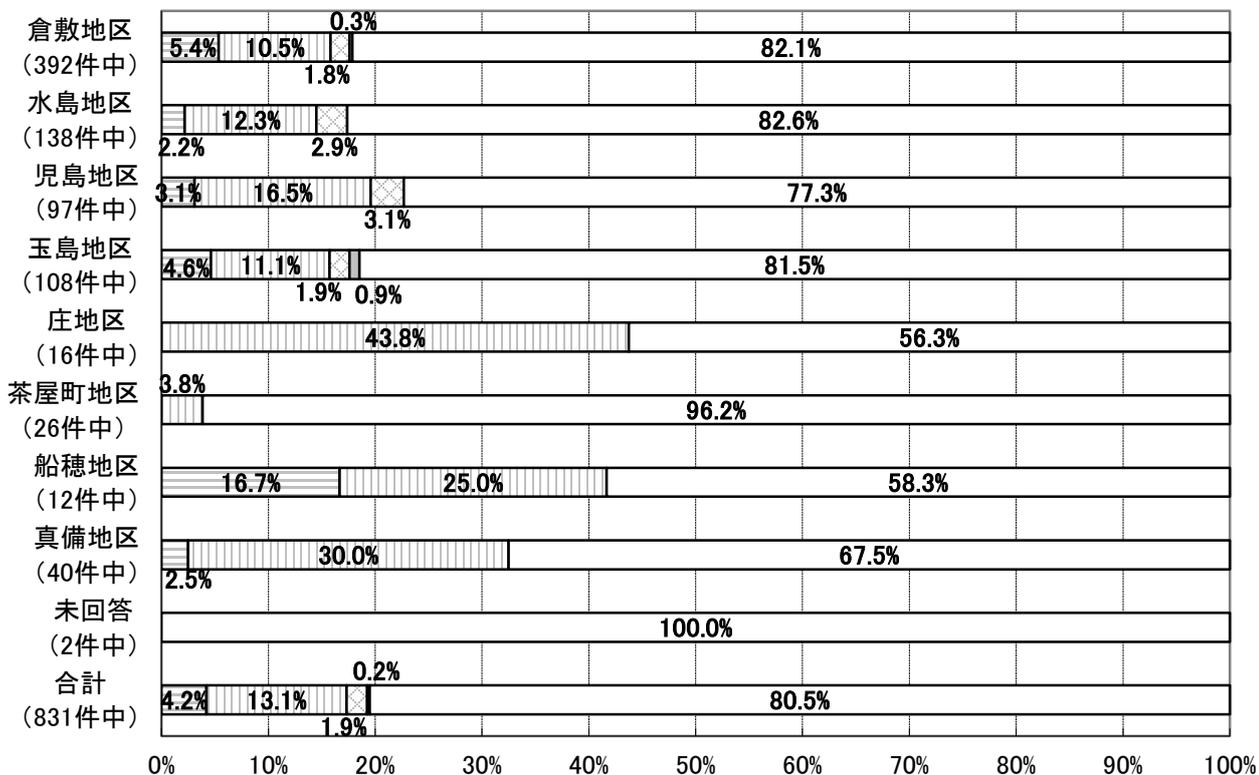


【グラフ17-1:年齢別・回答構成比率】



いつもの

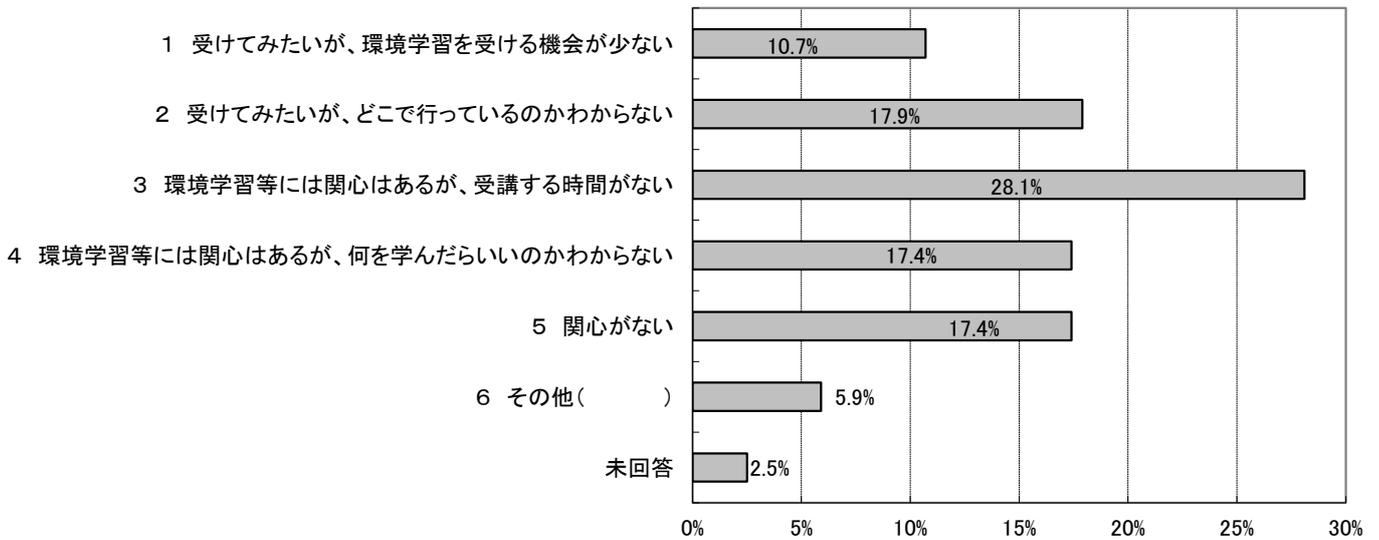
【グラフ17-1:地域別・回答構成比率】



いつもの

《問17-2》問17で「2. ない」「3. わからない」と答えた方におたずねします。
 受けたことのない理由はなんですか。(複数回答可)

【グラフ17-2: 回答構成比率】



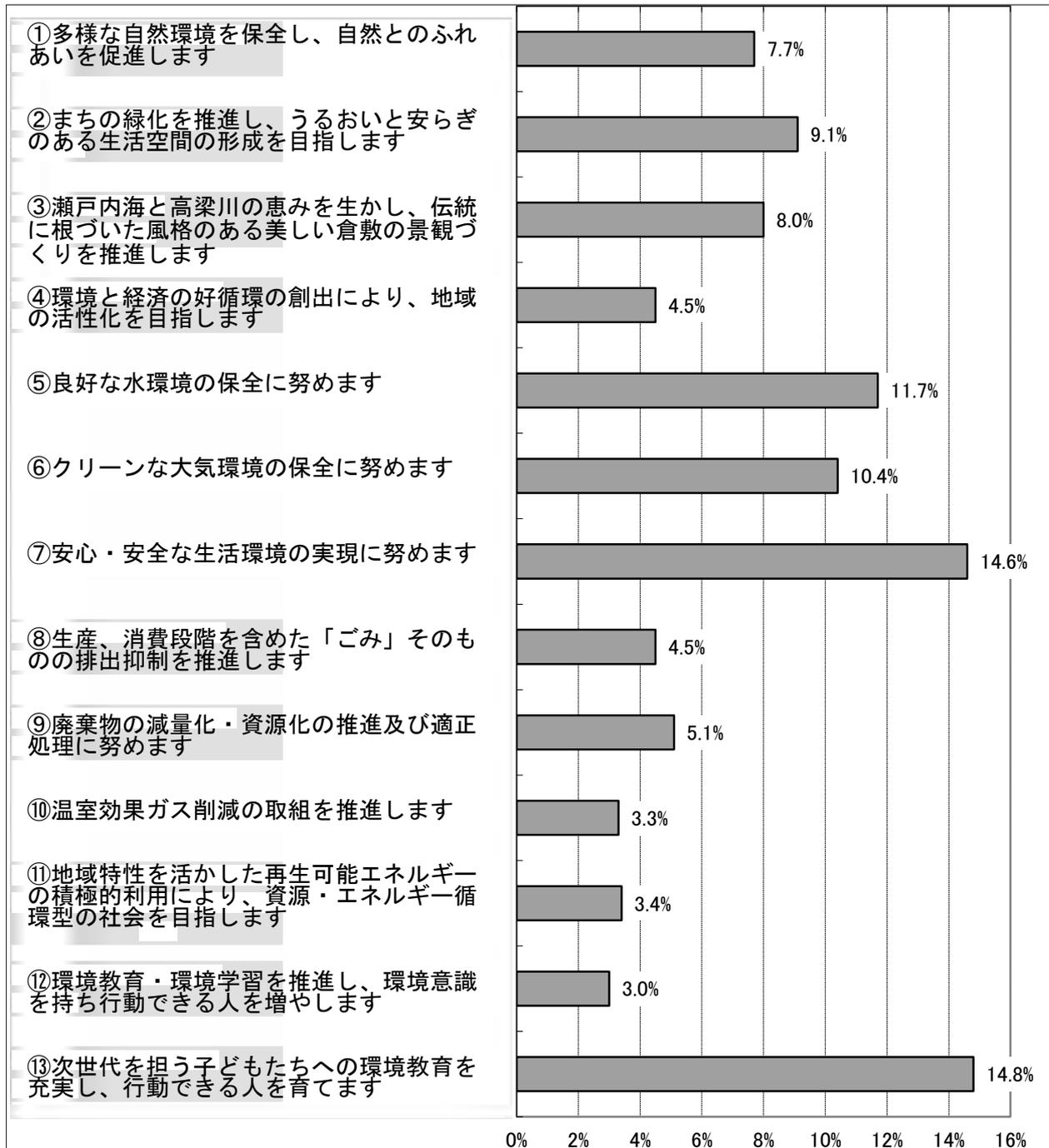
※その他(カッコ内回答)

	内容
1	一方向の講演会等では学習効果がない
2	環境学習がある事を知らなかった
3	環境学習を受けなくても、自分ができる所をやれば良いと思っている。
4	一人では外出できない
5	独学で環境学習を行っている
6	高齢のため
7	環境行政に携わっていたので充分理解していると思っている
8	時間がない
9	病気のため
10	毎日の生活に追われ、考える余裕がない。
11	学習を受ける程の関心はない
12	必要性を感じない

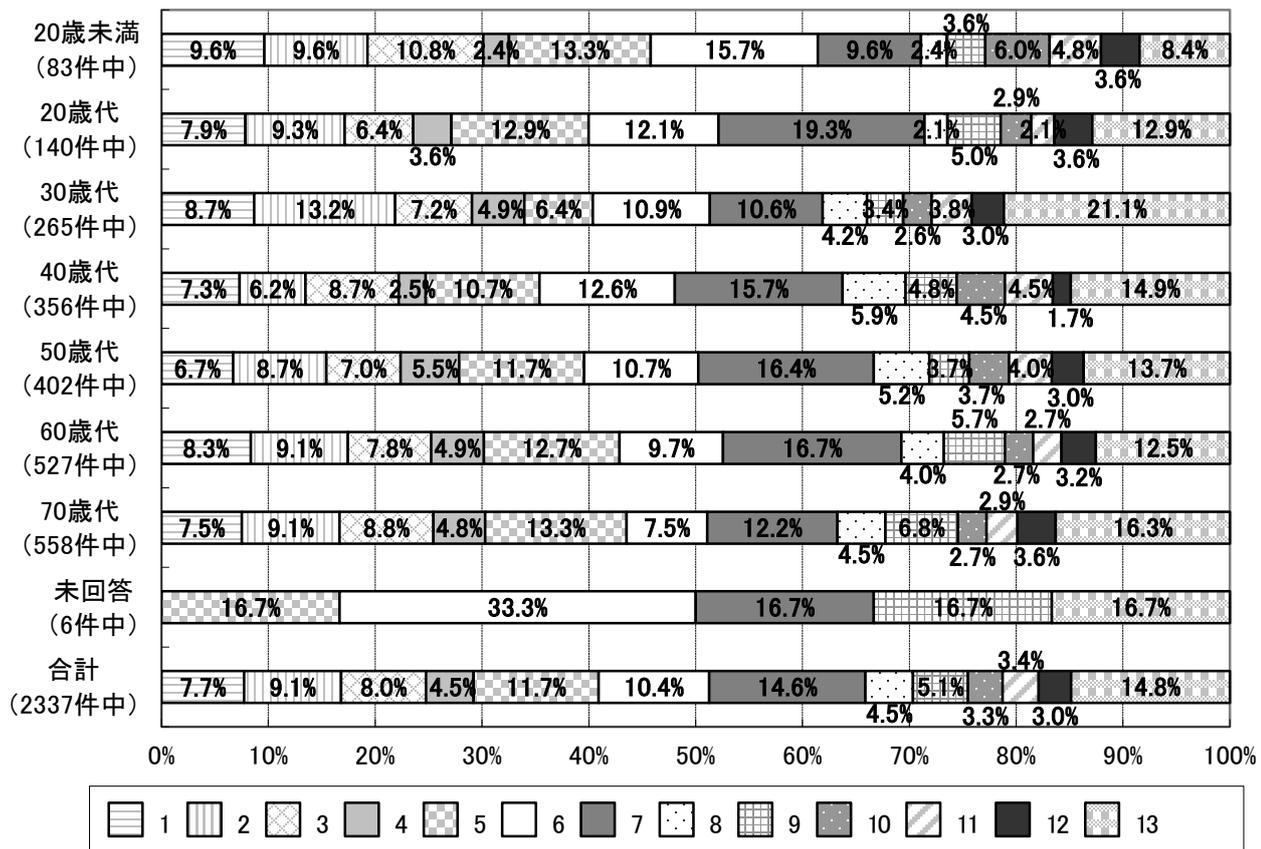
※問17で「2. ない」「3. わからない」と答えた方は、658人でした。

《問18》 倉敷市では、「倉敷市第二次環境基本計画」に掲げた目標を実現するため、平成23年度から下記の施策に取り組んでいます。それぞれの施策に対して、あなたにとって重要と思うものと、現状で効果が上がっている（満足）と思うものを3つまで選んで○印をつけて下さい。

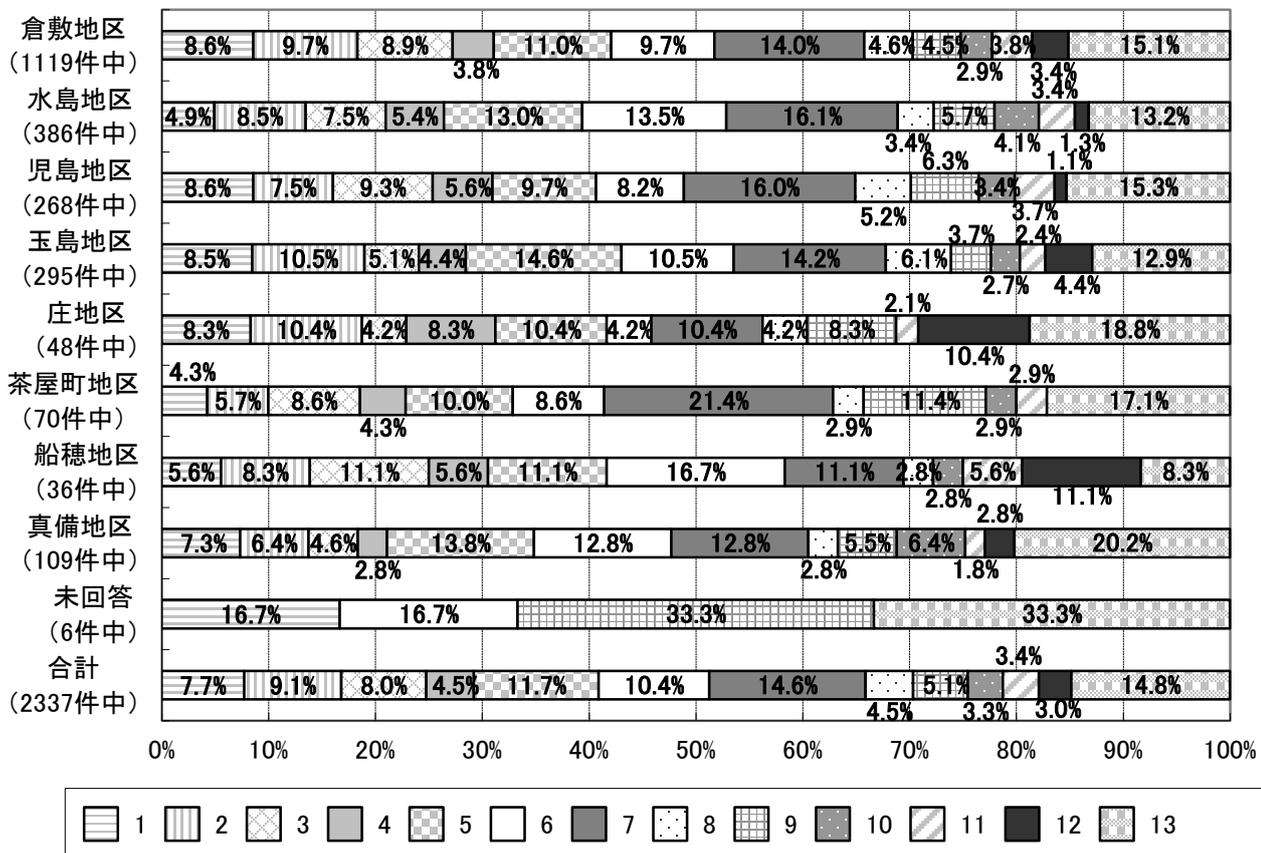
【グラフ18-1：合計・回答構成比率】 重要度



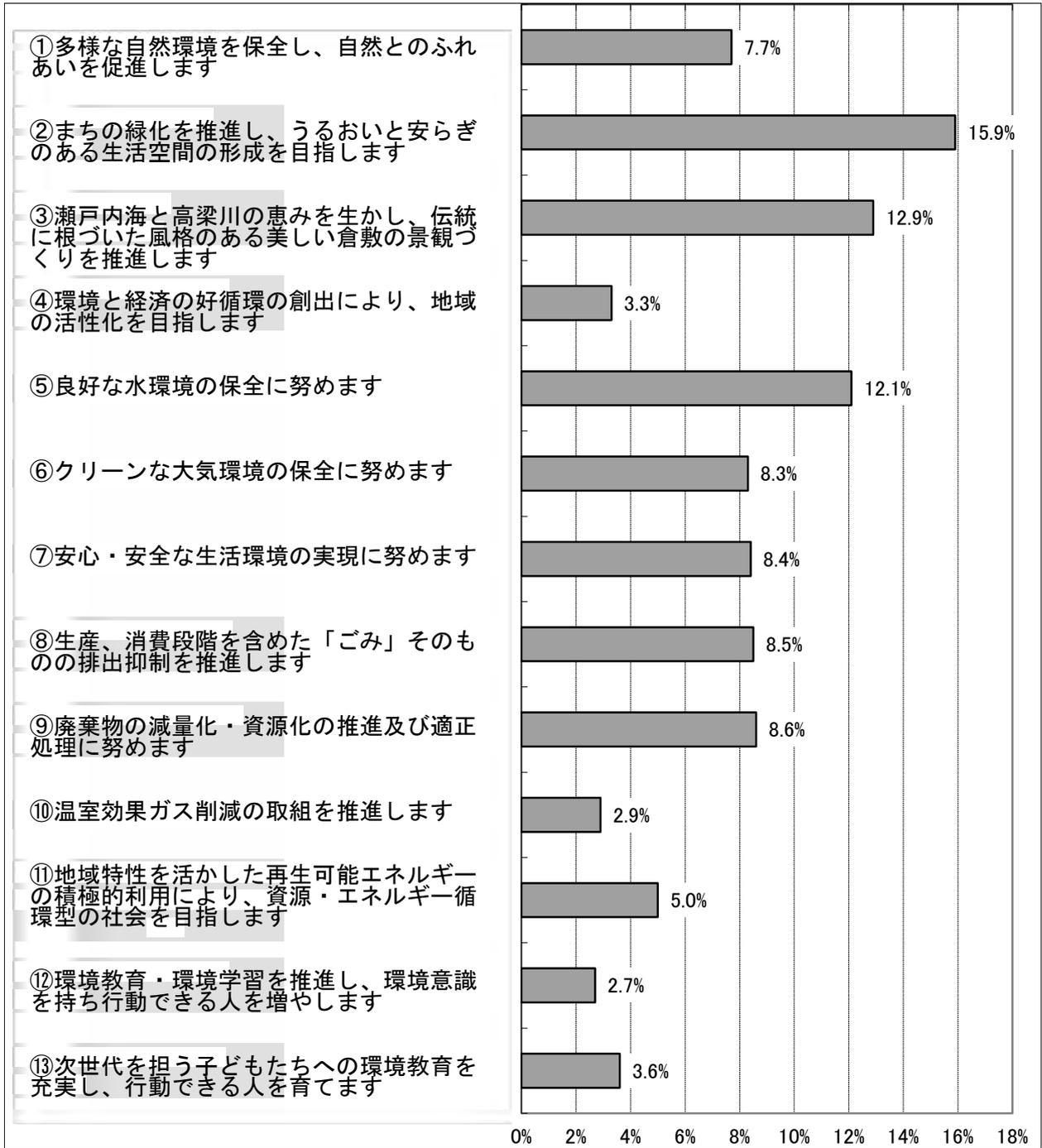
【グラフ18-1:年齢別・回答構成比率】重要



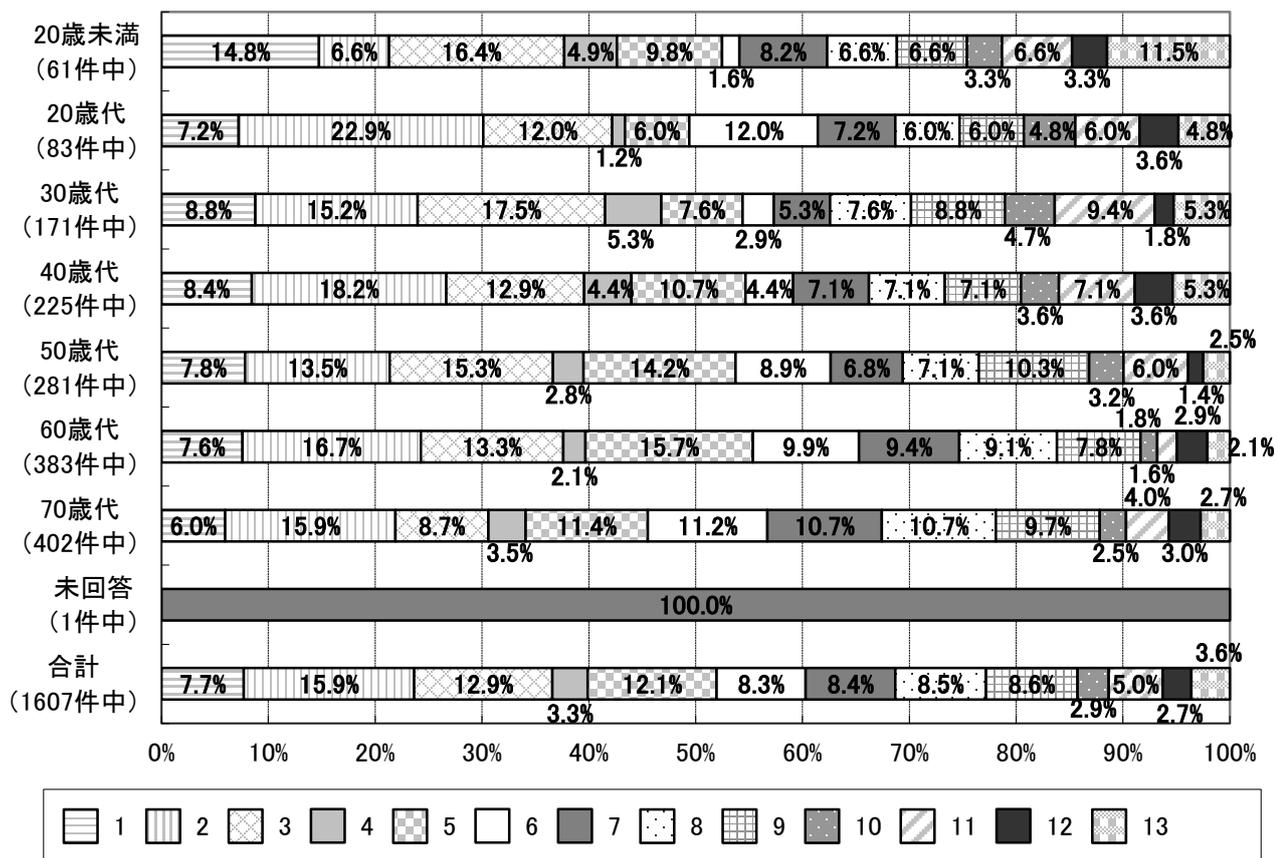
【グラフ18-1:地域別・回答構成比率】重要



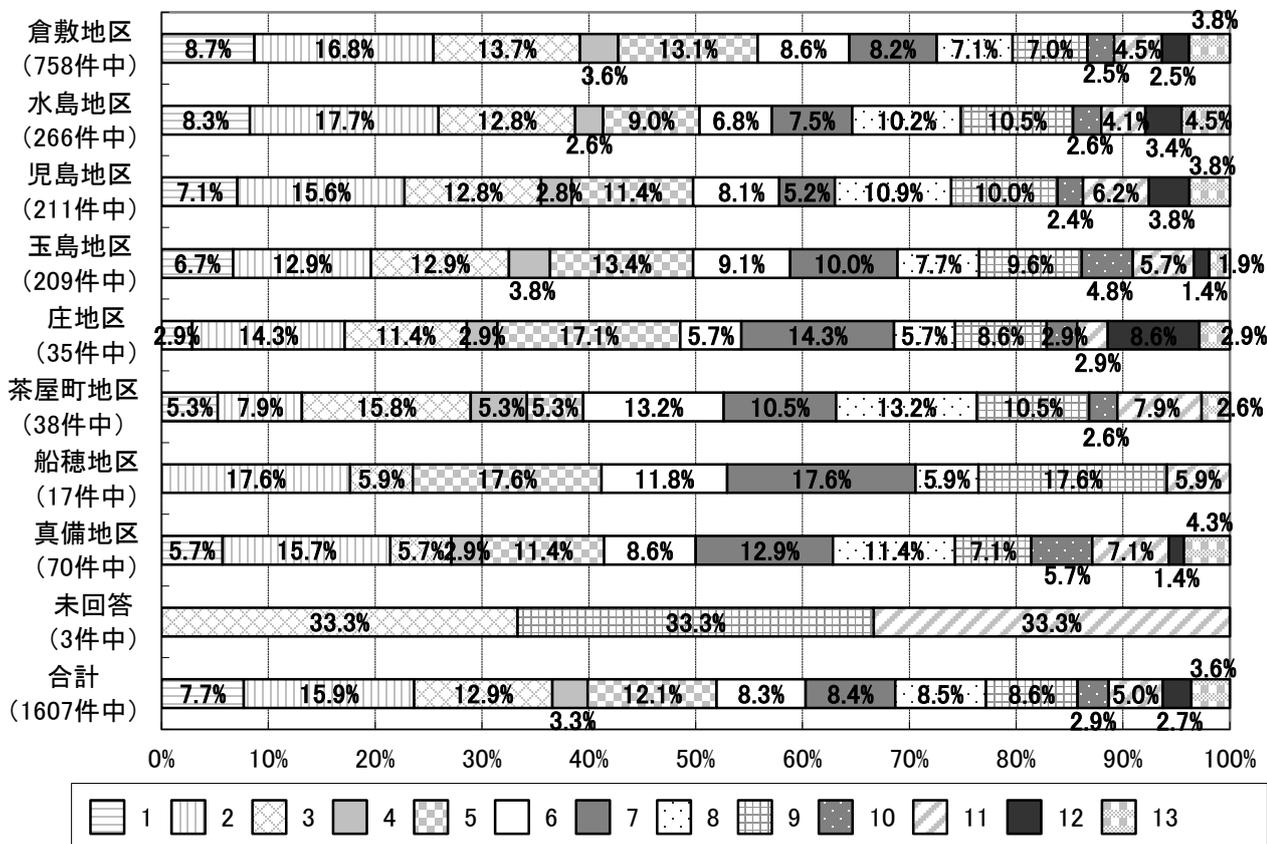
【グラフ18-2：合計・回答構成比率】 効果



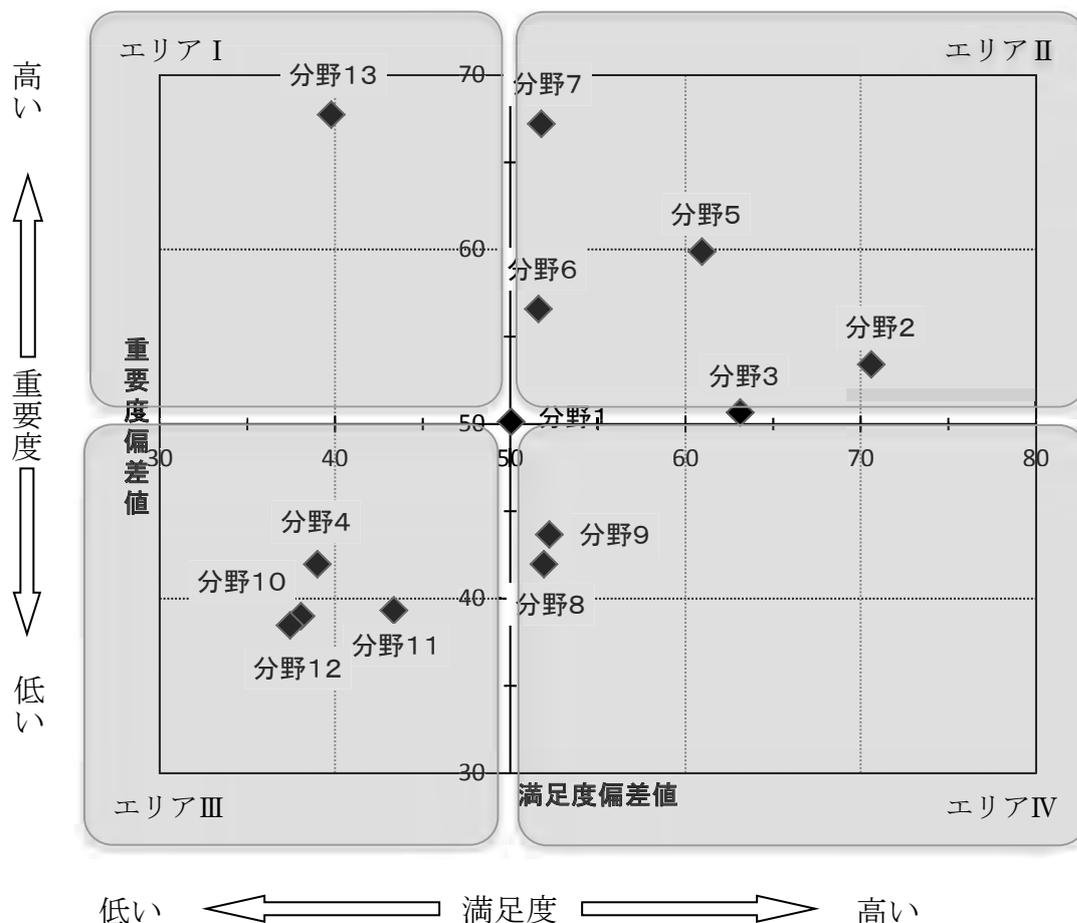
【グラフ18-2:年齢別・回答構成比率】 効果



【グラフ18-2:地域別・回答構成比率】 効果



■重要度・満足度マッピンググラフ（偏差値による）

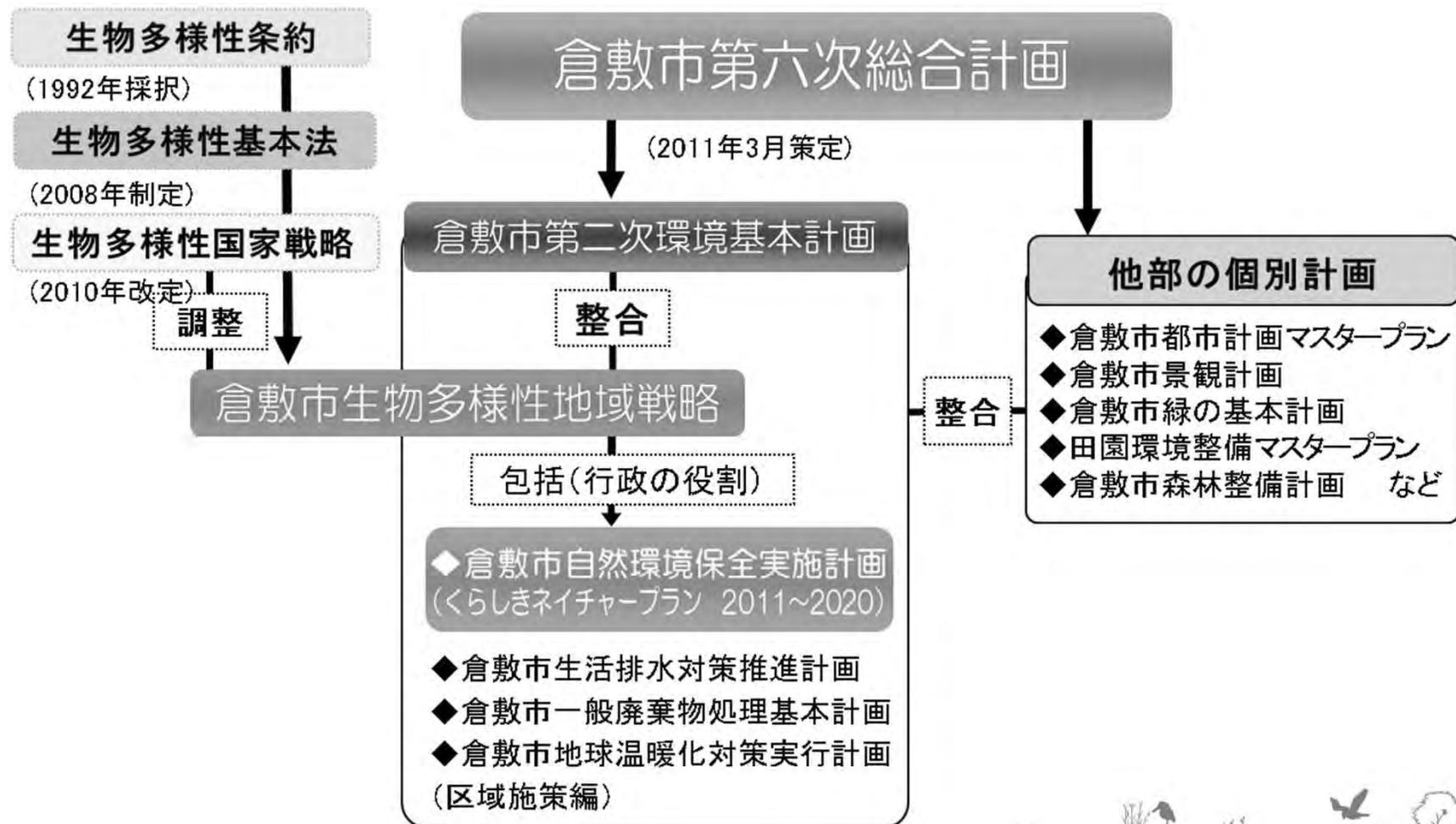


分類	求められること	該当分野
エリア I	重要度が高く、満足度が低いことから、最優先で取り組むべき分野	分野 13：次世代を担う子供たちへの環境教育を充実し、行動できる人を育てます
エリア II	重要度も満足度も高く、引き続き満足度を維持していくべき分野	分野 1：多様な自然環境を保全し、自然とのふれあいを促進します 分野 2：まちの緑化を推進し、うるおいと安らぎのある生活空間の形成を目指します 分野 3：瀬戸内海と高梁川の恵みを生かし、伝統に根づいた風格のある美しい倉敷の景観づくりを推進します 分野 5：良好な水環境の保全に努めます 分野 6：クリーンな大気環境の保全に努めます 分野 7：安心・安全な生活環境の実現に努めます
エリア III	満足度が低いため、満足度を高める取り組みが必要であるが、重要度が低いため、必要性も含めて検討すべき分野	分野 4：環境と経済の好循環の創出により、地域の活性化を目指します 分野 10：温室効果ガス削減の取り組みを推進します 分野 11：地域特性を活かした再生可能エネルギーの積極的利用により、資源・エネルギー循環型の社会を目指します 分野 12：環境教育・環境学習を推進し環境意識を持ち行動できる人を増やします
エリア IV	重要度は低いですが、満足度が高いことから、このままの状態を維持するとともに、過剰な行政サービスは縮小等も含めて見直しを検討すべき分野	分野 8：生産・消費段階を含めた「ごみ」そのものの排出抑制を推進します 分野 9：廃棄物の減量化・資源化の推進及び適正処理に努めます

「倉敷市生物多様性地域戦略」の進捗状況等について

倉敷市生物多様性地域戦略の位置づけ

倉敷市第二次環境基本計画のうち、生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する項目を担う



倉敷市生物多様性地域戦略の目標期間

■ 戦略の短期的目標年次:平成32(2020)年度

- ・上位計画である「倉敷市第二次環境基本計画」との整合性を考慮
- ・生物多様性の普及啓発の推進と、生物多様性の持続的利用に向けた基盤づくりを行う期間



倉敷市自然環境保全実施計画(くらしきネイチャープラン)の
数値目標・取り組みの実施状況・実施計画を報告

■ 戦略の長期的目標年次:平成62(2050)年度

- ・岡山県の生物多様性地域戦略「自然との共生おかやま戦略」との整合性を考慮
- ・自然再生や社会基盤の再構築の取り組みもすすめる期間



倉敷市生物多様性地域戦略に係る行動計画

恵み豊かな瀬戸内の自然を、
未来に向けてみんなの手で引き継いでいるまち倉敷

基本目標

1. 倉敷の生態系の状況と生き物と暮らしとのつながりを把握する。

2. 身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全，回復，再生する。

3. 生物多様性の恩恵を持続的に受けられるように自然資源を利用する。

4. 倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

取り組み

1. 生物多様性調査の実施

2. 生物多様性に係る情報の整備・充実

1. 総合的・計画的な保全体系の拡充

2. 地域の自然と生態系ネットワークの保全

3. 地域ごとの自然環境の保全

4. 重要地区の保全

5. 希少野生生物の生息・生育環境の保全

6. 外来生物対策

1. 環境配慮型農業と地産地消の推進

2. 生物多様性への配慮した地域開発と産業・事業活動の促進

1. 市民への環境学習機会の提供

2. 支援者、指導者の育成

3. 子どもたちへの環境教育の充実

4. 社会貢献活動や自然共生圏を意識した地域交流経済活動の支援

5. エコツーリズム等の推進

6. 自然とのふれあいの促進

報告内容の構成

- 基本目標達成に向けた、
「数値目標達成状況」、「事業実施計画表」の2部で構成。
 - ・数値目標達成状況について
 - 基準年度(基準値)、達成年度(目標値)及び平成28年度実績値を記載、あわせて目標達成に向けた傾向を矢印➡で表記
 - ・事業実施計画表について
 - 事業項目を「リーディングプロジェクト」と「その他の取り組み」で表示
 - ・リーディングプロジェクト
 - ※生物多様性地域戦略の基本目標の実現に向けて戦略全体をリーディングする誘導的なプロジェクト事業
 - ・その他の取り組み(主にくらしきネイチャープランから継承するもの)



数値目標達成状況

基本目標1 倉敷の生態系の状況と生き物と暮らしとのつながりを把握する。								
番号	項目	基準値	基準年度	H28年度実績	傾向	目標値	達成年度	担当部署
1	自然環境基礎調査	1地区 (真備町妹)	2019 (H25)	0地区	↘	継続実施	—	環境政策課
基本目標2 身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全、回復、再生する。								
1	自然環境に配慮したまちづくりができていると思う人の割合(倉敷市第六次総合計画指標)	27.4%	2009 (H21)	33.9%	↗	54%	2020年 (H32)	環境政策課
2	地域の自然保護・環境保全に配慮した取り組みを行っている人の割合(倉敷市第六次総合計画指標)	38.4%	2011 (H23)	38.1%	↘	72%	2020年 (H32)	環境政策課
3	多様な生き物が生息している自然環境が身近にあると感じている人の割合(倉敷市第六次総合計画指標)	32.5%	2009 (H21)	34.0%	↗	56%	2020年 (H32)	環境政策課
4	都市公園の目標水準	7.79㎡/1人	2005 (H17)	8.11㎡/1人	↗	10㎡/1人	—	公園緑地課
5	特定外来生物の防除	306頭: ヌートリア	2012 (H24)	337頭: ヌートリア	↗	被害額の低減及び生息頭数の減少	—	環境政策課 農林水産課
6	自然環境に配慮した工法により整備された、河川やため池、護岸等の工事件数(H28年度からの積み上げ件数)	5件	2011 (H23)	28件	↗	100件	2020年 (H32)	環境政策課
7	温室効果ガス排出量の抑制(市内全域)	3,957万トン	2007 (H19)	3,452万トン (H25)	↘	3,482万トン	2020年 (H32)	地球温暖化 対策室
8	市内で下水道を利用できる人の割合	71%	2010 (H22)	78.1%	↗	77%	2015年 (H27)	下水計画課
9	合流式下水道を改善した面積の割合	22%	2010 (H22)	100%	↗	100%	2015年 (H27)	下水計画課



数値目標達成状況

基本目標3 生物多様性の恩恵を持続的に受けられるように自然資源を利用する。								
1	地域の自然保護・環境保全に配慮した取り組みを行っている企業の割合(倉敷市第六次総合計画指標)	41.7%	2010 (H22)	46.7% (H26)	↗	60%	2020年 (H32)	環境政策課
2	「環境保全型農業直接支援対策」取組面積	2,172a	2012 (H24)	3,794a	↗	3,000a	2015年 (H27)	農林水産課
3	市民農園区画数	77 区画	2012 (H24)	73 区画	↘	現状維持	—	農林水産課
4	新規就農者数	8人	2012 (H24)	11人	↗	10人	2015年 (H27)	農林水産課
5	有機JAS認定農業者数(団体)	8団体	2012 (H24)	8団体	→	10団体	2015年 (H27)	農林水産課
6	おかやま有機無農薬農産物生産農業者数(団体)	6団体	2012 (H24)	6団体	→	10団体	2015年 (H27)	農林水産課
基本目標4 倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。								
1	自然の中で遊ぶことが楽しいと思っている子どもの割合(倉敷市第六次総合計画指標)	87.6%	2009 (H21)	88.1%	↘	95%	2020年 (H32)	環境政策課
2	親子・家族で日常的に自然にふれあえる場があると思う人の割合(倉敷市第六次総合計画指標)	58.4%	2009 (H21)	58.7%	↗	77%	2020年 (H32)	環境政策課
3	身近な自然を守る活動を行っている人の割合(倉敷市第二次環境基本計画指標)	10.9%	2009 (H21)	8.7%	↘	20%	2020年 (H32)	環境政策課
4	自然がかけがえの無い大切なものだと感じている子供の割合(倉敷市第六次総合計画指標)	71.7%	2009 (H21)	79.9%	↗	95%	2020年 (H32)	環境政策課
5	自然にふれる活動に参加している子どもの数(倉敷市第六次総合計画指標)	14,537人	2009 (H21)	14,543人	↗	19,700人	2020年 (H32)	環境政策課



基本目標1: 倉敷の生態系の状況と生き物と暮らしとのつながりを把握する。

➤ 1-1 生物多様性調査の実施

■ 「倉敷の生き物を探そう！」事業

【計画・事業の概要】 生物多様性地域戦略策定のための啓発事業として、市民から市内の生き物の情報収集をする。

倉敷市の木

クスノキをさがそう



くらいき - Season5 -



<28年度実施状況>

- ・4回目は、市内の「カワセミ」について、携帯フォトシステム・クラウドサービスなどを利用して情報収集を行いました。(102件の投稿)

<29年度事業>

- ・環境月間である6月の広報紙にて市民からの情報(写真・日にち・場所等)を広く募集しています。

※クスノキは、倉敷市の市の木として昭和46年に制定。



基本目標1:倉敷の生態系の状況と生き物と暮らしとのつながりを把握する。

➤ 1-2 生物多様性に係る情報の整備・充実

■ 特別展（特別陳列）の開催

【計画・事業の概要】岡山県内を中心として自然史全般について常設展示で取り組めていないテーマについて、収蔵資料や外部団体の協力を生かした展示を行う。



特別展「チョウきれい！チョーたのしい昆虫展」

＜28年度実施状況＞

- ・第25回特別展「発掘された過去・現在・未来－G7倉敷教育大臣会合応援事業 美術館ルネサンス事業－」、「新着資料-近藤光宏昆虫コレクション展-」、「おりがみ昆虫展」、「秋の鳴く虫展」、「しぜんしくらしき賞作品展」などを開催した。

＜29年度事業＞

- ・第26回特別展「チョウきれい！チョーたのしい昆虫展」、「ティラノが成羽にやってきた！化石は太古の生き物図鑑」「鳴く虫サロン」「新着資料-2017-」、「しぜんしくらしき賞作品展」などを開催する。



基本目標2:身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全, 回復, 再生する。

➤ 2-2 地域の自然と生態系ネットワークの保全

■ 〔河川・水辺〕 自然環境に配慮した用水路・ため池・河川などの改修及び管理の実施

【計画・事業の概要】

自然環境に配慮した用水路・ため池・河川などの改修及び管理を行う。



カワバタモロコに配慮した用水路施工事例



＜保全実施状況＞

- ・公共工事担当課へスイゲンゼニタナゴ、カワバタモロコなど希少野生生物に関する情報提供
- ・希少野生生物の生息地の保全のため、河川, 用水路改修時に専門家のアドバイスを得て関係課と協議を行いながら保全対策(配慮型用水路、保護移動など)を実施する。

ナゴヤダルマガエル



スイゲンゼニタナゴ



基本目標2:身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全,回復,再生する。

➤ 2-3 地域ごとの自然環境の保全

■ [森・山] 水島地域の取り組み

【計画・事業の概要】

大平山、種松山などの山系の自然環境を保全し、自然とふれあえる場として活用を図る。



今日では珍しくなってしまった野草を気軽に観察できる場として親しまれています。

＜倉敷市種松山野草移植保護地

(種松山野草園)＞

- ・昭和55年11月から瀬戸中央自動車道の建設工事が開始されたため、自生地が消滅することになった野草を、自然保護団体が移植したことに始まります。
- ・平成27年度より、自然保護団体の解散に伴い倉敷市シルバー人材センターへ委託し、除草・草刈りや防腐剤の塗装作業等による管理をしています。



基本目標2:身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全, 回復, 再生する。

➤ 2-4 重要地区の保全

■ 〔湿地〕 湿地復元、保護活動への支援

【計画・事業の概要】 リーディングプロジェクト

湿地復元や保護を行う自然保護団体の活動への市民参加、協働についての広報の実施、技術情報提供などにより支援する。



サギソウ



<倉敷美しい森(倉敷市曾原)>

- ・平成6年8月の山火事の後、多くのボランティアの人達の植樹活動により、平成13年4月にオープンした森林公園です。
- ・園内の湿生植物園では、サギソウなど貴重な湿生植物の観察や森林浴・ハイキング、バードウォッチングなどが楽しめます。

※倉敷市自然保護監視員(参加者16名/対象26名)への研修を7月28日(木)に実施し、湿生植物等について学びました。



基本目標2:身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全,回復,再生する。

➤ 2-5 希少野生生物の生息・生育環境の保全

■ [河川・水辺] ミズアオイ群生地での保全活動

【計画・事業の概要】

自然保護団体、地域住民等と協力し、ミズアオイ群生地の良好な生育環境の保全に努める。



ミズアオイ

昨年は、6年ぶりに
観察会で見るこ
うことができました！

＜ミズアオイ群生地(倉敷市粒江)＞

・倉敷市立自然史博物館友の会や地域住民等と協力して、ヌートリア食害防護フェンスの設置やスクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)など外来生物の駆除。

また、除草作業もしながらミズアオイ自生地の整備・管理・保全に努めている。

・地元小学校の児童に対して観察会等の啓発活動を行っている。

秋:観察会 57名参加(H28.9.11)

春:種まき会 32名参加(H29.3.26)



基本目標2:身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全,回復,再生する。

➤ 2-6 外来生物対策

■ 外来生物に対する啓発と情報提供

【計画・事業の概要】

外来生物の移入などによる生態系への影響を最小限とするため、環境省など関係機関と連携し、外来生物に関する情報提供や正しい知識の普及啓発を行う

(動物)セアカゴケグモなど



<対応状況>

- ・自然保護監視員への啓発
- ・庁内関係課への情報提供と注意喚起
- ・広報紙やチラシの配布による啓発
- ・HPの充実

水島港におけるヒアリ確認



(環境省HPより)

<対応状況>

- ・8月9日に県内で初確認
- ・庁内関係課への情報提供と注意喚起
- ・環境省と県では、確認地点から約2キロ範囲で生息調査を実施し、継続監視中



オオクチバス(左)
オオキンケイギク(中)
ミシシippアカミミガメ(右)

基本目標3: 生物多様性の恩恵を持続的に受けられるように自然資源を利用する。

➤ 3-1 環境配慮型農業と地産地消の推進

■ 生物多様性に配慮した農業の推進

【計画・事業の概要】 リーディングプロジェクト

生物多様性と安全に配慮した農林水産物のPR、地産地消及び旬産旬消の推進をする



高梁川流域農産物ガイド

<実施事業>

・地場農産物や特産物の消費拡大を図る各種イベントの開催、PR活動などを行う

- ・地産地消料理講座
- ・ごぼうの日イベント
- ・食育フェア
- ・真備・船穂地産地消ふれあい祭り
- ・倉敷市農業祭
- ・地元生産者と連携したPR事業

など



倉敷市農業祭



地産地消料理講座

基本目標3: 生物多様性の恩恵を持続的に受けられるように自然資源を利用する。

➤ 3-1 環境配慮型農業と地産地消の推進

■ 環境保全型農業の支援

【計画・事業の概要】

おかやま有機JASなどの有機農業や冬期湛水(たんすい)管理など生き物を育む環境保全効果の高い営農活動を支援する



カバークロープ(緑肥)の作付けとは?
主作物の栽培期間の前後のいずれかに
カバークロープ(緑肥)を作付けする取組。

<実施事業>

・環境保全型農業直接支援対策などにより
環境保全効果の高い営農活動を支援する

《支援対象取組》

1. カバークロープ(緑肥)等作付け
2. 炭素貯留効果の高い堆肥の水質保全に資する施用
3. 有機農業
4. 地域特認取組
 - ・リビングマルチ(畑作物)
 - ・草生栽培(果樹)
 - ・夏季の水田内ビオトープの設置



基本目標3: 生物多様性の恩恵を持続的に受けられるように自然資源を利用する。

➤ 3-2 生物多様性に配慮した地域開発と産業、事業活動の促進

■ くらしき地域資源の活用

【計画・事業の概要】 リーディングプロジェクト

地域資源を、老舗、特産品、魅どころとして取りまとめ、情報発信をする



くらしき地域資源BOOK&HP

＜実施事業＞

- ・倉敷市内にある多種多様な地域資源を「老舗」、「特産品」、「魅どころ」として取りまとめ、紹介しています。
- ・倉敷の魅力を全国に発信するため、ホームページやBOOK、くらしきフェア等で情報提供を行っています。



倉敷の老舗 感謝状贈呈式



～至極の逸品～くらしきフェア



基本目標4:倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

➤ 4-1 市民への環境学習機会の提供

- 保全に向けた普及啓発活動／環境学習・講座等の充実を図る

【計画・事業の概要】 リーディングプロジェクト

講演会、出前講座等による生物多様性保全に向けた普及啓発活動をする



くらしき環境フェスティバル・講演会



自然保護監視員研修会

<28年度実施状況>

- ・くらしき環境フェスティバル
気象キャスター井田寛子氏による「気象キャスターからみた異常気象と地球温暖化」を実施。
- ・淡水魚を中心とした水環境に関する小・中学生対象の出前講座を実施しました。

<29年度事業>

- ・くらしき環境フェスティバル
山田まりや氏と室谷真由美氏による講演会「地域の食を知り、美しさ与健康を！」を実施。
- ・自然保護監視員を対象に、年2回の研修会を実施し、意見交換する予定。



基本目標4: 倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

➤ 4-2 支援者、指導者の育成

■ 指導者養成講座の開催

【計画・事業の概要】

高梁川流域における生物多様性保全をテーマとする環境教育研修を行う



高梁川流域学校



高梁川トレイル



市役所庁内連携・研修会

＜実施事業＞

- ・高梁川流域学校の環境学習人材育成研修を支援する。
- ・倉敷市を中心とした高梁川流域の地域の自然、歴史文化、産業等を実践的に学ぶ教育プログラムを提供予定。

＜庁内連携事業＞

- ・庁内の職員を対象に、「なぜ？生物多様性の推進が今、必要なのか？」をワークショップも含めて実施する。
- ・土木職員を対象に、研修会を実施し、自然にやさしい公共工事、防災・減災との両立を伝える。



基本目標4:倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

- 4-3 子どもたちへの環境学習の充実
 - 自然とふれあうイベント等の開催

【計画・事業の概要】 リーディングプロジェクト
子どもたちや親子で参加する自然体験イベントや、自然とふれあう活動を支援する



エコサマースクール



かるがもキャンプ



子育て支援・観光モデルコース



児島公民館講座

＜実施事業＞

- ・子どもたちや親子で参加する自然体験イベントや自然とふれあう活動を支援する。
(エコサマースクール・水辺教室・海辺教室など)
- ・障がい児やその兄弟などを対象としたキャンプを、少年自然の家で開催する。(かるがもキャンプ)
- ・子育てポータルサイト等を通じ、子どもたちや親子で参加する自然体験活動を支援する。
- ・公民館講座として干潟観察会を実施するため、講師派遣を行い支援する。

基本目標4: 倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

➤ 4-5 エコツーリズム等の推進

■ 生物多様性エコツアーの推進

【計画・事業の概要】 リーディングプロジェクト

本市の進める生態系ネットワークの取り組みをはじめ、経済的に循環している市内外の優良な企業の取り組みの現場等を巡るツアーの実施及び市民団体等による実施を支援



<28年度実施状況>

- ・平成28年10月21日(金)13時半～16時
～つなげよう、支えよう 森里川海～
「高梁川でつながる 森・里・川・海の力」
エコツアーの開催に関心のある個人・団体に対し、実践的な講習会を実施した。

<29年度事業>

- ・平成29年10月14日(土)10時～17時
～つなげよう、支えよう 森里川海～
「高梁川でつながる 森・里・川・海の力」

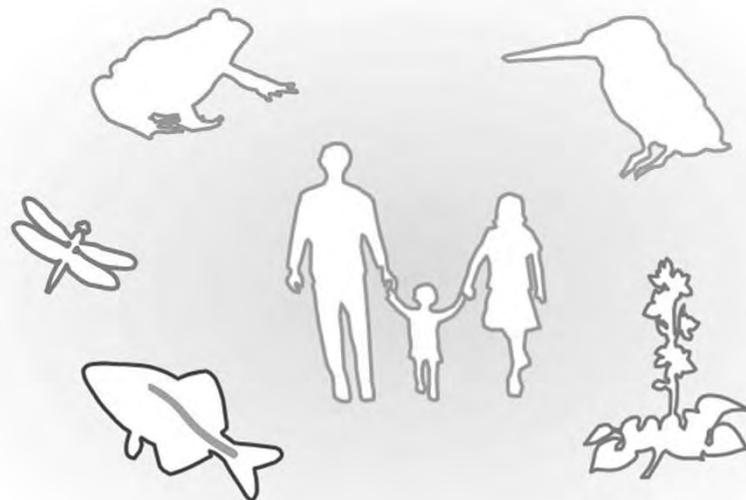
実践的なセミナーとエコツアーを実施する予定。

※その他の実施目標, 計画・事業の名称・概要については
「議事2」をご覧ください。



倉敷市生物多様性地域戦略

—倉敷の豊かな自然と瀬戸内の恵みを未来へつなぐために—



実施事業計画表

実施事業計画(平成28年度実績・平成29年度～平成32年度)

—概要—

倉敷市環境政策課

地球のいのち、つないでいこう

生物多様性

数値目標達成状況

基本目標1 倉敷の生態系の状況と生き物と暮らしとのつながりを把握する。								
番号	項目	基準値	基準年度	H28年度実績	傾向	目標値	達成年度	担当部署
1	自然環境基礎調査	1地区 (真備町妹)	2013 (H25)	0地区	↘	継続実施	—	環境政策課
基本目標2 身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全、回復、再生する。								
1	自然環境に配慮したまちづくりができていると思う人の割合(倉敷市第六次総合計画指標)	27.4%	2009 (H21)	33.9%	↗	54%	2020年 (H32)	環境政策課
2	地域の自然保護・環境保全に配慮した取り組みを行っている人の割合(倉敷市第六次総合計画指標)	38.4%	2011 (H23)	38.1%	↘	72%	2020年 (H32)	環境政策課
3	多様な生き物が生息している自然環境が身近にあると感じている人の割合(倉敷市第六次総合計画指標)	32.5%	2009 (H21)	34.0%	↗	56%	2020年 (H32)	環境政策課
4	都市公園の目標水準	7.79㎡/1人	2005 (H17)	8.11㎡/1人	↗	10㎡/1人	—	公園緑地課
5	特定外来生物の防除	306頭: ヌートリア	2012 (H24)	337頭: ヌートリア	↗	被害額の低減及び 生息頭数の減少	—	環境政策課 農林水産課
6	自然環境に配慮した工法により整備された、河川やため池、護岸等の工事件数(H23年度からの積み上げ件数)	5件	2011 (H23)	28件	↗	100件	2020年 (H32)	環境政策課
7	温室効果ガス排出量の抑制(市内全域)	3,957万トン	2007 (H19)	3,452万トン (H25)	↘	3,482万トン	2020年 (H32)	地球温暖化 対策室
8	市内で下水道を利用できる人の割合	71%	2010 (H22)	78.1%	↗	77%	2015年 (H27)	下水計画課
9	合流式下水道を改善した面積の割合	22%	2010 (H22)	100%	↗	100%	2015年 (H27)	下水計画課
基本目標3 生物多様性の恩恵を持続的に受けられるように自然資源を利用する。								
1	地域の自然保護・環境保全に配慮した取り組みを行っている企業の割合(倉敷市第六次総合計画指標)	41.7%	2010 (H22)	46.7% (H26)	↗	60%	2020年 (H32)	環境政策課
2	「環境保全型農業直接支援対策」取組面積	2,172a	2012 (H24)	3,794a	↗	3,000a	2015年 (H27)	農林水産課
3	市民農園区画数	771区画	2012 (H24)	731区画	↘	現状維持	—	農林水産課
4	新規就農者数	8人	2012 (H24)	11人	↗	10人	2015年 (H27)	農林水産課
5	有機JAS認定農業者数(団体)	8団体	2012 (H24)	8団体	↗	10団体	2015年 (H27)	農林水産課
6	おかやま有機無農薬農産物生産農業者数(団体)	6団体	2012 (H24)	6団体	↗	10団体	2015年 (H27)	農林水産課
基本目標4 倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。								
1	自然の中で遊ぶことが楽しいと思っている子どもの割合(倉敷市第六次総合計画指標)	87.6%	2009 (H21)	83.1%	↘	95%	2020年 (H32)	環境政策課
2	親子・家族で日常的に自然にふれあえる場があると思う人の割合(倉敷市第六次総合計画指標)	58.4%	2009 (H21)	58.7%	↗	77%	2020年 (H32)	環境政策課
3	身近な自然を守る活動を行っている人の割合(倉敷市第二次環境基本計画指標)	10.9%	2009 (H21)	8.7%	↘	20%	2020年 (H32)	環境政策課
4	自然がかげがえの無い大切なものだと感じている子供の割合(倉敷市第六次総合計画指標)	71.7%	2009 (H21)	79.9%	↗	95%	2020年 (H32)	環境政策課
5	自然にふれる活動に参加している子どもの数(倉敷市第六次総合計画指標)	14,537人	2009 (H21)	14,543人	↗	19,700人	2020年 (H32)	環境政策課

※ 表中の項目のうち、H27年度集計が行われていないものについては、確認可能な最新の実績としている。

倉敷市生物多様性地域戦略では、以下の4つの基本目標を掲げています。

- 基本目標1: 倉敷の生態系の状況と生き物と暮らしとのつながりを把握する。
- 基本目標2: 身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全、回復、再生する。
- 基本目標3: 生物多様性の恩恵を持続的に受けられるように自然資源を利用する。
- 基本目標4: 倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて行動できる人づくり、地域づくりを行う。

本資料は、これら目標達成に向けた、「進捗状況」及び「実施事業の実施状況と予定」を示します。

最初に示す(右表)「数値目標達成状況表」は、基本目標達成に向けた各数値目標の達成状況を示しています。

2ページ以降の「事業実施計画表」には、基本目標達成に向けた2020年までの短期的な取り組みについて、基本目標ごとに事業の実施状況を示しています。

グレーの網掛けが「リーディングプロジェクト」、網掛けなしが「その他の取り組み」であり、事業ごとに示しています。

なお、リーディングプロジェクトとは、戦略の基本目標の実現に向けて戦略全体をリーディングする誘導的なプロジェクト事業のことです。

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(1)

基本目標1 倉敷の生態系の状況と生き物と暮らしとのつながりを把握する。

◆分野別目標1:生物多様性調査の実施

【基本方針】

豊かで多様な自然環境を有する本市の生態系とその基盤となる生物に関する自然史資料等情報について、倉敷市立自然史博物館を核に、市民、市民団体、生産者、事業者、教育・研究機関と協働を図りつつ積極的に調査・収集します。

◆実施事業一覧表【基本目標1-1 生物多様性調査の実施】

計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H28年度実績	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	主な事業 関係課	H28予算 (千円)	H28実績 (千円)	H29予算 (千円)	備考
生物多様性調査の実施	調査体制の構築	市内における自然調査を継続的に実施できる体制を構築する	新規	自然観察会や出前講座等の野外活動の機会を利用して調査を実施した	継続実施	→	→	自然史博物館	-	-	-	
			事業化に向けた検討を行った	自然調査を継続的に実施できる体制を検討する	継続実施	→	→	環境政策課	-	-	-	
	自然環境調査の実施	地域の自然環境に詳しい専門家(ローカルナチュラリスト)と連携した自然調査を実施する	新規	館外の研究者に必要なに応じて情報を開示し、収蔵資料の研究や共同研究を実施した	継続実施	→	→	自然史博物館	-	-	-	
			事業化に向けた検討を行った	専門家の活動状況の把握に努める	継続実施	→	→	環境政策課	-	-	-	
		中学校・高等学校と連携した自然調査を実施する	新規	中学校・高等学校における自然観察等の実態の把握に努めた	事業化検討			教育委員会	-	-	-	
			事業化に向けた検討を行った	中学校・高等学校における自然観察等の実態の把握に努める	事業化検討			環境政策課	-	-	-	
		市民参画による自然調査の実施、携帯クラウドシステムの活用を推進する	新規	富士通株式会社の支援を受け、携帯フォトシステム・クラウドサービスを利用して市内の生き物調査を実施した	事業終了予定			環境政策課	-	-	-	
			事業化に向けた検討を行った	携帯フォトシステム・クラウドサービスを利用した生き物調査に対し、種の同定等、必要に応じ支援を行った(H28年度終了)				自然史博物館	-	-	-	
		本市の自然環境の特徴である水辺空間について自然環境基礎調査を実施する	新規	高砂町中島柳井原線新架橋設置に伴う河川環境調査の支援を行った(H26年度事業終了)				環境政策課	-	-	-	
			事業化に向けた検討を行った	高砂町中島柳井原線新架橋設置に伴う河川環境調査を実施(H26年度終了)				街路課	-	-	-	

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(2)

基本目標1 倉敷の生態系の状況と生き物と暮らしとのつながりを把握する。

施策内容	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H28年度実績	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	主な事業 関係課	H28予算 (千円)	H28実績 (千円)	H29予算 (千円)	備考	
生物多様性調査の実施	市内の山系の自然環境調査	自然史博物館、自然保護団体等の協力を仰ぎながら、動植物を中心とした資料収集、データ整理などにより生息状況調査を行い、自然環境を把握する	継続	玉島柏島などで、独自調査及び調査協力を行った	独自調査及び調査協力を行う	継続実施		→	自然史博物館	0	0	0		
			継続	自然史博物館、自然保護団体等の協力を仰ぎ、動植物を中心とした生息状況調査を行った	自然史博物館、自然保護団体等の協力を仰ぎ、動植物を中心とした生息状況調査調査を行う	継続実施		→	環境政策課	0	0	0		
	貴重な山林の把握	良好な自然環境を有する山林の調査と資料の収集	継続	鶴形山など、良好な自然環境を有する山林(社寺林)等の調査、資料収集・保管を随時行った	良好な自然環境を有する山林(社寺林)等の調査、資料収集・保管を随時行う	継続実施		→	自然史博物館	0	0	0		
	市内の里山調査	身近な自然である里山の実態把握に努め、保全に向けた施策の検討に繋げる	継続	向山など、良好な自然環境を有する里山の調査、資料収集・保管を随時行った	良好な自然環境を有する里山の調査、資料収集・保管を随時行う	継続実施		→	自然史博物館	0	0	0		
			継続	自然史博物館、自然保護団体等の協力を仰ぎながら、身近な自然である里山の实態把握に努めた	自然史博物館、自然保護団体等の協力を仰ぎながら、身近な自然である里山の实態把握を行う	継続実施		→	環境政策課	0	0	0		
	市内の公園調査	身近な自然である公園の実態把握に努め、保全に向けた施策の検討に繋げる	継続	倉敷みらい公園で、「生きもの調査」を自然観察会として年4回実施し、資料収集にも努めた	身近な緑地である公園などの自然調査、資料収集・保管を随時行う	継続実施		→	自然史博物館	0	0	0		
			継続	自然史博物館、自然保護団体等の協力を仰ぎながら、身近な自然である都市公園などの実態把握に努めた	自然史博物館、自然保護団体等の協力を仰ぎながら、身近な自然である都市公園などの実態把握を行う	継続実施		→	環境政策課	0	0	0		
	市内の海岸調査	身近な自然である砂浜、干潟、磯などの自然海岸の実態把握に努め、保全に向けた施策の検討に繋げる	継続	高梁川河口付近など、良好な自然環境を有する海岸の調査、資料収集・保管を随時行った	良好な自然環境を有する海岸の調査、資料収集・保管を随時行う	継続実施		→	自然史博物館	0	0	0		
			継続	自然史博物館、自然保護団体等の協力を仰ぎながら、身近な自然である海岸の実態把握に努めた	自然史博物館、自然保護団体等の協力を仰ぎながら、身近な自然である海岸の実態把握を行う	継続実施		→	環境政策課	0	0	0		
	「倉敷川の清流化を目指す」事業	市民企画提案事業「倉敷川の清流化を目指す大学協働推進事業」の一環で、倉敷川の生き物・水質調査を実施する	終了	H26年度事業終了						市民活動推進課企画経営室	-	-	-	
	生物多様性戦略に向けた自然環境調査	生物多様性地域戦略策定のための基礎資料として市内の自然環境保全基礎調査を実施する	終了	真備妹地区の自然環境基礎調査を実施した(H25年度終了)	他地区における自然環境基礎調査の事業化を検討する					環境政策課	-	-	-	
	「倉敷の生き物を探そう！」事業	生物多様性地域戦略策定のための啓発事業として、市民から市内の生き物の情報収集をする	継続	生物多様性地域戦略推進のための啓発事業として、市民から市内の生き物の情報収集を行った(102件の投稿があった)	富士通株式会社の支援を受け、携帯フォトシステム・クラウドサービスを利用して市内の生き物調査を実施する(H29年度終了予定)					環境政策課	0	0	0	

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(3)

基本目標1 倉敷の生態系の状況と生き物と暮らしとのつながりを把握する。

◆分野別目標2:生物多様性に係る情報の整備・充実

【基本方針】

本市における自然環境に関する情報について倉敷市立自然史博物館を核に、関係機関との連携を図りつつ分析、評価及び将来への継承に努め、関係者及び市民に広く提供することにより生物多様性の保全、回復、再生に役立てます。

◆実施事業一覧表【基本目標1-2 生物多様性に係る情報の整備・充実】

施策内容	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H28年度実績	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	主な事業 関係課	H28予算 (千円)	H28実績 (千円)	H29予算 (千円)	備考
生物多様性に係る情報の整備・充実	地域活動を通じた生物多様性の保全	地域で実践している生物多様性に関する活動をより発展的に進めるため、事業の提案や助言、自然調査等の支援ができる仕組みづくりを構築する	リーディングプロジェクト	事業化に向けた検討を行った	生物多様性保全事業の提案や助言、自然調査等の支援ができる仕組みづくりを検討する	継続実施	→	→	環境政策課 市民活動推進課 各担当課	-	-	-	
	関係部署における情報共有	本市が実施している自然体験フィールドやイベント、環境学習活動、環境学習施設の紹介、野生動物や自然環境に関する情報を提供する ⇒関係部署で、野生動物や自然環境に関する情報等の生物多様性に関する情報が共有されていないため、収集した情報を整理し、提供して、市民活動の推進につなげる		5月22日の国連生物多様性の日、自然と親しむ月間等において、関係部署の関連情報を取りまとめ、情報提供を行った	5月22日の国連生物多様性の日、自然と親しむ月間等において、関係部署の関連情報を取りまとめ、情報提供を行う	継続実施	→	→	環境政策課 市民活動推進課 環境学習センター 農林水産課 観光課 指導課 教育センター 生涯学習課 少年自然の家 自然史博物館 市民学習センター 科学センター	-	-	-	
		「倉敷市生物多様性地域戦略」に係る情報提供を推進する		生物多様性地域戦略概要版を作成し、配布した(H26年度事業終了)						環境政策課 環境学習センター 自然史博物館	-	-	-
	自然史博物館の施設整備	常設展示資料の補完的更新を行い、収蔵庫の拡張に努める	継続	動くナウマンゾウ親子のメンテナンスや検索用パソコンのデータ更新、展示品の追加などを行った	展示物等の補修メンテナンスを行う	継続実施	→	→	自然史博物館	138	125	126	予算・実績は展示事業の設備保守点検委託料
	特別展(特別陳列)の開催	岡山県内を中心として自然史全般について常設展示で盛り込めていないテーマについて、収蔵資料や外部団体の協力を生かした展示を行う	継続	「新着資料-近藤光宏昆虫コレクション展-」「おりがみ昆虫展」「発掘された過去・現在・未来-G7倉敷教育大臣会合応援事業 美術館ルネサンス事業-」「秋の鳴く虫展」「新着資料展2016」「しぜんしくらしき賞作品展」を開催した	「ティラノが成羽にやってきた!化石は太古の生き物図鑑」(会場:高梁市成羽美術館)、「チョウきれい! チョーたのしい! 昆虫展」「鳴く虫サロン」「新着資料展2017」「しぜんしくらしき賞作品展」を開催する	継続実施	→	→	自然史博物館	2,674	2,661	3,364	予算・実績は展示事業+特別展事業
	自然環境基礎調査及び資料の収集、保管	他の自然史博物館、研究機関と交流を行い、収集資料を交換し市民に資料提供を行う	継続	西日本自然史系博物館ネットワーク加盟館園や岡山県博物館協議会加盟館園などと交流を行い、市域内外にわたる自然環境について、機会あるごとに調査を進め、標本資料や文献資料の収集保管を行った	他の自然史博物館、研究機関と交流を行い、また市域内外にわたる自然環境について、機会あるごとに調査を進め、標本資料や文献資料の収集保管を行う	継続実施	→	→	自然史博物館	1,767	2,125	1,418	予算・実績は標本・文献等収集事業
	自然環境指標生物についての基礎的研究	自然環境指標となる生物について基礎的研究を行う	継続	倉敷市生物目録の補完調査ならびに動植物の分布調査、分類学的、生物地理学的研究を進め、成果を研究報告や博物館講座などで公表した	倉敷市生物目録の補完調査ならびに動植物の分布調査、分類学的、生物地理学的研究を進める	継続実施	→	→	自然史博物館	0	0	0	

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(4)

基本目標1 倉敷の生態系の状況と生き物と暮らしとのつながりを把握する。

施策内容	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H28年度実績	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	主な事業 関係課	H28予算 (千円)	H28実績 (千円)	H29予算 (千円)	備考
生物多様性に係る情報の整備・充実	市域外での調査研究	市内の生物相の特徴を浮き彫りにするため、倉敷市域外での調査研究を行う	継続	市内の生物相の特徴を浮き彫りにするため、岡山県内の市域外(真庭市・鏡野町・井原市・岡山市など)の自然についても調査や資料収集を行った 県外においては三重県・奈良県で資料収集を行った	市内の生物相の特徴を浮き彫りにするため、岡山県内全域の自然についても調査や資料収集を行う 県外においては愛媛県で資料収集を行う	継続実施	→	→	自然史博物館	1,142	1,009	1,499	予算・実績は調査研究事業
	水辺教室	高梁川河原で水生生物調査などの観察を行うと共に、結果について既存資料を含め情報提供を行う	継続	水辺教室を実施(環境学習センターと市民学習センターが協働) :平成28年7月31日(日) 高梁川河川敷 38人参加	水辺教室を実施(環境学習センターと市民学習センターが協働) :平成29年7月30日(日) 高梁川河川敷	継続実施	→	→	環境学習センター 市民学習センター	82	86	81	
	海辺教室	磯(海辺)で水生生物調査などの観察を行うと共に、結果について既存資料を含め情報提供を行う	継続	海辺教室を実施(環境学習センターと市民学習センターが協働) :平成28年8月11日(木・祝) 児島通生海岸 27人参加	海辺教室を実施(環境学習センターと市民学習センターが協働) :平成29年7月2日(日) 児島通生海岸	継続実施	→	→	環境学習センター 市民学習センター	83	85	82	
	井戸・湧水に関する情報収集と情報提供	自然保護監視員や市民からの情報提供を求め、HPで情報提供を行う	継続	認定済みの井戸・湧き水について、HPで情報提供を行った	HPで情報提供を行う 新規に認定すべき井戸・湧水について情報提供を受け、調査を行う	継続実施	→	→	環境政策課	—	—	—	
	巨樹・老樹等の保護	自然保護監視員や市民からの情報提供を求め調査し顕彰する	継続	自然保護監視員や市民からの情報をもとに、巨樹・老樹等の調査を行った	情報の収集と提供を行い、新たな樹木を認定する 巨樹・老樹の老朽化した案内板を更新する	継続実施	→	→	環境政策課	44	0	44	
	自然海岸、海浜、干潟の調査	自然保護団体の協力で海岸線、海浜、干潟の現状を把握する	継続	自然史博物館友の会の行事「干潟の生物の観察会」(笠岡市)、「真鍋島の自然」(笠岡市)に協力しつつその現地の調査を行う。また、別途、独自調査及び調査協力を行った	自然史博物館友の会の行事「干潟の生物の観察会」(笠岡市)、「北木島の自然」(笠岡市)に協力しつつその現地の調査を行う。また、別途、独自調査及び調査協力を行う	継続実施	→	→	自然史博物館	0	0	0	
			継続	市内の藻場の状況・変遷について、情報収集を行った	市内の藻場の状況・変遷について、情報収集を行う	継続実施	→	→	環境政策課	0	0	0	
	自然保護監視員制度の活用	自然保護監視員から身近な地域における自然環境の話題、情報を収集する	継続	連絡会議や定期的な報告書により、市内自然環境の状況、外来生物侵入の状況について情報収集を行った	連絡会議や定期的な報告書により、市内自然環境の状況、外来生物侵入の状況について情報収集を行う	継続実施	→	→	環境政策課	256	223	256	

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(5)

基本目標2 身近な自然とつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全、回復、再生する。

◆分野別目標1:総合的・計画的な保全体系の拡充

【基本方針】

生物多様性の保全は長期的な取り組みが必要な新しい地域課題であることから、地域の多様な生態系・生物種が現状程度に保持されるとともに、希少種、貴重な生態系の保全、回復、再生施策を推進するため、総合的・計画的な保全体系の拡充を図ります。

◆実施事業一覧表【基本目標2-1 総合的・計画的な保全体系の拡充】

ハビタット	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H28年度実績	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	主な事業 関係課	H28予算 (千円)	H28実績 (千円)	H29予算 (千円)	備考
総合的・計画的な 保全体系の拡充	市全域	生物多様性の保全体系の拡充 総合的・計画的な保全体系を拡充する 生態系の現状を踏まえた土地利用の推進、および開発における環境配慮の拡充等による、自然生態系、人と自然のふれあいに係る生態系、市街地の都市公園・緑地等の生態系を保全する 環境影響評価制度の活用を図る	リーディングプロジェクト	事業化に向けた検討を行った	総合的・計画的な保全体系の拡充について検討する	継続実施		→	環境政策課	-	-	-	
				国が進める環境保全型農業直接支援対策等の普及を進めた	国が進める環境保全型農業直接支援対策等の普及を進める	継続実施		→	環境政策課 農林水産課	-	-	-	
				法、条例に係る事業については、環境保護及び環境保全措置を積極的に要望した	法、条例に係る事業については、環境保護及び環境保全措置を積極的に要望する	継続実施		→	環境政策課	-	-	-	

◆分野別目標2:地域の自然と生態系ネットワークの保全

【基本方針】

水と緑のつながりを確保し、地域の生態系ネットワークを保全、回復、再生するため、防災や利用との調和を図りながら、住宅地等民有地や工場、事業所、遊休地等の緑化を図り、生き物の生息・生育空間及び移動経路に配慮した空間の形成を目指します。

◆実施事業一覧表【基本目標2-2 地域の自然と生態系ネットワークの保全】

ハビタット	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H28年度実績	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	主な事業 関係課	H28予算 (千円)	H28実績 (千円)	H29予算 (千円)	備考
地域の自然と生態系ネットワークの保全	森・山	循環的活用の推進		高梁川流域における市民活動団体の活動について、広報等を通じて支援した	高梁川流域における市民活動団体の活動について、広報等を通じて支援する	継続実施		→	環境政策課 担当事業課	-	-	-	
	市街地	屋上緑化、壁面緑化の推進		屋上緑化、壁面緑化の方針について先行事例等情報収集を行った	屋上緑化、壁面緑化の方針について先行事例等情報収集を行う	継続実施		→	環境政策課 公園緑地課 開発指導課 市街地開発課 住宅課	-	-	-	
		公園・緑地整備計画の推進及び支援		法・条例に基づき、緑の保全が図られるよう規制・指導した	法・条例に基づき、緑の保全が図られるよう規制・指導する	継続実施		→	公園緑地課 各担当課	-	-	-	
	市全域	自然に配慮した景観保全		法・条例に基づき、緑の保全が図られるよう規制・指導した	法・条例に基づき、緑の保全が図られるよう規制・指導する	継続実施		→	公園緑地課	-	-	-	
各種団体との連携推進			本市固有の豊かな自然を生かした都市景観の形成が図られるよう指導した	本市固有の豊かな自然を生かした都市景観の形成が図られるよう指導する	継続実施		→	都市景観室	-	-	-		
				各団体の実態把握及び地域連携保全活動計画の導入可能性について調査した	各団体の実態把握及び地域連携保全活動計画の導入可能性について調査する	継続実施		→	環境政策課 環境衛生課 市民活動推進課	-	-	-	

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(6)

基本目標2 身近な自然とつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全、回復、再生する。

ハビタット	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H28年度実績	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	主な事業 関係課	H28予算 (千円)	H28実績 (千円)	H29予算 (千円)	備考
市全域	市以外の公共事業における環境保全措置	国や岡山県などが、本市において実施する公共事業に対して、必要な協力を行いつつ、重要地域での事業実施回避も含め、当該地域での生物多様性への影響を最小限に抑えることを求め、また、必要に応じ、十分な代償措置を求める	リーディングプロジェクト	必要に応じ、事業による生物多様性への影響を最小限に抑えることを求め、また、必要に応じ、十分な代償措置を求める	必要に応じ、事業による生物多様性への影響を最小限に抑えることを求め、また、必要に応じ、十分な代償措置を求める	継続実施			環境政策課 各担当課	—	—	—	
	ビオトープの設置促進	小学校、公共施設等へのビオトープの設置を手助けする	継続	継続実施					環境政策課	0	0	0	
森山	「倉敷美しい森」管理事業	地元へ管理委託	継続	地元へ管理委託して施設を保全した	地元へ管理委託して施設を保全する	継続実施			児島・産業課	2,363	2,363	2,363	
		地元へ管理委託	継続	維持管理					真備・産業課	5,070	5,272	4,641	
	「ふれあいの森」管理事業	地元へ管理委託	継続	地元へ管理委託して施設を保全した	地元へ管理委託して施設を保全する	継続実施			児島・産業課	2,699	2,699	2,699	
	種松山野草園管理	野草園の管理	継続	移植植物の維持管理を行った	移植植物の維持管理を行う	継続実施			環境政策課	380	378	424	
	「愛宕山森林公園」管理事業	愛宕神社を中心に広がる緑豊かな森林公園の草刈りやトイレ清掃などを管理委託により保全する	継続	公園内の草刈、トイレ清掃等を管理委託により保全した	公園内の草刈、トイレ清掃等を管理委託により保全する	継続実施			船穂・産業係	2,826	2,824	4,272	
	「ツツジ山再生プロジェクト」事業	市民企画提案事業「ツツジ山再生プロジェクト」により、旧帯江銅山(中庄)にツツジを植え、かつて栄えたツツジ山を復活させる	継続	ツツジの苗木の育成及び植栽	ツツジの苗木の育成及び植栽	継続実施			市民活動推進課	207	207	270	協働団体「ツツジ山再生プロジェクト」
河川・水辺	自然環境に配慮した用水路・ため池・河川などの改修及び管理の実施	自然環境に配慮した用水路・ため池・河川などの改修及び管理を行う	継続	希少種の生息状況など自然環境保全に係る情報を収集し、事業部署に情報を提供、手助けすることにより、生物に配慮した施工、維持管理に反映させた	希少種の生息状況など自然環境保全に係る情報を収集し、事業部署に情報を提供、手助けすることにより、生物に配慮した施工、維持管理に反映させる	適宜実施			環境政策課	0	0	0	
			継続	東三間川用水路改修工事(その1) 西部排水路改修工事	東三間川用水路改修工事 L=80.0m, L=40.0m, L=100m 西部排水路改修工事 L=20.0m, L=40m	継続実施 継続実施			水島支所・産業	12,400 6,900	6,764 5,670	14,500 12,000	
			終了	水島6号水路改修工事 L=73.18m(平成26年度事業終了)					水島支所・産業	—	—	—	
			継続	鶴新田17号水路改修工事	鶴新田17号水路改修工事 L=36.0m, 40.0m	継続実施			水島支所・産業	8,300	2,992	8,100	
			継続	西部排水路藻刈業務委託 福田用水路清掃業務委託	西部排水路藻刈業務委託 福田用水路清掃業務委託	継続実施 継続実施			水島支所・産業	5,000 1,235	5,683 796	5,000 1,200	
			継続	帯江190号水路改修工事	倉109号水路改修工事ほか9件程度	水路改修工事10件程度	水路改修工事10件程度	水路改修工事10件程度	耕地水路課	73,700	86,112	95,500	
			継続	溜川公園水辺ゾーン及び現況ヨシ原維持管理	地域団体・NPOの協力のもと、水辺ゾーン及び現況ヨシ原の維持管理及び保全を行う				玉島・建設課	489	489	489	随時見直しあり
	阿津遊水池環境保全事業	遊水池の環境整備(測量、設計委託、整備)	継続	遊水池整備	維持管理			児島・産業課	0	0	0		
	自然保護団体の湿地復元、保護活動への支援	湿地復元や保護を行う自然保護団体の活動への市民参加、協働についての広報の実施、技術情報提供などにより支援する	継続	自然保護団体の活動に対して技術情報提供などにより支援した	自然保護団体の活動への市民参加、協働についての広報の実施、技術情報提供などにより支援する	継続実施			環境政策課	0	0	0	

地域の自然と生態系ネットワークの保全

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(7)

基本目標2 身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全、回復、再生する。

地域	ハビタット	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H28年度実績	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	主な事業 関係課	H28予算 (千円)	H28実績 (千円)	H29予算 (千円)	備考
地域の自然と生態系ネットワークの保全	平里野地部	「由加のピオトープづくり」事業	市民企画提案事業「由加のピオトープづくり」により、由加の休耕田にピオトープを整備する	終了	H26年度事業終了					市民活動推進課	-	-	-	協働団体「由加の自然を育む会」
	市街地	街区公園の整備	街区公園の整備	継続	用地取得 整備工事	用地取得 整備工事	継続実施			公園緑地課	99,889 53,082	1,381,867 67,232	0 107,681	
		「茶屋町の干拓史跡・真如庵庭園の自然観察公園への改修とその活用」事業	市民企画提案事業「茶屋町の干拓史跡・真如庵庭園の自然観察公園への改修とその活用」の一環で、真如庵にピオトープの整備を実施する	終了	H26年度事業終了					市民活動推進課 環境政策課	-	-	-	協働団体「茶屋町エコライフ・グループ」
	市全域	本庁壁泉池維持管理	ピオトープとして整備した壁泉池の維持管理を行う	継続	維持管理	維持管理	維持管理			総務課	0	0	0	
造林事業		森林資源の培養と自然環境の保全を図るため、苗木相当額を補助し植林を推進する	継続	要望がなかったため未実施	要望に応じ、苗木相当額を補助し、植林を実施する	継続実施			農林水産課	77	0	77		
松くい虫予防事業		松くい虫被害対策のため、薬剤散布による予防と被害木の伐採駆除	継続	松くい虫予防事業、松くい虫被害木伐倒事業を行った	松くい虫予防事業、松くい虫被害木伐倒事業を行う	継続実施			農林水産課	26,022	12,379	15,297		

◆分野別目標3:地域ごとの自然環境の保全

【基本方針】

それぞれの地域の自然特性を活かしながら保全していくことが重要なため、地域住民の協力のもと、地域の特性に応じた取り組みを推進します。

◆実施事業一覧表【基本目標2-3 地域ごとの自然環境の保全】

地域	ハビタット	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H28年度実績	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	主な事業 関係課	H28予算 (千円)	H28実績 (千円)	H29予算 (千円)	備考
地域ごとの自然環境の保全	森・山	倉敷地域の取り組み	酒津八幡山周辺を、山と河が一体となった緑豊かな景観と、多様な生態系が残る自然の宝庫として保全する	継続	市民団体との協働により、保全及び利活用について調査・検討を進めた	市民団体との協働により、保全及び利活用について調査・検討を進める	継続実施			環境政策課 各担当課	-	-	-	
		水島地域の取り組み	天平山、種松山、鴨ヶ辻山などの山系の自然環境を保全し、自然とふれあえる場として活用を図る	継続	開発指導を通じ、自然環境を保全するとともに、市が設置した探鳥コース、野草園など自然とふれあえる場の活用を図る	開発指導を通じ、自然環境を保全するとともに、市が設置した探鳥コース、野草園など自然とふれあえる場の活用を図る	継続実施			環境政策課 各担当課	380	378	424	
		児島地域の取り組み	由加山系の貴重な動植物を保護するとともに、山系全体を保全する	継続	市民団体等との協働により、保全及び自然とふれあえる場の活用を図った	市民団体等との協働により、保全及び自然とふれあえる場の活用を図る	継続実施			環境政策課 少年自然の家	0	0	0	
	河川・水辺	水島地域の取り組み	八間川を、市民が憩える水辺空間として整備を推進する	継続	花苗5000株を年3回植栽した	花苗5000株を年3回植栽する	継続実施			公園緑地課	250	250	250	
		玉島地域の取り組み	溜川遊水池周辺の自然生態環境を保全・活用するとともに、市民が自然とふれあえる公園として溜川公園を維持管理する	継続	自然生態環境に配慮し維持管理を行った	自然生態環境に配慮し維持管理を行う	継続実施			玉島・建設課 公園緑地課	489	489	489	
	船穂・真備地域の取り組み	川辺ふるさとピオトープや真備水辺の楽校、希少生物の理解や水生生物とのふれあいの場として活用を図る	継続	身近な自然とふれあえる場として維持管理を進めた	身近な自然とふれあえる場として維持管理を進める	継続実施			環境政策課 各担当課	-	-	-		
		清流に恵まれた高梁川、小田川とその周辺の自然環境を保全し、自然とふれあえる場として活用を図る	継続	国、県の整備事業等において、自然環境の保全を働きかけるとともに、水辺教室等を通じて自然とふれあえる場としての活用を図った	国、県の整備事業等において、自然環境の保全を働きかけるとともに、水辺教室等を通じて自然とふれあえる場としての活用を図る	継続実施			環境政策課 各担当課	-	-	-		

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(8)

基本目標2 身近な自然とつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全、回復、再生する。

地域ごとの自然環境の保全	ハビタット	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H28年度実績	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	主な事業 関係課	H28予算 (千円)	H28実績 (千円)	H29予算 (千円)	備考
地域ごとの自然環境の保全	海辺・海岸	児島地域の取り組み	唐琴地区や、下津井地区の砂浜、干潟、磯などの自然海岸を保全し、藻場の回復を図るため、国、県へ積極的に働きかける	継続	砂浜、干潟、磯など自然海岸の保全、藻場の回復を図るため、国、県へ積極的に働きかけるとともに、海辺教室等を通じて、市民への保全意識の啓発を図った	砂浜、干潟、磯など自然海岸の保全、藻場の回復を図るため、国、県へ積極的に働きかけるとともに、海辺教室等を通じて、市民への保全意識の啓発を図る	継続実施	→	→	環境政策課 各担当課	-	-	-	
			鷺羽山展望台周辺整備基本計画及び名勝下津井鷺羽山保存管理計画に基づき、鷺羽山の良好な自然景観を維持保全するとともに、整備活用する。	継続	・樹木の伐採	樹木の伐採を行う	継続実施	→	→	観光課	992	486	990	
	市街地	倉敷地域の取り組み	鶴形山、向山、足高山など市街地の中の身近な自然環境を保全し、自然とふれあえる場として活用を図る	継続	公園、道路等適切に維持管理することにより自然環境を保全し、探鳥コース等を利用して自然とふれあえる場としての活用を図った	公園、道路等適切に維持管理することにより自然環境を保全し、探鳥コース等を利用して自然とふれあえる場としての活用を図る	継続実施	→	→	環境政策課 各担当課	-	-	-	
		玉島地域の取り組み	高梁川河口の干潟や、玉島黒崎地区の砂浜、干潟、磯などの自然海岸の保全を図るため、国、県へ積極的に働きかける	継続	砂浜、干潟、磯など自然海岸の保全を図るため、国、県への積極的な働きかけ及び市民団体の支援等を通じて、市民への保全意識の啓発を図った	砂浜、干潟、磯など自然海岸の保全を図るため、国、県への積極的な働きかけ及び市民団体の支援等を通じて、市民への保全意識の啓発を図る	継続実施	→	→	環境政策課 各担当課	-	-	-	

◆分野別目標4:重要地区の保全

【基本方針】

生態系ネットワークの構成上重要であり、豊かな生き物の生息地、生育地となっている地域について積極的に保全します。

◆実施事業一覧表【基本目標2-4 重要地区の保全】

重要地区の保全	ハビタット	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H28年度実績	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	主な事業 関係課	H28予算 (千円)	H28実績 (千円)	H29予算 (千円)	備考
重要地区の保全	海辺・海岸	アマモ場の保全・再生事業	アマモ場保全・再生事業を推進する	リーディングプロジェクト	市民団体等の取り組みを情報提供、広報等により支援した	市民団体等の取り組みを情報提供、広報等により支援する	継続実施	→	→	環境政策課	-	-	-	
	平野地部	生物多様性に配慮した里地・里山整備	里地里山の持続的管理のための社会的枠組みや利活用方策等について検討し、生物多様性に配慮した里地・里山整備を支援する		環境保全型農業直接支援対策などにより生物多様性に配慮した里地・里山整備を支援した	耕作放棄地対策や環境保全型農業直接支援対策などにより生物多様性に配慮した里地・里山整備を支援する	継続実施	→	→	農林水産課 環境政策課	5,890	3,749	6,930	
	ため池	ため池保全計画の策定	ため池の生物多様性保全機能に着目し、国が進める農地・水・環境保全向上対策事業の利用、推進を図る		ストックマネージメント事業等の推進にあわせ、必要に応じ環境保全向上対策を推進した	ストックマネージメント事業等の推進にあわせ、必要に応じ環境保全向上対策を推進した	継続実施	→	→	環境政策課 担当事業課	-	-	-	
	湿地	湿地復元、保護活動への支援	湿地復元や保護を行う自然保護団体の活動への市民参加、協働についての広報の実施、技術情報提供などにより支援する		必要に応じ自然保護団体の活動への市民参加、協働についての広報の実施、技術情報提供などにより支援した	必要に応じ自然保護団体の活動への市民参加、協働についての広報の実施、技術情報提供などにより支援する	継続実施	→	→	環境政策課	-	-	-	

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(9)

基本目標2 身近な自然とつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全、回復、再生する。

ハビタット	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H28年度実績	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	主な事業 関係課	H28予算 (千円)	H28実績 (千円)	H29予算 (千円)	備考
重要地区の保全 市全域	良好な自然環境が残る区域を保全する「地区指定」の実施	良好な自然環境が残る地域で、まず公有地を中心に指定に向け関係者との協議を行う	継続	候補になるような地域の指定場所の検討を行った	候補になるような地域の指定場所の検討を行なう	継続実施			環境政策課	-	-	-	
	自然公園区域、県自然環境保全地域等の区域の拡大や、新たな指定への協力	良好な自然環境が残る地域で、まず公有地を中心に指定に向け土地所有者及び関係市民との協議を行い、協力が得られた区域について、国、県に積極的に働きかける	継続	指定に適した地区の調査・検討を行った	指定に適した地区の調査・検討を行う	継続実施			環境政策課	-	-	-	

◆分野別目標5: 希少野生生物の生息・生育環境の保全

【基本方針】

天然記念物や種の保存法該当種、国や県のレッドデータブック対象種について、保護の重要性に関する普及啓発を進めるとともに生息地の保全・再生を含む保護活動を推進します。

◆実施事業一覧表【基本目標2-5 希少野生生物の生息・生育環境の保全】

ハビタット	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H28年度実績	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	主な事業 関係課	H28予算 (千円)	H28実績 (千円)	H29予算 (千円)	備考
河川・水辺	希少動植物の生息情報整備	希少野生動植物の生息情報マップを整備し、生態系に配慮した管理を推進する		希少野生動植物の生息情報マップの構築に向け随時調査を行った	希少野生動植物の生息情報マップの構築に向け随時調査を行う	継続実施			環境政策課 耕地水路課	-	-	-	
	希少動植物の保全	各課連携により淡水魚・希少動物の積極的保全に取り組む		希少野生生物の生息・生育区域においては、生息・生育環境に配慮した事業の実施に努めた	希少野生生物の生息・生育区域においては、生息・生育環境に配慮した事業の実施に努める	継続実施			環境政策課	-	-	-	
海辺・海岸	海浜や干潟における希少生物の保全	海浜利用者に配慮し、保全が必要な海浜植物について困いを設置するなどの保全を行う	リーディングプロジェクト	必要に応じ保護対策を実施した	必要に応じ保護対策を実施する	継続実施			環境政策課	-	-	-	
	希少野生動植物の保全	早急な対策が求められる希少な動植物種について優先的に保護対策を講じ、種の絶滅を回避する		必要に応じ保護対策を実施した	必要に応じ保護対策を実施する	継続実施			環境政策課 各担当課	-	-	-	
森・山	シラガブドウの保護	愛宕山森林公園内および堆肥化施設敷地内に、シラガブドウの保護地を設け、保護及び啓発を行う	継続	保護育成(ふなおウイナリーの経費により管理を行った)	保護育成(ふなおウイナリーの経費により管理を行う)	継続実施			船穂・産業係	0	0	0	
河川・水辺	ミズアオイ群生地整備事業	ミズアオイの良好な生育環境を創造するため、自生地の整備を行う	継続	冬季に耕耘等により自生地の環境整備を行った	冬季に耕耘等により自生地の環境整備を行う	継続実施			土木課	365	357	365	
	ミズアオイ群生地の保全活動	自然保護団体、地域住民等と協力し、ミズアオイ群生地の良好な生育環境の保全に努める	継続	ヌートリア食害防護フェンスの設置など、ミズアオイ自生地の整備・管理に協力した。市民に対して観察会等の啓発活動を行った(春・種まき会 秋・観察会)	ミズアオイ自生地の整備・管理に協力する市民に対して観察会等の啓発活動を行う	継続実施			環境政策課	73	63	66	
	希少野生生物に配慮した公共工事の実施要請	スイゲンゼミタナゴ・カワバタモロコやダルマガエルなど希少野生生物が生息・生育する場所での水路改修・街路事業などの公共工事では、専門家等との協議や地域住民の理解を求め、希少野生生物の生息・生育環境への影響が最も少ない方法を検討し、調整を図る	継続	希少野生生物の生息の可能性のある地域の公共工事を把握し、必要に応じて環境省や専門家と協力して、配慮工事を要請した(調査・協議・対策を8回実施)	希少野生生物の生息の可能性のある地域の公共工事を把握し、必要に応じて環境省や専門家と協力して、配慮工事を要請する	継続実施			環境政策課	107	74	107	

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(10)

基本目標2 身近な自然とつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全、回復、再生する。

ハビタット	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H28年度実績	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	主な事業 関係課	H28予算 (千円)	H28実績 (千円)	H29予算 (千円)	備考
希少野生生物の生息・生育環境の保全 河川・水辺	希少野生生物に配慮した公共工事の実施	スイゲンゼニタナゴなどの希少野生生物(淡水魚)の生息・生育環境に配慮した公共工事の実施に努める	継続	スイゲンゼニタナゴなどの希少野生生物(淡水魚)の生息・生育区域においては、生息・生育環境に配慮した事業の実施に努めた	スイゲンゼニタナゴなどの希少野生生物(淡水魚)の生息・生育区域においては、生息・生育環境に配慮した事業の実施に努める	適宜実施			担当工事業業課	0	0	0	
			継続	東三間川用水路改修工事(その1) 西部排水路改修工事	東三間川用水路改修工事 L=80.0m, L=40.0m, L=100m 西部排水路改修工事 L=20.0m, L=40m	継続実施 継続実施			水島支所・産業	12,400 6,900	6,764 5,670	14,500 12,000	【再掲】基本目標2-2 自然環境に配慮した用水路・ため池・河川などの改修及び管理の実施
			終了	水島6号水路改修工事 L=73.18m(平成26年度事業終了)					水島支所・産業	—	—	—	【再掲】基本目標2-2 自然環境に配慮した用水路・ため池・河川などの改修及び管理の実施
			継続	鶴新田17号水路改修工事	鶴新田17号水路改修工事 L=36.0m, 40.0m	継続実施			水島支所・産業	8,300	2,992	8,100	【再掲】基本目標2-2 自然環境に配慮した用水路・ため池・河川などの改修及び管理の実施
			継続	帯江190号水路改修工事	帯江162号水路改修工事ほか7件程度	水路改修工事10件程度	水路改修工事10件程度	水路改修工事10件程度	耕地水路課	73,700	86,112	95,500	【再掲】基本目標2-2 自然環境に配慮した用水路・ため池・河川などの改修及び管理の実施
	継続	ダルマガエル・カスミサンショウウオなどの希少野生生物(両生類等)の生息・生育環境に配慮した公共工事の実施に努める	希少野生生物(両生類等)の存在が確認された場合は、生息・生育環境に配慮した事業の実施に努めた	希少野生生物(両生類等)の存在が確認された場合は、生息・生育環境に配慮した事業の実施に努める	適宜実施			担当工事業業課	—	—	—		
	スイゲンゼニタナゴ個体群の保全	自然保護団体、地域住民と協力し、スイゲンゼニタナゴの保護活動を推進する	工事実施等に伴い、保全に関する協議・保護移動を実施した(4件)	自然保護団体等と協力して、啓発活動を行う 淡水魚に関する出前講座を実施する。工事実施に伴う保全に関する協議・保護移動を実施する	継続実施			環境政策課 環境学習センター	33	28	33		
川辺ふるさとピオトープ管理	ダルマガエル公園を含む親水公園の維持管理(委託)	希少生物の生息する地域内で、都市公園内の池周辺清掃等維持管理を「真備川辺地区公園愛護会」へ委託し、環境保全を行なった	希少生物の生息する地域内で、都市公園内の池周辺清掃等維持管理を引き続き「真備川辺地区公園愛護会」へ委託し、環境保全を行なう	継続管理			真備・建設課	251	251	251			

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(11)

基本目標2 身近な自然とつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全、回復、再生する。

◆分野別目標6:外来生物対策

【基本方針】

国内外における輸送などに伴い、意図的、非意図的を問わず人為的に導入された外来生物による地域の生態系への影響を最小限とするため、国、県、周辺自治体、市民、事業者及びNPO団体など関係機関と連携し、外来生物に関する情報提供や正しい知識の普及に努めるとともに、必要に応じ関係法令に基づく防除を検討します。

◆実施事業一覧表【基本目標2-6 外来生物対策】

	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H28年度実績	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	主な事業 関係課	H28予算 (千円)	H28実績 (千円)	H29予算 (千円)	備考	
外来生物対策	外来種等の生態系に悪影響を与える生物への対応	アライグマなどの特定外来生物について防除計画を作成し駆除等の対策を実施する	リーディングプロジェクト	先行自治体の情報収集を進め、防除計画の策定を検討した	先行自治体の情報収集を進め、防除計画の策定を検討する	継続実施	→	→	環境政策課 農林水産課 環境衛生課	-	-	-		
		ベッコウや野生動物とのつきあい方等の市民啓発の実施をする		出前講座等の機会を利用し、啓発活動を行った	出前講座等の機会を利用し、啓発活動を行う	継続実施	→	→	環境政策課	-	-	-		
				出前講座等の機会を利用し、啓発活動を行った	チラシや出前講座等の機会を利用し、啓発活動を行う	継続実施	→	→	生活衛生課	-	-	-		
		ヌートリアやカワウなどについて、苦情や捕獲などの情報をもとに獣害分布図を作成し、関係部署との情報の共有を図る		関係機関の情報共有を進め、分布の把握に努めた	関係機関の情報共有を進め、分布の把握に努める	継続実施	→	→	環境政策課 農林水産課 環境衛生課	-	-	-		
	外来生物に関する啓発と情報提供	外来生物の移入などによる生態系への影響を最小限とするため、環境省など関係機関と連携し、外来生物に関する情報提供や正しい知識の普及啓発を行う	継続	出前講座、観察会、博物館講座などで機会あるごとに問題の普及啓発に努めた(講座回数25回、出前講座25回)	新たに発見された外来生物について記者クラブへの発表及び学術雑誌での報告を行う 出前講座、観察会、博物館講座などで機会あるごとに問題の普及啓発に努める	継続実施	→	→	自然史博物館	0	0	0		
				継続	施設見学受入・出前講座等の機会を利用し、外来生物に関する啓発活動を行った	施設見学受入・出前講座等の機会を利用し、外来生物に関する啓発活動を行う。必要に応じ駆除対策の計画、実施を行う	継続実施	→	→	環境政策課 環境学習センター	8,265	7,862	8,600	
				継続	市民からの問い合わせに対し、関係機関と連携して対応した。市内に生息するスクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)の防除啓発を広報くらしきなどで行った	市民からの問い合わせに対し、関係機関と連携して対応する 市内に生息するスクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)の防除啓発を広報くらしきなどで行う	継続実施	→	→	自然史博物館 環境政策課 農林水産課	-	-	-	
	外来生物への対策の計画策定と防除の実施	必要に応じ、防除計画の策定、防除実施を進める	継続	これまで収集した情報及び調査結果を踏まえ、防除対策について検討した	これまで収集した情報及び調査結果を踏まえ、必要に応じ防除対策の計画、実施を行う	継続実施	→	→	環境政策課 農林水産課	-	-	-	鳥獣被害防止計画など	

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(12)

基本目標3 生物多様性の恩恵を持続的に受けられるように自然資源を利用する。

◆分野別目標1:環境配慮型農業と地産池消の推進

【基本方針】

おかやま有機JASなどの有機農業や冬期湛水管理など生き物を育む環境保全効果の高い営農活動を支援、推進するとともに担い手の育成など農業の持続的な発展と地域の活性化を図ります。

◆実施事業一覧表【基本目標3-1 環境配慮型農業と地産池消の推進】

	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H28年度実績	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	主な事業 関係課	H28予算 (千円)	H28実績 (千円)	H29予算 (千円)	備考
環境 配慮 型 農 業 と 地 産 池 消 の 推 進	生物多様性に配慮した農業の推進	冬水田んぼ、休耕田の利活用による田んぼづくりを推進する	リーディングプロジェクト	要望がなかったため未実施	耕作放棄地解消推進事業等を活用した支援により、耕作放棄地の再生・利用を推進する	継続実施	→	→	農林水産課	0	0	0	
		農地を活用した環境学習を推進する		環境保全型農業直接支援対策等を通じ環境配慮型農業を推進することにより、農業者が実施する環境学習を支援した	継続して実施する	継続実施	→	→	農林水産課	-	-	-	
				体験講座「ぶどう収穫体験とフードマイレージ」は台風のため中止	夏休み講座として、「田んぼの生きもの調べ」を実施する	実施に向けて検討する	→	→	環境学習センター	0	0	0	
		生物多様性と安全に配慮した農林水産物のPR、地産池消及び旬産旬消の推進をする		地場農産物や特産物の消費拡大を図る各種イベントや啓発講座の開催、PR活動などを行った	継続して実施する	継続実施	→	→	農林水産課	1,866	1,520	1,794	
		生物多様性(環境)保全型農業のPR、農業者や消費者の理解の促進を図る		パンフレットの配布等を通じ環境保全型農業の普及促進を図った	継続して実施する	継続実施	→	→	農林水産課	-	-	-	
				出前講座等を通じて生物多様性(環境)保全型農業のPR、農業者や消費者の理解の促進を図った	出前講座等を通じて生物多様性(環境)保全型農業のPR、農業者や消費者の理解の促進を図る	継続実施	→	→	環境政策課	-	-	-	
	環境保全型農業の支援	おかやま有機JASなどの有機農業や冬期湛水管理など生き物を育む環境保全効果の高い営農活動を支援する	継続	環境保全型農業直接支援対策により環境保全効果の高い営農活動を支援した	継続して実施する	継続実施	→	→	農林水産課	4,800	3,023	4,000	【再掲】2-4 生態系に里地里山に配慮した里地里山の整備

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(13)

基本目標3 生物多様性の恩恵を持続的に受けられるように自然資源を利用する。

◆分野別目標2:生物多様性に配慮した地域開発と産業、事業活動の促進

【基本方針】

開発行為を行う場合、生態系とその基盤となる生物に関する情報を事前に把握し、配慮した予防的、順応的な対策などの取り組みを進めます。

事業活動における環境負荷の低い原材料の使用や生態系認証商品や材料の活用、供給などサプライチェーン全体の中で持続可能な生産と消費に配慮した経営を促していきます。

◆実施事業一覧表【基本目標3-2 生物多様性に配慮した地域開発と産業、事業活動の促進】

計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H28年度実績	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	主な事業 関係課	H28予算 (千円)	H28実績 (千円)	H29予算 (千円)	備考
生物多様性に配慮した地域開発と産業、事業活動の促進	生物多様性に配慮した事業の実施	生物多様性に配慮した開発事業の実施のための指導を行う	リーディングプロジェクト	生物多様性に配慮した開発事業の実施のための指導を行った(3件)	生物多様性に配慮した開発事業の実施のための指導を行う	継続実施	→	環境政策課 開発指導課	-	-	-	
		まどまりのある緑地等を開発事業や都市づくりに取り入れ、生き物の生育・生息環境に貢献する		該当事業がなかったため未実施	まどまりのある緑地等を開発事業や都市づくりに取り入れ、生き物の生育・生息環境に貢献する	継続実施	→	市街地開発課	-	-	-	
		自然環境や生態系に配慮した技術開発・施工方法による生物多様性保全への取り組みを推進する		工事個所の自然環境や生態系に配慮した対応を検討した	工事個所の自然環境や生態系に配慮し、必要に応じ対応する	継続実施	→	土木課 街路課	-	-	-	
		産業界に係る職員や企業を対象とした研修を行い、企業活動や商品、サービスが生態系に依存していることを意識し、環境に配慮した活動を推進する		出前講座等を通じて、サービスが生態系に依存していることを意識し、環境に配慮した活動を推進した	出前講座等を通じて、サービスが生態系に依存していることを意識し、環境に配慮した活動を推進する	継続実施	→	各担当課 環境政策課	-	-	-	
		生物多様性に欠かせない水と命の係わりについて意識し、下水道の整備等により、生態系の回復を図る		下水道の整備及び普及促進	下水道の整備及び普及促進	下水普及率を向上させ、水質の向上を図る	継続実施	→	下水建設課 下水施設課	0	0	0
	くらしき地域資源の活用	地域資源を、老舗、特産品、魅どころとして取りまとめ、情報発信をする	くらしき地域資源を取りまとめ、ホームページやBOOK等を通じて情報提供を行った	くらしき地域資源を取りまとめ、ホームページやBOOK等を通じて情報提供を行う	継続実施	→	商工課	5,658	5,651	10,042		
	市民参画による生物多様性に配慮した公園づくり	市民参画による生物多様性に配慮した公園づくりを推進する	市民の意見をとりいれた公園づくりを推進した	市民の意見をとりいれた公園づくりを推進する	継続実施	→	公園緑地課	0	0	0		
	小田川付替え事業との連携	高梁川小田川付替え事業及び関連する事業について国、県と連携を図り、生物多様性の保全を推進する	高梁川小田川付替え事業及び関連する事業について事業の進捗にあわせ必要に応じ国、県と連携を図り、生物多様性の保全を推進した	高梁川小田川付替え事業及び関連する事業について事業の進捗にあわせ必要に応じ国、県と連携を図り、生物多様性の保全を推進する	継続実施	→	環境政策課 土木課 自然史博物館 文化財保護課 各担当課	-	-	-		
	八間川緑道公園整備	地元住民、関係機関等との協議の検討	継続	八間川東側に緑地を整備	事業終了			水島・建設	-	-	-	
	土石採取の掌握・指導	土石採取の掌握・指導	継続	土石採取の掌握・指導	土石採取の掌握・指導	継続実施	→	開発指導課	-	-	-	
	土砂等による土地の埋め立て許可	土砂等による土地の埋め立て許可	継続	土砂等による土地の埋め立て許可	土砂等による土地の埋め立て許可	継続実施	→	開発指導課	-	-	-	
	宅地造成許可	宅地造成に係る許可	継続	宅地造成に係る許可	宅地造成に係る許可	継続実施	→	開発指導課	-	-	-	
	開発行為等の規制及び指導	開発行為等の規制及び指導	継続	開発行為等の規制及び指導	開発行為等の規制及び指導	継続実施	→	開発指導課	-	-	-	
	開発行為等の事前協議	事業内容により自然環境調査を行い自然の回復に努めるよう指導	継続	希少野生生物への影響が考えられる3件について保全対策を指導した	開発行為等の規制及び指導	継続実施	→	環境政策課	-	-	-	
	保健保安林管理事業	三百山・天向山保健保安林管理委託	継続	業者に管理委託して施設を保全した	業者に管理委託して施設を保全する	継続実施	→	児島・産業課	3,079	3,079	3,206	

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(14)

基本目標4 倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

◆分野別目標1: 市民への環境学習機会の提供

【基本方針】

自然環境保全に対する市民の意識を高めるため、関係部署が連携するとともに、NPO等との協働を積極的に進め、講演会、講座、自然体験型イベントを実施します。

◆実施事業一覧表【基本目標4-1 市民への環境学習機会の提供】

計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H28年度実績	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	主な事業 関係課	H28予算 (千円)	H28実績 (千円)	H29予算 (千円)	備考
生物多様性体験 学習拠点の設置	自然史博物館、環境学習センター を中心に、教育施設と連携した自然 基礎情報の収集や、研修ニーズの 調査を行う		倉敷みらい公園において生き 物調査を実施した(11回)	倉敷みらい公園において生き 物調査を実施する	継続実施			自然史博物館 環境学習センター	0	0	0	みらい公園バード ウォッチング
保全に向けた普 及啓発活動	シンポジウムや講演会、パネル掲 示等による生物多様性保全に向け た普及啓発活動をする	リーディング プロジェクト	くらしき環境フェスティバルにお いて生物多様性の危機の一つ である地球温暖化に関する講 演会を実施した	くらしき環境フェスティバルにお いて生物多様性の保全につな がる地域の食に関する講演会 を実施する	継続実施			環境政策課 環境学習センター	500	368	500	環境フェスティバル (4-6 環境保全に関 する事業の情報提 供)のプログラムとし て実施
関連施設等との連 帯	文部科学省及び県教育事務所関連 施設の事業に参加	継続	自然観察会を岡山県生涯学習 センターとの連携講座として 行った(博物館主催16回、友の 会主催10回)(H28年度で事業 終了)					自然史博物館	0	0	-	
	環境省及び県環境関連部門の事業 に参加	継続	総合環境学習ゾーンモデル事 業(環境省)へ参加し、配当物 品の利用に便宜を図った(0 件)	総合環境学習ゾーンモデル事 業(環境省)へ参加し、配当物 品の利用に便宜を図る	継続実施			自然史博物館	0	0	0	
		継続	総合環境学習ゾーンモデル事 業(環境省)へ参加し、配当物 品の利用促進を図った	総合環境学習ゾーンモデル事 業(環境省)へ参加し、配当物 品の利用促進を図る	継続実施			環境学習センター	0	0	0	
「11月3日は自然 史博物館まつり」 の開催	博物館友の会の協力を得て、全館で さまざまなイベントを開催する 終日入館無料	継続	第16回「11月3日は自然史博物 館まつり」を開催した(来場総数 12,389人)	第17回「11月3日は自然史博物 館まつり」を開催する	継続実施			自然史博物館	507	458	507	予算・実績は自然史 博物館まつり事業
環境学習センター での環境学習・講 座等の充実を図る	環境学習センターでの環境学習・講 座等の充実を図る	継続	維持管理	維持管理	維持管理継続			環境学習センター	8,265	7,862	8,600	
緑化ポスターコン クールの実施	緑化ポスターコンクールの実施	継続	緑化ポスターコンクールの実施	緑化ポスターコンクールの実 施	継続実施			公園緑地課	140	140	140	
自然史全般の質 問・問合せなどへ の対応	自然史全般についての質問などに、 学芸員が個別に回答する	継続	対面・メール等で対応した(レ ファレンス総数1197件)	対面・メール等で対応する	継続実施			自然史博物館	0	0	0	
自然保護小冊子 の発行等	自然の紹介や自然保護に関する小 冊子などの発行、市民事業への協 力	継続	リーフレット「金銀銅の自然史」 を発行した(発行部数20,000 部)	研究報告第33号を発行する	継続実施			自然史博物館	300	254	292	
	自然の紹介や自然保護に関する小 冊子などを活用した啓発を図る	継続	自然保護団体等と協力して、淡 水魚に関する出前講座は申し 込みなし	淡水魚を中心とした水環境に 関する小・中学生対象の出前 講座を実施する	継続実施			環境学習センター	33	0	33	
くらしき都市緑化 フェアの開催	都市緑化フェアの開催	継続	都市緑化フェアの開催	都市緑化フェアの開催	継続実施			公園緑地課	1,650	1,650	1,650	
少年自然の家 受入事業	小、中学校の山の学習などの受入 れとともに、生涯学習施設としての位 置づけにより幅広い年代の研修団体 の受け入れを実施する	継続	自然の中で仲間と遊び、自然と 親しみながら仲間と暮らすこと によって、人間形成を図った(テ ント設営、野外炊事等)	自然の中で仲間と一緒に共同 生活することによって自主性 や協調性を養うとともに、自然 の大切さや雄大さを体感する ことによって環境保護の意識 醸成を図る	継続実施			少年自然の家	58,502	57,503	57,239	

市民への環境学習機会の提供

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(15)

基本目標4 倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H28年度実績	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	主な事業 関係課	H28予算 (千円)	H28実績 (千円)	H29予算 (千円)	備考
市民への 環境学習 機会の 提供	自然環境保全に関する研修会、講演会	有識者を講師に研修会、講演会、サイエンス・カフェなど開催する	継続	水島学講座を開催した(3回)	環境学習講座を開催する	継続実施			環境学習センター	—	—	—	
			継続	くらしき環境フェスティバルにおいて生物多様性の危機の一つである地球温暖化に関する講演会を実施した	くらしき環境フェスティバルにおいて生物多様性の保全につながる地域の食に関する講演会を実施する	継続実施			環境政策課	500	37	500	【再掲】同シートに掲載
	自然保護監視員研修会・連絡会議	知識習得のための研修会を行う 自然保護に関する情報や意見を受けるための連絡会を開催する	継続	自然保護に関する情報や意見を受けるための研修会や連絡会を開催した(2回)	自然保護に関する情報や意見を受けるための研修会や連絡会を開催する	継続実施			環境政策課	173	143	251	
	自転車を活用した「くらしき百景」観光プロジェクト	市民企画提案事業「自転車を活用した「くらしき百景」観光プロジェクト」の一環で、倉敷を訪れる観光客に環境に配慮した観光スタイルを学習する機会を提供する	事業終了	H25年度事業終了					市民活動推進課	—	—	—	
	「倉敷まちかど博物館」事業	平成25年度コミュニティー助成事業により、岩石・鉱物・化石・植物・昆虫・動物などの標本を、移動可能な展示ユニット計60台に仕立てて、公共性の高い施設に貸し出しする	継続	12施設に41台のユニットを新たに貸し出した	図書館・公民館・学校園など、公共性の高い施設、市民や観光客らが集う施設を対象として貸し出しを行う	継続実施			自然史博物館	0	0	0	

◆分野別目標2: 支援者、指導者の育成

【基本方針】

市内の自然環境情報を幅広く収集するとともに市民に数多くの環境学習機会を提供するため、関係部署が連携するとともに、NPO等との協働を積極的に進め、専門的な知識を持つ指導者や市民団体の育成と支援に努めます。

◆実施事業一覧表【基本目標4-2 支援者、指導者の育成】

	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H28年度実績	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	主な事業 関係課	H28予算 (千円)	H28実績 (千円)	H29予算 (千円)	備考
支援者、 指導者の 育成	生物多様性に関する環境学習システムの推進	保育士や教諭等を対象とした研修を行い、子どもたちが地球に優しい取り組みを実践することにつなげる	リーディングプロジェクト	研修の方法・内容等の検討について教員研修を所管する教育センターに依頼	研修の方法、時期、対象等を検討中	研修の実施			教委・指導課	0	0	0	
	指導者養成講座の開催	高梁川流域における生物多様性保全をテーマとする環境教育研修を行う	継続	環境学習人材育成研修を実施した(3回、4日間)	人材育成研修を実施する	継続実施			環境学習センター	700	490	300	
	自然環境保全マニュアル研修会	市新規採用土木職員などを対象に研修会を実施	継続	本研修を未受講の土木職員を対象に研修会を実施する 自然環境保全マニュアルに準拠した工事の事例調査を行った	本研修を未受講の土木職員を対象に研修会を実施する 自然環境保全マニュアルに準拠した工事の事例調査を行う	継続実施			環境政策課	0	0	0	

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(16)

基本目標4 倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

◆分野別目標3:子どもたちへの環境教育の充実

【基本方針】

自然や生きものに対する子どもたちの関心と環境保全意識を高めるため、学校や地域における自然体験活動への参加の機会を増やします。

◆実施事業一覧表【基本目標4-3 子どもたちへの環境教育の充実】

	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H28年度実績	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	主な事業 関係課	H28予算 (千円)	H28実績 (千円)	H29予算 (千円)	備考	
子どもたちへの環境教育の充実	生物多様性に関する環境学習システムの検討	子どもたちや先生に生物多様性の活動を意識し、実践してもらう仕組みづくりを行う	リーディングプロジェクト	パンフレットの授業への活用について検討した	環境政策課作成のパンフレットを授業に活用するよう呼びかける	継続実施			指導課	-	-	-		
				生物多様性地域戦略に関する子供向けパンフレットを配布した	啓発推進及びその方法の検討を行う	継続実施			環境政策課	0	0	0	一般向けパンフ、地域戦略冊子含む	
	ビオトープの設置および推進	学校・保育所等にビオトープの設置を推進及び支援する		必要に応じ設置および管理に関する支援を行った	必要に応じ設置および管理に関する支援を行う	継続実施			環境政策課 教育施設課	0	0	0		
	自然とふれあうイベント等の開催	子どもたちや親子で参加する自然体験イベントや、自然とふれあう活動を支援する		自然体験型の講座を46件実施 790人が参加した	子どもたちや親子で参加する自然体験講座・イベントや、自然とふれあう活動を支援する	継続実施			環境学習センター	0	0	0	環境学習推進事業として実施	
				障がい児などを対象としたキャンプを少年自然の家で3回実施する	障がい児などを対象としたキャンプを、少年自然の家で開催する	継続実施			障がい福祉課	287	149	236		
				子育てポータルサイト等を通じ、子どもたちや親子で参加する自然体験活動を支援した	子育てポータルサイト等を通じ、子どもたちや親子で参加する自然体験活動を支援する	継続実施			子育て支援課	-	-	-		
	環境学習の充実	出前講座の開催		継続	出前講座を開催した(25件)	出前講座を開催する	継続実施			自然史博物館	0	0	0	
				継続	出前講座を開催した(17回)	出前講座を開催する	継続実施			環境学習センター	0	0	0	環境学習推進事業として実施
		継続		自然保護団体等と協力して、淡水魚に関する出前講座は申し込みなし	自然保護団体等と協力して、啓発活動を行う 淡水魚を中心とした水環境に関する小・中学生対象の出前講座(5回)を実施する	継続実施			環境学習センター	33	0	33		
		公民館、図書館講座及び学校、保育園などの施設へ講師の派遣を行う		継続	講師派遣に協力した(出前講座以外の講師派遣21件)	講師派遣に協力する	継続実施			自然史博物館	0	0	0	
環境学習講座の開催		継続	講師派遣に協力した(2回)	講師派遣に協力する	継続実施			環境学習センター	0	0	0			
		継続	夏休み期間を中心に小学生親子で参加できる自然体験型の学習講座を実施した(46件)790人が参加した	夏休み期間に重点的に小学生親子で参加できる自然体験型の学習講座を実施する	継続実施			環境学習センター	-	-	-			

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(17)

基本目標4 倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H28年度実績	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	主な事業 関係課	H28予算 (千円)	H28実績 (千円)	H29予算 (千円)	備考
子どもたちへの環境教育の充実	環境教育の推進	環境教育全体計画、指導計画の作成	継続	全小・中学校で、環境教育全体計画、指導計画に基づき、教科や総合的な学習の時間を中心に環境教育に取り組んだ	全小・中学校で、環境教育全体計画、指導計画に基づき、教科や総合的な学習の時間を中心に環境教育に取り組む	継続実施	→	→	教委・指導課	0	0	0	
	水辺教室	高梁川河原で水生生物調査などの観察を行うと共に、結果について既存資料を含め情報提供を行う	継続	・水辺教室を実施(環境学習センターと市民学習センターが協働) ・7月31日(日) 38人参加 ・高梁川河川敷	水辺教室を実施予定(環境学習センターと市民学習センターが協働) ・7月30日(日) ・高梁川河川敷	継続実施	→	→	環境学習センター 市民学習センター	82	86	81	【再掲】1-2水辺教室
	海辺教室	磯(海辺)で水生生物調査などの観察を行うと共に、結果について既存資料を含め情報提供を行う	継続	・海辺教室を実施(環境学習センターと市民学習センターが協働) ・8月11日(木・祝) 30人参加 ・児島通生海岸	・海辺教室を実施予定(環境学習センターと市民学習センターが協働) ・7月2日(日) ・児島通生海岸	継続実施	→	→	環境学習センター 市民学習センター	83	85	82	【再掲】1-2海辺教室
	自然教室(中学校)	遊休農地を活用し、レクリエーションやコミュニティの場となるよう市民農園の維持管理を行い利用を促進する	継続	自然の中で暮らし、自然に触れ、自然について知ることをねらいとし、各中学校の第1学年の参加で実施した	自然の中で暮らし、自然に触れ、自然について知ることをねらいとし、各中学校の第1学年の参加で実施する	継続実施	→	→	教委・指導課	0	0	0	
	山の学習(小学校)	自然の中で暮らし、自然に触れ、自然についての知識を得る	継続	自然の中で暮らし、自然に触れ、自然について知ることをねらいとし、各小学校の第4学年または、第6学年の参加で実施した	自然の中で暮らし、自然に触れ、自然について知ることをねらいとし、各小学校の第4学年または、第6学年の参加で実施する	継続実施	→	→	教委・指導課	0	0	0	
	親子漁業体験学習	漁業体験を通して、瀬戸内の恵みを再発見する	継続	市内小学生の親子を対象に、「漁業」や「地産地消」、また地域の栄養委員による「食育」活動について、理解を深めていただく。 さらには、瀬戸内海の恵みに対する再発見と感動を親子で共有することにより、水産業について理解促進の契機とする	底びき網などを体験し、瀬戸内の恵みの再発見することをねらいとし、親子漁業体験学習を実施する	継続実施	→	→	農林水産課	433	376	2,587	H29は50周年事業として実施
	科学講座	科学実験教室、科学工作教室、親子科学教室、サイエンス塾等の各種科学講座の実施を通して、自然への理解を深めるとともに、環境保護という視点で自分たちの生活を見直すことができるようにする	継続	科学実験教室、科学工作教室、親子科学教室、科学チャレンジ教室等の各種科学講座の実施を通して、自然への理解を深めるとともに、環境保護という視点で自分たちの生活を見直すことができるようにした	科学実験教室、科学工作教室、親子科学教室、科学チャレンジ教室等の各種科学講座の実施を通して、自然への理解を深めるとともに、環境保護という視点で自分たちの生活を見直すことができるようにする	継続実施	→	→	科学センター	250	170	250	
	少年自然の家 主催事業	自然体験学習の実施 ・「由加わいわいキャンプ」(テント設営・そうめん流し) ・「夏休みこどもキャンプ」(丸太小屋生活・野外炊事) ・「家族で秋の思い出づくり」(ハイキング・芋ほり) ・「冬季こどもキャンプ」(丸太小屋生活・野外炊事) ・「早春のつどい」(よもぎ探り・餅つき) ・「さわやかデー(由加山の旅)」(そうめん流し・野外炊事)	継続	由加わいわいキャンプなど(テント設営、そうめん流し)を実施した 「由加わいわいキャンプ」(104人) 「夏休みこどもキャンプ」(75人) 「さわやかデー(由加山の旅)」(12人) 「家族で秋の思い出づくり」(56人) 「ウインターフェスティバル」(83人) 「冬季こどもキャンプ」(34人) 「自然の家大感謝祭」(150人) 「早春のつどい」(47人)	由加わいわいキャンプの実施や、不登校児等を対象とした生涯学習課企画事業(さわやかデー)への共同参加等を予定	継続実施	→	→	少年自然の家	0	0	0	

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(18)

基本目標4 倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

◆分野別目標4: 社会貢献活動や自然共生圏を意識した地域交流経済活動の支援

【基本方針】

市民やNPO等市民団体、事業者が、地域の生物多様性保全のため実施する環境美化活動など社会貢献活動や、高梁川流域の恵みを使った経済活動等を支援します。

◆実施事業一覧表 【基本目標4-4 社会貢献活動や自然共生圏を意識した地域交流経済活動の支援】

	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H28年度実績	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	主な事業 関係課	H28予算 (千円)	H28実績 (千円)	H29予算 (千円)	備考	
社会貢献活動や自然共生圏を意識した地域交流経済活動の支援	生物多様性に配慮した里地・里山整備	里地里山の持続的管理のための社会的枠組みや利活用方策等について検討し、生物多様性に配慮した里地・里山整備を支援する	リーディングプロジェクト	環境保全型農業直接支援対策により生物多様性に配慮した里地・里山整備を支援した	耕作放棄地対策や環境保全型農業直接支援対策などにより生物多様性に配慮した里地・里山整備を支援する	継続実施			農林水産課	5,890	3,749	6,930	【再掲】2-4 生態系に里地里山に配慮した里地里山の整備	
				先進事例等情報収集を行った	先進事例等情報収集を行う	継続実施 利活用方法等検討			環境政策課	-	-	-		
				地域交流イベント、経済活動を支援した	地域交流イベント、経済活動を支援する	継続実施			環境政策課	0	0	0		
	自然共生圏を意識した地域交流、経済活動の支援	高梁川流域など本市が関わる自然共生圏を対象とした地域交流イベント、経済活動を支援する												
	河川等のゴミの清掃	生活雑排水路の春秋地区清掃	清掃で出た汚泥・草などを直営・業者委託で回収 市内全域で実施した	継続						環境衛生課	34,075	30,744	34,075	
		児島湖流域清掃大作戦	児島湖流域清掃大作戦を開催した	継続						環境政策課	563	516	548	平成29年11月5日(日)に開催予定
高梁川流域クリーン一斉行動の支援		雨天のため中止	継続						教委・生涯学習課	616	338	203	平成29年11月26日(日)に開催予定	
自然保護団体への活動支援	各種自然保護団体への活動を支援する								環境政策課	180	180	180	倉敷の自然をまもる会	

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(19)

基本目標4 倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

◆分野別目標5:エコツーリズム等の推進

【基本方針】

農業農村地域や漁村地域、離島地域などにおいて地域資源を活かした体験型ツーリズムなどを推進します。

◆実施事業一覧表【基本目標4-5 エコツーリズム等の推進】

	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H28年度実績	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	主な事業 関係課	H28予算 (千円)	H28実績 (千円)	H29予算 (千円)	備考	
エコ ツー リズム 等 の 推 進	生物多様性エコツアーの 推進	本市を進める生態系ネットワークの 取り組みをはじめ、経済的に循環し ている市内外の優良な企業の取り組 みの現場等を巡るツアーの実施及び 市民団体等による実施を支援する	リーディング プロジェクト	市民団体が開催したエコツーリ ズムを支援した	高梁川流域における生物多様 性エコツアーの実施を支援す る	継続実施	→	→	環境政策課	151	148	584		
			終了	H26年度事業終了						市民活動推進課 環境政策課	-	-	-	【再掲】2-2「茶屋町 の千拓史跡・真如庵 庭園の自然観察公園 への改修とその活 用」事業
			リーディング プロジェクト	倉敷観光コンベンションビュー ロー主催の新浜園での自主事 業「ホテル観賞会」について承 認した	市民団体より提案があった場 合積極的に支援する	継続実施	→	→	観光課	-	-	-		
	エコツーリズム支援	市民団体の開催するエコツーリ ズムを支援する	継続	市民団体が開催したエコツーリ ズムを支援した	高梁川流域における生物多様 性エコツアーの実施を支援す る	継続実施	→	→	環境政策課	151	148	584	【再掲】4-5「生物多 様性エコツアーの推 進」事業	
	親子漁業体験学習	漁業体験を通して、瀬戸内の恵み を再発見する	継続	市内小学生の親子を対象に、 「漁業」や「地産地消」、また地 域の栄養委員による「食育」活 動について、理解を深めていた だ。さらには、瀬戸内海の恵みに対 する再発見と感動を親子で共 有することにより、水産業につ いて理解促進の契機とする	底びき網などを体験し、瀬戸内 の恵みの再発見することをね らいとし、親子漁業体験学習を 実施する	継続実施	→	→	農林水産課	433	376	2,587	【再掲】4-3 親子漁業 体験学習	
	自然教室（中学校）	遊休農地を活用し、レクリエー ションやコミュニティの場となる よう市民農園の維持管理を行い利 用を促進する	継続	自然の中で暮らし、自然に触 れ、自然について知ることを行 いとし、各中学校の第1学年 の参加で実施した	自然の中で暮らし、自然に触 れ、自然について知ることを行 いとし、各中学校の第1学年 の参加で実施する	継続実施	→	→	教委・指導課	-	-	-	【再掲】4-3 自然教室 (中学校)	

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(20)

基本目標4 倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

◆分野別目標6: 自然とのふれあいの促進

【基本方針】

市内の身近な自然を保全し、市民が気軽に参加できるような自然観察会や自然調査を開催するなど自然とふれあう場として活用します。自然とのふれあい活動の実施にあたっては、NPO等との協働を積極的に進めるとともに、市民に情報を提供し参加を呼びかけます。

◆実施事業一覧表【基本目標4-6 自然とのふれあいの促進】

計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H28年度実績	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	主な事業 関係課	H28予算 (千円)	H28実績 (千円)	H29予算 (千円)	備考
環境保全事業、啓発活動の支援	里地、里山の保全に向けた自然保護団体の活動に対する広報支援や、環境保全意識啓発機会の提供等に努める	リーディングプロジェクト	必要に応じ、自然保護団体の活動に対する広報支援や、環境保全意識啓発機会の提供等を行った	必要に応じ、自然保護団体の活動に対する広報支援や、環境保全意識啓発機会の提供等を行う	継続実施			環境政策課 環境学習センター 自然史博物館	-	-	-	
自然とのふれあい事業の開催	水辺教室、海辺教室、自然観察会、天体観察会、星空観察会などの自然とのふれあいを事業を開催する		水辺教室を実施 38人参加 海辺教室を実施 30人参加	水辺教室を実施 海辺教室を実施	継続実施			環境学習センター 市民学習センター	82 83	86 85	81 82	【再掲】1-2 水辺教室 【再掲】1-2 海辺教室
			市民が幅広く参加できる自然観察会、講座等を開催した(総数50件) 「友の会」による自然観察会等の開催を援助した(友の会主催観察会・講座総数12件)	市民が幅広く参加できる自然観察会、講座等を開催する	継続実施			自然史博物館	0	0	0	
			季節の天体や星座の観察を行った(16回・1551人)	季節の天体や星座の観察を行う天体観望会を定期的に行う	継続実施			科学センター	33	0	33	
			探鳥コース、種松山野草園の維持管理を行うとともに必要に応じ自然散策コースの検討を行った	探鳥コース、種松山野草園の維持管理を行うとともに必要に応じ自然散策コースの検討を行う	継続実施			環境政策課	380	379	424	
			野鳥観察に関する入門講座を2回実施した	野鳥観察に関する入門講座を季節に応じて実施する	継続実施			環境学習センター	-	-	-	夏・冬の2回実施
自然とのふれあいの場の活用、維持管理等	ビオトープ、探鳥コース、遊休農地の活用、種松山野草園の管理及び自然散策コースの検討などを行う		探鳥コース、種松山野草園の維持管理を行うとともに必要に応じ自然散策コースの検討を行った	探鳥コース、種松山野草園の維持管理を行うとともに必要に応じ自然散策コースの検討を行う	継続実施			環境政策課	1,090	726	2,930	【再掲】2-4 生態系に里地里山に配慮した里地里山の整備
		要望に応じて、耕作放棄地の再生を支援した	要望に応じて、耕作放棄地の再生を支援する	継続実施			農林水産課	-	-	-		
		ビオトープの設定、活用等を学校に呼びかけた	ビオトープの設定、活用等を学校に呼びかける	継続実施			教委・指導課	-	-	-		
自然保護団体の里地、里山保全活動への支援	里地、里山の保全に向けた自然保護団体の活動への市民参加、協働について広報を行うなど支援する	継続	自然保護団体の活動への市民参加、協働について広報を行うなど支援した	自然保護団体の活動への市民参加、協働について広報を行うなど支援する	継続実施			環境政策課	-	-	-	
ビオトープの活用促進	NPOなどと協力しながら、小学校、公共施設等へのビオトープの活用を手助けする	継続	NPOなどと協力しながら、小学校、公共施設等へのビオトープの活用を手助けした	NPOなどと協力しながら、小学校、公共施設等へのビオトープの活用を手助けする	継続実施			環境政策課	0	0	0	
啓発機会の提供	小学校をはじめとして、市民の水辺の環境保全意識啓発に努める	継続	自然保護団体等と協力して、啓発活動を行った。淡水魚に関する出前講座は申し込みなし	淡水魚を中心とした水環境に関する小・中学生対象の出前講座を実施する	継続実施			環境学習センター	33	0	0	【再掲】2-5 スイゲンゼニタナゴ個体群の保全
種松山野草園管理	種松山野草園管理	継続	種松山野草園の維持管理を行った	種松山野草園の維持管理を行う	継続実施			環境政策課	380	379	424	【再掲】2-2 種松山野草園管理
探鳥コース、野鳥観察地の維持、活用	探鳥コースや野鳥観察地の観察しやすい環境づくりと利活用	継続	市民団体と協力し、野鳥観察会を2回実施した	市民団体等と協力し探鳥会などを開催し、活用を図る	継続実施			環境学習センター	0	0	0	【再掲】同シートに掲載済
	探鳥コースや野鳥観察地の観察しやすい環境づくりと維持	継続	探鳥コースの点検を行った	探鳥コースの点検を行い、必要に応じて対応する。探鳥コースの利用促進を図る	継続実施			環境政策課	44	42	44	

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(21)

	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H28年度実績	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	主な事業 関係課	H28予算 (千円)	H28実績 (千円)	H29予算 (千円)	備考
自然とのふれあいの促進	市民農園事業	遊休農地を活用し、レクリエーションやコミュニティの場となるよう市民農園の維持管理を行い利用を促進する	継続	市民農園維持管理を実施した	市民農園維持管理を実施する	継続実施			農林水産課	4,642	4,432	6,424	
	遊休農地の活用	幼・小・中学校において遊休農地を活用し体験学習を推進する	継続	小学校の第4学年又は第6学年と中学校の第1学年において遊休農地を活用し体験学習を実施した	幼・小・中学校において遊休農地を活用し体験学習を推進する	継続実施			教委・指導課	0	0	0	
	水辺教室	高梁川河原で水生生物調査などの観察を行うと共に、結果について既存資料を含め情報提供を行う	継続	・水辺教室を実施(環境学習センターと市民学習センターが協働) ・7月31日(日) 38人参加 ・高梁川河川敷	水辺教室を実施予定(環境学習センターと市民学習センターが協働) ・7月30日(日) ・高梁川河川敷	継続実施			環境学習センター 市民学習センター	82	86	81	【再掲】1-2 水辺教室
	海辺教室	磯(海辺)で水生生物調査などの観察を行うと共に、結果について既存資料を含め情報提供を行う	継続	・海辺教室を実施(環境学習センターと市民学習センターが協働) ・8月11日(木・祝) 30人参加 ・児島通生海岸	・海辺教室を実施予定(環境学習センターと市民学習センターが協働) ・7月2日(日) ・児島通生海岸	継続実施			環境学習センター 市民学習センター	83	85	82	【再掲】1-2 海辺教室
	自然史博物館の催し案内	市内外の学校教育施設等へ博物館の催し案内を送付する	継続	月1回、記者クラブ、学校教育施設等へ博物館の催し案内を送付した 「広報くらしき」、「パワフルキッズ」、「メールマガジン」で行事案内を行った 年1回、市外近隣地域の小・中学校に利用案内を送付した	記者クラブ、学校教育施設等へ博物館の催し案内を送付する 「広報くらしき」、「パワフルキッズ」、「メールマガジン」で行事案内を行う	継続実施			自然史博物館	-	-	-	
	環境保全に関する事業の情報提供	環境月間行事や環境保全講演会の開催など、広報を活用し情報を提供する	継続	・環境月間行事として、環境フェスティバルを開催した ・6月4日 環境交流スクエア ・来場者 3,500人	環境月間行事として6月3日に環境フェスティバルを開催予定 ホームページ・広報紙や報道機関へ情報提供し、市民へ参加を呼びかける	継続実施			環境学習センター	4,139	3,146	4,013	平成28年6月4日(土)くらしき環境フェスティバル開催
	「こどもエコクラブ」活動支援	広報、事務局の支援等を通じ、クラブの活動を支援する	継続	広報、会員登録受付、環境に関する情報の提供等を行った	HP、メルマガ等による広報、会員登録受付、環境に関する情報の提供等を行う 小学校を通じて放課後子ども教室への情報の提供を行う	継続実施			環境学習センター	-	-	-	
	自然観察会、講座等の開催	自然保護団体と協力し市民参加の観察会や講座を開催する	継続	市民が幅広く参加できる自然観察会、講座等を開催した(総数50件) 「友の会」による自然観察会等の開催を援助した(友の会主催観察会・講座総数12件)	市民が幅広く参加できる自然観察会、講座等を開催する 「友の会」による自然観察会等の開催を援助する	継続実施			自然史博物館	422	249	441	予算・実績は教育普及事業
			継続	自然保護団体の観察会等の開催を援助した	自然保護団体の観察会等の開催を援助する	継続実施			環境政策課 環境学習センター	-	-	-	

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(22)

	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H28年度実績	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	主な事業 関係課	H28予算 (千円)	H28実績 (千円)	H29予算 (千円)	備考
自然とのふれあいの促進	天体観望会	季節の天体や星座の観察を行う	継続	季節の天体や星座の観察を行った(16回・1551人)	季節の天体や星座の観察を行う天体観望会を定期的に行う	継続実施			科学センター	33	0	33	
	全国の各団体により、決められた領域を観察し、確認できる星の数の変化を調査する市民参加の星空観望会の開催	確認できる星の数の変化を調査する市民参加の星空観望会(アストロクラブ)	継続	環境省の全国星空継続観望の休止にともない、休止した	環境省の全国星空継続観望の休止にともない、当面の間休止する				科学センター	-	-	-	
	自然散策路の検討	自然散策コースなどの検討	継続	倉敷市自然保護監視員から自然保護監視員便り等により情報収集を行った	倉敷市自然保護監視員等からの情報収集を行い、自然散策コースなどの検討を行う	継続実施			環境政策課	22	5	24	【再掲】i-2自然保護監視員制度の活用
	「倉敷の生き物を探そう！」事業	生物多様性地域戦略策定のための啓発事業として、市民から市内の生き物の情報収集をする	新規	生物多様性地域戦略推進のための啓発事業として、市民から市内の生き物の情報収集を行った(102件の投稿があった)	富士通株式会社の支援を受け、携帯フォトシステム・クラウドサービスを利用して市内の生き物調査を実施する(H29年度終了予定)	事業終了予定			環境政策課	0	0	0	【再掲】i-1 市民参画による自然調査の実施、携帯クラウドシステムの活用を推進する